日本産

蘚類總説

理學博士 牧野富太郎序
藥學博士 朝比奈泰彦序
飯柴永吉著

東京 合資會社 西ヶ原刊行會

序

我日本ホド草木ノ種類ニ富ンダ國ハ世界ノ中デモ珍ラシイダラウト評シテモ敢テ過言デハアルマイト信ズル。此餘リ廣クモナイ境域デアリナガラ天然自然ノ惠ニ浴シテ喬木ト謂ハズ蘚苔菌茸ト謂ハズ實ニ數限リモナク莽々トシテ繁殖シテ居ル其有樣ハ何ント愉快ナ極ミデハナイカ。玆ニ其中ノ蘚類一羣ニ就テ之レヲ研究シ其夥シキ品種ヲ網羅シ其各種ヲシテ一目ノ下ニ瞭然タラシメタモノガ卽チ本書デアッテ之レヲ著ハス爲メ多年矻々トシテ其勞ヲ厭ハナカッタノハ飯柴永吉君其人デアッタ。君ハ我邦ニ在テ寥々晨星モ啻ナラザル蘚類專門家ノ中ノ一人デアッタ。

吾人ハ何時モ我日本所產ノ植物ノ全部ガ早ク世ニ明カニナラン事ヲ庶幾シテ居ル。其中ノ蘚類モ他ノ何レモノ部類ニ於ケル樣ニ斯學ノ爲メ誰レカ之レヲ調査シ究明シテクレル人ガアッタラト何時モ思ハヌ事ハナク私ハ此方面デ幸ニ其人ヲ得タトシテ疾クカラ飯柴君ニ期待ヲ持ッテ居ッタ。其故私ハ曩ニ同君ニ向ッテ邦產蘚類ヲ纏メター書ヲ著ハサン事ヲ慫慂シタ事ガアッタ。爾來同君ハ專心

一意孜々トシテ其書ヲ完成スルニ努メラレ遂ニ其レガ今日ノ成功ヲ齎ラスニ至ツタ。吾人ハ我學界ノ爲メニ實ニ欣々然トシテ抃舞雀躍スルヲ禁ジ得ナイ。

從來Dozy氏Molkenboer氏Sande Lacoste氏Lindberg氏Mitten氏Bescherelle氏ナド又近クハBrotherus氏及ビ岡村周諦氏ナドヲ始メトシ其他幾人カノ學者ガ研究調査セラレタ我邦產蘚類ノ一切ガ今此一書ニ依ツテ遺憾ナク窺ヒ知ラルヽ事ヲ思ヘバ何ダカ急ニ**コケ**カラ後光ガサシテ其世界ガ明ルクナツタ樣ナ心地ガスル。其レノミナラズ此書ガ更ニ其道ノ有力ナル指鍼トナツテ此方面ノ研究ガ一層進ミ延イテ將來尙ホ幾多ノ蘚類硏究者、蘚類愛好者或ハ蘚類採集者ガ新タニ輩出スル機運ヲ促スニ至ルベキ結果ニ想到スル時吾人ハ我邦「モツス、フロラ」ノ爲メ本書ノ出版ニ對シテ此ニ祝盃ヲ擧ゲ其萬歲ヲ叫バザラントスルモ得ンヤデアル。終リニ臨ミ著者飯柴君ニ其勞ヲ多謝スル。

昭和四年五月下澣

縲絏書屋主人　結網學人　牧野富太郎

序

現今吾國の隱花植物に關する智識の普及は顯花植物のそれに比して甚だ劣つて居ることは何人も否定し得ない事實であるが其重なる原因は隱花植物の研究に適當なる文獻の缺乏或はむしろ其皆無であると云ふことであらう。尤も半ば實用的の部類例へば傳染病學の根本たるべき細菌學、水產學の補助學としての藻類學、植物病理學の基礎としての菌學等に關しては相當の書物が出版されて居るが吾人の生活に直接の交涉なき蘚苔、地衣に至りては殆ど學者の顧る所とならず之に關する書物は絕無に近いと云つても過言ではない。此點は吾人同好者の大に苦痛とした所であつたが、幸に畏友飯柴永吉君の此著が世にでるやうになつたのは誠に慶賀に堪へない。飯柴君は甞て日本蘚類圖說の著者の一人として斯學の進步に多大の貢獻をなした。今復此著に於て全卷二九五頁の中に邦產已知蘚類を網羅し簡單なれ共的確なる記載を以てよく其實物を彷彿せしめ得たる著者の苦心に滿腔の敬意を表し大に本書を斯學同好の士に薦めんとするものである。

昭和四年五月下浣

蕾　軒　朝比奈泰彥

はしがき

おのが生立を記するは烏滸がましき次第なれども、予に初めて植物名稱の手ほどきを爲し賜はりしは名古屋の梅村甚太郎先生なり。田舍より上京して途方に呉れたりしを拾ひ上げ下されしは矢部吉禎先生なり。仙臺に落付きし後も絶えず指導を賜はりしは主として牧野富太郎先生なり。予の今日あるは其他の友人先輩の庇蔭によること少からずと雖も主として三先生の賜なり。

されど由來物質的に惠まれざる予は今日に至るまで何等鴻恩に酬ゆる事能はず。嘗て竊に思ふに此篤學の三先生に酬ゆる唯一の途は己れも斯學と終始するにありと。爾來駑鈍に鞭ちて孜々として今日に至れり。本書稿成るも本邦學術の進度と出版界の狀勢は克く無名の寒生の特殊なる著作を出版するの域に達せず。玆に於てか亦、朝比奈泰彦矢野宗幹、久内清孝三先生の厚志と仁俠なる書肆西ヶ原刊行會の特志とを待ちて漸く世に出づるを得たり、感激するに辭なし、玆に以上の諸先生と陽に陰に御援助を賜りし先輩諸氏に本書を呈して鴻恩の萬一を報ぜんとす。

尚海外に於ける恩師 V. F. Brotherus博士は本書成るに及ばずして長逝せらる。本書を靈前に供して哀悼の意を表す。

昭和四年七月

飯柴永吉

凡　例

一、本書載する所は予の得たる限りの文獻と標品によりたるものなれば尚多少の缺くる所あり、此等と新出の種類は個人雜誌「フロラ」により次第に發表すべし。

二、本書の出版は今日學界の進度にては時期尚早なりと考へたるを以て筆記代用として之を謄寫版に附する目的を以て稿をなせり、爲に記載語を極端に節約せり、讀者或は讀みづらき感あるべし、されど出版に當り之を改めざりしは勉めて頁を少くし、價を廉にし、斯學の普及を計りたき老婆心なり、今一二例を左に擧ぐ、他は類推すべし。

薬卵披＝葉は卵狀披針形。

肋は頂＝中肋は頂端まで達せり。

齒＝葉の部分にあれば鋸齒を指し、生殖部にあれば蘚齒のことなり。

三、本書分類の方式は Brotherus 博士による。

四、記事文は簡潔なるも予が檢索表を擴げ之を加除したるものなれば各種の判別に差支なかるべし。

五、學名の異稱は可なり澤山あるも本書の性質上凡て之を缺く、先輩某氏目下出版の計畫あり、其期を待たれたし。

日本産蘚類總説

目　　次

日本產蘚類總說

第一綱　水蘚類 Sphagnales

みづごけ科　Sphagnaceae

葉細胞は葉綠細胞と貯水細胞の二種よりなり、雄器と雌器は別枝に生じ、蒴には齒なし、只一屬よりなる。

みづごけ屬　Sphagnum Ehrh.

沼地に生じ本邦に四六種、二七變種を見る、全世界に產するもの三三六種に達す。

すぎばみづごけ　S. acutifolium Ehrh.

植物は屢々赤色を呈し、莖葉は三角舌狀、枝葉は背側に大なる圓き又半楕圓の輪孔あり、葉綠細胞は透明細胞の間にあり、遊離、本土以北及朝鮮に產し全世界に分布せり。

かはりみづごけ　S. a. var. versicolor War.

前種の變種にして綠色、赤色、黃色等を呈す、本邦以外には米國にも之を產す。

あをすぎばみづごけ　S. a. var. viride War.

前種に似て綠色を呈せる一形なり、本邦及北米に產す。

とがりばみづごけ　S, acutum War.

枝葉は披針形、銳尖、舷あり、乾けば卷く、其葉綠細胞

は四邊形、兩側遊離、莖葉は舌狀、ボルネオ島に產す。

はくさんみづごけ　S. a. var. hakusanense War.

カラフトミズゴケに似て細し、枝葉は少しく反曲又開出、狹舷あり、白山に產す。

こばのみづごけ　S. calymatophyllum W. C.

枝葉は類卵形、狹舷あり、兩面に多孔、葉綠細胞の斷面は方形乃至樽狀、中央及兩側に遊離、莖葉甚小、〇·五ミメ內外、月山の產。

きだちみづごけ　S. compactum D. C.

枝葉は卵狀截形、狹舷あり、葉綠細胞は楕圓、葉の背側に近接、莖葉甚小、三角舌狀、葉綠細胞は兩側共閉さる、枝葉は甚大、長二ミメに至る、本土及北海道產、殆全世界に分布。

かはらみづごけ　S. c. var. imbricatum War.

植物は時に紫色·菫色を呈し褐色·黑色に至る、葉は密に覆瓦狀に排列し、莖葉は多糸、莖は時に苿莢狀の嫩苗を生ず、岩手山の產。

いとなしみづごけ　S. connectens W. C.

莖葉は無糸、三角舌狀、頂に齒あり、枝葉は披針全邊、舷あり、乾けば卷く、背面に少孔あり、青森產。

はりみづごけ　S. cuspidatum Ehrh.

枝葉は披針形、舷あり、乾けば卷く、中央のものは全邊、葉綠細胞は兩側遊離、莖葉は等脚三角形、其舷は下方に廣し、九州一北海道產、殆全世界に分布。

はねみづごけ　S. c. var. plumosum Br. germ.

前種の一形にしてより強大、羽狀に分枝する性あり、本土の產、歐米に分布。

たばえだみづごけ　S. c. var. p. f. densum War.

枝を密束狀に出す、土佐の產、歐米に分布。

しはみづごけ　S. c. var. submessum Schpr. f. crispatum War.

水生、枝葉は乾けば多少、波狀に卷縮。

しろしはみづごけ　S. c. var. subm. f. cris. subf. pallens War.

植物は蒼白色、枝は弓形、枝葉は卵披、乾けば波狀、頂弓形になる、莖葉は甚狹き截頭部に齒牙あり、四國產。

やまみづごけ　S. dicladum War.

莖葉は多形、頂に齒あり、枝葉は披針形、狹舷あり、葉綠細胞遊離、月山に產す。

へりとりみづごけ　S. drepanocladum War. var. latilimbatum War.

枝葉は披針形多少齒あり、舷は基本種に比して甚廣し、乾けば卷く、莖葉は等脚三角形、枝葉の葉綠細胞は三角形、葉の內面の上に閉さる、本土及四國に產す。

ひめみづごけ　S. fimbriatum Wils.

莖葉はヒ形、頂も側緣も總狀にさける、枝葉披針形、頂齒あり、狹舷あり、葉綠細胞は透明細胞の形にありて遊離せり、四國及本土に產し、亞弗利加の外、殆全世界に分布。

ひろはひめみづごけ　S. f. var. laxifolium War.

水中に沈生、莖葉の巾○、七ミメに至る、九州一北海道

に産す。

のりくらひめみづごけ　S. f. var. norikurae Card.

甚纖小、葉も小、巾〇、五ミメ位、乘鞍岳産。

ほそひめみづごけ　S. f. var. tenue Gravet,

植物細く柔軟、二〇サメに至る、葉狹披針、長一、四巾〇、四三ミメのみ、本土の高山、山地に生じ、北米の各地に分布。

おほひめみづごけ　S. f. var. validius Card.

葉は廣卵披、長二、巾〇、九ミメに至る、歐米に分布。

きひめみづごけ　S. f. var. valid. f. compactum (War.)

叢黃一黃褐色を呈し枝は覆瓦狀に圓く葉あり、八甲田山の產、又北米にも產す。

ちやみづごけ　S. fuscum (Schpr.) V. Klinggr.

枝葉は披針形、狹舷あり只外面にのみ多孔、葉綠細胞は遊離、莖葉は舌狀、頂に齒あり、纖長なる植物、本土及北海道の產、亞、歐、北米の三大州に分布。

ほそばみづごけ　S. Girgensohnii Russ.

枝葉は兩面に多孔、莖葉は舌狀、頂は總狀にさける、其他ヒメミヅゴケに甚近し、九州以北の地及朝鮮に產し高山に普通なり、亞、歐、兩米に分布。

ちやぼほそばみづごけ　S. G. var. squarrosulum Russ.

植物は微小、枝葉の頂は開出、四國產、亞、歐、北米に分布。

ほそばちやみづごけ　S. G. var. stachyodes Russ. forma

fuscescens War.

植物は帯褐色、枝は匐枝狀、莖葉は短廣なり、亞、歐、北米に分布。

がつさんみづごけ S. guwassanense War.

枝葉は類卵形、葉綠細胞は方形又樽狀、兩側遊離、莖葉は長一、七ミメ、多糸、月山の產。

たかねみづごけ S. hakkodense War.

オホミヅゴケに似て細し、莖皮細胞には螺旋紋あり、枝葉は圓き卵形、透明細胞は內方に葉綠細胞との接觸部に多少乳頭あり、葉綠細胞は三角又不等四邊形、兩側遊離、八甲田山に產す。

ふながたみづごけ S. imbricatum (Hornsch)

前種に似たり、枝葉の透明細胞は內方に葉綠細胞と接着、多くは櫛糸あり、本土並に朝鮮に產し、亞、、歐 北米に分布。

はりまみづごけ S. i. var. affine (Ren. et Card.) War.

枝葉は櫛糸なし、莖葉は多糸、播磨の產。

はいいろはりまみづごけ S. i. v. aff. f. glaucescens subf. squa-rrosulum (Ren. et Card).

帯灰色又青綠色の疎なるRasenをなす、歐及北米に分布。

とさかみづごけ S. i. var. cristatum War.

枝葉は基半に多糸、歐及北米に產す。

しろとさかみづごけ S. i. var. cris. f. pallescens War.

植物帯白色又は上部帯褐色、枝密、葉疎、日光及仙臺附

近に產す。

からのふながたみづごけ　S. i. var. sublaeve War.

f. densissimum War.

枝葉は只下方にのみ櫛糸あり、枝束密、朝鮮の產。

みねみづごけ　S. incertum War.

枝葉は兩面共多孔、莖葉は小にして舌狀又卵形、植物は鐵褐色、ミヤマミヅゴケに近似の種なり、御岳、西駒岳等の高山に產す。

かづさみづごけ　S. inundatum War.

枝葉は長卵又卵披、狹舷あり、葉綠細胞は長方又樽狀、兩側に遊離、兩面共多孔なり、莖葉は類舌狀、本土一北海道產、歐米に分布。

やまとみづごけ　S. japonicum War.

極めてオホミヅゴケに近き種類にして之を別種と認めざる學者あり、褐赤色を呈するを以て肉眼的にも分たる、他種とは枝葉の透明細胞が內方に葉綠細胞と接觸する部分に乳頭のなきこと、葉綠細胞の斷面が狹三角又狹四邊形にして廣からざること等により分つべし、九州一樺太產、ヒリツピン島に分布。

こばのやまとみづごけ　S. j. var. gracile War.

纖長、枝葉は1.4−1.6×1.14mm 信州產。

おほばのやまとみづごけ　S. j. var. macrophyllum War.

粗大、枝葉は 2.9×1.9mm に至る、土佐に產す。

しなのみづごけ　S. Jensenii Lindb.

枝葉は披針形、廣舷あり、葉緑細胞は廣三角、葉の兩側に遊離、全邊にして背面に僅少の氣孔あり、莖葉は三角狀、圓き頂に齒牙又少毛あり、信州産、亞、歐兩大洲に分布。

ほそべりみづごけ S. Junghunianum D. M.

枝葉は疎開、披針狀、頂に齒あり、狹舷あり、葉緑細胞は三角一不等四邊形、遊離、莖葉は等脚三角形、緣廣からず、粗大植物、ウロコミヅゴケに似たり、臺灣及九州産、東亞及諸島に分布。

ちやぼほそべりみづごけ S. J. f. compacta War.

密に短枝ある矮性品、臺灣及四國産。

こばのほそべりみづごけ S. J. var. psendo-molle War.

前記の變形品に似たり、莖葉は三角舌狀、透明細胞は短菱形(基種のは長し)臺灣及宮島産、淸、印度及呂宋に分布。

きいみづごけ S. Kiiense War.

ヒメミヅゴケに似たり、莖葉は三角舌狀、頂截形、齒牙あり、舷は下方に廣からず、枝葉は卵形、頂に多少齒あり、紀伊に産す。

ふさばみづごけ S. Lindbergii Schpr.

枝葉卵披又長披針、狹舷あり、全邊、葉緑細胞は三角形、葉の內面にありては透明細胞に閉さる、莖葉箆形無糸、頂總狀にさける、本土の産、亞、歐、北米に分布。

むらさきみづごけ S. magellanicum Brid.

オホミヅゴケに似たり、枝葉の透明細胞は葉緑細胞との接觸部に乳頭なし、葉緑細胞は楕圓形、透明細胞により閉

さる、莖葉は舌狀篦形、糸あり、背面に多孔、植物は帶紫色、本土及北海道產、全世界に分布。

こあなみづごけ　S. micropo.um War.

ユガミミヅゴケに似たり、枝葉は類卵形、頂に三齒あり。やゝ鎌形、狹舷あり、葉綠細胞は長楕圓形、兩側に遊離、葉面の孔は甚微小なり、莖葉は小にして三角舌狀、狹舷あり、上方に有糸、本土及韓國に產す。

じゆんさいみづごけ　S. m. var. junsaiense War.

莖葉は大、長一乃至一、四ミメ(基種にて漸く一ミメ)北海道に產す。

みやべみづごけ　S. Miyabeanus War.

高三乃至五サメ、莖葉小、舌狀、枝葉卵形、巾〇、七乃至〇、八ミメ、狹舷あり、葉綠細胞は甚狹長方、釧路產。

せんだいみづごけ　S. Okamurae War.

カヅサミヅゴケに近し、枝葉は披針形、頂齒あり、葉綠細胞の斷面は三角叉四邊形、遊離、莖葉は三角舌狀、葉面の孔は甚微小、本土產。

ほそばせんだいみづごけ　S. O. var. angustifolium W.

枝葉は狹披針形。本土の產。

ひろばせんだいみづごけ　S. O. var. latifolium War.

枝葉は廣披針形、本土の產。

おほせんだいみづごけ　S. O. var. robustum War.

莖葉は廣舌狀、枝葉は長卵形共に基種より大より、陸前の產。

こまみづごけ　S. oligoporum War. et Card.

枝葉は類卵形、截形の頂に齒あり、狹舷あり、兩面少孔、葉綠細胞は直角又樽狀、兩側遊離、朝鮮に產す。

しろみづごけ　S. pallens War. et Card.

莖葉は舌狀、只頂のみ總狀、枝葉は披針形、頂齒あり、狹舷あり、只背側のみ多孔、葉綠細胞は三又四邊形、遊離、ホソバミヅゴケに近し、月山に產す。

おほみづごけ　S. palustre L.

莖葉は1−2×0.8−0.9mm. 枝葉は2×1.5−1.8mm. 葉綠細胞は狹三角又は四邊形、葉脊に閉され又は兩側遊離、透明細胞は內方に葉綠細胞との接觸部に平滑なり、極めて大形の且つ極めて普通なる種類なり、本邦全土に產し又全世界に分布せり。

うすあをみづごけ　S. p. var. pallescens War.

青綠を呈す、本土及樺太產。

あをおほみづごけ　S. p. var. virescens (Russ.)

青綠色、前種の如く黃又褐色を交へず、四國及本土の產。

いぼみづごけ　S. papillosum Ldb.

莖皮細胞は螺旋狀の紋あり、枝葉は廣楕圓、舷透明、透明細胞は葉綠細胞との接觸部に乳頭あり、葉綠細胞は斷面紡錘又樽狀、葉の內側の上に厚壁を以て遊離、四國一樺太產、歐亞二大洲に分布。

ふとみづごけ　S. p. var. normale War.

枝葉の透明細胞の內壁に乳頭發達せり、北海道產、亞、

歐、北米に分布。

おほみづごけもどき　S. pseudo-cymbifolium C. M.

オホミヅゴケに甚近し、只葉綠細胞は廣三角又廣四邊形をなす、臺灣及印度に產す。

ごれつみづごけ　S. quinquefolium War.

莖葉は等脚三角形、枝葉は明に五列、披針形、頂齒あり、狹舷あり、葉綠細胞は三角—不等四邊形、本土の產、歐米に分布。

さんかくみづごけ　S. recurvum Palis

莖葉は等邊三角、枝葉は披針形、狹舷あり、乾けば波狀、葉綠細胞は三角形にして葉の上內面に閉さる、本土—樺太產、亞、歐、米に分布。

あをもりみづごけ　S. r. var. amblyphyllum Russ.

枝葉は多形、葉綠細胞は廣等邊三角又四邊形、莖葉は三角舌狀、頂に齒あり又總狀、本土の產、亞、歐、北米に分布。

えぞみづごけ　S. r. var. mucronatum Russ.

莖葉は殆糸なし、頂に小尖あり、四國—北海道產、歐洲に分布。

みやまみづごけ　S. robustum Röll

帶赤色の植物、枝葉披針形、狹舷あり、頂齒あり、葉綠細胞は三叉四邊形、莖葉舌狀長さ一、三ミメ、巾〇、九ミメ、頂總狀にさける、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

あかみづごけ　S. rufescens War.

植物は屡々帯赤色、葉の排列は一様ならず、枝葉は類卵形、兩面に多孔、頂に四乃至六齒あり、葉綠細胞は兩側遊離斷面長方—樽狀、莖葉は三角舌狀—舌狀箆形、頂齒あり又少しく總狀、亞、歐、弗、北米に分布、本邦又之を產するが如し。

ふしみづごけ　S. septatum War.

莖葉は等脚三角形、舷は下方に廣し、枝葉は披針形中央のものは上方に全邊、乾けば卷く、葉綠細胞は三角形、內側に閉さる、四國產。

のこぎりみづごけ　S. serratum Aust. var. serrulatum (Schleich)

ハリミヅゴケに似たるも中央の枝葉は齒あり、葉綠細胞四邊形、兩側遊離、殆全世界に分布。

うろこみづごけ　S. squarrosum Pess.

中大の植物、枝葉大、卵形、上半展開、細胞隅に圓き大孔あり、葉綠細胞は四邊形、四國—北海道及朝鮮產、亞、歐、弗、北米に分布。

おほうろこみづごけ　S. s. var. spectabile Russ.

植物は暗綠色、枝強大、頭部大なり、八甲田山の產、北米に分布。

すぎばみづごけもどき　S. subacutifolium Sch.

スギバミヅゴケに似て枝葉は背側に大なる半楕圓形の合生孔あり、橫須賀產。

きいろみづごけ　S. subbicolor Hamp.

オホミヅゴケに近し、枝葉は圓き卵形、舷透明、透明細胞は其葉綠細胞との接觸部に乳頭なし、葉綠細胞は紡錘形又樽狀、葉の內面又兩面に厚壁を以て遊離、莖皮は多糸、殆全世界に分布。

こみづごけ　S. subnitens Russ et War.

枝葉卵披、狹舷、葉綠細胞は三角—四邊形、遊離、植物は帶赤色、莖葉は等邊三角形、頂齒あり、舷は下方に强く廣くなり．九州—北海道產、亞、歐、弗、米に分布。

したみづごけ　S. subobesum War.

枝葉廣卵披、葉綠細胞は長き又樽狀屢ゝ四邊形、兩側に遊離、莖葉は舌狀、狹舷あり、透明細胞多糸、青森產。

ゆがみみづごけ　S. subsecundum Nees.

植物は時として三〇サメに至る、枝葉は鎌形兩面に多孔、葉綠細胞は狹長方、兩側に遊離、莖葉は三角舌狀頂圓く、總狀に齒あり、北海道及本土產、全世界に分布。

きみづごけ　S. sulphureum War.

オホミヅゴケに似たり、葉はより小、葉綠細胞は三角紡錘形にして葉背に閉さる、島原產。

いとみづごけ　S. Takedae Okm.

沈生、莖甚纖細、莖葉は大、類卵形、狹舷あり、枝葉は卵狀長楕、葉綠細胞は樽狀、兩側遊離、信州產。

わたみづごけ　S. tenellum Lindb

植物は小にして細く、甚柔なり、枝葉は廣き又長き卵形、

全邊、狹舷あり、內面に僅に孔あり、波狀ならず、綠色細胞は斷面三叉四邊形、常に遊離叉葉の內面にて閉さる、四國及本土產、亞、歐、北米に分布。

ほそばわたみづごけ　S. t. var. angustifolium War.

莖葉は狹三角叉三角舌狀、多糸、歐州に分布。

ほそみづごけ　S. teres Angstr.

ホソバミヅゴケに近し、莖葉は中大、廣舌狀、狹舷あり、內面上半に大なる圓孔を細胞隅に有す、葉綠細胞は四邊形、亞、歐、米に分布。

とさみづごけ　T. tosana War.

ハリミズゴケに甚近し、莖葉の舷は下方に廣くならず、四國に產す。

うぜんみづごけ　S. uzenense War.

ユガミミズゴケに似たり、莖葉は舌狀、兩面に多孔、枝葉は長き卵形、やゝ一方に曲る。羽前國產。

第二綱　黑蘚類 Andreaeales

くろごけ科 Andreaeaceae.

高山の岩上に生じ、葉短小、蒴は假柄あり、熟すれば四乃至八裂、頂合生、只一屬よりなる。

くろごけ屬 Andreaea Ehrh.

全世界に一二二種を產するも本邦には只二種を見るのみ。

いはごけ A. petrophila Ehrh.

褐綠乃至黑色の小植物、高１－２サメ、葉は卵形又楕圓、斜に尖る、鈍尖緣は多少鋸齒狀、四國及本土產、亞、歐、北米及濠に分布。

くろごけ A. Fauriei Besch.

前種に近し、葉は提琴形をなす、本土高山產。

第三綱　眞蘚類 Bryales

蒴は明に柄を有し、軸柱は胞子室を貫き、蒴壁と子室の間には細胞間隙あり。

ほうわうごけ科 Fissidentaceae

地上、岩上、樹上等に生じ葉は二列にして背翼あり、中肋には厚膜細胞群と中央大細胞列あり、本邦には只一屬を見る。

ほうわうごけ屬 Fissidens Hedw.

全世界に凡七百種を産す、本邦二三〇餘種を見る。

こほうわうごけ F. adelphinus Besch.

葉は卵形廣く漸尖、舷なし、緣細胞の突出により多少齒狀をなす、肋は頂下、本土及九州に產す。

みちのくこほうわうごけ F. a. var submucronatus Card.

前種よりやゝ大、中肋は全長又短く伸出す、青森及祖母山に產す。

ぬりばしごけ E. adiantoides (L.) Hedw

植物は一〇サメ以上に達し葉は廣き楕圓の基より披針漸尖、緣は頂の方へ不同に鋭齒あり、肋は頂、緣細胞三―四列、蒴は楕圓―倒卵、柄は二五ミメ、赤色、九州、本土及北海道產、亞、歐、弗、北米及濠に分布。

くろぬりばしごけ E. a. f. atro-virens Besch.

蒴柄甚短、葉は濃綠、北海道產。

さかづきぬりばしごけ E. a. f. cyathicarpus Besch.

蒴はコツプ形、ペリストーム甚濃色、葉は頂まで鋭歯あり、伊豆に產す。

おほばぬりばしごけ E. a. f. palyphylloides Besch.

葉の鋸歯は不同なり、長崎產。

わせぬりばしごけ E. a. f, praecox Besch.

蒴は早熟、九州—北海道產。

つるぎぬりばしごけ E. a. f. subdecipiens Besch.

蒴柄幼時青白色、波狀、長一サメ、葉狹し、劍山產。

とさかほうわうごけ F. cristatus Wils.

蒴廣楕圓、柄一サメ、葉は舌狀叉狹長卵披、緣不同に歯あり、肋は伸出地上に出づ、九州—樺太產、亞、歐、北米に分布。

かみきりほうわうごけ F. erosodentatus Card.

次種に似たるも葉短く漸尖、上方に不整歯あり、肋は頂に近く終る、網は暗、葉緣に富む、九州及本土の產。

こまのほうわうごけ F. Fauriei Card.

ゼンマイゴケに似たり、葉は舌狀、剛毛尖あり、肋は殆頂、緣に小鈍歯あり、紘細胞は一層、朝鮮の產。

りうきうほうわうごけ F. Ferriei Broth.

葉は長楕披針やゝ鈍頭、短突起あり. 緣に小鈍歯あり、紘なし、肋は頂、ナガサキホウワウゴケに近きも葉は着所

下に延長せず、細胞は更に大、九州及琉球産。

おほほうわうごけ　F. Gottscheoides Besch.

五乃至七サメ、葉も大、頂廣く漸尖、疎に小齒牙あり、肋は頂下、舷なし、本土の産。

えぞほうわうごけ　F. gymnandrus Buse.

蒴直立、小、黄柄、葉は舌狀披針、尖る、肋伸出叉頂、舷なし、細胞圓き六邊、北海道及本土の產、歐に分布。

ひめほうわうごけ　F. gymnogynus Besch.

小植物、葉は乾けば卷縮全邊、舷なし、肋は頂下、網は暗からず、九洲一北海道產。

たかさごほうわうごけ　F. irroratus Card.

中大、三乃至四サメ、葉は狹披針、縁に小鈍齒あり、肋は透明、全長、細胞小にして葉縁に富む、ナガサキホウワウゴケに近し、臺灣產。

ほうわうごけ　F. japonicus Doz. et Molk.

葉は篦形全邊、肋頂下、舷なし、緣細胞二層、甚大形の蘚。地上に生じ、肉眼的にも區別し得べし、樺太の外全土に產し、清國に分布。

こしのほうわうごけ　F. lateralioides Okm.

蒴は長楕圓筒、柄長一、六ミメ、葉は線披、銳尖、頂に小齒あり、肋短く伸出、細胞透明、小植物なり、四國及本土の產。

つくしほうわうごけ　F. lateralis Broth.

前種に比し蒴柄長く二ミメ、蒴短長楕、♀♂異株、葉は

線披微尖全邊、九州及本土の產。

ながさきほうわうごけ　F. nagasakinus Besch.

蒴は傾き柄は赤色一五ミメ、葉は線赤色、漸尖、全邊、舷なし、細胞圓き方形、緣に圓くしてやゝ刻ある網眼をなす、肋は廣く凹み殆頂に終る、植物は七乃至八サメ、北海—臺灣產。

ちやぼながさきほうわうごけ　F. n. f. minor Besch.

莖短、二サメ、葉は更に短狹、土佐に產す。

さいこくほうわうごけ　F. n. var. elatus Broth.

標準種よりも小、葉は狹長線形、頂圓く微尖あり、緣はやゝ齒狀、九州に產す。

ぜんまいごけ　F. osmundioides (Sw.) Hedw.

蒴は楕圓、傾くか又直立、柄一四ミメに至る、葉は廣舌狀、圓頭、剛毛尖あり、舷なし、緣に小齒あり、肋は頂下、植物は三稀に六サメ、下部に赤毛あり、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

ふさうぜんまいごけ　F. o. var. japonicus Card.

前種よりも葉小、より多く開出、本土產。

みやまほうわうごけ　F. perdecurrens Besch.

莖は僅に三サメ、葉は狹長線形、全邊、舷なし、肋は頂、葉は長く下延、臺灣及本土の產。

ほそほうわうごけ　F. planicaulis Besch.

植物甚長く、葉は長楕線形全邊、舷なし、網眼方形、肋は頂下、臺灣及四國—北海道產。

つくしほうわうごけもどき F. pseudo-lateralis Card.

ツクシホウワウゴケに似たり、葉頂小齒牙あり、肋は殆頂、朝鮮の産。

さくらじまほうわうごけ F. sacourae P. B.

莖甚短、コホウワウゴケに似て葉小、卵形漸尖銳頭、細胞は葉緣多く甚小、圓く又卵形、肋は頂稀に頂下、臺灣及九州産。

きやらぼくごけ F. taxifolius (L.) Hedw.

凡二サメ、蒴傾く楕圓の倒長卵形、柄は1—1.5サメ位、黃赤色、葉は舌狀緣に齒あり、葉細胞は小瘤あり、緣に着色、舷なし、肋は伸出、北海道—屋久島に産、亞、歐、弗、北米に分布。

ちやぼほうわうごけ F. tosaensis Broth.

極めて小植物、蒴は不正卵形、柄四、五ミメ、甚細く黃色、葉は狹長楕微尖、全邊、肋は頂、舷は四乃至五列、細胞は圓き六邊、四國及本土の産。

ほそべりほうわうごけ F. yokohamensis Par.

小植物、蒴直立倒圓錐形、柄は二ミメ位、甚細くして黃色、葉は線枝銳頭、頂に齒あり、肋は頂下、橫濱産。

ちぢれほうわうごけ F. zipperianus Br. jav.

植物甚小、葉は狹長線形やゝ銳頭全邊、舷なし、肋は頂、臺灣及本土産、東亞地方に分布。

とくぶちほうわうごけ F. Tokubuchii Broth.

ヒメホウワウゴケに甚近し、されど葉鈍頭、微凸、緣に

欠刻あり、細胞圓き六邊、肋頂下、蒴直立長楕圓、柄三ミメ紫色、室蘭產。

つちごけ科 Archidiaceae

地上に生ずる高五ミメ位の小蘚、蒴は球狀沈生、柄なし、莖基より假根と匐枝狀の芽を出す、葉は狹卵披—披針錐形、細胞は葉基に短長方—方形、上方に次第に長し、只一屬あるのみ。

つちごけ屬 Archidium Brid.

全世界に二二種を產し本邦只其一を見るのみ。

みやこのつちごけ A· tokyensis. Okm

頭葉大、倒卵—長楕漸尖、中上に微齒あり、肋は全長、胞子は球狀、本土に產す。

きんしごけ科 Ditrichaceae

地上叉岩上に生ず、蒴直立、蘚齒は糸狀二脚、蓋も帽もあり、葉は多列、披針形、中肋は中央大細胞あり、細胞は基部に長く翼に異ならず、本邦に六屬を產す。

屬名檢索表

1 { 葉二列、蘚齒乳頭なし……………………ケキンシゴケ屬
  { 葉多列、蘚齒は乳頭あり……………………………………2

2 { 葉細胞上部に方形、乾蒴は襞あり…………………………3
  { 葉細胞上部に長し、蒴は平滑………………………………4

3 { 葉は青白色の被物の爲に青綠色を呈す……アヲゴケ屬
　 { 葉は被物なし、蒴は長肋あり…ヤノウヘノアカゴケ屬

4 { 蒴は沈生、帽は冠狀……………………キンチヤクゴケ屬
　 { 柄は長し、帽は冠狀……………………………………………5

5 { 莖葉は疎に展開、長き錐形になる、乾けば捲縮………
　 { ……………………………………………………ナガミゴケ屬
　 { 莖葉は直立叉正しく展開、卷縮せず……キンシゴケ屬

きんちやくごけ屬 Pleuridium Brid.

♀♂同株、蒴沈生卵圓形、蓋は分化せず、葉は多列、二八種を含み本邦共二を見る。

きんちやくごけ P. julacea. Besch.

莖甚短、辛じて四ミメ、蒴小、楕圓狀卵形、柄甚短、莖葉甚小、卵—長披針形、頂に弱く小齒牙あり、肋は頂下叉伸出、臺灣及本土の産。

ほそばのきんちやくごけ P. subulatum (Huds.)

やゝ大、前種に似て蒴は球狀卵形、本土の産、亞、歐、弗、北米に分布。

ながみごけ屬 Trichodon Schimp

♀♂異株、蒴圓筒狀、傾く齒は基まで二乃至三裂し糸狀、柄は長し、葉は乾けば捲縮、葉細胞は先端に長し、三種を含み本邦に共一を産す。

ながみごけ T. tenuifolius (Schrad.)

蒴圓筒形曲る、柄は黄色、葉は半鞘基より長狭錐形、肋は錐部を充たす、北海道産、亜、歐、北米に分布。

きんしごけ屬 Ditrichum Timm.

♀♂異株又同株、蒴直立又やゝ傾く卵圓形狭口、柄長し、葉は乾けば直伸、細胞長方、肋は頂又伸出、四八種を含み本邦に其六を見る。

はながごけ D. divaricatum Mitt.

植物は一サメ内外、蒴は正圓筒形、齒は分裂せず透明、葉は長楕圓錐形、頂に小齒あり、肋は中上に不明、本土の特産。

せいたかはながごけ D. d. var. exaltatum Card.

莖長七サメに至る、群生、朝鮮特産。

ゆがみきんしごけ D. flexicaule (Schleich.)

高一〇サメ、蒴長卵又楕圓、柄長二五ミメ、葉は半鞘狀卵披長き錐形頂に齒あり、肋は伸出、翼細胞四乃至六邊、♂♀異株、本土に産し亜、歐、弗、北米に分布。

こきんしごけもどき D. homomallium (Hedw.)

小植物、蒴は長卵又長楕圓、柄に五ミメ、♀花葉高鞘狀、葉は長き長卵錐形、肋は錐部を充たす、細胞下方に線形上方に短長方、僅に厚し、♀♂異株、四國産、歐米に分布。

ひめきんしごけ D. macrorrhynchum Broth.

♀♂異株、小植物、高一サメ位、葉は狭披針漸尖、細胞は下方に長方形、肋は頂、蒴は狭圓筒、柄八ミメ、♀花葉

僅に鞘狀、蓋に長嘴あり、コキンシゴケに近し、本土及北海道産。

きんしごけ　D. pallidum (Schrad.)

♀♂同株、高五ミメ位、蒴は長楕圓、柄黄色二乃至四サメ、葉卵披錐形頂に齒あり、肋伸出、九州―北海道産、殆全世界に分布。

こきんしごけ　D. subtortile Cord.

ヒメキンシゴケに似たり、細胞やゝ小やゝ暗、本土の産。

あをごけ屬 Saelania Lindb.

♀♂同株、蒴圓筒形、柄長く齒は基まで二分、乳頭あり、蓋は短嘴あり、葉は披針線形重齒あり、細胞長方形、肋は頂又伸出、植物は青白色の被物あり、青綠色に見ゆ、一種を産す。

あをごけ　S. glaucescens (Hedw.)

本土及北海道に産し、亞、歐、弗、北米及濠州に分布。

やのうへのあかごけ屬 Ceratodon Brid.

♀♂異株稀に同株、蒴直立せず斜楕圓―斜卵圓線條又縱溝あり、柄長く齒は深く二分、乳頭と横線あり乾けば彎曲、葉は卵披又長披針緣邊卷く、細胞厚壁下部に短長方上部に方―圓き方形、肋は頂又刺狀、凡二〇種を含み其二を本邦に産す。

こまのあかごけ　C. perflexans Card.

小植物一サメ、葉は卵披漸尖、全邊、肋頂叉短く伸出、釜山に產す。

やのうへのあかごけ C. purpureus (L.)

屋上叉地上に生じ三稀に八サメ、蒴卵形柄紫色、葉は長披針肋は頂叉短刺狀、全邊叉僅に頂齒あり、四國—樺太叉朝鮮產、全世界に分布。

たかさごあかごけ C. p. var. formosiceas Card.

葉は三角披針形長く漸尖、臺灣の特產。

けきんしごけ屬 Distichium Bryol. eur.

本邦には只一種を產するのみ、全世界の產として知られたるもの四種あり。

けきんしごけ D. capillaceum (Sw.) Br. eur.

蒴直立長卵殆圓筒形、柄三サメ、葉は鞘基より錐形全邊、叉は頂に疎齒あり、本土に產し全世界に分布。

えびごけ科 Bryoxiphiaceae

蒴は直立齒なし、葉は二列、狹翼あり、披針叉錐形、只一屬あるのみ。

えびごけ屬 Bryoxiphium Mitt.

♀♂異株、蒴は殆卵圓平滑齒なし、葉細胞は下部に短長方、緣に線形、上部に不規則なり、頂生葉は長芒あり、蒴柄短くして彎曲、三種を含み本邦に其二を產す、普通岩壁

に見る。

こえびごけ　B. norvegicum (Brid.)

三サメ、蒴柄三ミメに至る、葉は線披短く又長尖あり、肋は頂、朝鮮産。

えびごけ　B. Savatieri (Hurn,) Mitt.

四サメに至る、前種に似て葉頂異なり、九州—北海道産、又朝鮮にも見出さる。

こしつぼごけ科　Seligeraceae

多くは岩上に生じ蒴は直立、柄は甚短し、葉は廣基より長き錐形全邊、肋は全長、細胞は基部に長く上方に短し、本邦に只一屬あり。

こしつぽごけ屬　Blindia Bryol. eur.

蒴はやゝ突出し蘚齒平滑、帽は冠狀、翼細胞は別あり、本屬に二三種を含む、本邦産二。

からのこしつぽごけ　B. acuta Br. eur.

高八サメ、蒴は短梨形、柄八ミメ直立、葉は披針錐形基部耳狀、鈍頭、亞、歐、北米に分布。

こしつぽごけ　B. japonica Broth.

前種に似て小、蒴甚小、やゝ球狀、柄も短、稍曲る、葉は線披錐形鈍尖あり、本土の産。

しつぽごけ科　Dicranaceae

蒴は多くは傾き柄は二乃至多出、齒は多くは一六、帽は冠狀、葉は廣基より錐狀となり肋はM.Dあり、六亞科に分たる。

ながだいごけ亞科 Trematodontoideae

葉翼細胞は他と別なく中肋は葉綠細胞を有せず、蒴は長頸を有し多數の氣乳あり、本邦には一屬を產するのみ。

ながだいごけ屬 Trematodon Michx.

蘚齒分裂せず、蓋は脫落性、葉細胞は長形又菱形、肋は頂下、六八種を含む、中本邦に產するもの六、多くは地上に生ず。

くろながだいごけ T. atrovirens Broth.

纖長黑綠色の植物、蒴柄一五ミメ、首は蒴長の二倍、葉は短長楕鞘狀の基より披針錐形、鈍頭に少齒あり、肋は頂下、東京產。

えぞながだいごけ T. campylopodium Besch.

葉は卵狀長披針、柄短く首長く肋の伸出するにより他と分つべし、四國一北海道產。

とわだながだいごけ T .c. var. towadensis Besch

纖長、葉は短くして頂に三齒あり、本土の產。

ながだいごけ T. drepanellus Besch.

首は蒴長の二倍以上、柄凡一·五ミメ、葉は披針線形、肋は頂、北海道一臺灣產。

ひめながだいごけ T. flaccidisetus Card.

植物甚小、葉も狹小、線形、基やゝ廣し、前種に似たるも柄短、一サメに達せず、臺灣、九州及本土に產し朝鮮にも之を見る。

へうたんごけもどき T. funariaceus Besch.

蒴卵形、柄一サメ、首短、葉は卵披凸頭、肋は頂、本土の產。

ゆみだいごけ T. longicollis Michx.

上葉は短廣急に長き錐形となる、柄長く二乃至三サメに達すること、蒴は圓筒形、首長く明に瘤あること等にて他と別つべし、臺灣、九州及本土に產し、亞、歐、北米に分布。

あかすゝきごけ亞科 Anisothecioideae

蒴頸は短又不明、ペリストームは分裂、蓋は脫落性にして♂花は蕾狀なり、葉は氣孔あり、翼細胞は異ならず、肋は葉綠細胞なし、本邦には一屬を產するのみ。

あかすゝきごけ屬 Anisothecium Mitt.

多はは♀♂異株、蒴は對稱形、齒長くして二脚、紫色多くは乳頭あり、葉は類披針錐形翼細胞異ならず、三五種を含み本邦產八種あり、

あをもりすゝきごけ A. brachyangium (Card.)

次種に近し、葉全邊叉頂に弱く齒牙あり、蒴は直立やゝ對稱、蓋に嘴なし、青森に產す。

えぞのをばなごけ　A. crispum (Hedw.) Lindb.

-サメ位、蒴は點頭類卵形高背、蓋は嘴あり、葉は半鞘基より狹披針頂に不正に齒あり、肋は頂又頂下、北海道產、亞、歐、北米に分布。

たまずゝきごけ　A. globuligera Card.

ナガスヂスヽキゴケに似て蒴は球狀直立、齒二裂、葉緣反曲せず北海道產。

こまのあかすゝきごけ　A. recurvi-marginatum Okm.

蒴やゝ曲り長楕圓形、蓋に長嘴あり、葉は披針形、緣强く反曲、頂に小齒あり、肋は頂に達す、朝鮮の特產。

ながすぢすゝきごけ　A. ruburum (Huds.)

蒴は點頭卵形、柄は紫赤色、葉は廣基より錐形になり緣反曲、頂に屢弱く齒あり、肋は伸出、亞、歐、北米に分布。

あかすゝきごけ　A. rufescens (Dicks)

蒴直立正形、柄赤色、葉は鞘狀ならず線披一方に曲る頂に疎鈍齒あり、殆全邊、高一サメに過ぎず、北海道及本土產、亞、歐、北米に分布。

ひろはのすゝきごけ　A. squarrosa (Stark.)

蒴は點頭卵形、柄赤色一五ミメ、葉は半鞘狀の基より披針殆舌狀疎に開展、肋は頂下、植物やゝ大、一〇サメに至る、本土の產、亞、歐、北米に分布。

えぞすゝきごけ　A. yezoanum (Card.)

葉は卵披短く凸頭、全邊、細胞線形、蒴は多少曲る、北海道の產。

すゝきごけ亞科 Campylopodoideae

蒴は頸なし、齒は二脚に分裂、葉に氣孔なく中肋は葉綠細胞を有せず、本邦に五屬を產す。

屬名檢索表

1 {肋は內狹く、翼細胞異ならず……………………2
  {肋は巾廣く、翼細胞別あり……………………3

2 {柄は直立……………………………スヽキゴケ屬
  {柄は曲る……………………………ヘビゴケ屬

3 {蘚齒は中央まで二脚………………ツリバリゴケ屬
  {蘚齒は基脚まで二脚……………………………4

4 {葉は廣舷あり、蒴基平滑………………ユミゴケ屬
  {葉は舷なし、蒴基は粗…………………フデゴケ屬

すゝきごけ屬 Dicranella Schimp.

地上の小植物概ね♀♂異株、蒴短、傾く稀に直立、齒長く半まで二分、上部に乳頭あり、基部圓筒形に合一、蓋は斜嘴あり、葉は類披針形、細胞長方又線形、翼に異ならず。凡六〇種を含む中本邦に產するもの一三種あり、

ほうらいをばなごけ D. coarctata (C.M.)

蒴は直立、葉は線披一披針、上方に齒あり、肋は頂、スヽキゴケに比し葉基急に廣く細胞はより狹し、臺灣及本土の產、印度及支那にも產し遠く南米に分布。

こほうらいをばなごけ D. c. var. torrentium Card.

葉はより短く、頂に小齒あり、臺灣產。

きんしごけもどき　D. ditrichoides Broth.

蒴柄赤色、葉基鞘狀、狹楕急に線披長く尖る、全邊、八ケ岳特產。

いよすゝきごけ　D. Gonoi Bard.

蒴は直立、葉は長錐形、鞘部上方に廣くならず、細胞狹線形、九州、四國及本土に產す。

すゝきごけ　D heteromalla (Dill. L.)

葉は線披—披針形、遠く下方まで齒あり、肋は頂、細胞は下方に長方六邊、本邦全土に產し殆全世界に分布、變形多し。

のこぎりすゝきごけ　D. h. f. Brotheri Iisiba

葉は鋭齒あり、山城產。

ゆがみすゝきごけ　D. h. var. curvipes Lindl.

蒴は鷺頸狀、樺太及本土の產。

こすゝきごけ　D. Iisibae Broth.

葉は鞘基より楕圓急に細く尖る、全邊又頂に不明に鈍齒あり、肋は頂又頂下、網は透明なり、本土の特產。

こさやすゝきごけ　D. microcarpa Broth.

蒴は小、直立、廣楕圓短頸、葉は半鞘基より卵狀漸尖細く尖る、土佐の特產。

てうせんすゝきごけ　D. querpaertensis Card.

快綠色、ミヤマスヽキゴケに似たるも葉錐部に小粗齒あり、朝鮮特產。

いそべのをばなごけ　D. salsuginosa Okm.

葉は線披—披針形上方に齒あり、肋は頂、海産、本土の産。

からふとすすきごけ　D. secunda (Sw.)

蒴は卵形傾く、葉基鞘狀、楕圓又倒長卵形、急に錐形全邊、肋は全長、本土及樺太產、亞、歐、北米に分布。

みやますゝきごけ　D. subsecunda Besch.

高四サメに至る、前種及スヽキゴケに似たるも蒴粗にして短、柄黄色、葉頂波狀に小齒あり肋は頂下、九州、本土及北海道の產。

とさのすゝきごけ　D. tosaensis Broth

葉は楕圓の基より急に細く尖る、全邊、四國及本土の產。

へびごけ屬　Campylopodium (C. Müll.)

蒴は整齊楕圓長襞あり、柄短、鵞頸狀に曲る、後直立強波狀、葉は鞘基より突然長錐形、肋伸出、細胞上部に長方下方に長く、菱形、一〇を含む、本邦には只一種を見るのみ。

へびごけ　C. euphorocladum (C. Müll.)

本種は蒴柄の蜿蜒する殊徵あり、臺灣に產し、亞、歐の一部に分布、稀品なり。

つりばりごけ屬　Campylopus Brid.

蒴は整齊楕圓形不同に線條あり、柄は鵞頸狀に曲る、葉

は叉分、葉は諸處に斷絶し、披針狀長錐形上方或は管狀をなす多くは頂に齒あり、細胞菱形—楕圓翼に膨脹着色、五〇〇種に達し本邦に一三種を見る。

まゆはけごけ　C. akagiensis Brosh. et Yasuda.

纖長二サメ、葉は長楕披針錐形、頂に鋭齒あり、透明尖なし、肋は基巾の$\frac{1}{2}$以上を占む、他種に比し孵芽の多數なること著し、赤城山產。

くろつりばりごけ　C. atro-virens De Not.

綠色—黑色、八サメに至る、葉は披針毛狀基は耳狀、肋は基巾の半を占め齒毛ある透明の毛となり伸出、赤城山の產、歐、北に分布。

こがねふでごけ　C. aureus Bosch et Lac.

葉全邊、肋は基巾の半を占め透明尖あり、臺灣に產し印度及諸島に分布。

ほそふでごけ　C. gracilentus Broth.

纖長二サメ、蒴は黑色長楕圓、小、葉は卵形叉短長楕急に長錐形上方に小齒あり殆全邊、透明尖なし、肋は基巾三分一を占む、臺灣產。

たかさごほそふでごけ　C. g. var. brevifolius Card.

葉はより短廣にして殆全邊、臺灣の產。

やまとふでごけ　C. japonicus Broth.

暗褐色五サメ、葉は披針錐形頂に微小齒あり、基部耳狀、肋は基巾の半を占む、臺灣—本土及朝鮮に產す。

ながすぢふでごけ　C leptoneuron Broth.

綠黃―褐色、葉は狹基より披針漸尖、透明尖に齒毛あり、肋は基巾の半以內、九州及八丈島に產す。

つのくにふでごけ　C. pseudo-mülleri Card.

綠黃色、葉は筒狀の基より長狹錐形、頂に少しく小齒あり、肋は巾廣し、攝津に產す。

ひろすぢつりばりごけ　C. Schwarzii Schimp.

葉は耳ある狹披針の基より急に長錐形頂端少齒あり、肋は基巾の$\frac{2}{3}$を占む透明尖なし、本土の產、歐州に分布。

うゐふでごけ　C. Uii Broth.

黃綠纖長、葉は披針錐形、上緣に齒あり、肋は基巾の三分の一を占め、伸出、銳齒ある剛毛尖となるも透明ならず、紀伊に產す。

あをつりばりごけ　C. viridulus Card.

葉は耳狀の基より廣披針長く尖る、頂不明に齒あり、肋は頂、基巾の三分の一を占む、紀伊產。

ふでごけ屬　Thysanomitrium Schwagr.

子囊は多出、柄短鷲頸狀、蒴梢圓基粗、帽は長毛あり、葉は長基より披針上方に管狀、細胞基部に長く翼に疎、肋廣し、三一種地上叉岩上に生ず、本邦に產するもの四種あり。

はねふでごけ　T. alatus Broth.

黃色五サメ、葉は線狀漸尖、疎齒ある長き透明の毛となる、葉頂亦或は少齒あり其他全邊、肋は基巾の半を占む、

本土の產。

こふでごけ　T. coreense (Card.)

淡黃綠色前種に似て小、葉は披針急に狹くなる、毛は長く透明、尖下葉部の齒は前種より多く上部の細胞は前種の如く暗からず、肋基巾の半以內、本土及朝鮮に產す。

けなしふでごけ　T. involutus C. M.

本邦產諸種に比し葉に透明尖なく肋平滑又はひだあるを以て別つ、印度に分布。

ふでごけ　T. Richardi Schwgr.

綠一黑色、コフデゴケに近し、肋は巾廣く透明尖甚短し。頂に少粗齒あり、細胞やゝ暗、葉基に褐毛多し、臺灣一本土產、亞、歐、米に分布。

ゆみごけ屬　Dicranodontium Bryol. eur.

蒴は長廣楕又楕圓、齒は基まで二分、柄弓形後直立、葉は脫落し易く廣基より披針錐形上方管狀に凹む、細胞長方形基部に長方六邊、緣に狹くなり廣舷をなす、翼に膨脹、二一種岩上、樹幹又地に生ず、本邦に二種を見る。

ゆみごけ　D. denudatum (Brid.) Hag.

葉は鞘狀、稍耳ある基より披針長錐形剛毛狀になる、中上に齒あり、肋は基巾の $\frac{1}{3}$ 細胞は肋に近く狹長方、葉綠に富む、緣に狹く明なる舷をなす、臺灣一樺太產、亞、歐、北米に分布。

みやまゆみごけ　D. dicticyon (Mitt.) Jaeg.

前種より肋狹く基部の細胞は內方に長六邊—長方、四國に產し印度に分布。

ながばのしつぽごけ亞科 Palaleucobryoideae

蒴は整齊、柄は直立、肋は葉綠細胞あり、翼細胞は分化、二屬を含む。

ながばのしつぽごけ屬 Palaleucobryum (Ldb.)

蒴は長圓筒形、齒は中央より二脚、線狀あり、帽は冠狀全邊、肋は廣くして錐部を充たす。細胞長方—線形、翼に大、方形褐色、四種を含み本邦に共二を見る。

ながばのしつぽごけ P. longifolium (Ehrh.)

蒴圓筒形、柄二サメ、葉は卵狀の基より長方形二列に小齒あり、肋は頂、北海道及樺太產、亞、歐、北米に分布。

しゝごけ屬 Brothera C. Müll.

♀♂異株、蒴楕圓、小口、帽は圓錐狀、毛あり、葉は小耳ある披針の基より錐形、肋は基巾の半、只一種よりなる。

しごごけ Brothera Leana (Süll) C.Müll.

多くは樹幹の基部に生ず、九州—本土產、亞と北米に分布。

やすじごけ亞科 Phabdoweisioideae

蒴は頸なし又は短し、齒は分裂せず、肋は葉綠細胞なし、

葉細胞は乳頭あり、二屬を含む。

かめごけ屬 Amphidium (Nees.) Schimp.

♀♂同株又異株、蒴は僅に突出、梨形八肋あり、熟すれば廣口甕狀になる、齒なし、莖端々でも根毛あり、葉は線披乳頭あり、肋は完全、一二種凡て岩上に生ず、本邦に三種を產す。

こまのかめごけ A. elastophyllum Card.

黃色、次種よりも大、葉脆く多くは破壞、細胞壁は下方により强く厚し、朝鮮產。

かめごけ A. lapponicum (Hedw.) Sch.

三サメ、下葉披針上葉は線披短く尖る、全邊、細胞上方に圓く內方に小乳頭あり、下方に長方、肋は頂、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

たかさごかめごけ A. Mougeotii B. e. var. formosicum Card.

八サメ、黃綠色、葉は前種より長狹、辛ふじて反卷又然らず、基細胞壁更に厚し、臺灣產。

やすじごけ屬 Rhabdoweisia Bryol. eur.

♀♂同株、蒴直立卵圓、八肋あり、齒あり、葉は披針線形、細胞上部に方形、下部に長方透明、平滑、六種岩上に生ず、本邦に四種あり。

はやすじごけ Rh. crispata (Dicks)

蘚齒は廣披錐形、線條あり、葉は廣くして短く尖る、上部に細齒あり、歐、北米に分布。

はなしやすじごけ Rh. Rymnostomum Besch.

葉は線披全邊、肋短く、蘚齒なきにより他種と分つべし、本土の産。

なめはやすじごけ Rh. kusenense Broth.

次種に似て蘚齒に線條なきも葉は廣く短くして上部に齒あり、蘚齒は稍針狀なり、西伯利亞に分布。

やすじごけ Rh. striata (Schrad) Kindb.

前種に比し葉は線披漸尖全邊、肋は頂又頂下、蘚齒は糸狀、線條なし、歐及北米に産す。

ひめやすじごけ Rh. s. var. subdenticulata Beoul.

葉は多少あり、本土の産、歐州に分布。

しつぽごけ亞科 Dicranoideae

アカスヽキゴケ亞科に似たるも翼細胞多少別あり、♀花葉は鞘狀をなす、一五屬あり。

屬名檢索表

1 {蘚齒は有孔の長條あり……………………………………5
　{蘚齒は有孔の長條なし……………………………………2

2 {葉は鞘基より急に狹くなる……………………………3
　{葉は披針—錐形………………………………………………4

3 {蘚齒只穿孔、又は二脚…………………アナシツボゴケ屬
　{蘚齒は二脚、葉は毛なし………………マイマイゴケ屬

4 異株、蘚齒深く二脚……………………………シツボゴケ屬
　同株、柄直立、葉は卷縮……………………アフギゴケ屬

5 翼細胞は別なし、細胞は乳頭あり……………………………6
　翼細胞明に別あり…………………………………………………9

6 蒴は整齊……………………………………………………………7
　蒴は對稱……………………………………………………………8

7 蒴は線條あり、柄鈎狀、葉細胞は平滑………ヤマゴケ屬
　蒴は線條なし………………………………………ミヤマゴケ屬

8 蒴は線條あり、♀♂同株……………………イヌノハゴケ屬
　蒴は線條なし、♀♂異株……………………クマデゴケ屬

9 ♀♂同株…………………………………………………………10
　♀♂異株…………………………………………………………12

10 ♂花は小頭狀……………………………………………………11
　♂花芽狀、蒴對稱高背…………………………コブゴケ屬

11 蒴は對稱……………………………………カマシツボゴケ屬
　蒴は整齊、線條あり……………………………キシツボゴケ屬

12 葉は舷あり………………………………………………………13
　葉は舷なし………………………………………シツボコケ屬

13 葉細胞平滑…………………………ヘリトリシツボゴケ屬
　葉細胞乳頭あり、蒴直立……………………マツバゴケ屬

やまごけ屬 Oreas Brid.

山地の岩上に生じ只一種を含む。

やまごけ　O. Martiana (Hopp. et Hornsch.)

蒴は八肋あり、ヤスヂゴケに似たれど柄は直立せず、葉は線披、肋は短く伸出、細胞は基部に長方縁に方形、上方に圓き方形、乳頭なし、本土に產し、亞、歐兩大洲に分布。

いぬのはごけ屬 Cynodontium (Bryol. eur.)

多く♀♂同樣、蒴不整齊、縱條あり、葉は乾けば捲縮、上部の細胞方形、乳頭あり、下部に長方、岩上に生じ一〇種を含む、本邦に二種を見る。

みやまいぬのはごけ C. gracillimus C. T.

高六サメ位、蒴は線條あり、柄一サメ內外、葉は披針線形、上方に密に粗齒あり、肋は頂下、八ヶ岳產、亞、歐、北米に分布。

いぬのはごけ C. polycarpum (Ehrh.)

五サメ、蒴楕圓形、柄一五ミメ、葉は短き卵形又楕圓の基より線披銳く尖る、頂の方に多少銳齒あり而して二重の緣細胞あり、葉は兩面に乳頭あり緣はまく、本土に產し、亞、歐、北米に分布。

みやまごけ屬 Oreoweisia De Not.

多くは♀♂同株、蒴は整齊直立、線條なし、齒は縱線あり、葉は披針線形、細胞は圓き方形兩面に乳頭あり、一三種中本邦に只一種を見る。

みやまごけ O. japonica Broth.

四國に產す、未だ本種を見ず。

くまでごけ屬　Dichodontium Sch.

♀♂異株、蒴不整齊、線條なし、齒は孔線あり、葉は披針舌狀、細胞は基部の外圓き方形、兩面に乳頭あり、三種岩上に生じ本邦に其二を產す。

しめりいはごけ　D. pellucidum (L.)

四稀に七サメに至る、蒴は卵形、頸不明、柄殆一サメ、葉は鞘基より披針舌狀、頂突然に狹くなり齒あり、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

いぼくまでごけ　D. verrucosum Card.

水邊を好むタキミゴケの一名あり、蒴は卵圓形、柄短、葉は線披舌狀兩面に乳頭あり、上半に鋭齒あり、本土及朝鮮に產す。

あふぎごけ屬　Dicranoweisia Lindb.

♀♂同株、蒴整齊直立、楕圓の圓筒形、柄は直立、齒は線條なし、葉は乾けば縮れ披針錐形全邊、岩上叉樹幹に生じ一八種を產するも本邦には只其一を見るのみ。

しつぽごけ　D. crispula (Hedw.)

四サメ、蒴直立長楕圓、葉は楕圓の基より漸尖錐形、肋は錐部に消ゆ、上部の細胞小、圓き方形、翼に四乃至六邊、白馬山の產、亞、歐、弗、北米に分布。

こぶごけ屬　Onchophorus Brid.

♀♂同株、蒴不整齊、頸短くして瘤起あり、柄長く直立、葉は乾けば縮れ肋は頂又伸出、細胞は鞘部に長方、上方に圓き方形、六種地上、樹幹又濕岩の上等に生ず、本邦産五、

ちゞみばこぶごけ　O. crispifolius Mitt.

蒴柄凡五ミメ、葉は長楕線披、中上に疎齒あり肋は頂、九州—本土に産す。

こえのこぶごけ　O. c. var. brevipes Card.

蒴は短柄により辛ふじて突出、九州、本土及朝鮮に産す。

おほこぶごけ　O. virens (Sw.) Brid.

やゝ大、黄綠色、五サメに至る、蒴柄二サメ、葉は卵又楕圓の基より披針錐形頂に齒あり、肋は頂、本土及樺太産、亞、歐、北米に分布。

のこぎりこぶごけ　O. v. var. serrata Bryol. eur.

葉はより長く、上緣に粗齒あり、蒴は短、僅に瘤あり、九州産、歐及北米に分布。

えぞのこぶごけ　O. Wahlenbergii Brid.

蒴倒卵形、葉は倒卵突然錐形となる、基上に廣くなる、本邦各地産、亞、歐、北米に分布。

あなしつぼごけ屬　Symblepharis Mont.

♀♂同株、蒴直立圓筒形、齒は密に乳頭あり、葉は鞘狀の上部に廣き基より長錐形、乾けば縮れる、樹幹に生じ五種を含む、本邦産二。

まきはしつぼごけ　S. helicophylla Mont

次種に似て蒴は狭圓筒形、葉は卷縮包旋、頂に小齒あり、臺灣產、中米及東亞に分布。

あなしつぼごけ S. Reinwardtii (D.M.) Br. eur.

蒴は廣楕圓、齒反曲、葉頂に小齒あり、肋は伸出、臺灣產、印度及諸島に分布。

まいまいごけ屬 Holomitrium Brid

♀♂同株稀に異株、蒴直立卵圓又圓筒狀、齒は線條なし、乳頭多し、不規則に孔あり、蓋は長嘴あり、葉は鞘基より錐狀、乾けば縮る細胞方—圓形、翼に着色、肋は頂又伸出、樹上又岩上に生じ三九種を含む、本邦產三種あり。

たかさごまいまいごけ H. Griffithianum Mitt.

var. psendo-aquaticum Card.

葉は蝸牛狀にまく、鞘基より披針長く細く尖る全邊、臺灣の產。

やまとまいまいごけ H. japonicum Card.

前種に似たり、♀花葉更に短く蒴基に達せず、蒴も短く卵狀楕圓形本土及朝鮮產。

しつぼごけ屬 Dicranum Hedw.

♀♂同株又異株 子囊多出蒴は傾き圓筒形又直立、柄は直立捩扭、齒は二乃至三分し 葉は鎌形一方に曲る披針狀長錐形、翼細胞方形褐色、肋頂下—伸出、六十餘種を含み近時數多の屬に分割せらる、左まで必要なきが如し、今之を

便宜上亞屬として次に示すべし。

亞屬檢索表

1 {蘚齒は孔線あり、葉舷なし……………………2
1 {蘚齒は孔線なし、分裂せず、蒴は直立圓筒形……………………ヒメシツボゴケ亞屬

2 {♀♂同株……………………3
2 {♀♂異株……………………4

3 {蒴不整齊……………………カマシツボゴケ亞屬
3 {蒴整齊、線條あり……………………キシツボゴケ亞屬

4 {翼細胞に接する基細胞は疎、透明、蒴は不整高傾き曲る……………………ホンシツボゴケ亞屬
4 {基細胞內半長くして一樣蒴圓筒形……………………5

5 {基細胞長方形……………………タチシツボゴケ亞屬
5 {基細胞線形……………………ミヤマシツボゴケ亞屬

きしつぽごけ亞屬 Arctoa Bryol. eur.

岩上又地上の蘚、三種を含む。

きしつぽごけ D, fulvella (Dicks)

植物小、二サメ以內、褐綠色、蒴直立、短頸、柄甚短、葉は長楕の基より漸尖剛毛狀、肋は伸出、本土及北海道產、歐及北米に分布。

ながえのきしつぽごけ D. f. var. longisetum Card.

前種より葉長く錐形、鎌形ならず、蒴を超出本土の產。

たかねかもじごけ D. schistioides Broth.

植物甚小、蒴直立倒卵、線條あり、柄六ミメ、葉基廣鞘狀細く尖る、乾けば卷曲、翼細胞著しからず、津輕富士に產す。

かましつぼごけ亞屬 Kiaeria Hag.

五種岩上又地上に生ず、本邦產三種。

かましつぼごけ D. falcata (Hedw.)

黑綠色、蒴倒卵暗色、葉は鎌形披針頂に齒あり 肋伸出、翼細胞著からず、本土に產し歐及北米に分布。

けしつぼごけ D. setifolium (Card.)

植物やゝ大、葉ほ狹披線形全邊叉頂に微小齒あり、翼細胞方形、肋完全叉伸出、本土の產。

みやまけしつぼごけ D. subsetifolium Broth.

葉長く尖り頂に小齒あり、翼に於ける透明細胞は前種より多くして著し、八ケ岳に產す。

たちしつぼごけ亞屬 Orthodicranum Loesk.

五種中四種を本邦に見る。

ひめかもじごけ D. flagellare (Hedw.)

蒴長楕圓一圓筒形、柄二サメ、葉は披針錐形、肋は頂下、翼細胞方形叉長方、本種は小葉ある孵芽により容易に他と分ち得、土土の諸高山產、亞、歐、弗、北米に分布。

たかねしつぼごけ D. hakkodense Besch.

植物小、二サメ以內、スグシツボゴケに似たれど葉細胞

下方に短長方形をなす、四國一北海道の山地に生じ又朝鮮ににも之を見る。

かぎしつぼごけ　D. hamulosum Mitt.

蒴は長廣楕圓、線條あり、柄一サメ位、葉は鎌形に一方に曲る、遠く下方へと肋背に齒あり、細胞上方に圓し、本土及北海道に産す。

すぐしつぼごけ　D. strictum (Schleich)

植物中大、蒴直立圓筒形、柄二サメ、葉は卵披全邊、脆し、肋伸出、翼細胞六邊の殆方形、本土産、亞、歐、北米に分布。

みやましつぼごけ亞屬　Chorisodontium (Mitt.)

一一種を含み本邦に其一を見る。

みやましつぼごけ　D. cylindrothecium (Mitt.)

蒴は短圓筒形にして直立、葉は楕圓狀漸尖、中上に小齒あり、肋は伸出、翼細胞方形、本土及四國に産す。

ひめしつぼごけ亞屬　Classidicranum Limpr

一三種を含む、本邦に産するもの一〇種あり。

ひめしつぼごけ　D. crispofalcatum Schmp.

植物中大、蒴は黑色、線條あり、葉は一方に曲り基より包旋、細胞翼に方形、緣に赤色、四國一北海道産。

さけばしつぼごけ　D. euschistodon Card.

コカモジゴケに似たり、蘚齒は線條多くして甚紅紫色を

呈す、北海道に産す。

みやまかもじごけ D. Fauriei B. P.

蒴卵狀圓筒形、線條なし、柄二サメ位、葉は披針形一方に曲る、肋は頂、細胞は耳の方に方形、九州一本土の産。

ふじしつぽごけ D. fulvum Hook.

蒴は楕圓一圓筒形、線條少し、柄二サメ位、葉は披針長錐形、翼細胞短長方、富士山に産し歐及北米に分布。

ごうのしつぽごけ D. Gonoi Card.

ヒメシツポゴケに比し葉の中肋廣く細胞狹長にして葉末は筆狀をなす、石槌山に産す。

なすしつぽごけ D. leiodontum Card.

蒴線條なし、葉は一方に曲る全邊叉頂に小齒あり、翼細胞狹少、那須山に産す。

こかもじごけ D. Mayrii Broth.

植物中大、蒴は狹圓筒形、葉は卷曲披針錐形頂に齒あり、翼細胞多數、四國及本土に産す。

てうせんしつぽごけ D. subleiodontum Card

ナスシツポゴケに近し、葉は鈍頭叉稍截形全邊叉弱く小齒あり、細胞は葉緣多し。朝鮮産。

たかねこしつぽごけ D. subviride B. P.

蒴直立狹楕圓、齒は先端透明なり、柄短し、葉は線狀錐形、翼細胞は外層のもの大にして褐黃圓き多角形、內層透明にして少し、葉の脆きことは著しき特性なり、本土及北海道産。

やましつぼごけ D. symblepharoides Card.

コカモジゴケに似たり、葉は更に長く柔、蒴は線條あり、下野白根山に産す。

すじしつぼごけ D. striatulum Mitt.

ナスシツボゴケに似たり、又カギシツボゴケに似て葉はより長大、細胞上方に狭く翼に白褐色、産地不明、本種は本亞屬に近きを以て玆に附記せり。

ほんしつぼごけ亞屬 Eudicranum Mitt.

三五種を含む、本邦に一四種を見る。

ながえのしつぼごけ D. Bergeri Bland.

蒴は圓筒形、柄黄色四サメ位、葉は廣基より線披針舌狀中上に或は齒あり、肋は頂下、葉は横波狀を呈し上部の細胞甚厚し、樺太に産し亞、歐、北米に分布。

あをしつぼごけ D. caesium Mitt.

外觀チシマシツボゴケに似たり、上部の葉細胞方形又長方形にして線狀ならざるを以て分つ、蒴は楕圓形、子囊は多出、葉は楕圓漸尖、頂縁に細毛あり、縁に小鈍齒あり、本土の産。

えぞしつぼごけ D. eurydictyon Besch.

葉は明に横波狀、廣く尖り鋭齒あり、肋は狹くして頂下、上部の葉細胞線形、子囊は單出、本土及北海道産。

ちやしつぼごけ D. fuscescens Turn.

蒴倒長卵—圓筒形、葉は一方に曲らず又横波狀ならず、

披針錐形、中上に小齒あり、肋伸出、上部の葉細胞方形—長方、翼細胞は膨大、本土—樺太產、亞、歐、北米に分布。

からふとしつぼごけ　D. grönlandicum Brid. var. sachalinense Okm.

植物大、一二サメに至る、葉は線披鈍頭全邊、肋は頂、基巾の$\frac{1}{7}$蘚齒の分岐部は上半に乳頭密生、樺太產。

しつぼごけ　D. japonicum Mitt.

蒴は圓筒形線條なし、柄四サメ、葉は一方に鎌形、横波狀ならず、中上に鋭齒あり、基細胞長方上方に線形、肋は辛ふじて見ゆ、九州—本土產又樺太にも之を產す。

ちしましつぼごけ　D. majus Smith.

蒴は長楕圓—倒長卵、線條明ならず、葉は鎌形に一方に曲る、廣楕圓披針形甚長き細き錐形、肋は伸出、二列のM、Dあり、翼細胞長き六邊、上部の葉細胞は線形、九州—樺太及朝鮮に產し亞、歐、北米に分布。

おほしつぼごけ　D. nipponense Besch.

蒴圓筒形線條なし、葉は殆一方に曲らず披針形、中上に大なる鋭齒あり、九州—北海道產、朝鮮にも之を見る。

えぞのしつぼごけ　D. perindutum Card.

葉は頂に齒あり、卵披錐形頂屢〻破壞、肋伸出、上部の葉細胞は方形—長方僅に厚し、莖に白赤色の小剛毛多し、北海道に產す。

かもじごけ　C. scoparium (L.)

蒴圓筒形線條なし、柄四サメ、葉は楕圓狀披針錐形、遠

く下方まで粗齒あり、肋は頂、上部の葉細胞線形、九州—樺太及朝鮮に產し亞、歐、非、北米に分布。

たちかもじごけ D. s. var. orthocarpum Card.

蒴は直立、葉頂やゝ一方に曲る、石槌山の產。

なみしつぽごけ D. undulatum Ehrh.

子嚢多出、蒴は線條あり嘴長く柄も長く四サメに至る、葉は强く横波狀廣披針長く尖る、翼細胞大、長き六邊、肋頂下、上部の葉細胞は線形、九州—北海道產、亞、歐、北米に分布。

へりとりしつぽごけ屬 Dicranoloma Ren.

地上又樹幹に生じ次屬に似たれど葉細胞平滑蒴は曲る、凡八十種、本邦に四種を見る。

こぶさやしつぽごけ D. assimile (Hamp.) Par.

子嚢多出、柄一サメ、蒴は瘤あり弓形、外形カモジゴケに似たり、臺灣產、馬來諸島に分布。

ほそはしつぽごけ D. Braunii (C. M.) forma mindanense Fl.

蒴柄僅に五ミメ、葉狹披針上方は鋭齒あり、肋は頂又頂下、臺灣產、亞細亞に分布。

かたしつぽごけ D. fragiliforme (Card.) Broth.

柄10—15ミメ、葉甚脆く上方に粗齒あり、肋は頂、莖に密に褐毛あり、本土及朝鮮產。

まつばごけ屬 Leucoloma Brid.

蒴直立圓筒形蓋は長嘴あり、葉は錐形披針錐狀、翼細胞褐色、緣細胞は長く無色にして白色の舷をなす、肋は突出し異形の細胞よりなる、一〇五種樹幹に生じ本邦に共二を見る。

まつばごけ　L. molle (C.M) Mitt.

莖粗大五サメに至る、葉はより短く又長く尖る、全邊、乾けば捲縮、翼細胞厚からず、肋伸出、臺灣及大島產、亞、歐、北米に分布。

いぼまつばごけ　L. Okamurae Broth.

葉は長披針錐形頂に小齒牙あり、舷は基部に六列、葉細胞は微小疣あり、前種に似たれど葉は乾くも捲縮せず、四國及本土に產す。

しらがごけ科 Leucobryaceae.

帶白色の植物、葉は多列、中肋は甚廣くして２—10層の有孔細胞と１—３層の葉綠細胞とよりなる、蘚齒は一六個、本邦に二屬あり。

しらがごけ屬 Leucobryum Brid.

♀♂異株、蒴は不整齊傾く、八肋あり、齒は二裂、多關節、孔線と乳頭あり、葉は披針—錐形、葉綠細胞は四邊形をなす、本邦に凡九種あり。

せいたかしらがごけ　L. altiusculum Besch.

白黃色四サメ、葉は廣長卵形急に長くなる頂に鈍齒あり、

舷は基部に一〇列、本土の産。

あらはしらがごけ　L. Bowringii Mitt.

植物は小、三サメ以内、白黄又綠色、葉は疎につく楕圓狀漸尖全邊、臺灣―本土産、支那及印度地方に分布。

ひめをきなごけ　L. confine Card.

ホソバオキナゴケに似たるも舷は5―15列甚狹長なり、臺灣及本土に産す。

つやをきなごけ　L. galeatum Besch.

次種に似たり辛ふじて二サメ、束狀に分枝、葉は卵披―長楕披針殆全邊、頂兜形をなす、舷細胞6―8列、基細胞黄又褐色、臺灣―本土及朝鮮に産す。

しろしらがごけ　L. glaucum (L.) Shomp.

3―20サメ、黄白色、葉長卵狀倒卵の基より長披針全邊、舷細胞五―六列、着所の細胞は紅褐色、蒴は長卵多少頸あり、八肋あり、四國及本土の産、亞、歐、弗、米に分布す。

やまとしらがごけ　L. japonicum (Besch) Card

綠色、小、葉楕披針疎に鈍歯あり、着所の細胞褐黄色、舷に4―6列、九州及本土の産。

えぞしらがごけ　L. lacteorum Besch.

3―4サメ位、青白色、葉は卵披漸尖、緣は筒狀にまく、舷細胞5―6列、九州及北海道に産す。

ほそばをきなごけ　L. neilgherrense C. Müll.

三サメ内外、綠色、葉は甚狹長殆全邊、基脚細胞は褐黄

一黑褐なり、臺灣、本土及朝鮮に產し印度に分布。

ちやぼほそばおきなごけ L. n. var. minus Card.

全體小にして葉もより狹小、臺灣產。

おほしらがごけ L. scabrum Lac.

3—6サメ、粗大なる植物、葉は長楕圓漸尖、上部に齒あり鋭尖頭、緣細胞5—6列、着所の細胞褐黃色なり、臺灣及本土に產し淸國に分布せり。

はぶたへごけ屬 Octoblepharum Hedw.

蒴は直立卵圓—圓筒形、葉は倒卵の基より長き線狀舌形—錐形鈍頭剛毛尖あり、全邊、前屬に似たるも綠色細胞三邊(葉基のみ四邊)なるを以て別つべし、凡一八種、本邦に一種。

はぶたへごけ O. albidum (L.) Hedw.

白色、光あり、葉は長舌狀又紐狀、白細胞は緣に三—四層、亞、弗、米に分布。

かたしろごけ科 Calymperaceae.

♀♂異株稀に同株、蒴は直立圓筒形、齒は一六、葉基多少鞘狀、舷は無色又黃色、細胞は長からず、樹皮、岩上又地上に生じ二屬を含む。

あみごけ屬 Syrrhopodon Schwgr.

蒴は直立圓筒形、齒は分裂せず、帽は冠狀、葉は舷あり

多くは兩面に乳頭あり、肋は頂下又伸出孵芽なし、一八八種、本邦に三種あり。

こうのあみごけ S. Konoi Broth.

カタシロゴケに似たるも葉短く鈍頭、頂にやゝ大なる齒牙あり、葉鞘部は廣舷あり、次種より大、四サメに至る、本土に產す。

いさはごけ S. tosaensis Card.

綠色、葉は狹長銳尖、乳頭あり、舷は狹長透明、頂に微齒あり、四國特產。

つしまいさはごけ S. tsusimae Card.

葉は舌狀鈍頭短起あり、小なる粗き乳頭あり、肋は頂背に疎齒あり、舷は前種に似たり、九州の產。

かたしろごけ屬 Calymperes Sw.

蘚齒なし、蓋は長嘴あり帽は鐘狀多襞、葉は兩面に乳頭あり、舷狹く黃色、肋は末端に糸狀の孵芽を荷ふ、約二百種、本邦に一種。

かたしろごけ C. japonicus Besch.

3—4サメ、葉は長鞘ある倒卵披針稍廣く漸尖頭、一對の齒あり、肋は乳頭あり、舷は鞘部に廣し、九州及本土に產す。

あかかたしろごけ C. j. var. rufescens Broth.

ヒサメ、赤色、葉はより長し、九州に產す。

こむそうごけ科 Encalyptaceae

蒴は直立圓筒形蓋は長嘴あり、帽は圓柱鐘狀、葉は5—8列、多少舌狀、細胞は下部に長方叉斜方形上部に六邊乳頭あり、一屬あり。

こむそうごけ屬 Encalypta Schrad.

二九種を含む、本邦に一種を產す。

やりかづき E. ciliata Hedw.

葉は短く尖る中央に反曲する波狀の緣あり、肋は頂下叉剛毛狀に伸出、舷は狹くして不明、花葉は倒卵形にして尖る、八ケ岳の產、亞、歐、弗、米に分布。

せんぼんごけ科 Pottiaceae

♀♂同株叉異株、蒴は直立長卵—圓筒形稀に球狀基部に氣孔あり、齒一六、蓋は圓錐形、嘴あり、葉は多列細胞は上部に敷石狀乳頭に富む、基部に長形、肋は頂叉伸出、三亞科あり。

めんぼうごけ亞科 Pleuroweisioideae

♀♂花腋生、蘚齒なし、柄多少長く蓋は長き斜嘴あり、花部の基には根ある短側枝あり、本邦には二屬を產す。

いしばいごけ屬 Molendoa Lindb.

♀♂異株、蒴は倒卵圓形、柄長し、葉線形肋は完全、次屬に比し葉に大なる導束あり、肋に多數のM. D.あるにより分つ、一二種多くは石灰質の岩上に生ず、本邦に二種を見る。

いしばいごけ　M. japonica Broth.

葉狹披線形漸尖、葉細胞上方に小、やゝ暗、基に短長方透明、基緣に小、殆方形、本土特產。

はりばしごけ　M. Sendtneriana (Br. eur.) Limpr.

前種に近し蒴長楕圓頸長し、葉は楕圓の基より急に線錐形多くは密に乳頭あり、肋は狹く錐部を充たす、細胞上方に小、兩面に乳頭あり、緣に狹し、本土に產し亞、歐兩大洲に分布せり。

めんぼうごけ屬　Anoetangium (Hedw.) Br. eur.

蒴倒卵圓形頸短し、帽は冠狀柄は側生、葉は披針線形全邊兩面に乳頭あり、肋は頂又頂下、B. Dあり、六〇種地上又は岩上に生ず、本邦に產するもの一六種あり。

ひめらつきやうごけ　A. coreense Card.

一サメ內外鬱褐色の植物、葉短き狹披針形頂曲る全邊、肋は頂下に消ゆ、本土及朝鮮產。

にしきらつきやうごけ　A. dichroum Card.

二サメ內外美綠色、葉は廣楕圓の基より長き披針全邊、肋頂下、細胞暗、中部の高山產。

ふたごごけもどき　A. didymodontoides Broth.

一サメ黃綠色、葉は狹線狀披針形微凸頭全邊、肋殆頂、細胞は上方に暗く圓き方形、密に乳頭あり、本土に產す。

たいわんらつきやうごけ　A. Fauriei Card.

莖纖長一五ミメ位、葉は狹線披中央やゝ狹くなる、肋は頂、細胞は小乳頭あり、臺灣の產。

あからつきやうごけ　A. ferrugineum Besch.

葉は楕圓狀披針、肋は頂下、緣細胞の突出により緣は齒狀、植物は鏽褐赤色、北海道產。

ひならつきやうごけ　A. gymnostomoides B. et Y.

纖小、ハナシゴケに似たり、葉は線披銳尖微凸頭透明尖、肋頂下、細胞は暗、乳頭あり、本土の特產。

いかほらつきやうごけ　A. ikaoense Besch.

一サメ、蒴甚小倒卵形、柄僅に三ミメ、葉も小、狹線披漸尖、肋頂下、♀♂同株なるにより直に他と分つべし、本土に產す。

みやまらつきやうごけ　A. lacteyirens B. et C.

前種に近し、四サメに至る、葉はより短く肋背に乳頭あり、九州一本土の高山山地に生ず又朝鮮にも之を見る。

あららつきやうごけ　A. laxum C Müll.

六サメ、葉線披、肋殆頂、透明、細胞は下部もやゝ暗し、白馬山の產、清國に分布。

こばのらつきやうごけ　A' microphyllum Card.

ヱゾノメンボウゴケに近し、葉はより廣くより短く網はやゝ明なり、乾くも卷縮せず、葉枕甚密なり、朝鮮產。

らつきやうごけ　A. pulvinatum Mitt.

二五ミメ、褐色、上葉は綠色線披鋭頭全邊、肋は頂、背に乳頭あり、細胞やゝ暗、本土の產、下部の葉細胞狹線形にして壁黃色なるを以て次種と別つべし。

ひろばのめんぼうごけ　A. rivale Card.

前種に近し、葉基卵形にして更に短し、下方の細胞凡て長方形、壁狹くして厚からず、朝鮮に產す、。

いせらつきやうごけ　A. spirale Broth.

一サメ內外、葉は乾けば螺旋狀に捩れる、線披凸頭全邊、肋は頂叉短く剛毛狀に伸出、伊勢國榊原に產す。

あをらつきやうごけ　A. sublaetevirens Card.

ミヤマラツキヤウゴケに近し、葉更に短く網は少しく乳頭あり、肋背平滑叉上方に辛ふじて粗、朝鮮に產す。

えぞのめんぼうごけ　A. thermale Card.

フタゴゴケモドキに似て葉はより廣く鋭頭にして微凸ならず叉やゝ鈍頭、網は暗し叉コバノラツキヤウゴケに似たり、北海道に產す。

ねぢれらつきやうごけ　A. torquescens Mitt.

葉は乾けばよれる、長楕圓線形鋭頭、細胞密にして暗、肋は頂下、ラツキヤウゴケに似て葉形異なり、朝鮮に產す。

くちひげごけ亞科　Trichostomoideae

♀花は頂生し蒴は氣孔あり、葉は線披、上部の細胞は小、肋は二の機械細胞群あり、本邦に一三屬を產。

屬名檢索表

1. 蓋は永存、葉は全邊、葉細胞は長方形をなす…………………………………………………………ツボゴケ屬
   蓋は脫落性なり……………………………………………………2
2. 蘚齒あり……………………………………………………6
   蘚齒なし……………………………………………………3
3. 蒴口は蓋を去れば開く……………………………………4
   蒴口は開かず……………………………トチクチゴケ屬
4. 蓋は柱と共に離れる…………………………ヤネゴケ屬
   柱は蒴の方に殘る……………………………………………3
5. 葉緣は乾くも卷かず…………………………ハナシゴケ屬
   葉緣は乾けば卷く……………………………ハマキゴケ屬
6. 葉全邊長く尖る、♀花葉は異ならず……………7
   葉は上部に齒あり、♀花葉は高く鞘狀…………………………………………………………ワウゴンゴケ屬
7. 葉基鞘狀ならず、多くは披針形に尖る…………8
   蘚齒二脚、葉は鞘基より披針形となり齒あり…………………………………………………………ダルマゴケ屬
   蘚齒錐形、葉は匕形の基より長倒卵又は長舌狀…………………………………………コゴケモドキ屬
8. 葉緣多少まく……………………………………………………9
   葉は平緣、舷なし、基細胞長方形、蘚齒は直立……………………………………………………………10
   葉舷あり、蘚齒は螺旋狀………ヨリイトゴケ屬

9 { 蘚齒短、直立……………………………フタゴゴケ屬
　 { 蘚齒は螺旋狀にまく………………ネジクチゴケ屬

10 { 蘚齒は口に着生、二脚に分裂…クチヒゲゴケ屬
　 { 蘚齒は口下に着生、短くして分裂せず…………
　 { ……………………………………………………コゴケ屬

つぼごけ屬 Astomum Hamp.

♀♂同株、蒴沈生球狀又楕圓形、蓋は永存、葉は披針披針錐形乾けば捲縮全邊、地上の小植物、二三種中本邦に三種を見る。

つちのうへのたまごけ A. crispum (Hedw.) Hamp.

一ミメ、蒴廣楕圓、莖叉狀又束狀に分枝、葉は鞘基より楕圓狀長線披全邊、肋伸出、九州及本土に產し歐、弗、北米に分布。

きしうつぼごけ A. kiiense Okm.

高四—五ミメ、蒴球狀、莖殆單一、前種の小形なるもの紀伊國に產す。

ひめつぼごけ A. japonicum (Besch) Roth

植物小、蒴は可なり大、莖多くは單一、葉は僅に縮れ卵狀狹線形殆錐狀全邊、本邦特產。

とぢくちごけ屬 Hymenostomum R. Brown.

♀♂同株、蒴は直立又傾く蓋の脫落したる後も皮膜により閉さる、葉は披針線形乾けば捲縮、肋は伸出、五三種地

上に生ず、本邦産二。

とぢくちごけ　H. exertum Broth.

蒴はやゝ突出し蓋は脱落せず、葉はやゝ捲縮鞘基より披針線形、肋伸出、九州及清國産。

たいわんちやいれごけ　H. malayense Fleisch.

前種に近し、葉縁强く弓形をなすこと、子嚢體は蓋のみ脱落することにより分つべし、臺灣に産し印度及諸島に分布せり。

こごけ属　Weisia Hedw.

♀♂同株稀に異株、蒴は卵圓又圓筒狭口、齒短分裂せず、葉は乾けば捲縮披針錐形、肋は伸出、地上の小蘚、二七種を含む、本邦に産するもの八種あり。

ちゞみこごけ　W. crispata Lindb.

♀♂同株、蒴は長卵—楕圓、柄2—5ミメ、胞子は細疣あり、葉は楕圓狀線披急に短く尖る縁は上方にまく、本土の産、歐州にも見る。

ながはこごけ　W. longidens Card.

♀♂異株、葉縁は上方にまき、蘚齒は紫色を呈し甚長くして全邊なるにより他と分つべし、本土の特産なり。

ながえのこごけ　W. longiseta Lesq. et James.

甚前種に近し、蘚齒は紫色ならず、全邊ならず、柄長く一三ミメに達す、臺灣及北米に産す。

つちのうへのひらごけ　W. platyphylla Broth.

蒴柄七ミメ、葉は長楕線披やゝ鈍く微凸頭、平縁、肋は微凸頭伸出、九州及本土に産す。

つちのうえのひらごけもどき　W. platyphylloides Card.

前種に近し、蒴卵狀長楕圓、柄五ミメ、葉は線披漸尖、臺灣、本土及朝鮮に產す。

つちのうへのかたごけ　W. rigescens Broth.

ツチノウヘノコゴケに似たり、蒴は長楕圓、柄八ミメ、蘚齒も胞子も平滑、葉は披針線狀錐形微凸頭、九州に產す。

けすじこごけ　W. rutilans (Hedw.) Lindb.

柄5—10ミメ、葉は楕圓狀線披少しく鋭尖、平縁、肋は剛毛狀伸出、本土に產し歐及弗に分布せり。

つちのうへのこごけ　W. viridula (L.) Hedw.

♀♂同株、蒴廣楕叉長楕叉圓筒、柄3—7ミメ、齒も胞子も疣あり、葉は披針形は上方にまく、臺灣—本土產、殆全世界に分布。

はなしごけ屬　Gymnostomum Hedw.

♀♂異株、蒴は卵圓叉長形齒なし、葉は披針線形叉線形、肋は頂に達せず、一〇種石灰岩上に生ず、本邦に二種を見る。

いしのうへのこごけ　G. calcareum Br. germ.

二サメに過ぎざる小蘚、肋黃色頂下、上部の葉細胞は小、蒴柄は五ミメ位、本土の山地に生じ全世界に分布せり。

おほはなしごけ　G. rupestre Schleich.

前種に比し甚大、八サメに達す、蒴柄八ミメ、上部の葉細胞はより大、肋は褐色頂又頂下、本土の產、亞、歐、弗、北米に分布。

やねごけ屬 Hymenostylium Brid.

♀♂異株、蒴は直立、齒なし、蓋は柱を附着したるまゝ脫落すること著し、葉は披針形乾けば彎曲、肋頂下、殆二〇種あり石灰質岩上に生ず、本邦に其四を產す。

あうむごけ H. curvirostre (Ehrh.) Lindb.

濃綠色、葉は披針銳尖多少緣に齒あり、細胞は透光性基部に長方透明、植物大、一二サメに至る、四國及本土產、亞、歐、北米に分布。

たかさごやねごけ H. formosicum B. et Y.

二サメ位、葉は盤旋內曲狹線狀漸尖全邊、細胞は小なり、臺灣產。

ひめあうむごけ H. pellucidum B, et Y.

アウムゴケに似て小、僅に一五ミメ、蒴小、長楕圓、葉緣下方に反曲、細胞二倍大なるを以て分つべし、臺灣產。

やねごけ H. sordidum Card.

アウムゴケに似て更に暗綠、葉はより廣く、網は暗くして乳頭あり、肋は更に强きを以て分つ、淺間山の產。

くちひげごけ屬 Trichostomum Hedw.

地上に生じコゴケ屬に似たるも植物大なるを以て直に分

ち得べし、♀♂異株稀に同株、蒴は直立、圓筒形、齒は黄叉赤色基まで二脚糸狀、葉は乾けば捲縮頂生のもの大にして長し八一種を含む、本邦に四種を見る。

くちひげごけ　T. brachydontium Bruch,

二サメ位、蘚齒平滑橙色、胞子大にして疣あり、葉は楕圓狀廣披—線披鋭頭全邊、肋伸出、九州産、殆全世界に分布。

ちゞみくちひげごけ　T. crispulum Bruch.

三サメ、前種に似たり、葉は楕圓狀線披頂帽狀、蘚齒は紫赤色密に乳頭あり、柄赤色なるを以て分つ、九州、本土及朝鮮產、亞、歐、弗、北米に分布。

つゝくちひげごけ　T. cylindricum (Bruch.) C. M.

二サメ、前二種に比し蒴は狹圓錐形、齒分裂せず胞子小にして殆平滑なるを以て分つ、葉は長線狀小齒あり肋は頂叉伸出、本土の產、亞、歐、弗、米に分布。

ちやぼくちひげごけ　F. c. var. perpapillosum Broth.

葉はやゝ鈍頭、肋は頂下、本土の產。

いせけくちごけ T. Uematsui Broth.

二サメ、葉は長楕圓やゝ鈍頭全邊、肋は赤色頂に達す、伊勢に產す。

だるまごけ屬　Rhamphidium Mitt.

蒴傾く長卵形、齒は二脚、糸狀、乳頭あり、蓋は長嘴あり、葉は披針形にして鞘部の上に廣くなる、頂に齒あり、

肋は頂下、一〇種を含み本邦に共一を產す。

けむしだるまごけ R. Dixonii Sasaoka.

予未だ本種を見ず。

よりいとごけ屬 Tortella C.Müll.

♀♂異株稀に同株、蒴は卵圓叉圓筒、齒三二糸狀左捩、乳頭あり、柄は頂生、葉は捲縮披針叉錐形全邊、肋は伸出、三七種地上叉岩上に生ず、本邦に八種を見る。

はまこねぢれごけ T. caespitosa (Schwgr.) Limpr.

植物小、一サメ位、蒴は長卵　圓筒、柄二サメ、葉は卵披線形短く尖る、肋は伸出、本土に產し、亞、歐、弗、米に分布。

もろはよりいとごけ T. fragilis Drum.

やゝ大、六サメ位、葉尖多くは破壞、楕圓狀急に線披一錐形廣舷あり、肋は伸出、柄三サメ位、本土に產し亞、歐、米に分布。

えぞこねぢれごけ T. himantina Besch.

ハマコネヂレゴケに近し、葉は卵狀長線形鈍く短く漸尖、肋は頂に終る、本土に產す。

ゆみよりいとごけ T. inflexum Bruch.

ハマコネヂレゴケに近し、より小、蒴は楕圓一圓筒形、柄凡一二ミメ、曲折、葉はより狹く基に弱く耳あり葉尖帽狀をなす、♀花葉は半鞘狀、亞、歐、弗に分布。

こねぢれごけ T. japonica (Besch.) Broth.

小蘚、蒴は圓筒形やゝ弓形、葉は長線形細胞は葉緣多し、肋は伸出、本土に產す。

むつこねぢれごけ T. platyphylla Broth.

前種に似たるも葉は長楕線形舷なし、肋は赤色、頂に達す、本土の特產。

きすじよりいとごけ T. Sakuraii Broth.

五サメ、葉は鞘狀狹披針錐形、肋黃色微凸頭、次種に似たり、本土の特產。

ねぢれごけもどき T. tortuosa (L.) Limpr.

植物は大、一〇サメに至る、蒴直立、柄三サメ、葉は線披錐形、肋は黃色伸出、葉緣に波狀の小齒あり、本土の高山に產す、亞、歐、弗、北米に分布。

わうごんごけ屬 Leptodontium Hamp.

♀♂異株、蒴は圓筒形、齒は二脚、葉は乾けば縮れ楕圓一卵狀の基より披針一長舌狀、肋完全又頂下、細胞基部に長方透明其他は圓き六邊乳頭あり、コゴケ屬に似たれど♀花葉は高く鞘狀、葉緣不同に齒あり、七八種岩上又樹上に生ず、本邦に只一種あるのみ。

わうごんごけ L. Nakaii Okm.

岩上の小蘚、黃綠色、葉は長楕披針短鋭頭頂に粗齒あり、肋は頂下、朝鮮の產。

はまきごけ屬 Hyophila Brid.

平杏異株、蒴は卵圓又圓筒形、齒なし葉は乾けば邊緣著しく卷く、披針―線形、一〇四種地上又岩上に生ず、本邦產九種あり。

こまのはまきごけ　H. amblyphylla Card.

コマノホソゴケモドキに似て葉更に大、線狀箆形頂鈍、細胞平滑なり、朝鮮に產す。

はまきごけ　H. propagulifera Broth.

葉は倒卵―長楕圓鈍頭又微凸頭、肋は黃色伸出、葉に微小齒あり以て他種と分つべし、九州より本土まで產す。

つめはまきごけ　H. Sieboldii Besch.

蒴直立卵狀圓筒形、柄短く蓋なし、葉は卵狀廣披針鋭尖全邊。

へらはまきごけ　H. spathulata (Harv.) Jaeg.

前種に似たるも蓋は錐形、葉は短長楕急に廣箆形鈍頭全邊、肋は頂、印度に分布。

ほそばはまきごけ　H. stenophylla Card.

葉は長線狀箆形短く漸尖又は鈍頭短凸起あり、肋は頂、臺灣產。

さとはまきごけ　H. Tsunodae Broth.

葉は箆形短凸起あり肋は明に頂下に終るを以て他種と別つべし、九州―本土に產す。

こごけもどき屬　Weisiopsis Broth.

甚コゴケ屬に近しされど蘚齒よく發達し葉は多少舌狀を

呈す七種あり、本邦産四に達す。

ほそごけもどき W. anomala (B. et P.) Broth.

葉線形鈍頭、細胞小にして暗、肋は頂、九州及朝鮮に産す。

こごけもどき W. Cardoti Broth.

葉は線狀箆形鈍頭短凸起あり全邊、肋は頂、柄七ミメ、四國及本土並に朝鮮に産す。

こまのこごけもどき W. coreensis (Card.) Broth.

前種に似たれど葉は鋭尖なり、朝鮮に産す。

やまとこごけもどき W. japonica Broth.

コゴケモドキに似て葉細胞明に乳頭あり、蒴柄短きを以て別つ、本土に産す。

ふたごごけ屬 Didymodon Hedw.

♀♂異株、蒴直立圓筒形、齒は直立、葉は披針形緣は卷旋、細胞小、圓き方形基に長し、九一種地上又岩上に生ず、本邦に四種を産す。

みやまふたごごけ D. brachystegius (Besch.) Broth.

小蘚一サメ、葉は狹披針舌狀鈍く漸尖、肋は頂下、本土に産す。

おほふたごごけ D. giganteus (Funk.)

本屬中の大蘚一〇サメに達す。葉は長卵一楕圓狀披針錐形全邊、肋は頂又頂下、歐州産、本邦には變種のみを産す(伊吹山産)

たかねふたごごけ　D. obtusissimus Broth.

一五ミメ、葉は半鞘基より披針鈍頭、肋頂下、八甲田山の産、ニユーカレドニアに分布。

あかはまきごけ　D. rubellus (Hoffm.) Br. eur.

三サメ、蒴は圓筒形、柄長く一五ミメ、葉は前種に似たるも短剛毛尖あり、肋は頂、北海道に産し殆全世界に分布。

ねぢくちごけ屬　Barbula Hedw.

♀♂異株、蒴圓筒形、齒三二、螺旋狀、葉は卵圓又披針線形邊緣卷旋、肋は頂又伸出、地上又岩上に生じ三百種に達す、本邦産一六。

たいわんねぢくちごけ　B. anceps Card.

四サメ、葉は卵—長楕披針漸尖全邊、肋は頂、ヤノウヘノアカゴケに似たり、臺灣に産す。

いんどねぢくちごけ　B. comosa Doz. et Molk.

葉は半鞘基より線狀漸尖鈍頭全邊、肋は頂又頂下、蒴柄一二ミメ、台灣、印度に産す。

ふさうねぢくちごけ　B. c. var. japonica Broth.

小蘚五ミメ位、葉は披針漸尖銳頭又鈍頭全邊又頂に小齒あり、肋は頂、細胞透明平滑、蒴柄短く五ミメ、熊本に産す。

えぞねぢくちごけ　B. convoluta Hedw.

蒴直立又曲る柄はやゝ長し、梢葉は鞘基より舌狀短く尖

る、縁多少卷く、肋は頂又頂下、細胞は乳頭あり、植物は小、北海道に產し、亞、歐、弗、北米まで分布せり。

まきばねぢびけごけ B. fallax Hedw.

四サメ、蒴は直立殆圓筒形、柄やゝ長し、蒴は卵披一線披縁は中央まで包旋、肋は頂、近江國產、亞、歐、弗、北米に分布。

いはこねぢれごけ B. inflexa (Dub.) Fl.

植物微小、蒴直立圓筒形、葉は長楕圓の基より急に披針鋭尖包旋全邊、肋伸出、細胞平滑、亞細亞に分布。

せいたかねぢくちごけ B. laevifolia B. et Y.

五サメに至る、葉卵披鈍頭、縁は包旋全邊、肋頂下、細胞平滑、葉舷黃色、本土に產す。

とうやうねぢひげごけ B. orientalis (Wils.)

葉は線披殆線形鋭く尖る全邊、肋は頂又頂下、臺灣產、淸國及印度に分布。

おほねぢくちごけ B. planifolia B. et Y.

二サメ位. 葉は舌形鈍頭縁正し全邊、肋は短く伸出、細胞甚小、暗にして密に乳頭あり、本土に產す。

あかぎねぢひげごけ B. rigidula Besch.

三サメ、葉は楕圓狀披針鈍尖全邊、肋は頂稀に伸出、本土の產、亞、歐、北米に分布。

けねぢくちごけ B. subcomosa Broth.

五サメ、蒴は直立長楕圓、柄は一五ミメ、葉は半鞘狀披針鋭尖全邊、肋は頂又頂下、臺灣より本土に亙り之を產す。

みやこねぢくちごけ B. subunguiculata Sch.

ネヂクチゴケに似たるも葉はより多く包旋、肋は殆頂に終る、四國及本土に產す。

たまきねぢひげごけ B. Tamakii Broth.

三サメ、葉は線披やゝ舌狀鈍頭、上方にやゝ粗齒あり、細胞は基脚まで暗し、肋は頂下、越後の特產。

おほせんぼんごけ B. tokyensis Besch.

小蘚、一サメ、葉は長楕披針鋭尖、肋は凸頭に延出、蒴は長楕圓やゝ曲る、東京產。

ほそばねぢひげごけ B. tosaensis (Card.) Broth.

三サメ、蒴直立圓筒形、葉は狹披針鈍頭又やゝ微凸頭全邊又頂に少齒あり、肋頂下、葉緣殆正しく細胞はやゝ明なり、四國及本土產。

ねぢくちごけ B. unguiculata (Huds.) Hedw.

三サメ、蒴直立圓筒形、葉は卵披一舌狀鈍頭、肋は伸出、九州及本土の產、亞、歐、弗、北米に分布。

あをそねぢくちごけ B. u. var. proligera Broth.

葉は鈍頭又微凸頭全邊、肋は頂、莖は孵芽多し、陸前國に產す。

せんぼんごけ亞科 Pottioideae

♂花頂生、蒴は氣孔あり、帽は冠狀、葉は卵圓一篦狀、上部の細胞疎にして下部に長く透明なり、ケクチゴケ亞科に近きも葉廣く、上部の細胞疎大なり、本邦に四屬を產す。

屬名検索表

1 肋の内側に特別なる同化器官あり、蘚齒は三二……………ロクワイゴケ屬
　特別なる同化器官なし……………2

2 蘚齒は八……………タコゴケ屬
　蘚齒は一六……………センボンゴケ屬
　蘚齒は三二……………カセイトゴケ屬

たこごけ屬 Ulea C. Müll.

鮮綠色の小植物、蒴は直立、柄は短、葉は捲縮、舌狀、肋は頂下、細胞は上方に突然に小にして圓く下方に長し、三種を含む。

たこごけ U. yesensis Besch.

予未だ本種を見ず。

せんぼんごけ屬 Pottia Ehrh.

地上の小蘚、蒴直立整齊、短頸あり、葉は刺又毛端となる、細胞は上方に圓き4—6邊、疣あり、下方に長し、五〇種を含む、本邦に三種を產す。

せんぼんごけ P. intermedia (Turn.) Furn.

蒴殆圓筒形、蘚齒不完全、柄長く一サメ、上部の葉は長披針、肋は長く伸出、九州及本土に產し殆全世界に分布。

ながばせんぼんごけ P. lanceolata (Hedw.) C. M.

蒴は前種に似たるも齒完全、葉は長く倒卵—篦形にして

尖る、頂に不明なる齒あり、肋は伸出、亞、歐、弗、北米まで分布。

はなしせんぼんごけ　P. truncatula (L.) Lindb.

蒴は倒卵形斜嘴あり蘚齒なし、上葉は倒長卵—篦形、頂に不明なる齒あり、肋は短刺として伸出、本土の產、亞、歐、弗、米に分布。

ろくわいごけ屬　Aloina (C. M.) Kindb.

岩上の小蘚、♀♂異株、蒴直立整齊圓筒叉卵圓、短頸、齒三二枚左に卷き乳頭あり、葉厚く古きものは赤褐、一五種を含む、本邦只一種を見るのみ。

ろくわいごけ　A. leptotheca (Schmp.) Broth.

溪邊の濕岩に着生、予は之を信州馬流に得たり稀品に屬す。

ねぢれごけ屬　Tortula Hedw.

♀♂異株叉同株、蒴は直立圓筒形頸は短し、齒三二枚糸狀にして左に卷く、葉は舌狀叉篦狀乾けば捩る、上部の細胞は疎にして圓き六邊葉綠に富む、肋は伸出、地上叉岩上の小蘚にして二二〇種を含む、本邦に產するもの六。

ほそばねぢれごけ　T. aestiva P. B.

ヘラバネヂレゴケに近し、蒴柄はより短く葉は狹線披、肋は微凸頭叉短刺となりて伸出、越中國に產し亞、歐に分布せり。

ねぢれごけ T. emarginata D. M.

次種に近し蒴は圓筒形、葉は長楕圓線形鈍頭頂凹頭、全邊、肋は長き毛となる、臺灣、九州及本土に產す。

へらばねぢれごけ T. muralis (L.) Hedw.

蒴は長圓筒形、蘚齒長くして曲る。柄二サメ、上葉は舌形—篦形鈍頭又短く尖る、肋は透明の毛に伸出、臺灣及本土產、全世界に分布。

えぞねぢれごけ T. obtusifolia Schleich.

五ミメ位、蘚齒短くして直立又僅に曲るにより他種と別たる、葉は狹長楕線形短く鈍く尖る、肋は頂稀に短く伸出、本土の產、凝灰岩に着生、亞、歐、弗、北米に分布。

はねぢれごけ T. princeps De Not.

植物大、四サメに至る、蒴は圓筒形、柄三サメ位、葉は廣舌狀ヒ形鈍頭、乳頭により緣は齒狀をなす、肋は赤色伸出、芒に齒あり、本土に產し全世界に分布せり。

おほねぢれごけ T. ruralis (L.) Ehrh.

八サメに至る、♀♂異株(他種は同株)蒴は長卵形、柄長くして四サメに至る、葉は鞘基より楕圓漸尖鈍頭、肋は毛狀伸出、芒に齒あり、全世界に分布せり。

ぎばうしごけ科 Grimmiaceae

岩上又地上に生じ♀♂同株又は異株、蒴は球形—圓筒形沈生又僅に突出、齒は一六、葉は披針形 細胞は上部に圓き方形、下部に長くして透明、肋は透明尖となり伸出—頂

下、本邦に三屬を產す。

屬名檢索表

1 {葉は短枝あり、蘚齒は糸狀に二脚……シモフリゴケ屬
　{長短枝の別なし、蘚齒分裂せず……………………5

2 {帽は襞あり………………………………ツバナゴケ屬
　{帽は襞なし……………………………ギバウシゴケ屬

つばなごけ屬 Coscinodon Spreng.

♀♂異株又同株、蒴は直立半ば突出、倒卵廣口長襞あり、齒は披針形階狀に穿孔、帽大、鐘狀長襞あり、葉は披針上方のものは長毛あり、九種を含む本邦に產するもの一種あり。

つばなごけ C. cribrosus Spreng.

♀♂異株、蒴は半突出倒卵形、葉は披針形上方に長毛あり、石灰岩上に生ず、二サメ位、黑綠色の小蘚、本土產、亞、歐、北米に分布。

ぎばうしごけ屬 Grimmia Ehrh.

♀♂同株又異株、蒴は球狀一圓筒形沈生、齒は一六多くは分裂せず、帽は襞なし、葉は披針全邊透明尖あり又なし、肋は頂、二二七種多くは岩上に生ず、本邦に產するもの一六。

ぎばうしごけ G. apocarpa (L.) Hedw.

四サメに至る、♀♂同株　蒴は卵形、葉は長披針又長楕

圓全邊、透明尖に齒あり、細胞は强波狀上方に圓き方形下部に長し、九州―北海道に產し全世界に分布。

あをもりぎばうしごけ　G. a. var. aomoriense Card.

葉も蒴も短、蓋に短嘴あり、青森產。

はぎばうしごけ　G. a. var. denticulata Card.

葉に毛なし、上緣と肋背に齒牙あり、北海道に產す。

ほそぎばうしごけ　G. a. var. gracilis (Schleich)

葉は披針形頂に齒あり、植物纖長一〇サメに至る、九州―本土の產、亞、歐、北米に分布。

いぼぎばうしごけ　G. a. var. mamillata Card.

葉は毛なし蓋に乳頭あり、刈田岳に產す。

こばのぎはうしごけ　G. a. var. microphylla Card.

莖纖長、葉狹小、蒴も短、球壺狀、有馬產。

こみのぎばうしごけ　G. a. var. microtheca Card.

ホソギバウシゴケに似て全體小、蒴壺狀、葉は毛なく頂に齒あり、本土及朝鮮に產す。

みづぎばうしごけ　G. a. var. rivelaris (Brid.)

葉頂廣く圓くして齒あり、水生、一〇サメに達す、本土及北海道の產、歐及北米に分布。

はなしぎばうしごけ　G. atrata Miel.

♀♂異株、黑色八サメに達す、蒴は長楕―圓筒形、葉は狹披叉線披短く尖く、全邊、透明尖なし、肋は頂、歐洲に分布。

くろぎばうしごけ　G. atro-viridis Card.

♀♂異株黑綠色、四サメ位、毛尖短くして齒牙あり、細胞平滑、朝鮮の產。

けばのぎばうしごけ　G. brachyphylla Card.

タカネチヤボギバウシゴケに似たるも葉短、急に長き毛となる、朝鮮に產す。

みやまぎばうしごけ　G. decalvata Card.

♀♂同株、次種に甚近し、葉狹く鈍頭、毛なし又甚短し、本土に產し北米に分布。

たかねぎはうしごけ　G. Doniana Smith.

♀♂同株、蒴は楕圓形、葉は狹長披　楕圓狀線披、長き毛は弱き齒あり、5—20ミメの小蘚、本土の高山に產し、亞、歐、北米に分布。

せたかぎばうしごけ　G. elatior Bruch.

八サメ位、♀♂異株、葉は廣楕圓、葉は短楕圓狀線披、毛は長し、本土に產し亞、歐、北米に分布せり。

やりぎばうしごけ　G. elongata Kaulf.

♀♂異株、八サメに至る、蒴は卵狀—楕圓、葉は狹楕圓披針、毛尖は弱く齒あり、信州鑓岳に產し、亞、歐、北米に分布。

あかぎぎばうしごけ　G. funaris (Schwgr.) Shimp.

♀♂異株、蒴は卵—卵球狀、葉は楕圓狀披針、長毛あり、一五ミメ位の小鮮、赤城山及附近に產し、亞、歐、北米まで分布。

しもふりごけもどき　G. Hartmanni Schpr.

一〇サメに至る、♀♂異株、蒴は長楕圓、柄やゝ長く四ミメに至る、葉は楕圓狀披針短き毛尖に粗歯あり、外觀シモフリゴケに似たり、立山に產し、亞、歐兩大州に分布。

さがみぎばうしごけ　G. Hisauchii Okm.

ケギバウシゴケに似たるも葉は圓き廣楕圓錐形、長芒に乳頭あり、基細胞深波狀ならず、相州の產。

あまぎぎばうしごけ　G. Kiyosii Okm.

♀♂同株、葉卵披漸尖、毛尖なし、錐部に弱く小歯牙あり、前種とは毛尖なきにより、ホソギバウシゴケとは細胞波狀なるにより分つべし、本土の產。

きびのぎばうしごけ　G. Konoi Broth.

三サメ位、葉は披針鋭頭毛なし、全邊、肋は頂、本土に產す。

かびぎばうしごけ　G. ovata Web. et Mohr.

♀♂同株、綠黑色、灰色にかびる、二五ミメ位、蒴殆楕圓狀、柄三ミメ、葉は楕圓狀披針葉長の三分の一に達する長芒あり、乳頭なし、白馬山に產し亞、歐、北米に分布せり。

こすなごけ　G. patens (Dicks) Bryol. eur.

♀♂異株、蒴は水平廣楕圓、柄長く五ミメに至る、莖は叉狀に分枝し葉は楕圓狀線披毛なし鈍頭、末端多少歯あり、本土に產し歐、米に分布せり。

こばのこすなごけ　G. p. var. brachydictyon Card.

葉はより短く漸尖、基細胞甚短狹、四國及本土に產す。

けぎばうしごけ　G. pilifera Palis.

♀♂異株、三サメに至る、蒴は廣楕圓、柄は短し、葉は披針形短き毛尖あり乳頭なし、基細胞波狀、九州、本土及北海道に產し亞及北米に分布。

しもふりごけ屬　Rhacomitrium Brid.

♀♂異株、蒴は卵圓一圓筒形平滑、柄は長し、齒は2—4分裂片糸狀、莖は不規則に短枝あり、葉は披針一舌狀中4は完全なり、凡八〇種地上又岩上に生じ本邦に共二〇種を見る。

ながえのすなごけ　Rh. anomodontoides Card.

一〇サメ、蒴は圓筒形、柄は一四ミメ、莖は短側枝なし、葉はやゝ廣く、短く狹く漸尖鈍頭殆全邊、透明尖なし、肋は頂下、本土及朝鮮に產す。

こばのすなごけ　Rh. barbuloides Card.

ケナシスナゴケに似て葉小、狹披舌狀頂はやゝ帽狀、朝鮮產。

はりすなごけ　Rh. brachypodium (Besch.) Card.

蒴柄短、四ミメ以內、莖は短側枝なし、葉は廣卵鈍頭全邊、透明尖なし、タカネスナゴケに近し、本土の北部より北海道に產す。

からふとすなごけ　Rh. breivisetum Lindb.

蒴柄甚短二、五ミメ位、莖は多少短枝あり、葉は透明尖なく上部の細胞方形、葉細胞は乳頭あり、樺太產。

ながすなごけ Rh. canescens (Weis. Timm.) Brid.

2—10サメ、多少短側枝あり、葉は卵披、芒に齒あり、葉細胞上部に方形、乳頭あり、蒴柄二五ミメ、九州—北海道に產し、歐、亞、弗、北米に分布せり。

すなごけ Rh. c. var. ericoides (Web.) Shimp.

短側枝多數にして殆羽狀に排列、九州—北海道又朝鮮に產し、亞、歐、北米に分布。

けなしすなごけ Rh. c. var. epilosa H. Müll.

綠色、葉は芒なし、九州及本土に產し歐州に分布す。

えぞすなごけ Rh. c. var. Iwasakii (Okm.)

短側枝なし、蒴狹長、柄短、北海道に產す。

てうせんすなごけ Rh. carinatum Card.

ミヤマスナゴケより大、短枝なし、葉はより狹長緣平にして細胞は乳頭あり、毛尖は齒あり、九州、本土及朝鮮に產す。

とかちすなごけ Rh. diminutum Card.

全體小、莖は短側枝あり、毛尖は齒あり乳頭なし、上部の葉細胞長し、北海道產。

みやますなごけ Rh. fasciculare Brid.

短側枝あり、蒴は殆圓筒形、柄一二ミメに至る、葉は楕圓の基より長き線披、頂狹く鈍頭、芒なし、上部の細胞長し、九州—北海道及び朝鮮に產し、亞、歐、北米に分布。

くろみやますなごけ Rh. f. var. atro-virens Card.

葉は廣く短く漸尖鈍頭全邊、細胞は頂に長し、本土の產。

こばのみやますなごけ　Rh. f. var. brachyphyllum Card.

葉は前種よりも短廣鈍頭、細胞上部に殆方形、朝鮮產。

やまとすなごけ　Rh. f. var. orientale Card.

葉短く漸尖、細胞は頂にやゝ短し、臺灣より北海道まで之を產し朝鮮にも之を見る。

たかねすなごけ　Rh. Fauriei Card.

葉は短漸尖鈍頭、細胞は小乳頭あり、短枝なし、透明尖あり又欠く、戸隱山、八甲田山等の產。

くろたかねすなごけ　Rh. F. f. irrigum Card.

暗綠色、葉はより柔、細胞壁厚し、八甲田山、岩木山等に產す。

くろかはきごけ　Rh. heterostichum Hedw.

2—6サメ、小短枝あり、蒴は圓筒—棍棒狀、柄5—8ミメ、葉は卵披漸尖、芒は乳頭なし、細胞上部に方形又少長、臺灣、本土北海道の產、亞、歐、非、南米に分布。

ひめくろかはきごけ　Rh. h. var. gracilensis B. e.

四サメ、葉は帽狀の頂あり、芒なし、九州產、歐州に分布。

しもふりごけ　Rh. hypnoides (L.) Lindb.

一〇サメ、蒴は長卵形、柄は八ミメに至る、葉は楕圓狀披針、透明尖のみ乳頭あり、莖は短側枝あり、植物は灰色にかぶれること著し、九州、本土、北海道及朝鮮產、全世界に分布。

じやばすなごけ　Rh. javanicum D. et M.

多少短枝あり、蒴柄一サメ以上、毛尖は乳頭なく上部の葉細胞少長、臺灣產、印度及諸島に分布。

きすなごけ Rh. laetum Besch. et Card.

葉殆披針形全邊又はやゝ齒あり前種に似たり、又クロカハキゴケよりも枝細し、九州、本土、北海道及朝鮮に產す。

やはらすなごけ Rh. molle Card.

短側枝なし、葉は廣卵一短舌狀、頂甚廣く圓く全邊又波狀、透明尖なし、本土の高山に產す。

てりかはきごけ Rh nitidulum Card.

ジヤバスナゴケに似て小、柄短、五ミメ、上部の細胞に方形なるものを交ふ、葉は芒あり又なし、本土及朝鮮產。

さはだすなごけ Rh. Sawadae Card.

ギボウシゴケ狀を呈す、蒴柄短く三ミメ波狀やゝ膝曲、葉は青白色、基廣し、毛尖あり、上部の葉細胞長し、莖は多少短枝あり、早池峰に產す。

ひめすなごけ Rh. sudeticum (Funk) Br. eur.

一〇サメに至る、蒴直立廣楕圓、柄三ミメ位、莖は少短枝あり、葉は楕圓狀披針短き毛尖に齒あり、葉細胞は上部に方形乳頭なし、四國一北海道產、歐、亞、北米に分布。

みやまひめすなごけ Rh. s. var. subellipticum Card.

葉は芒なし鈍頭、蒴は長楕圓、本土及北海道に產す。

かはきごけ Rh. varium (Mitt) L. et J.

多少短枝あり、毛尖は乳頭なし、上部の葉細胞殆方形、九州及本土の產、北米に分布。

よれえごけ科 Disceliaceae

♀♂異株、蒴柄長く紫叉赤色、多回右に捩れる、蒴は短頸あり氣孔なし、胞子中大、蓋は甚短、糸狀體殘存、葉は蕾形に集まる、地上に生ず、一屬一種あり。

よれえごけ屬 Discelium Brid.

よれえごけ D. nudum (Dicks.) Brid.

葉は長披針にして尖る、平縁、全邊、細胞疎、斜方六邊、下方に長し、樺太に產し亞、歐、歐米に分布。

かんむりごけ科 Ephemeraceae

多くは♀♂異株、柄短叉欠く、蒴は頸なく僅に氣孔あり、胞子甚大、蓋甚短、糸狀體は殘存、本邦には一屬あるのみ。

かんむりごけ屬 Nanomitrium Ldb.

極めて微小なる植物、蒴殆球狀尖端なし、氣孔なし、蓋は脫落性、胞子三〇に至る、葉は下方に卵披、上方に長披針長く尖る全邊叉中上に不明なる齒あり、肋なし、細胞上方に菱形六邊、下方に長形、一一種地上に生ず、本邦に一種を見る。

なりたごけ N. tenerum (Bruch.) Lindb.

蒴は殆球狀、柄なし、下葉は卵披、小. 上葉は披針漸尖中上不明に鈍齒あり、肋なし。尾張及陸前產、歐及北米に

分布せり。

へうたんごけ科 Funariaceae.

多くは♀♂同株、蒴は球狀叉梨形、頸も氣孔もあり、胞子は小叉中大、葉細胞は下部に長方上方に菱形一六邊、蒴柄は長し、本邦に二屬を產す。

つりがねごけ屬 Physcomitrium (Brid.) Furn.

蒴は直立、短頸、齒なし、帽は長嘴あり分裂、葉は倒卵一卵披一披針形、細胞疎、七二種多くは地上に生ず、本邦產一〇種を知らる。

とがりさかづきごけ Ph. acuminatum (Schleich.) Br. eur.

蒴梨形、柄一三ミメ、葉は倒卵披漸尖全邊叉頂に不明なる齒あり、舷は黃色、肋は頂叉短く伸出、九州及本土の產、亞、歐、北米に分布。

ひめひろくちごけ Ph. eurystomoides Card.

次種に似て小、五ミメ、柄も三ミメ、葉は長楕圓短く尖る、全邊なるも突出せる細胞により齒狀をなす、肋は頂、本土及朝鮮產。

ひろくちごけ Ph. eurystomum (Nees.) Sendt.

5—8ミメ、蒴は球狀叉短梨形廣口、柄4—7ミメ、葉は廣倒長卵形短く尖る頂に齒あり、肋は頂叉伸出、臺灣及本土產、歐、亞に分布。

ごうのつりがねごけ Ph. Gonoi Broth

タイワンヒロクチゴケに似たるも柄短五ミメ、葉は箆形ならず全邊叉上部に齒あり、關東地方產。

こつりがねごけ Ph. japanicum (Hedw.)

八ミメ、蒴は半球狀乾けば口下に狹くなる、柄二サメ、葉は長楕披針殆全邊、舷黃色、肋は赤色凸頭、四國及本土の產、印度に分布。

つりがねごけ Ph. Savatieri Besch.

葉は前種に似たるも漸尖ならず或は頂に齒あり、舷は殆着色せず、肋は頂叉短く伸出、本土の各地に生ず。

あぜごけ Ph. sphaericum (Ludw.) Brid.

植物は小、四ミメ以內、蒴は廣口、殆球狀、柄五ミメに至る、上葉は大、楕圓狀箆形銳く尖る全邊叉不明に鈍齒あり、肋は頂下、臺灣、九州及本土の產、歐、亞に分布。

たいわんひろくちごけ Ph. subeurystomum Card.

前種より更に小、二、五ミメ、柄白赤5—8ミメ、蒴は球狀、葉は長楕叉卵狀の基より箆形、短く漸尖、全邊叉疎齒あり、肋は頂、臺灣に產す。

あかえのつりがねごけ Ph. systylioides C. M.

前種に比し柄赤色、葉殆全邊、肋は頂下。

へうたんごけ屬 Funaria Schreb.

蒴は梨形、齒あり、帽は膨れたる冠狀全邊、葉は倒卵—披針、肋は頂下—伸出、細胞疎、長き長方—菱形、緣に長狹となり屢舷をなす、一九四種地上に生ず、本邦に七種、

好んで炭質の地に生ずるを見る。

たちへうたんごけ　F. calvescens Schwgr.

次種に似たるも柄長く、蒴は狹長殆直立、蓋は甚大葉は披針全邊、舷なし、肋は頂、臺灣—本土に產し全世界に分布せり。

へうたんごけ　F. hygrometrica (L.) Sibth.

蒴は直立ならず斜に梨形、柄は4—7サメ、葉は卵披又倒長卵短く尖る、舷なし全邊又頂に齒あり、肋は頂、臺灣—北海道產、全世界に分布。

やまとへうたんごけ　F. japonica Broth.

蒴梨形直立、柄一サメ、葉長楕倒卵凸頭、中上に齒あり、舷同色、肋は頂下、九州に產す。

りうきうへうたんごけ　F. lutschiana Broth.

蒴廣楕、柄一サメ、肋は黃色頂下、葉は匕形倒卵短く漸尖、中上に小齒あり、舷黃色、九州大島產。

ながさきへうたんごけ　F. nagasakensis Broth.

柄一サメ位、葉は長楕圓中上に齒あり肋殆頂に達す、長崎に產す。

あかさやへうたんごけ　F. obtusa (Dicks.) Lindb.

蒴直立短梨形紫赤色、柄4—8ミメ、上葉篦形にして尖る、中上不明なる鈍齒あり、肋は頂下、舷は黃色、歐、弗に分布。

まるだいごけ科 Splachnaceae

蒴直立、頸著しくして着色、大なる氣孔あり、頂生葉の腋に棍棒狀紫色の毛あり、細胞は方形又六邊、本邦に二屬あり。

ゆりごけ屬 Tayloria Hook.

次に似たるも蒴下に膨大部なし、蓋は圓錐又半球狀をなす、凡四五種あり、本邦に只一種を見出さる。

ゆりごけ T. argutidens B. Y.

♀♂異株一五サメに至る、葉は鞘基より楕圓又倒卵急に錐形糸狀、頂に鋭齒あり、八ケ岳に產し又下野國に見出さる。

まるだいごけ屬 Tetraplodon Bryol. eur.

好んで動物性の排泄物の上に生ず、蒴は直立殆圓筒形、頸は蒴よりも長く熟後成長して倒卵形、圓錐形、梨形等となり褐赤又黑赤色を呈す、蓋は鈍頭、葉は長披針又倒卵圓形錐狀、頂生葉の腋に棍棒狀の毛あり、♀♂同株、六種地上に生ず本邦に其二を見る。

まるだいごけ T. angustatus (L. Sw.) Br. eur.

柄短2—3ミメ、葉は楕圓狀錐形、上半に疎齒あり、肋は錐形の頂に消ゆ、本土及北海道の高山に產す、亞、歐、北米に分布。

はなしまるだいごけ T. bryoides (Zoeg.) Lindb.

前種に比し柄長く1—3サメ、葉は倒卵形突然曲れる黃

色の錐形となる尖邊、肋はより强し、產地同上、亞弗利加にも分布。

ひかりごけ科 Schistostegaceae

♀♂異株、柄直立、蒴は殆球狀、蘚齒欠く、植物小にして岩穴に生じ光を放つ、糸狀體永存、一屬あり。

ひかりごけ屬 Schistostega Mohr.

一種を產するのみ。

ひかりごけ S. osmundacea (Dicks.) Mohr.

葉は二列、葉基互に結合、斜に横に着生、助なし、本土及北海道の山地に普通、歐及北米に分布せり。

よつばごけ科 Georgiaceae

♀♂同株、蒴直立、蘚齒は四、葉は 3 — 5 列、本土に一屬あり。

よつばごけ屬 Georgia Ehrh.

朽木上に生ず、葉は卵披尖邊、蒴は圓筒形氣孔なし、莖端にある心狀苞葉内にれんず狀の孵芽を生ず、四種を含み本邦に其二を見る。

ありのをやり G geniculata (Girg.) Lindb.

次種に似たるも柄は膝曲、上部粗なり、本土一樺太に產し、北米及亞細亞に分布。

よつばごけ　G. pellucida (L.) Rabh.

三サメ、柄一五ミメ、赤色平滑、葉は廣卵披坌邊、肋は頂又頂下、九州—北海道に產す、亞、歐、北米に分布せり。

かさごけ科　Bryaceae

地上、岩上、樹上、屋上等に生ず、蒴は多く傾き頸及氣孔あり、柄長し、葉は多列、上部の細胞は菱形又六邊、基部に長方—方形、本邦に二亞科九屬あり。

屬名檢索表

1 { 花は側出の短枝上に生ず……2
　 { 花は頂枝上に生ず、蘚齒二重……3

2 { 花は側生又頂生、內蘚齒欠く……カタバゴケ屬
　 { 花側生、外蘚齒なし……ホソバゴケ屬

3 { 蒴直立、葉細胞は上方に斜方—長六邊……ウリゴケ屬
　 { 蒴は高背、水平……4

4 { 葉は多列……5
　 { 葉は3—4列、側生のものと背生のものと形異る……アカスヂゴケ屬

5 { 上部の葉細胞菱形—六邊、線形ならず……6
　 { 上部の葉細胞狹斜方—線形……8

6 { 氣孔顯生……7
　 { 氣孔隱生、多くは口輪なし……チョウチンマゴケ屬

7 { 莖は根狀の匐枝あり、子囊多出……カサゴケ屬
　 { 子囊單一……ハリガネゴケ屬

8 { 莖は梢に葉あり……………………………………………………9
　 { 莖莢狀に葉あり……………………………ギンゴケモドキ屬

9 { 纖毛は附屬物なし……………………………………ヘチマゴケ屬
　 { 纖毛は附屬物あり……………………………………ナシゴケ屬

ほそばごけ亞科 Mielichhofericae

花は概ね側面の短苗上に生ず、蘚齒單一又は欠く、本邦に一屬あるのみ。

ほそばごけ屬 Mielechhoferia Hornsch.

葉細胞は長菱—線形、基脚に疎にして短長方—方形、九七種山地の地上又岩上に生ず、本邦に三種を產す。

かたはごけ M. Fauriei Broth.

葉は線披漸尖頂に小齒牙あり、肋は頂、蒴は長楕圓棍棒狀、頸あり、柄二五ミメ、直立、本邦中部の高山に產す。

ほそばごけ M. japonica Besch.

蒴直立、線條あり、齒なし、北海道に產す。

こしのしんじごけ M, Sasaokae Broth.

葉は狹長披針形銳尖、上方に銳齒あり、肋は殆完全、越中に產す。

かさごけ亞科 Bryeae

花は頂生、蘚齒二重、蒴は直立せず、本邦に八屬を產す。

へちまごけ屬　Pohlia Hedw.

地上、岩上、樹上等に生ず、蒴は倒卵圓ー棍棒狀、蘚齒の纖毛は附屬物を有せず、莖は赤色、葉は披針又線披、細胞は狹菱六邊ー線形、基部にて僅に疎なり、一一七種を含む、本邦產一九を數ふ、多くは♀♂異株なり。

くさへちまごけ　P. annotina (Hedw.)

二サメ、蒴は長楕圓長き棍棒狀の頸あり、柄四サメに至る、上葉は線披銳く尖る頂に齒あり、肋は赤色頂又頂下、若き植物は孵芽に富む、石槌山に產し亞、歐、弗、北米に分布。

まきはへちまごけ　P. crassidens (Ldb.)

ヘチマゴケに似たるも♀♂異株、蒴は廣楕圓頸短し柄は四五ミメに至る、上葉線披頂に齒あり緣は强く反卷、肋は下葉に短く上葉に短剛毛となる、歐に分布。

つやへちまごけ　P. cruda (L.) Ldb.

２—５サメ、蒴は廣楕圓短頸、柄三サメ位、下葉全邊、上葉狹披針にして長く尖る、頂にはなれて銳齒あり、肋は頂下、本土及北海道に產し全世界に分布せり。

ぬまみすごけ　P. densiretis Broth.

五サメ、蒴は廣楕圓、柄は二五ミメ位、葉は狹披針中上に甚疎に齒あり殆全邊、肋は頂下、上部の細胞菱形透明、仙臺の特產。

こぬまみすごけ　P. d. var. breviseta Broth.

莖ふじて一五ミメ、蒴はより小、柄一サメ位曲折、仙臺の產。

ながへちまごけ P elongata Hedw.

蒴は棍棒狀同長の頸あり、柄四サメに至る、梢葉は狹線披銳く尖る、遠く下方へ銳齒あり、肋は短く伸出、四國—北海道の高山に生ず、亞、歐、弗、北米に分布。

きへちまごけ P. flavescens Card.

葉は狹披針、細胞は線形、ユワウザンゴケよりも莖高く、網はより密なり、四國の劍山に產す。

ほそへちまごけ P. gracillima Card.

莖纖長、糸狀、葉は披針漸尖全邊、肋は全長叉伸出、本土の高山に產す。

ひろはみすごけ P. kominatensis Besch. et Card.

オホヘチマゴケに似たり、葉は三角披針、頂により多く小齒あり、肋は殆頂、柄は短し、小湊の產。

ゆわうざんごけ P, Lescuriana (Sull.)

二サメに至る、蒴は小、廣楕圓、頸は短し、梢葉は長披針多少中縁に反捲、やゝ鈍齒あり、肋は頂下、北海道に產し北米に分布せり。

ぬまごけ P. longicollis (Sw.)

五サメ、♀♂同株、蒴は長楕圓、頸は蒴よりも少短、柄は四サメに至る、葉は廣卵披中上に齒あり、肋は頂下、本土の高山に產し亞及歐に分布。

へちまごけ P. nutans (Schreb.)

♀♂同株、蒴は倒長卵又長き楕圓頸短し、柄は四稀に八サメに至る、上葉は線披頂に齒あり、肋は頂下又頂、稀に伸出、九州一樺太の產、全世界に分布。

こへちまごけ　P. n. var, clavata Broth.

前種に似て蒴は棍棒狀、陸前深沼の產。

をたるみすごけ　P. otaruensis Card.

♀♂異株、ヘチマゴケよりも葉はより狹長、線披、♀花葉はより狹く殆全邊、蒴も柄も短し、小樽產。

こしのみすごけ　P. panperata Card.

ヘチマゴケに近し、♀♂異株、蒴狹く、間毛短し、妙高山に產す。

こばのみすごけ　P. revoluta Card.

葉は狹三角披針、肋は强く頂又やゝ伸出、頂に小齒あり、本土に產す。

おほへちまごけ　P. revolvens Card.

マキハミスゴケに近し、葉はより狹長、線披頂明に齒あり、緣は上方まで狹く反捲、肋は頂又頂下、本土の高山に產す。

けへちまごけ　P. scabridens (Mitt.)

蒴は楕圓狀廣楕、柄は赤色長し、葉は披針銳尖、頂に小齒あり、肋は頂、臺灣一本土の產。

こまのみすごけ　P. seoulensis (Card.)

キヘチマゴケに似て葉廣く披針形、網はより疎、細胞やゝ廣し、朝鮮の產。

まるはみすごけ　P. subcarnea Schmp.

葉卵披、細胞疎、六邊、肋は赤色頂下、本土に產す。

ちやうちんまごけ屬 Mniobryum (Sch. ex P.)

♀♂異株、蒴垂下、短梨形廣口、陷沒氣孔あり、莖は赤色、葉は披針—披針線形、細胞は疎なり、一七種地上に生ず、本邦產三種あり。

ちやうちんはりがねごけ M. albicans (Wahl.) Limpr.

２－８サメ、蒴は廣楕圓、頸殆直立、柄四サメに至る、葉は楕圓狀廣く尖る、頂にはなれて齒あり、肋は頂下、九州—本土に產し、全世界に分布せり。

ほそばちやうちんまごけ M. carneum (L.) Limpr.

二サメ、前種よりも葉狹く楕圓狀披針下延せず、柄短、二サメなるを以て分つ、四國に產し、亞、歐、非、北米に分布せり。

こちやうちんまごけ M. columbicum (Kindb.) Broth.

更に小、柄は前種よりも長く二五ミメに至る、蒴は短廣楕圓、頸は長し、葉は下延、長楕披針頂短く銳尖中に齒あり、肋は頂、本土に產し北米に分布せり。

あかすぢごけ屬 Epipterygium Lindb.

♀♂異株、蒴は卵圓短頸、柄赤色長し、葉は側列と背列と形異なり、細胞は疎にして長菱—六邊、緣に甚狹長多列の舷をなす、肋は赤色、地上に生ずる一サメ位の小蘚、一三種を含み本邦に共二を產す。

あかすぢごけ　E. nagasakense Broth.

蒴は廣楕圓、同長の頸あり、葉は廣楕又長楕微尖あり、上部に齒あり、舷五列、肋は中央又頂下に終る、九州に產す。

をんせんごけ　E. thermale (Besch.) Broth.

蒴は梨形、葉は卵形漸尖鈍頭、全邊、舷なし、本土に產す。

うりごけ屬　Brachymenium Schwgr.

♀♂異株又同株、蒴は整齊、外齒白色又上部のみ無色なり、柄長く直立、地上又樹上に生じ一二九種を含む、本邦に共四を見る。

うりごけ　B. clavulum Mitt.

♀♂同株、蒴は長楕圓狀廣楕圓柄の方に漸尖、葉は長卵披又廣楕披針、肋殆頂又毛狀全邊の頂に伸出、舷は單列、本土に產す。

ほそうりごけ　B. exile Doz. et Molk

♀♂異株、蒴は卵狀壺形、葉は卵形又卵形全邊、凸頭部に齒牙あり、肋は綠色伸出、舷は不明、臺灣產、印度及諸島に分布。

えぞうりごけ　B. Nordenskiordii Besch.

蒴は倒卵梨形、葉は卵形頂凸頭齒あり、舷は二列、肋は赤色伸出、本土の各地に產す。

ひめうりごけ　B. Weisiae (Hook.) Harv.

ホソウリゴケに似たるも蒴は卵形、短頸、葉は披針錐形全縁に強く齒あり、蒴柄は短し、本土に産し印度に分布。

ぎんごけもどき屬 Anomobryum Schimp.

♀♂異株、蒴は垂下卵圓—楕圓、莖は糸狀、葇荑狀に葉あり、葉は卵形—長卵形、細胞は上半に狹菱—線形、基部に甚疎、菱形六邊、四二種地上又岩上に生ず、本邦に四種を見る。

ぎんごけもどき A. cymbifolium (Ldb.) Broth.

葉は楕圓、頂圓く又微尖あり殆全邊又上方に微齒あり、肋は時として上部叉狀をなし中上に終る、蘚齒は不完全なり、四國及本土に産し印度及諸島に分布。

ひめぎんごけもどき A. japonicum Broth.

莖短小、一サメ、葉も甚小、長楕又卵狀の基より短く漸尖全邊、肋殆頂、本土に産す。

てりぎんごけもどき A. nitidum (Mitt.) Jaeg.

前種よりも大、肋は完全—伸出、蘚齒は完全、次種よりは小にして葉狹し、臺灣及印度産。

やすだごけ A. Yasudae Broth.

五サメ位、葉は下延、楕圓形にして鈍く尖る全邊、肋は頂、本土に産す。

なしごけ屬 Leptobryum (Bryol. eur.) Wils.

蒴は殆垂下し頸長く梨形をなす、柄は細く長く齒は二列、

外列は乳頭あり、內列無色、纖毛は長き附屬物あり、葉は披針錐形、細胞は長き線形、基部に長方形、三種地上に生ず、本邦に一種を見る。

なしごけ　L. pyriforme (L.) Wils.

蒴は梨形、柄長くして曲る、葉肋は完全、四國—北海道に產し殆全世界に見出さる。

はりがねごけ屬　Bryum Dill.

多くは♀♂異株、蒴は傾き頸あり、葉細胞は菱形又菱狀六邊、葉基に長方形、舷あり又なし、地上、岩上、樹上、等に生じ八百種以上に達す、本邦產既に五三種を算す。

たかねはりがねごけ　B. alpinum Huds.

六サメ、蒴は點頭倒卵—楕圓、柄二サメ濁紫赤色、葉は楕圓狀披針頂に不明なる齒あり、肋は頂又短く伸出、朝鮮產、亞、歐、弗、北米に分布。

あをもりはりがねごけ　B. aomoriense (Besch.)

葉は鈍頭全邊又時として弱く齒あり、舷あり、肋は殆頂、本土及北海道の產。

しろごけ　B. argenteum L.

銀白色の小蘚、蒴は楕圓、柄は赤色二サメ、下葉卵形にして尖り突然透明尖となる、梢葉は楕圓漸尖、舷なし、肋は短し、臺灣—北海道に產し全世界に分布。

わたごけ　B. a. var. lanatum Br. eur.

乾地生、柄短く葉長く、肋は透明の毛となり伸出、四國

及本土に產し全世界に分布せり。

こしのまごけ B. argyrobryoides B. et P.

纎長三サメ、葉は長楕一廣楕鈍頭、舷一列、全邊、肋赤色頂下、妙高山に產す。

くろはりがねごけ B. bicolor Dicks.

蒴黑赤色、柄は短し、葉は下延せず卵披銳頭全邊時に不明なる歯あり、舷なし、肋は頂に刺狀に終る、本土の產、亞、歐、弗、北米に分布。

ほそはりがねごけ B. caespiticum L.

蒴は殆圓筒形、柄は三五ミメに至る、上葉は卵披又楕圓狀披針形に尖る不明なる舷あり、全邊又不明なる歯あり、肋は伸出、四國一樺太の產、亞、歐、弗、北米及濠に分布。

はりがねごけ B. capillare L.

柄四サメに至る、蒴は棍棒狀一圓筒形、上葉は倒長卵一廣きヒ形突然毛狀となる、頂に弱く歯あり、緣舷あり、肋は頂下又伸出、九州一本土に產し亞、歐、弗、米に分布せり。

ながすじはりがねごけ B. c. var. Brotheri Iisiba.

肋は長く伸出す、赤城山に產す。

いんどはりがねごけ B. cellulare Hook.

蒴は圓筒又梨形、上葉長楕銳頭全邊、肋は頂下、印度の產。

からふとはりがねごけ B. cernuum (Sw.)

♀♂同株、蒴小、棍棒梨形、柄長く 3 — 5 サメ、葉に上

方に楕圓―長披針に尖る、舷あり、肋は頂叉短く伸出、樺太に産し亞、歐、北米に分布せり。

さじがたはりがねごけ　B. cochleatum Broth.

繊長、葉は下延、圓き基より鈍頭全邊、舷は一列、肋は殆頂、本土に産す。

さとはりがねごけ　B. compressidens C. Müll.

柄短、蒴は梨形短頸あり、葉は卵狀長楕短尖あり甚中凹全邊、舷なし、肋は頂、本土に産し印度及比島に分布せり。

ながばはりがねごけ　B. coronatum Schwgr.

蒴は長楕圓、柄紫色、長し、葉は長き長楕披針、全邊、肋は伸出、臺灣産、殆全世界に分布。

ぬまはりがねごけ　B. Duvalii Voit.

蒴は倒卵―廣楕、柄長く赤色六サメに至る、葉は卵形―卵披短く尖る全邊、舷不明、肋は頂下、本土に産し亞、歐、北米に分布せり。

たかさごはりがねごけ　B. formosanum Broth.

蒴は梨形柄短、莖甚短、葉は廣截形の基より漸尖稍鈍頭、肋頂下、舷一列殆全邊、臺灣産。

ごうのはりがねごけ　B. Gonoi Broth.

葉小、廣楕圓、上方に長楕圓鈍頭、時に短突起あり舷1―2列帶黄色、中上に鈍小齒あり、肋は全長、四國及朝鮮産。

はすぢはりがねごけ　B. gracilens Card.

オホハリガネゴケより小、緣細胞三列、肋は凸頭部に微

齒あり、信州駒ケ岳產。

こはがねりごけ　B. inclinatum (Sw.) Br. eur.

蒴は長卵—圓筒形，柄は2—4サメ、葉は下延せず、上葉は長披針長く尖る、舷3—5列頂に少齒あり肋は伸出赤色、北海道に產し亞、歐、弗、北米に分布。

かはぎしごけ　B. japonense (Besch.) Broth.

蒴は膨れたる梨形、葉は楕圓舟形全邊叉頂に齒あり舷あり、肋は頂下、臺灣—北海道產。

こまはりがねごけ　B. Komagatakense Card.

♀♂雜生、コハリガネゴケに近し、蒴はより短く厚く纖毛は長し、信州駒岳に產す。

みねはりがねごけ　B. lautum Card.

ゴウノハリガネゴケに近し、葉は卵形、舷あり叉不明、肋は頂、八甲田山に產す。

ながはりがねごけ　B. leptocaulon Card

コハリガネゴケに近し、莖纖長四サメ、葉は下延長楕披針漸尖、肋は伸出、舷二列、臺灣產。

つくしまごけ　B. liliptanum Broth.

葉小、舷なし鋭頭、卵披叉長卵全邊、肋は伸出、熊本に產す。

ちしまはりがねごけ　B. Mayrii Broth.

♀♂雜生、蒴は短梨形、柄短、葉は長楕圓、長芒あり、脈は芒狀、舷は黃色、葉頂微齒あり、北海道に產す。

うちははりがねごけ　B. mollissinum B. et Y.

コシノハリガネゴケに似たり、葉は下延やゝ匕形に凹む、廣楕圓、圓き鈍頭全邊、肋は頂下、舷１－２列、本土の特產。

ながさきはりがねごけ　B. nagasakense Broth.

蒴長楕圓、柄二サメ、莖甚短、葉は廣長楕又倒卵長楕やゝ鋭尖、頂に微齒あり、舷やゝ廣く黃色、肋は芒狀に伸出、九州及本土に產す。

あらははりがねごけ　B. n. var laxifolium Broth.

葉は疎、より狹く、舷もより狹く２－３列、石槌山特產。

こたかねはりがねごけ　B. nano-alpinum Card

莖甚小、蒴は廣楕、柄二サメ、葉は披針長く漸尖剛毛全邊、肋赤色短く伸出、本土の產。

つやまごけ　B. nitens Hook.

蒴は狹梨形、葉は披針鋭頭、不明に舷あり、肋短く伸出、本土の產、印度及諸島に分布。

へらまごけ　B. obtusifolium Lindb.

蒴垂下正形、植物やゝ大、４－７サメ，葉は廣楕圓、圓き鈍頭、全邊、舷なし、肋は頂下、北海道產、亞、歐ʼ北米に分布。

えぞはりがねごけ　B. pallens Sw.

植物は３－４サメ位、蒴梨形、柄１－４サメ、葉は狹楕－倒長長卵、肋は剛毛狀伸出、舷は２－３列褐色、頂不明に齒あり、本土に產す、亞、歐、米に分布。

ちやぼはりがねごけ　B. pallescens Schleich.

♀♂同株、蒴は楕圓一梍棒梨形、柄三サメに至る、上葉に下延せず卵披長く尖る全邊、舷3—5列、肋は伸出(下葉にて頂下)本土—樺太産、亞、歐、北米に分布。

さいしゆうはりがねごけ B. p. var querpaertense Card.

蒴殆直立、蘚齒のらめら多數20—28、朝鮮に産す。

こばのはりがねごけ B. parvifolium Card.

♀♂雜生、葉は舷あり又なし、小にして中凹、肋は狹くして頂下—伸出、未だ本種を見ず信州御嶽に産すといふ。

しだれはりがねごけ B. pendulum (Hornsch.) Shimp.

蒴は楕圓又珠狀卵形、柄四サメ以上、上葉は下延せず長卵—卵披、短尖あり頂に齒あり、舷狹く肋は黄色の芒となり伸出、九州、樺太及北海道産、亞、歐、北米に分布。

あきたはりがねごけ B. poeciloblepharum Card.

チヤボハリガネゴケに似て細胞狹長なりといふ、未だ本種を見ず、秋田産。

やまはりがねごけ B. pseudoalpinum Besch.

蒴は後黒色、蓋は乳頭あり鈍く短く尖る、葉緣反曲、肋は赤色ならず長く伸出以てタカネハリガネゴケと分つ、九州及本土の産、印度に分布。

たいわんまごけ B. ramosum (Hook.) Mitt.

ツクシハリガネゴケに似たるも葉下延せず廣舷あり、臺灣産、印度及諸島に分布。

まるばはりがねごけもどき B. rotundatulum Br.

次種と同一?葉は狹長楕圓、仙臺附近産。

まるばはりがねごけ　B. rotundatum Broth.

葉は舷あり、類圓形頂鈍圓、全邊、下延せず、肋は頂、淺き流水中の岩石に附着すること多し、本土及北海道に產す。

おほたかねまごけ　B. Schleicheri Schwgr.

3―10サメに至る、蒴は短頸より長き倒卵又廣楕圓、柄長く六サメに至る、上葉は下延廣卵又楕圓狀披針長く尖る、舷3―5列、全邊又頂に弱く齒あり、肋は短く伸出、白馬山の產、亞、歐、弗、北米に分布。

まきはまごけ　B. subcyclophyllum Card.

蒴小、長楕圓梨形又圓筒形、蘚齒基赤色、らめら多數27―32、葉緣反捲、對島及北海道產。

しろさやまごけ　B. symblepharum Card.

アキタハリガネゴケに近し、全體より小、蒴も小、青白色、らめら18―23、又コハリガネゴケに似たり、本土產。

たいつむはりがねごけ　B. taitumense Card

葉は舷あり、廣卵披短く尖る、肋は長く伸出、葉緣に弱く齒あり、ハリガネゴケに近し、臺灣に產す。

ねぢれはりがねごけ　B. torquescens Br. eur.

蒴は長き倒圓錐又棍棒狀、暗褐色、柄赤色三サメ、葉は乾けば螺旋狀によれる、上葉は倒長卵―篦形舌狀全邊、頂に不明なる齒あり、舷は黃色狹し、肋伸出、濠州の外全世界に分布。

とさのはりがねごけ　B. tosanum Card.

ハリガネゴケに似たり、蒴圓筒形、頸長し、葉は明に舷あり、乾くもよれず、四國に産す。

おほはりがねごけ　B. ventricosum Dicks.

3—10サメに至る、蒴棍棒狀、頸長し、柄紫赤色長し、八サメに至る、上葉は下延、楕圓漸尖、舷廣し、頂に弱く齒あり、肋は頂又短く伸出、北海道及本土産、亞、歐、弗、北米に分布。

なんぶまごけ　B. v. var. obtuso-mucronatum Card

肋は鈍く微凸頭に伸出、北日本産。

ほそべりまごけ　B. v. var. vestitum Broth.

七サメ、葉は長く下延、長楕圓形、頂に小齒あり、舷は2—3列、北海道及本土の産。

つくしはりがねごけ　B. Wichurae Broth.

六サメ、カサゴケに似たり、上葉長楕篦形短尖あり、上方に小齒あり、舷は狹き多列の細胞よりなる、肋は短芒となる、臺灣—四國産。

かさごけ屬　Rhodobryum (Schimp.) Hpe.

♀♂異株、蒴は圓筒形、柄1—3出、紫色、齒は二列、繊毛は附屬物あり、莖は地下に繊匐枝を生ず、上葉は集まりて花形をなす、篦狀にして舷あり、四三種地上に生ず、本邦産二。

おほかさごけ　Rh. giganteum (Hook.) Par.

次種に近し葉は倒披針、肋は厚膜細膜群なし、九州—本

土及朝鮮に產し、支那、印度に分布。

かさごけ Rh. roseum (Weis) Limpr.

5—10サメ、蒴は倒卵—楕圓、短頸、莖葉は長披針、肋頂下、上葉は倒長卵—篦形、上方に鋭齒あり、肋の斷面は厚膜細胞群あり、臺灣—北海道產、亞、歐、北米に分布。

ちやうちんごけ科 Mniaceae

多くは♀♂異株、花は頂生、蒴は多くは傾き頸上に陥沒氣孔あり、蘚齒二列、葉は下部に小、鱗狀、上部に大、時に花形に排列、肋は頂に達せず、葉細胞は圓形—六邊、緣に小さくなる、本邦二屬あり、

たちちやうちんごけ屬 Orthomniopsis Broth.

兩性、蒴は後直立、圓筒形、纖毛は附屬なし、蓋の長嘴あり、葉は密に褐毛あり、葉は全邊、肋は頂に達せず、一種あり。

たちちやうちんごけ O. japonica Broth.

蒴は初傾く長圓筒、柄黃色一五ミメ、葉は下延せず短篦形の基より廣卵—倒卵形圓頭全邊、舷黃色、四國特產。

ちやうちんごけ屬 Mnium (Dill. xt P.) L.

兩性異♀♂異株稀に同株、蒴は傾き長卵圓形、葉は上部に大、或は花形をなす、細胞は圓—六邊稀に長し、七九種

地上、岩上、樹上等に生す、本邦產既に四三種を知らる。

こからくさごけ M. affine Bland.

蒴は楕圓形垂下、柄赤色二五稀に五〇ミメ、莖葉は上方に花形をなす、倒卵舌狀又篦形、短尖あり、肋は頂又頂下、縁は長齒あり上部の細胞は大なり、九州、本土、北海道に產し亞、歐、弗、北米に分布。

せいたかからくさごけ M. a. var. elatum Lindb.

丈高く莖細く芽は直立、北海道に產す、亞、歐、北米に分布。

きだちつぼごけ M. arbusculum C. M.

ツルチヤウチンゴケに似たり、蓋は嘴なく氣孔は只蒴頸にのみ存するを以て別つ、葉は楕圓凹頭縁に一列に齒あり、舷あり、細胞は平滑なり、四國及本土に產し支那に分布せり。

ゆがみちやうちんごけ M. arcuatum Broth.

不熟の植物は弓形に曲る、葉は長楕短く漸尖やゝ鋭尖、中上に粗齒あり、舷なし、肋は頂、細胞は平滑なり、四國、本土、朝鮮、支那に產す。

たかねちやうちんごけ M. cinclidioides (Blytt.) Hüb.

蒴は廣楕、柄は5—8サメ、葉は圓基より卵狀又廣楕圓にして長く圓く微尖あり又はなし、全邊又隔りて鈍齒あり、舷あり、肋は頂下、本土に產し亞、歐、北米に分布せり。

つぼごけ M. cuspidatum (L.) Leyss.

蒴は廣楕又倒卵、柄短し、蓋は嘴なし、氣孔は頸にのみ

存す、葉は倒卵又楕圓にして短尖あり、一列に齒あり、舷あり、肋は頂又頂下、細胞小にして厚し、九州、本土及北海道に産し、亞、歐、北米に分布。

とげはちやうちんごけ　M. decrescens Schmp.

葉は倒卵箆形短尖あり、頂に透明の二細胞よりなる刺狀の齒あり、肋は頂又頂下、舷は5—6列、本土に産す。

つぼごけもどき　M. dubitatum Card.

ツボゴケに似たるも♀♂異株なり又コツボゴケに似たるも葉形異なり、朝鮮産。

えぞちやうちんごけ　M. flagellare S. et L.

蒴は長楕圓、柄二サメ、莖頂、又♀花葉等に纖枝を生ず、葉は長楕圓やゝ鈍頭、中央以下まで二列に齒あり、舷あり、細胞は密に疣あり、肋殆全長、四國—樺太産、亞及北米に分布。

たいわんちやうちんごけ　M. formosicum Card.

葉は廣卵又楕圓狀長楕頂圓し、緣に小齒あり、肋は頂下、舷は黄色、臺灣の産。

おほやまちやうちんごけ　M. hornum L.

蒴楕圓又倒長卵、柄2—5サメ、葉は楕圓にして尖る、中下まで二列に齒あり、肋頂下、舷あり、細胞は疣あり、蓋は嘴なし、本土及北海道産、歐、非、北米に分布。

ながばちやうちんごけ　M. japonicum. Lindb.

蒴長楕圓、頸に氣孔あり、葉は菱狀倒卵漸尖一列に齒あり、舷は廣し、肋は頂下、鋸齒は毛狀、九州—本土に産す。

かはでちやうちんごけ　M. Kawadei Okm.

葉は長楕圓鈍頭全邊、肋は頂、舷は狭し、小笠島の產。

あまぎちやうちんごけ　M. Kiyosii Okm.

オホハチヤウチンゴケに似て葉やゝ心形又は卵狀長楕鈍頭時に凹頭、肋は短突起となり伸出、舷は黃色廣し、本土に產す。

なめりちやうちんごけ　M. laevinerve Card.

葉は舷あり、二列に齒あり、細胞に乳頭なし、肋は頂、蓋は曲嘴あり、ミヤマチヤウチンゴケに似たるも肋背に齒なく、蒴短く頸長し、四國一北海道及朝鮮に產す。

したばちやうちんごけ　M. lingulifolium Card.

ツルチヤウチンゴケに似たり、葉は舷あり、緣に一列に齒あり、葉形線狀舌形鈍頭短突起あり又やゝ漸尖にして凹頭ならず、本土及朝鮮、支那に產す。

のこぎりちやうちんごけ　M. marginatum (Dicks.) Palis.

♀♂同株、蒴長楕圓、頸短、柄は2－3サメ、蘚齒は赤褐色、葉は卵－楕圓にして尖る、肋背に刺なし、舷は五列に至る、緣は二列に齒あり、亞、歐、北米に分布。

つるちやうちんごけ　M. Maximowiczii Lindb.

蒴は卵狀楕圓、蓋に嘴あり、柄は四五ミメ、に至る、葉は舌狀長楕凹頭、小胞狀の齒あり、上部の葉細胞甚小、舷は五列に至る、九州一北海道及支那に產す。

おほちやうちんごけ　M. medium Bryol. eur.

蒴は廣楕一殆倒卵、蓋に嘴なし、柄六サメ、に達す、葉

は舷あり、一列に齒あり、圓き卵形又廣楕圓短く尖る、肋は頂又頂下、細胞は上部に大、乳頭なし、北海道產、亞、歐、北米に分布。

はちぢやうちやうちんごけ　M. microblastum Broth.

葉下延、倒卵、芒あり、肋は長芒狀伸出、上方に鋭齒あり、舷黃色四列、八丈島に產す。

こばのちやうちんごけ　M. microphyllum D. et M.

蒴卵形、蓋は半球狀、疣あり、柄三サメ位、葉は長楕披針鋭尖、上部不正に齒あり、肋は短く伸出、細胞は乳頭あり、葉舷なし、九州一北海道產、淸國に分布。

こうちはちやうちんごけ　M. minutulum Besch.

肋は頂下、葉は廣き圓き匕形鋭尖、全邊、舷あり、細胞は六邊、大、葉緣多し、下方により長く透明、本土及北海道に產す。

へりとりちやうちんごけ　M. Nakanishikii Br.

葉は廣楕長楕圓、凹頭又突起あり、緣に小胞狀の小齒あり、肋は頂下、舷は二列、上部の細胞小、舷細胞の疎大なる事殊徴なり、九州一本土に產す。

みやまちやうちんごけ　M. orthorrhynchum Brid.

蒴長楕、蓋に嘴あり、蘚齒黃色、柄二五ミメ、葉は長卵一楕圓にして尖り中上に重齒あり、肋は赤色、頂、肋背に刺あり、舷赤色、細胞平滑、臺灣一樺太產、亞、歐、弗、北米に分布。

うちはちやうちんごけ　M. punctatum (L. Schreb.) Hedw.

蒴楕圓、蓋に嘴あり、柄は2—4サメ、梢葉は倒卵匕形、圓頭又甚短尖あり、全邊、舷2—4列、肋は頂下又伸出、細胞大、圓き六邊、殆全國に產す、亞、歐、非、北米に分布。

せいたかちやうちんごけ　M. p. var. elatum Sch.

一〇サメ、葉大、莖は密に赤毛あり、歐、北米に分布。

すぎばちやうちんごけ　M. radiatum Wils.

葉は舷あり、狹長楕やゝ下方まで二列に疎齒あり、細胞は大なる乳頭あり、八ケ岳方面產、又長崎にも之を產すといふ。

ながはしちやうちんごけ　M. rostratum Schrad.

蒴は廣楕及楕圓、蓋に長嘴あり、柄2—4サメ、葉は倒卵—廣き舌狀匕形、短尖あり、中下まで一列に鋭齒あり、肋は尖頭に終る、上部の細胞小、九州—北海道產、殆全世界に分布。

こちやうちんごけ　M. sapporense Besch.

蘚齒黃色、蓋に嘴なし、葉は卵狀楕圓漸尖、舷あり、二列に齒あり、肋は頂又伸出、細胞平滑、九州、本土及北海道に產す。

さわだちやうちんごけ　M. Sawadae Card.

前種に似て葉は披針、枝葉は卵形急に短く漸尖上方に小齒あり、肋は全長、背に刺なし、本土に產す。

へらちやうちんごけ　M. spathulatum Mitt.

蒴は卵狀廣楕、蓋は短嘴あり、柄長し、葉は長楕卵形、

上部に廣楕篦形鈍頭、舷三列、小齒あり、肋は少しく凸出、上部の細胞小にして圓し、九州―本土に產し亞細亞に分布。

かしははちやうちんごけ　M. speciosum Mitt.

蒴長楕短頸、楕葉は長隋披針、肋は頂又伸出、舷四列、鈍頭全邊、四國及本土に產す。

ほしがたちやうちんごけ　M. stellare Reich.

蒴楕圓―倒卵、蓋に嘴なし、柄三五ミメ、葉は廣楕―楕圓鋭尖、中上に短鈍齒あり、肋は頂下、舷はなし、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

すぢちやうちんごけ　M. striatulum Mitt.

蒴は長楕、空しくなれば一六の襞あり、柄細長、蓋に嘴あり、楕葉倒卵、短突起あり、全邊、舷あり、肋は頂下、九州―本土に產す。

まるばちやうちんごけ　M. subglobosum Br. eur.

蒴は倒卵―殆球狀廣楕、蓋に直嘴あり、柄五サメに至る、葉は倒卵、圓頭、全邊、舷1―3列、肋頂下、細胞はウチハチヤウチンゴケに似て疎、朝鮮產、亞、歐、北米に分布。

あつばちやうちんごけ　M. succulentum Mitt.

ツルチヤウチンゴケに比し上部の葉細胞大にして厚からず、緣に鈍小齒あり、九州―本土の產、印度及諸島に分布。

ひめちやうちんごけ　M. Thomsonii Sch.

蘚齒黃色、葉は狹長楕圓、肋は赤色伸出、葉舷あり、緣は中央以下まで二列に齒あり、細胞平滑、コチヤウチンゴケに似たれど蓋に嘴あり又肋背に刺あり、九州―北海道產、

淸國及印度に分布。

こつぼごけ M. trichomanes Mitt.

蒴は印狀長楕、柄は二サメ、葉は長楕圓鋭尖やゝ漸尖、舷あり、緣に一列に齒あり、肋は伸出、臺灣—北海道產、淸國及印度に分布。

なみがたちやうちんごけ M. undulatum (L.) Weis.

蒴廣楕又長楕圓、柄は四サメに至る、葉は舌狀又は篦形舌狀、短尖あり、肋は頂、緣に鋭齒あり、舷3—5列、上部の葉細胞小にして厚し、本土產、亞、歐、弗に分布。

おほばちやうちんごけ M. vesicatum Besch.

葉は殆全邊、只小胞狀の細胞により齒狀をなす、長楕舌狀短尖あり、舷は3—4列、九州—北海道產。

ひのきごけ科 Rhizogoniaceae

♀♂異株稀に同株、柄長く蒴は短頸あり、頸に氣孔あり、莖直立、葉は披針—線披、單齒又重齒あり、細胞は圓き六邊、肋は頂、本邦に一屬を見る。

ひのきごけ屬 Rhizogonium Brid.

蒴は長卵—圓筒形、外齒は雁木狀の總線及らめらあり、內齒に乳頭あり、葉緣は肥厚、肋は多く伸出、二七種地上又樹上に生ず、本邦に四種あり。

ひろばのひのきごけ Rh. badakense Fleisch,

二五ミメ、♀♂異株、蒴は長卵圓高背、內♀花葉は廣基

より突然に甚長狹錐形、一列に齒あり、葉は廣基より披針形短く尖る、中央以下まで鋭齒あり、肋は頂、九州―本土產、ジヤバに分布。

いたちのしつぽ Rh. Dozyanum. Lac.

六サメ內外、♀♂異株、蒴は圓筒形錐形、高背ならず、赤色、柄三五ミメ、莖は遠く上方まで毛あり、葉は長狹線披、中下まで双齒あり、肋は頂、九州及本土の產。

はりひのきごけ Rh. spiniforme (L.) Bruch.

二サメ位、♀♂雜生、內♀花葉は卵形又廣楕短き錐形に尖る、上葉は少しく廣基より狹線披漸尖、少し上より疎齒あり、肋は頂、臺灣―本土產、亞、弗、米、濠に分布。

こひのきごけ Rh. venustum Besch.

♀♂同株、蒴赤色卵形、柄三サメ、內♀花葉は卵披、一列に疎齒あり、やゝ廣基より甚狹き線披殆基まで双齒あり、肋は殆頂、九州及小笠原島に產す。

きだちはひごけ科 Hypnodendraceae

♀♂異株、蒴は卵圓―圓筒形、線條あり、外齒は雁木狀の縱線、らめら等あり、莖は有角圓柱形、主枝は直立、羽狀に分枝す、葉は多列、細胞は線形稀に長六邊、翼に分化、肋は單一、背に齒あり、本邦に二屬を產す。

きだちはひごけ屬 Hypnodendron (C. M.) Lindb.

蒴は圓筒形、線條あり、蓋は長嘴あり、主枝は毛葉なし、

二八種、樹幹、濕岩又地上に生ず、本邦に一種を見るのみ。

きだちはひごけ H. formosicum Card.

莖直立、樹狀、紫色、八サメ、に至る、葉は三角錐形全邊、又小齒あり。肋は頂又伸出、枝葉はやゝ狹し、肋もやゝ短、臺灣產、比島に分布。

きだちちやうちんごけ屬 Mniodendron Ldb.

蒴は圓筒形、線條あり、蓋は長嘴あり、第一枝は直立、密に褐毛あり、樹狀に分枝、少數の毛葉あり、枝葉は同形、襞あり、卵披長く尖る、細胞平滑、二五種を含み本邦に只一を見る。

きだちちやうちんごけ M. Korthalsii Br. jav.

枝は直立、樹狀又羽狀に分枝、蒴は卵狀長楕、蓋は曲嘴あり、葉は披針漸尖緣に棘狀の齒あり、肋なし、馬來半島に產す。

ひもごけ科 Aulacomiaceae

♀♂異株又同株、蒴は八肋あり、莖頂に孵芽あり、葉細胞小にして圓く厚くして乳頭あり、多くは地上に生ず、本邦に二屬あり。

ながみちやうちんごけ屬 Aulacomnium Hedw.

♀♂同株、♀花蕾狀、糸狀の線狀體あり、蒴は長形、葉細胞基部に分化せず、一種を產す。

ながみちやうちんごけ　A. heterostichum Hedw.

蒴圓筒形傾く、葉は倒長卵、鈍叉圓頭強く齒あり、細胞は低き乳頭あり、外形、チヤウチンゴケ屬に似たり、本土及北海道產、北米に分布。

ひもごけ屬　Gymnocybe Fr.

♀♂異株、♂花盤狀、棍棒狀の線狀體あり、蒴は卵形、葉細胞厚角、基部に疎、長方平滑、六種を含む、本邦に二種を見る。

おほひもごけ　G. palustre (L.)

一〇サメ、蒴は長卵—卵狀高背、短頸あり、柄3—6サメ、葉は披針—線披銳尖、小鈍齒狀の齒あり、肋は頂、本土及北海道產、殆全世界に分布せり。

ふとひもごけ　G. turgidum (Wahlenb.)

二サメ、蒴は長卵、柄三五ミメに至る、葉は倒長卵叉篦形舌狀圓頭全邊、肋は頂下、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

たまごけ科　Bartramiaceae.

♀♂異株稀に同株、蒴は球形直立叉傾く、胞子大にして乳頭叉疣あり、葉は5—8列、卵披、舷なし、上緣に齒あり、細胞は帶圓方形—長方形、乳頭あり、本邦に三屬あり。

屬名檢索表

1 { 莖直立、花下に輪苗あり、葉は卵披、基細胞疎、蒴殆球狀……サハゴケ屬
莖は單條にして二列に分枝……2

2 { 葉は三稜あり、葉は披針－線披、肋は頂、葉細胞平滑……エゾタマゴケ屬
葉は八列、鞘基より線狀錐形、細胞は乳頭あり、蒴は傾く……タマゴケ屬

えぞたまごけ屬 Plagiopus Brid.

柄長く直立、紫色、蒴直立略球形、莖は三稜、叉狀又束狀に分枝、葉は披針又披針線形、上部に重齒あり、肋は頂、三種中一を本邦に見る。

えぞたまごけ P. Oederi (Gum.) Limpr.

蒴球狀、柄一五ミメ、葉緣は上半まで卷き遠く下方まで重齒あり、細胞は下部に長方、緣に短し、本土に產し、亞、歐、米に分布。

たまごけ屬 Bartramia Hedw.

♀♂同株、柄長く直立、蒴は球形、頸なく斜口あり、葉は八列、線狀錐形、一一〇種地上又岩上に生ず、本邦產五種あり。

たまごけ B. crispata Schimp.

リンゴゴケに近し、葉はより長く、齒はより銳くして双生せるを以て別つ、九州－北海道に產す。

みやまたまごけ　B. deciduaefolia B. et Y.

六サメ、葉は乾くも卷縮せず、鞘基より急に狹線形鋭頭、緣に齒あり、肋は頂、赤城山に産す。

はこねたまごけ　B. hakoniensis Besch.

植物は赤毛に被はる、葉は基上に透明、外旋、披針形に尖り全邊又齒あり、蒴柄二五ミメ、本土の産。

おほたまごけ　B. pomiformis (L. ex P.) Hedw.

八サメに至る、柄二サメ、葉は鞘狀ならず、楕圓狀披針錐形、頂と肋背に粗齒あり、肋は芒狀に伸出、細胞は上部に方形、基部に長方一線形、九州、北海道及樺太産、殆全世界に分布。

りんごごけ　B. p. var. crispa Schpr,

柄直立、短く、葉は長き錐形部に粗齒あり、肋は頂、九州及本土の産、亞、歐に分布。

さはごけ屬　Philonotis Brid.

♀♂異株稀に同株、蒴は傾き球狀不整齊、頸及線條あり、莖は直立、花下に苗を輪生す、葉は卵披、細胞は頂に長形一短長方時として菱形稀に5—6邊、基部に疎、肋は頂又伸出稀に頂下、一七四種多くは濕地生、本邦産二五種。

ふながたさはごけ　Ph. carinata Mitt.

蒴は球狀、柄赤色三サメ位、葉は卵形やゝ鈍き鋭頭、緣に微小齒あり、本土の産。

てうせんさはごけ　Ph. coreensis Card.

肋は頂又短く伸出、葉は卵披、細胞は葉緣多し、朝鮮産。

かまさはごけ Ph. falcata (Hook.) Mitt.

サハゴケに近し、葉は披針形長く尖る緣に弱く齒あり、肋は頂、細胞は狹長方、九州、本土及朝鮮産、亞、北米、南米に分布。

いとさはごけ Ph. floribundarioides Broth.

葉は狹披針緣に疎齒あり、基全邊、肋は頂下、植物は纖長、糸狀、別屬の如し、本土に產す。

さはごけ Ph. fontana (L.) Brid.

10—20サメ、蒴は卵球狀、柄七サメ位、葉は卬披漸尖上方に齒あり、肋は伸出、九州、本土及北海道產、亞、歐、弗、北米に分布。

たかさごさはごけ Ph. Griffithiana (Wils.) Mitt.

蒴は殆球狀、頸なし、內齒を欠く、柄は二五ミメに至る、葉は卵狀漸尖銳尖、緣に銳齒あり、頂まで卷く、肋は伸出、臺北產、印度に分布。

こさはごけ Ph. japonica Besch.

小植物、蒴柄四サメに至る、葉は戟狀錐形、枝葉は卵披稍小齒あり、細胞は長方透明、乳頭あり、基脚に方形ならず、肋は伸出、四國及本土產。

ながばさはごけ Ph. lancifolia Mitt.

蒴球狀、柄長し、葉は狹楕披針漸尖、緣は外旋、小齒あり、細胞は乳頭あり、基部にやゝ方形、肋は伸出、九州—本土に產す。

ちやぼさはごけ　Ph. laxiretis Card.

七ミメに至る、フナガタサハゴケに似たり、肋は頂下、頂裏に少しく小齒あり、葉は披針、縁に小齒あり、細胞は乳頭あり、本土に產す。

ほうらいさはごけ　Ph. laxissima (C. M.) B. et L.

前種よりも纖長、柄二サメ位、葉も小、肋は頂下、細胞甚疎、透明、臺灣產、亞、弗に分布。

ながくびさはごけ　Ph. longicollis (Hamp.) Mitt.

蒴は長頸あり、圓筒形、葉は錐形、廣披針、舷なし、上方に齒あり、肋完全又短出、細胞平滑、亞細亞に分布。

ひめさはごけ　Ph. marchica (Willd.) Brid.

蒴水平球狀、柄3—5サメ、葉は楕圓狀披針、上方に齒あり、肋は短く伸出、細胞は長方形基部に方形ならず、植物やゝ大、本土及朝鮮產、亞、歐、弗、北米に分布。

おほぬまたまごけ　Ph. palustris Mitt.

♀♂同株、蒴は水平球狀、柄三サメ、以內、赤色、葉は披針、縁に齒あり、肋は短く伸出、臺灣一本土產。淸國に分布。

おほさやさはごけ　Ph. radicalis (Palis.) Brid.

前種に近し、♀♂同株、蒴は大、柄三サメ、葉狹披針、縁は卷かず、單齒あり、肋は突頭に伸出、細胞狹長透明、臺灣及朝鮮產、北米に分布。

ぬまたまごけ　Ph. Savatieri Besch.

植物小、♀♂同株、柄短、二サメ以內、葉は狹披針漸尖、

小齒あり、肋は全長、少しく曲折、細胞は狹長なり、九州一本土の產。

こつくしさはごけ Ph. socia Mitt.

植物小、蒴は球狀、柄三サメ以內、葉は狹卵披、緣に小齒あり、細胞狹長、基部に方形、肋は伸出、臺灣一本土產、支那に分布。

ほそさはごけ Ph. tenuissima Card.

植物甚纖長、コサハゴケの細きものに似たり、葉は狹披針錐形上部に齒あり、肋は長く伸出、朝鮮に產す。

とさのさはごけ Ph. tosana Card.

コツクシサハゴケに近し、暗綠色、葉はより廣く大、披針形、細胞は葉綠に富み、緣はより反曲、四國に產す。

おにさはごけ Ph. Turneriana (Schwgr.) Mitt.

植物は小又大、葉は卵披漸尖、細く尖る、殆全邊、上方に弱く齒あり、肋は頂、臺灣一本土產、支那、印度及諸島、ハワイに分布。

つくしさはごけ Ph. Wichurae Broth.

蒴大、球狀、柄三サメ、葉は卵披、緣上方に齒あり、肋は芒となる、基細胞長楕圓長方、下部金色、九州に產す。

えぞさはごけ Ph. yezoana Besch. et Card.

蒴大、球狀、葉は披針長く漸尖、肋は頂又伸出、細胞は兩面に粗大なる乳頭あり、植物は纖長、五サメに至る、本土、北海道及朝鮮產。

こえぞさはごけ Ph. y. var. tenuicaulis Card.

莖纖長、葉狹披針、乳頭は小、北海道產。

ひなのはひごけ科 Erpodiaceae.

♀♂同株、蒴は直立、柄短、葉は四一多列、襞なく中肋なし、細胞は扁平組織をなし翼に分化せり、♂花に線狀體なし、本邦に二屬あり。

ひなのはひごけ屬 Venturiella C. M.

♀花頂生、蘚齒は內列を欠く、枝は平ならず、一種を含む。

ひなのはひごけ V. sinensis (Vent.) C. M.

樹上に生ずる小蘚、蒴は沈生長廣楕、葉は卵形又長卵形、齒ある透明の毛となる、全邊、細胞は緣に方形、翼に多列方形、九州一本土及朝鮮に產し亞細亞に分布。

ひめしはごけ屬 Aulacopilum Wils.

蒴は卵圓又圓筒形、蘚齒を欠く、莖は長く匐ひ疎根あり、葉は多くは二形、毛狀に尖る卵狀一披針形、細胞は葉緣に富み圓き六邊、乳頭あり、葉基と翼に方形、八種を含み本邦產一。

ひめしはごけ A. japonicum Broth.

ヒナノハヒゴケに似たるも葉卵形銳頭、腹面のものは披針形、細胞は密に乳頭あり、九州一本土及朝鮮に產す。

ちゞれごけ科 Ptychomitriaceae

♀花頂生、♂花は線狀體あり、蒴は直立整齊、莖は直立、葉細胞は圓き方形、長方一平滑、基部に線形一長方一方形、帽は帽狀又鐘狀、本邦に二屬あり。

ちゞれごけ屬 Ptychomitrium (Bruch.) Furn.

♀♂同株、♀花葉は葉と異ならず、葉は披針、乾けば卷縮、帽は長き襞あり、六二種岩上稀に樹上に生ず、本邦に七種を見る。

ほそばひだごけ P. angustifolium (Okm.) Broth.

チヾレゴケに近し、蒴は長楕圓筒形、柄は一サメに達せず、葉は披針又披針錐形全邊波狀、肋は頂、本土に產す。

こばのひだごけ P brevidens (Br.) Par.

蒴は長楕圓、蘚齒は短くして三裂、柄は五ミメ、葉は廣楕披針やゝ鈍頭上方に鋭齒あり、肋は頂、九州に產す。

はちゞれごけ P. dentatum (Mitt.) Jaeg.

前種に似て蒴は廣楕圓、柄は更に短く、葉は楕圓狀披針やゝ鈍き鋭頭、鋸齒は更に疎なり、九州一本土產、清國に分布。

ひだごけ P. Fauriei Besch.

蒴は長き卵形、帽は長くして全をおふ、柄長く紫色、一サメ、葉は卵披、中上に齒あり、肋は頂に達す、九州及本土に產し清國に分布。

ちゞれごけ　P. sinense (Mitt.) Jaeg.

蒴は圓筒形、柄長し、葉は廣楕披針、稍鈍き鋭尖全邊、肋は頂、九州—本土產、支那に分布。

いしのうへのひたごけ　P. Wilsonii Sull. et Lesq.

ヒダゴケに似たり、蒴は長卵形暗紫條あり、柄は10—15ミメ、葉は狹披針上方に齒あり、肋は透明の毛狀部に終る、九州—北海道及朝鮮に產し支那にも之を見る。

えぞひたごけ　P. W. var. Rhodesii Iisiba

蒴は長楕圓、帽は蒴をおふ、柄は短五ミメ、葉は稍廣く楕圓狀披針、肋は頂下、四國及本土の產。

さやごけ屬 Glyphomitrium Brid.

♀♂同株、♀花葉は殆蒴柄の全部を包む、帽は蒴をおふ、葉細胞は方形、小疣あり、五種を含む、本邦に三種を見る。

さやごけ　G. humillimum (Mitt.) Card.

蒴は短き廣楕、葉は披針線形漸尖全邊、細胞圓くして小、肋は短く伸出、九州及本土產。

ちやぼさやごけ　G. minutissimum (Okm.) Broth.

前種に近し、葉はより狹く線披全邊、細胞はより大、圓き六邊、翼に方形、肋は頂、本土產。

たちひだごけ科 Orthotrichaceae

葉は卵披—披針全邊、稀に齒あり、肋は頂叉頂下、細胞は上方に圓く叉4—6邊、基部に長方線形、頂は卵圓—圓

筒、平滑又線條あり、內齒は幼稚なる基膜上に齒と互生せる8—16個の纖毛あり、樹皮稀に岩上に生じ♀♂異株又同樣、本邦に六屬あり。

屬名檢索表

1 { 主莖は匐ふ……………………………………………………2
　 { 然らず……………………………………………………………3

2 { 帽は冠狀、襞なし、毛なし…………………オホミゴケ屬
　 { 帽は圓錐鐘狀、襞なし、全蒴をおふ…………モミゴケ屬
　 { 帽は圓錐鐘狀、襞あり……………………………ミノゴケ屬

3 { 葉基の內細胞と緣細胞とは甚異なり、厚し………………
　 { ……………………………………………………キンモウゴケ屬
　 { 右の如き別なく、且僅に厚し……………………………4

4 { 葉は披針形、尖る………………………………タチヒダゴケ屬
　 { 葉は卵—長卵形頂圓し、蘚齒を欠く………………………
　 { ……………………………………………ハナシタチヒダゴケ屬

たちひだごけ屬 Orthotrichum Hedw.

♀♂同株稀に異株、♀花葉は柄より長く蒴は八又一六の線條あり、帽は襞あり、葉は捲縮せず、舷なく、肋短し、細胞は基部に長方透明、緣に短し、一八九種樹皮又岩上に生ず、本邦に七種を産す。

えぞのこたまごけ O. clathratum Card.

蒴は多少突出し、蘚齒は青白色、氣孔は水平、葉は長く漸尖、北海道產。

こたまごけ　O. consobrinum Card.

矮小、蒴は沈生、外齒乳頭あり、帽は毛なく、氣孔は陷沒性、葉緣或は一側に反曲、本土の産。

たちばひだごけ　O. erectidens Card.

次種に似たり、蒴は倒卵沈生、黄色の線條あり、多少突出、氣孔は水平、齒は直立、帽は毛あり、本土に産す。

たちひだごけ　O. fastigiatum Bruch.

蒴は楕圓形、葉は廣楕披針、肋は頂、基細胞線形、本土の産、亞、歐、弗、北米に分布。

こがねたちひだごけ　O. Rogeri Brid.

コダマゴケに似たり、蒴は狹楕圓沈生、外齒乳頭あり、帽は鐘狀、毛なし、葉は楕圓狀長線披一舌狀、頂圓し、肋は頂下、本土に産す。

すぢなしこたまごけ　O. striatus L.

♀♂異株、蒴は沈生長卵形、線條なし、氣孔は水平、帽は少毛、葉は廣卵叉楕圓にして長く鋭く尖る、緣は廣く卷く、肋は頂下、亞、歐、弗、北米に分布。

はなしたちひだごけ屬　Stroemia Hag.

♀♂異株、蒴沈生、氣孔水平、齒は前屬に似たり叉欠く、葉は匕形に凹み卵一長卵、圓頭、細胞は肋の兩側に長方、緣に短く叉四邊形、二種樹上に生ず、其一を本邦に見る。

はなしたちひたごけ　S. gymnostoma (Bruch.) Hag.

一サメ、蒴は楕圓、八肋、沈生、蘚齒を欠く、葉は卵一

卵圓鈍頭又帽狀、緣廣くまき肋は頂下、亞、歐、北米に分布。

きんまうごけ屬 Ulota Mohr.

♀♂同株稀に異株、蒴直立、線條あり、蓋に嘴あり、帽は嘴と長毛あり、頭は乾けば捩縮、披針形龍骨狀、透明の舷あり、細胞は基部の中央に線形、緣に長方又方形透明、四三種樹上稀に岩上に生ず、本邦に七種を產す。

いはきんまうごけ U. americana (Palis.) Mitt.

二サメ、蒴は狹楕圓、柄三ミメ、葉卵狀又楕圓狀披針漸尖、肋殆完全、細胞着所に黃赤狹線形、緣に一列方形、本土の產、歐及北米に分布、岩上に生じ、葉は乾くも卷曲せず。

ちゞれきんまうごけ U. crispula Bruch.

次種に似たり蒴は廣楕又短楕圓、葉は短卵又楕圓狀線披にして尖る乾けば縮れる、肋は頂下、九州一北海道產、亞、歐、北米に分布。

こきんまうごけ U. intermedia Sch.

蒴は短頸、楕圓、柄少長四ミメ、前種に似たるも舷10—多細胞列、蘚齒の間毛一六に至るを以て分つ、四國、本土、樺太に產し、歐及北米に分布。

えぞきんまうごけ U. japonica (S. et L.) Mitt.

葉は乾くも殆捩れず、間毛八、二細胞列なるを以て他と別つべし、北海道に產す。

ながさやきんまうごけ　U. j, var. stenocarpa Card.

蒴長くして乾けば狹圓筒形をなす、本土產。

きんまうごけ　U. nipponenense Besch.

コキンモウゴケに近し、葉はやゝ廣基より披針又線形やゝ鈍く尖る、肋頂下、蓋は一〇列に達せず、間毛は八、四國一海海道產。

ばひきんまうごけ　U. reptans Mitt

♀♂異株、イハキンマウゴケに近し、葉は圓き基より漸尖、肋は全長、細胞は肋に近く長楕圓、緣に狹くなり、蓋は透明、本土に產す。

からふときんまうごけ　U. ulophylla Ehrh.

樹上に生じ、蒴は楕圓、長頸あり、間毛は八、柄長く五ミメ、葉は倒卵又廣卵の基より急に狹き線披、肋は頂下、蓋は10一多列、樺太產、亞、歐、弗、北米に分布。

おほみごけ屬　Drummondia Hook.

蒴直立、柄長く、胞子平滑頗る大、蓋は匐ひ多少褐毛あり、葉は披針、細胞全部圓き多角、葉緣に富む、七種樹上稀に岩上に生ず、本邦に一種を產す。

おほみごけ　D. clavellata Hook.

蘚齒單列、葉は卵披銳尖全邊、四國及本土に產し北米に分布。

みのごけ屬　Macromitrium Brid.

♀♂異株又同株、蒴は直立、球形－圓筒形、帽は鐘形、襞あり蒴を被ふ、莖は匐ひ密に褐毛あり、葉は多くは全邊、細胞上方に圓き方形－圓き六邊、葉綠に富む、基部に長厚、四－五種岩上又樹上に生ず、本邦産一八を算す。

みやまみのごけ　M. brachycladulum B. et P.

柄甚短、帽は毛なし、葉は螺旋狀にまく、披針形全邊、鋭尖頭、細胞小、基部に短線形平滑、四國及本土の産、淸國に分布。

いがぐりたんつうごけ　M. comatulum Broth.

蒴は廣楕圓、帽は毛あり、柄五ミメ、葉は長楕披針鋭尖、肋は頂下、細胞は基部に線形、中上に圓き方形、小乳頭あり、九州－本土に産す。

けみのごけ　M. comatum Mitt.

前種又ナガミノゴケに似たり、蒴は長楕圓、葉基少廣長線形、頂廣く鈍き鋭頭、胞突出、齒狀をなす、肋黄色、細胞は肋に近く長楕圓、♀花葉は短披針、本土の産。

けいりんみのごけ　M. consanguineum Card.

植物纖長、莖は多少羽枝あり、葉細胞多少厚く圓形－廣楕圓、弱く乳頭あり、基部に多少延長せり、ホソミノゴケに近し、朝鮮に産す。

きいるんみのごけ　M. formosae Card.

蒴卵形、帽は毛あり、柄５－８ミメ、葉は線披鋭く漸尖やゝ短突起あり、緣平又一側に反曲、肋やゝ伸出、細胞は上方に暗く、乳頭あり、臺灣に産す。

ひめみのごけ M. gymnostomum Sull et Lesq.

帽に毛なし、蘚齒は欠く、葉殆線形、肋は頂、葉は甚銳尖全邊、臺灣—北海道、韓、清產。

おほひめみのごけ M. g. var. robustum Broth.

粗大、葉はより廣く、蒴も大、柄は一サメ以上、土佐國に產す。

みのごけ M. incurvum (Ldb,) Par.

蒴楕圓狀圓筒形、柄 4 — 5 ミメ、葉は披針狀線形、鈍頭時として頂に不明なる齒あり、♀花葉は狹披銳尖、臺灣—北海產、亞細亞に分布。

しまみのごけ M. insularum S. et L.

イハミノゴケに似たるも葉は銳尖頭、帽は甚多毛なり、伊豆國に產す。

やまとみのごけ M. japonicum D. et M.

ミノゴケに近し、蒴は卵狀長楕、葉は箆狀舌形全邊、肋は强く頂下、臺灣—本土產、亞細亞に分布せり。

まきのみのごけ M. Makinoi (Broth.) Par.

葉は長き舌狀、圓き鈍頭全邊、肋帶赤頂下、細胞は上部のものに乳頭あり、舷に一列、ミノゴケ及ヤマトミノゴケに近し、柄短 2 — 3 ミメ、蒴小(廣楕)なるにより分つ、臺灣本土及朝鮮に產す。

しこくみのごけ M. Nakanisikii Broth.

蒴長楕、帽は多毛、柄 4 — 5 ミメ、葉は披針短銳頭全邊、肋頂下、土佐に產す。

ほそみのごけ　M. Okamurae Broth.

蒴楕圓、小口、柄三ミメ、帽多毛、葉は披針短く尖る、肋は殆頂、細胞は乳頭あり、茎纖長にして疎なる植物、本土に產し淸國に分布。

ながみのごけ　M. prolougatum Mitt,

疎生、蒴廣楕、柄二ミメ、葉は乾けば波狀卷曲、線披鋭尖、肋は全長、♀花葉は長披針漸尖、本土に產す。

こえのみのごけ　M. p. var. brevipes, Card.

蒴も柄も短く一ミメ、四國及本土に產す。

いはみのごけ　M. rupestre Mitt

蒴廣楕蘚齒なし、柄五ミメ、帽は毛なし、葉は乾けば巴狀、舌狀披針鈍頭上方のものはやゝ鋭尖、肋は全長、四國九州に產す。

とさみのごけ　M. tosae Besch.

蒴は圓筒形、帽多毛、柄一サメ、葉は狹卵披、緣やゝ齒狀、肋は短凸起を以て終る、細胞は上部のものに乳頭あり、四國及本土に產す。

もみごけ屬　Schlotheimta Brid..

♀♂僞同株(芽狀の矮♂本が♀本の上に坐す)蓖前屬に似たり、蒴直立卵圓一圓筒、帽は襞なく稀に毛あり、葉は長舌狀全邊、肋は頂叉伸出、細胞基部に線形、上部に圓一菱形、一三一種樹上叉岩上に生ず、本邦に共三を見る。

たかさごもみごけ　S. Fauriei Card.

3—4サメ、葉は乾けば螺旋狀によれる、線狀舌形頂急に漸尖又凸頭全邊、肋は頂、臺灣產。

もみごけ S. japonica Besch. et. Card.

葉は長楕線形、頂圓く全邊、肋は短く凸出、九州—本土の產。

ほごけ科 Rhacopilaceae

♀♂異株稀に同株、花部には糸狀の線狀體あり、蒴は長形、溝あり、嘴は長し、葉は二形、細胞は圓き六邊、肋單一多くは突出、本邦に一屬を產す。

ほごけ屬 Rhacopilum Palis.

葉は舷なく、蘚齒は線條あり、間毛は完全、五—種樹上又岩上に生ず、本邦に共二を產す。

ほごけ Rh, aristatum Mitt.

側葉は廣楕圓狀長楕圓鋭頭、肋は毛狀伸出、頂に小齒あり、細胞は圓き廣楕圓上方に殆六邊、上葉は小にして卵狀錐形、臺灣—本土產。

かはごけ科 Fontinalaceae

♀♂異株又同株、蒴は直立、頸も氣孔もなし、莖は有稜、葉は單肋、細胞は狹く基部に黃赤色、本邦に二屬あり。

かはごけ屬 Fontinalis L.

♀♂異株、蒴は沈生、帽は圓錐形にして小、葉は三列、肋なし、細胞は長狹、五五種を含む、本邦に五種之を水中に見る。

しみづごけ　F. antipyretica L.

五〇稀に七〇サメ、蒴は卵—楕圓形、葉は廣卵短く披針形、鈍く尖る、全邊、本土產、亞、歐、弗、北米に分布。

ほそかはごけ　F. a. var. subgracile Card.

葉は鈍頭、網はより疎なり、北海道產。

おほかはごけ　P. d. var. yezoana Card.

頂枝の外帶黑色、枝短、葉開出、北海道產。

のこぎりかはごけ　F. Durieui Schimp.

三〇サメに至る、蒴は廣楕圓、葉は卵披叉卵形にして披針形に長くなり短く廣く尖る、只末端に多少齒あり、歐、弗、北米に分布。

かはごけ　F. hypnoides R. Hartm.

蒴少しく突出、小にして楕圓形、葉は卵—楕圓狀披針—披針錐形、翼細胞長き六邊(他種にて長方形)九州、本土北海道產、亞、歐、北米に分布。

けいりんかはごけ　F. perfida Card.

前種に近し、葉卵形叉長楕披針、廣く短く漸尖、頂に弱く小齒あり、朝鮮產。

やばねごけ屬　Dichelyma Myr.

♀♂異株、蒴は卵形、柄長し、帽は冠狀、蒴を被ふ、肋

殆頂、五種を含み本邦に一種を見る。

こしのやばねごけ D. japonica Card.

白綠—黃綠色、葉は披針鈍頭、小齒あり、肋は殆頂、本土及北海道に產す。

からやのまんねんぐさ科 Climaciaceae

♀♂異株、莖は線條なし、柄は多出、莖は樹狀に分枝、導束あり、葉細胞上部に斜方基部に線形、肋は頂下、本邦に二屬あり。

ふじのまんねんぐさ屬 Pleuroziopsis Kindb.

莖は弓形、蘚齒は橫線あり、基膜は三分の一に達す、莖は褐毛あり、葉は卵披、上部に齒あり、一種あり、高山性。

ふじのまんねんぐさ P. ruthenicum (Weim.) Kindb.

莖小、廣楕、柄一五ミメ、莖は細羽狀に分枝、毛葉多數、枝葉は卵披短く尖る、鈍頭、上方に齒あり、肋頂下、背上に齒あり、四國—樺太產、亜及北米に分布。

からやのまんねんぐさ屬 Climacium Web. et Mohr.

莖直立、蘚齒は乳頭あり、基膜甚低し、莖は樹狀又羽狀に小枝あり、葉基に耳あり、上部に齒あり、肋は頂下、四種地上に產す。

あめりかまんねんぐさ C. americanum Brid.

莖は圓筒形、葉はコウヤノマンネングサに似て短銳頭、

中肋の裏面先端に齒なし、本土及北海道の產、北米に分布。

ふらうさう　C. dendroides (Dill. L.) W. et M.

蒴は長卵又長楕圓一圓筒、柄15—45ミメ、紫赤色、莖葉は廣三角舌狀、鈍又鋭尖、僅に耳あり、肋背上部に齒なし、枝葉は狹舌狀、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

かうやのまんねんぐさ　C. japonicum Ldb.

蒴は長楕圓筒、柄長し、枝葉は卵圓一長楕披針鋭頭、肋背の上部に齒あり、葉耳は明なり、九州、北海道、本土及朝鮮に產し又清國にも之を見る。

ひじきごけ科　Hedwigiaceae

♀♂同株、蒴は沈生、蘚齒を欠く、花部に金色の線狀體あり、莖は羽狀に分岐、葉は八列、肋なし、本邦に一屬あり。

ひじきごけ屬　Hedwigia Ehrh.

♀♂同株、♀花葉は長き纖毛あり、葉端毛狀をなし全邊、細胞は方形、上部及下部に長し、乳頭あり、一種を產するのみ。

しろひじきごけ　H. albicans (Web.) Lindb.

葉は長卵形、毛部に齒又毛あり、全邊、臺灣一本土產、朝鮮にも產し全世界に分布。

ひじきごけ　H. a. var. viridis Bry.

頂葉綠色又殆然り、九州一本土產、歐、非、北米に分布。

いよひじきごけ H. a. var. secunda Sch.

葉は一方に曲り短く漸尖、伊豫の產、歐及北米に分布。

つるごけ科 Cryphaeaceae.

♀♂同株、蒴沈生、卵圓又長形、氣孔少し、莖は纖匐枝狀、葉は下延、卵圓、細胞は長からず、翼に方形、肋は頂下、本邦に三屬あり。

屬名檢索表

1 { 子囊沈生、帽は圓錐又帽狀……2
  { 子囊突出、帽は冠狀……スヽゴケ屬

2 { 上部の葉細胞狹菱又長き六邊、蘚齒の乳頭は粗大……ツルゴケ屬
  { 上部の葉細胞は楕圓狀、蘚齒の乳頭は小なり……イトヒバゴケ屬

いとひばごけ屬 Cryphaea Mohr.

蒴沈生長卵—殆圓筒、葉は卵—長卵又廣卵圓にして尖る、緣は卷き全邊又上方に齒あり、肋は中上又頂下、五五種樹皮稀に岩上に生ず、本邦に只一種あり。

くはのいとひばごけ C. obovatocarpa Okm.

蒴沈生倒卵形、胞子は他種より大、四〇μ 葉は卵狀漸尖銳尖頭、全邊、肋は頂下、細胞は基部に線形、緣に楕圓、翼に方形、丹波及武藏？に產す。

つるごけ屬 Pilotrichopsis Besch.

樹幹に生じ長く懸垂、蒴は長卵形、沈生、葉緣に齒あり、肋は頂下、二種を產す、本邦產一。

つるごけ P. dentatta (Mitt.) Besch.

葉は下延せず卵披漸尖、上方に齒あり、臺灣一本土に產す。

ほそつるごけ P. h. var. filiformis Besch.

莖甚纖長、糸狀をなす、四國及本土に產す。

すゞごけ屬 Forrstroemia Lindb.

多くは♀♂異株、蒴は卵圓又長形、平滑、氣孔なし、內齒欠く、帽は冠狀、葉は卵圓又長形、肋短し、細胞は頂に長く、中央に楕圓—廣楕、翼に圓き方形、一八種樹上又岩上に生ず、本邦に產するもの三種あり。

ひめすゞごけ F. cryphaeoides Besch.

甚次種に近し、されど蒴は沈生長楕圓、外齒青白透明、四國に產す。

いとすゞごけ F. japonica (Besch.) Par.

纖長、蒴は卵狀球形、葉は心披全邊、細胞卵圓形、肋は頂下、枝は廣く漸尖、本土、北海道及朝鮮に產す。

すゞごけ F. trichomitra (Hedw,) Ldb,

♀♂同株、蒴は廣楕圓、葉は鞘基より披針漸尖全邊、肋は中上、細胞は緣に小、方形又楕圓、晴、其他狹菱形、疎

に小點あり、植物粗大、九州一北海道及朝鮮に產し北米に分布せり。

いたちごけ科 Leucodontaceae

多くは♀♂異株、蒴は直立多くは氣孔なし、帽は冠狀、莖はやゝ太く、毛葉なし、葉は多列、襞あり又なし、肋二又一叉欠く、細胞平滑、上部に扁平にして翼に圓き方形、本邦產三屬。

屬名檢索表

1 葉は襞あり、肋なし、細胞平滑……………イタチゴケ屬
 肋單一、葉は襞あり、細胞平滑………………リスゴケ屬
 葉は襞なし、肋二叉又狀、細胞は乳頭あり………………
 ……………………………………………………トリアシゴケ屬

いたちごけ屬 Leucodon Schwgr.

♀♂異株、蒴は頸あり、齒は乳頭あり又分裂內齒不完全、葉は卵圓長く又短く尖ル、肋なし、細胞は緣の下半に圓き方形、基部に赤黃色長し、二八種樹上又岩上に生ず、本邦產一一。

こまのいたちごけ L. coreensis Card.

枝甚短く葉は廣楕圓長く漸尖、鋭頭全邊、本土の山地及朝鮮に產す。

りすごけもどき L. dozyoides B. et P.

蒴は卵一梨形、柄一サメ、葉は披針鋭尖全邊、九州一北

海道産。

なみえいたちごけ L. flexisetus (Besch.) Par.

蒴卵形、柄5―7ミメ、後紫色波狀、莖は細長、葉は一方に曲る、頂に不齊齒あり、本土及北海道産。

きいたちごけ L. luteus Besch.

蒴は小、蘚齒單一、柄5―7ミメ、紫色、莖葉は直立卵披鈍頭、頂やゝ齒牙狀、本土に產す。

たかねいたちごけ L. microcarpus Broth.

蒴極めて小、柄も短し、葉は卵狀長楕漸尖、やゝ鈍頭全邊、本土の中部以北の高山に產す。

えぞのいたちごけ L. pendulus Ldb.

蒴小、直立楕圓狀長楕、柄彎曲、三半ミメ、疎に疣あり、葉は卵狀長楕短く鋭尖、頂明に齒あり、北海道產、亞細亞に分布。

ながいたちごけ L. perdependens Okm.

前種よりも纖長二〇サメに至る、蒴は長楕圓、柄三ミメ平滑、葉は長楕披針頂短く漸尖又鋭尖、頂に微齒あり、朝鮮產。

いよいたちごけ L. pyrif ormis C. M.

葉は長楕圓狀披針長く漸尖鋭頭全邊又は頂に不明なる齒あり、四國及本土に產す。

いたちごけ L. sapporensis Besch.

葉は長楕圓漸尖全邊やゝ鈍頭、次種に似たるもより粗にして枝少し、四國―北海道產。

みやまいたちごけ　L. secundus (Harv.) Mitt.

前種に比し葉は一方に曲り卵披銳尖、全邊、九州及本土の山地に生じ淸國及印度に分布せり。

りすごけ屬　Dozya Lac.

外形甚前屬に似たり僅に一種を產す。

りすごけ　D. japonica Lac.

蒴は廣楕圓、柄一ミメ、葉狹卵狀長披針突然錐形に尖る、肋は狹くして頂下、翼細胞圓き方形、九州一本土產、淸國に分布。

とりあしごけ屬　Pterogonium Sw.

♀♂異株、蒴は圓筒形、柄長し、葉細胞は乳頭あり、肋は短く二叉乂狀、一種を含む。

とりあしごけ　P. ornithopodioides (Huds.) Lindb.

蒴は楕圓の圓筒、柄10—15ミメ、葉は廣卵の基より短く銳く尖る、頂に銳齒あり、肋は頂乂中央に達す、亞、歐、弗、北米に分布。

むじなごけ科　Trachypodaceae.

蒴は廣楕乂球狀、莖は導束なし、毛葉なし、肋單一、葉は短く乂長く尖る、細胞は乳頭あり、本邦に五屬を產す。

屬名檢索表

1
- 枝疎、葉細胞は乳頭あり、蒴柄は平滑なり………………………………………………………………オニゴケ屬
- 莖葉は密羽狀に分枝、細胞は柄と共に乳頭あり…………………………………………………………テンヂクゴケ屬
- 莖葉は枝なし又不正羽狀……………………………………………2

2
- 葉細胞線形、乳頭は密、帽は密毛あり…ムジナゴケ屬
- 葉細胞廣し、乳頭單……………………………………………3

3
- 蘚直立、柄は乳頭あり………………………イヌザラゴケ屬
- 蘚傾く、柄は平滑…………………………ノコギリゴケ屬

てんぢくごけ屬 Diaphanodon Ren. et Card.

樹皮に生ず、蒴は直立、球狀、帽は冠狀毛なし、莖葉は卵狀三角の基より突然に長く狹く尖る、頂に小齒あり、緣は反曲、肋は頂下、五種樹上に生ず、本邦產一。

てんぢくごけ D. gracillima Card. et. Thér.

未だ本種を見ず。

むじなごけ屬 Trachypus Reinw et Hornsch.

♀♂異株、蒴直立、柄長くして粗、葉は小耳あり、細胞耳部に圓形、一五種、樹上又岩上に生ず、本邦に二種を見る。

ざらざらごけ T, bicolor R. et H.

黃色のやゝ大なる植物、莖葉は枝葉と殆別なく廣き心形の基よりやゝ急に披針漸尖、緣に齒あり、肋は中上、中部

の高山に產し印度及諸島に分布。

むじなごけ　T. b. var. rigidus (B. et P.) Card,

赤色、葉は漸尖全邊、肋頂下、臺灣及四國產。

ほそむじなごけ　T. humilis Lindb.

小植物、葉は心形漸尖銳尖頭部に小齒あり、肋は中央に終る、九州一本土に產し亞細亞に分布せり。

こばのむじなごけ　T. h. var. breuifolius Card.

葉はより小、短く漸尖、細胞はより廣くして大、九州及濟州島に產す。

おにごけ屬　Psendospiridentopsis Fleisch.

♀♂異株、莖直立、柄平滑、肋頂下、葉基は耳あり。一種よりなる。

おにごけ　P. horrida (Mitt.) Fl.

莖廣楕圓、斜嘴あり、柄三ミメ、葉は襞なく心形急に銳齒ある長錐形となる、臺灣に產し亞細亞に分布。

いぬざらごけ屬　Trachypodopsis Fleisch.

莖直立卵圓短頸あり、柄3—11ミメ、乳頭あり、亞葉は不正羽狀、葉は深襞あり披針—卵圓の基より披針長く尖り齒あり、細胞楕圓—菱形單乳頭あり基部に線形平滑、耳部に小にして圓し、九種樹上に生ず、本邦產一種。

みみがたいぬざらごけ　T. auriculata (Mitt) Fl.

莖は整齊、球狀、蓋は斜嘴あり、葉は披針形、舷なし、

上部に鋭齒あり、細胞平滑、基耳は大にして蝸牛狀にまく臺灣産、亞細亞に分布。

のこぎりごけ屬 Duthiella C. Müll.

前種に似たり、♀♂異株、蒴柄は乾けば捩る、平滑、蓋は細嘴あり、葉は乾けば端捩扭、縁に齒あり、細胞は有稜楕圓、乳頭あり、六種樹幹又地上に生ず、中本邦に其半を産す。

たいわんのこぎりごけ D. flaccida (Card.) Broth.

3—4サ、メ、葉は卵披漸尖やゝ波狀、肋は漸尖頭に達す、葉基に耳なし、臺灣に産す。

のこぎりごけ D. japonica Broth.

前種に似てより大、葉は卵披の基より線披鋭頭、波狀ならず、肋は頂下、四國及本土に産す。

まつむらごけ D. speciosissima Broth.

植物壯大、蒴傾き長楕圓明に頸あり、柄五サ、メ、平滑葉は乾くも展開、卵狀長披針基に小耳あり、四國及本土に産す。

なはごけ科 Myuriaceae

♀♂異株、蒴は廣楕圓、頸及氣孔あり、蓋は斜嘴あり、帽は冠狀毛なし、莖は樹狀に分枝し毛葉なし、細胞は線形翼に大、殆方形、本邦に一屬あり。

なはごけ屬 Myurium Sch.

葉は甚中凹なり、科徴に同じ、九種樹皮に生じ本邦に二種を見る。

かたなはごけ M. fragile (Card.) Broth.

ニサ、メ、葉は長楕披針長く漸尖、上方にやゝ近より小齒あり、肋双生短し、翼細胞卵狀長楕褐色、臺灣産。

なはごけ M. sinicum (Mitt.) Broth.

蒴廣楕、柄七ミ、メ、葉は廣楕圓急に鋭尖錐形、頂に正しく齒あり、明に長襞あり、翼細胞殆別なし、九州―本土及朝鮮産、淸國にも見る。

すたれごけもどき M s. var. pilotrichelloides Card.

亞莖は前種よりも長く、葉細胞黄―黄褐更に明なり、四國及本土産。

ひむろごけ科 Pterobryaceae

樹皮に着生、多くは우合異株、蒴は沈生又突出、柄は短くして平滑、帽は小にして冠狀又帽狀、主莖は糸狀又根狀亞莖は樹狀又羽狀に分枝、肋は一又二又欠く、本邦に五屬あり。

屬名檢索表

1. {主莖は糸狀、内齒多くは不完全……………………………2
   {主莖は根狀、密に褐毛あり、蘚齒完全……………………4

{肋單一又乂狀又欠く、翼細胞異なり………………………

2.{ ……………………………………………………ヒムロゴケモドキ屬
 肋單一、翼細胞別なし又僅に異る ……………………………3

3.{ 葉は心狀卵披長く尖る、肋は頂又頂下、蒴柄長し……
 ………………………………………………………………ヒバゴケ屬
 葉長卵披長鬚あり、肋頂下……………………ヒムロゴケ屬

4.{ 蒴沈生、帽は帽狀、雌花葉は盃狀………コツプゴケ屬
 蒴多少突出、帽は冠狀……………………………カクレゴケ屬

かくれごけ屬 Endotrichella C. Müll.

蒴は少しく突出、帽は冠狀、葉は長鬚あり、肋は二叉欠く、極めて次屬に近し、三三種を含む、本邦に二種あり。

おほかくれごけ E. elegaus (D. M.) Fleisch.

蒴は卵狀圓筒形、蓋は曲嘴あり、葉は長楕圓鋭頭、不同に齒牙狀、肋なし、雌花葉は卵披漸尖錐形やゝ齒狀。臺灣產、亜細亜に分布。

かくれごけ E. Fauriei (B. P.) Broth.

蒴は長楕圓筒形、葉は廣楕圓急に漸尖頭、中上に鋭齒あり、肋双生短く又弱し、雌花葉は頂截形、齒牙あり、臺灣及九州產。

こつぷごけ屬 Garovaglia Endl.

僞同株、蒴沈生、楕圓形、帽は帽狀、蓋は直嘴あり、二五種中本邦に二種を見る。

たいわんこつぷごけ G. formosica Okm.

葉は狹卵長楕錐形、中上に大鋸齒あり、肋短、二、細胞長く有孔、臺灣に產す。

ひだこつぶごけ G. plicatum (Nees.) Endl.

甚前種に近し、蒴沈生卵形、葉毛狀に急に狹くなる、頂に小齒あり、肋なし、臺灣に產し亞細亞に分布。

ひむろごけもどき屬 Pterobryopsis Fleisch.

蒴長形氣孔あり、帽は冠狀、枝は不規則又羽狀稀に單一葉は卵形短く又長く尖る、細胞は菱形一線形、翼に疎、殆方形、♀♂異株、紡錘狀の孵芽により無性繁殖をなす、二六種樹上に生ず、本邦に四種を產す。

こつぶごけもどき P. crassiuscula (Card.) Broth.

蘚沈生卵形、柄なし、帽なし、葉は心狀卵形急に狹長漸尖頭、漸尖部に疎齒あり、肋は四分三に達す、臺灣產。

ぼうしはむじなごけ P. cucullatifolia Okm.

亞莖四サ、メ、に至る、葉は卵狀長楕急に鋭尖頭に狹くなる、錐部に小齒あり、肋短屢叉狀、前種に甚近きも葉形異なり、臺灣產。

ひむろごけもどき P. fasciculata (Mitt.) Br.

葉は廣楕圓やゝ耳あり、頂短く漸尖、やゝ小齒ある全邊肋は中央、未だ本種を見ず。

はなしひむろごけもどき P. subcrassiusculis Broth.

コツブゴケモドキに近し、葉は廣長楕急に錐形叉漸尖全邊、肋は中央、細胞狹線形、翼に別なし、臺灣に產し東京(トンキン)

に分布せり。

ひばごけ屬 Pirecella Card.

♀♂異株、蒴直立、球狀卵圓形、小口、齒は頂に對をなして集まり基にて裂ける、亞莖は羽狀に分枝、下葉は卵形急に尖る全邊、肋なし、莖葉は心卵披長く尖り頂不明に齒あり、枝葉は似て小、一四種樹上に生ず、本邦産一種。

だいぶひばごけ P. formosana Broth.

亞莖五サ、メ、羽狀に分枝、蒴直立廣楕圓、柄一サ、メ以上、葉は長楕披針狹く漸尖全邊、肋殆完全、翼細胞別なし、枝葉は頂に小齒あり、臺灣に産す。

ひむろごけ屬 Pterobryum Hornsch.

樹上に生じ、蒴沈生、內齒不完全、莖は密羽狀に分枝、葉は襞あり、肋は頂下、細胞厚からず、線形、着所に帶褐翼に別なし又僅に異る、♀♂異株、七種樹上に生ず、本邦産二。

ひむろごけ P. arbuscula Mitt.

蒴は卵形、枝葉は卵形長き鞭狀、頂やゝ鋭頭緣に小齒あり、九州一本土に産す。

たいわんひむろごけ P. subarbuscula Broth.

前種に近し葉は卵狀又長楕披針長く鞭狀短く漸尖頭、中央に小なる、頂に鋭齒あり、臺灣産。

はひひもごけ科 Meteoriaceae

♀♂異株、蒴小、氣孔あり、蓋は短嘴あり、主莖は糸狀亞莖は圓柱狀懸垂、叉平に葉あり、肋單一叉二叉欠く、葉細胞上部に長形、翼に屢ゝ別あり、本邦に九屬あり。

屬名檢索表

1. 蘚齒は線條あり……2
   蘚齒は線條なし、乳頭あり……5
2. 枝は平に葉あり……3
   然らず……4
3. 枝糸狀、肋單一、細胞は乳頭あり又なし……サガリゴケ屬
   枝は羽狀、平、肋單一、細胞は乳頭あり……シノブイトゴケ屬
4. 葉は匕形に凹む、鈍頭、細胞平滑、肋なし……ハヤチネゴケ屬
   葉基鞘狀、頂尖る、肋單一、細胞は平滑又は乳頭あり……ヤヘゴケ屬
5. 肋二叉欠く、細胞狹線形、平滑、葉耳あり……ミヽゴケ屬
   肋單一稀に欠く、(細胞は乳頭あり)……6
6. 葉は乾けば伏す、細胞は乳頭あり……7
   葉基より開展、肋は屢ゝ欠く、細胞は平滑屢ゝ疎に乳頭あり……サガリゴケ屬

7. 枝平、肋は中央以上……………………………タスキゴケ屬
　 枝平ならず………………………………………………8

8. 肋短、柄多少粗、葉は漸尖……………………シダレゴケ屬
　 肋頂下、柄粗、葉は卵圓突然に甚細く尖る………………
　 ……………………………………………………ハヒヒモゴケ屬

はやちねごけ屬 Weymouthia Broth.

樹上に生ず、蒴廣楕、柄は平滑、枝葉は僅に耳あり、心狀廣楕又長く鈍く全邊、肋なし、細胞は線形、翼に圓き方形黄色、三種を含み其一を本邦に見る。

おほはやちねごけ W. Billardieri (Hamp.) Br.

植物巨大、智利、濠、タスマニア、新西蘭等に産す、本邦にありては珍種の一にして予は之を陸中國早池峰に採集せり。

はひひもごけ屬 Meteorium Doz. et Molk.

蒴は直立、卵圓、短頸、柄短く粗、葉が圓頭にして甚急に細く尖ること殊徵なり、三〇種多く樹皮に着生す、本邦に五種あり。

さいこくさがりごけ M. cuspidatum Okm.

コハヒヒモゴケに比し甚纖長、葉は心狀長卵突然短く尖る、上方に小齒あり、肋は葉半に達す、九州一本土産。

ながいとひもごけ M. flagelliferum Card.

纖長、枝は糸狀、葉は長楕披針漸尖長く狹く鋭尖緣に小

齒あり、肋は四分の三に達す、臺灣產、本種はサガリゴケ屬に入るべきものならんも未だ本種を見ず、假りに玆に記す。

こはひひもごけ　M. helminthocladulum (Card.)

全體次種よりも細く、葉狹く頂圓からず、少しく漸尖、毛狀部は次種よりも長く、オホハヒヒモゴケの二倍以上に達す、臺灣—本土及朝鮮の產。

はひひもごけ　M. helminthocladum (C. M.)

前種と次種の中間に位す、葉は急に縮み頂は廣く圓く、細胞は次種より短く厚し、臺灣—本土に產し支那に分布せり。

おほはひひもごけ　M. Miquelianum (C. M.) Fl.

本邦產の最大なるもの、葉は廣楕圓頂圓く急に細く長く尖る、全邊叉不明なる微齒あり、九州—本土產、亞細亞に分布、

たすきごけ屬　Aerobryopsis Fl.

樹皮叉葉上に生ず、莿は直立叉曲る、蓋は斜嘴あり、帽は冠狀少毛、葉は漸尖、細胞は長楕—菱形卵形單乳頭あり二八種を含む、本邦に產するもの五種あり。

たすきごけ　A. assimilis Card.

葉は卵狀叉長楕圓披針漸尖毛狀、殆基より小齒あり、肋は殆中央、細胞線形、翼に少く短小、臺灣—本土に產す。

とさのたすきごけ　A. mollicima Br.

ゲジゲジゴケよりも太く强し、葉は著しく波狀、三角心形の廣基より急に長く尖る、殆全邊、翼細胞著しからず、土佐に產す。

ひかげのかづらもどき　A. Parisii (Card.)

タスキゴケに似たり、肋はやゝ長く漸尖部の基に終る、細胞は中央にやゝ菱形、基＝線形、翼に多數短き長楕長方黄色、臺灣一四國產。

みづすぎもどき　A. subdivergens (Broth.)

タスキゴケよりも粗大、葉は似たり、細胞中上に楕圓、翼に著しからず、葉は著しく波狀、臺灣一本土に產し亞細亞に分布。

おほみづすぎもどき　A. s. var. robusta Card.

更に粗大、葉は更に短廣漸尖、本土に產す。

げじげじごけ　A. Wallichii (De Card.)

葉は披針又廣披針毛狀に尖る、波狀ならず、肋は漸尖頭に終る、翼細胞少、大、外觀サガリゴケに似たり、九州及本土の產、亞細亞に分布

さがりごけ屬　Barbella (C. M.) Fl.

柄短、蒴小、帽は帽狀平滑稀に毛あり、葉は披針にして尖る、細胞線形、三六種、樹上に生ず、本邦に七種を產す

きよすみいとごけ　B. asperifolia Card.

サガリゴケに似たるも肋は單一、葉は短く漸尖、背に突出せる乳頭あり、本土に產す。

とさのさがりごけ　B. Determisii (Ren. et Card.)

莖葉は廣心披針長き糸狀になる、波狀全邊又疎に弱く小齒あり、肋なく又弱き二肋あり、九州―本土の產、印度に分布。

おほさがりごけ　B. elegantula Broth.

肋單一、漸尖部に達す、葉は廣卵披長く尖る、緣に細齒あり、九州―本土產。

ごうのさがりごけ　B. Gonoi Broth.

莖葉は線狀長楕甚長く尖る全邊又やゝ齒あり、肋弱くして不明、四國―本土に產す。

たかさごさがりごけ　B. Levieri (Ren. et Card.)

肋單一、葉は卵狀の又長き披針狹く尖る、緣に小齒あり臺灣及九州產、印度に分布。

さがりごけ　B. pendula (Sull.) Fl.

肋は弱くして不明、葉は披針漸尖、糸狀部は其他の一倍以上に達す、甚纖長なる植物、臺灣―本土に產し、亞及北米に分布。

けさがりごけ　B. pilifera B. Y.

前種に似たり、葉は匕形に凹み、狹基より長楕圓となり毛狀になる、全邊、肋なし、翼細胞別なし、本土に產す。

しのぶいとごけ屬　Floribundaria C. Müll.

樹皮に着生、枝は平に葉あり、葉細胞は線狀菱形、乳頭あり、翼に方形平滑、蒴は短頸、氣孔大、二五種を含む、

本邦に三種を見る。

きしのぶいとごけ F. aurea (Griff.)

葉は卵披漸尖毛狀になる、縁に鋭齒あり、肋は殆中央、葉基耳狀、臺灣一本土產、印度及群島に分布。

しのぶいとごけ F. floribunda (D. M.) Fl.

蒴直立、卵形後殆圓筒形になる、葉は前種よりも小、上方不明に小齒あり、肋は中央に達せず、亞及弗に分布。

しのぶいとごけもどき F. pseudo-floribunda Fl.

前種に近し葉は基部まで細齒あり、細く尖るも毛狀ならず、九州及本土產、亞及濠に分布。

しだれごけ屬 Chrysocladium Fl.

樹上に着生し赤黃色を呈す、葉は廣披長く尖る、細胞は線形、乳頭あり、五種を含み本邦に一種を見る。

そりしだれごけ C. retrors m (Mitt.)

次種に似たり、葉基不正に波狀、心形一卵形の基より細く長く尖るも毛狀ならず、基細胞少しく大、透明、臺灣一本土產、印度に分布。

ふとしだれごけ C. r. var, clavirameum Card.

枝はより太く、頂厚し、本土に產す。

つくししだれごけ C. r. var. Kiusiuensis (B. P.)

葉は糸狀によれる、縁に細齒あり、肋中上、基細胞長方中大、九州及本土に產す。

しだれごけ C. r. var. pensile (Mitt.)

葉頂細毛狀に狹くなり全邊、緣に細齒あり、肋中上、細胞やゝ暗、臺灣及本土に產す。

みゝごけ屬 Meteoriella Okm.

葉は廣卵急に短く又は錐形に尖る、基に耳あり、肋二短、翼細胞別なし、四種樹上に生ず。

とがりみゝごけ M. cuspidata Okm.

やゝ太き植物、葉は心狀廣卵長楕短く凸頭、反曲せず、臺灣に產す。

ほそみゝごけ M. Kudoi Okm.

纖小、葉は心狀の基より卵狀楕圓、頂錐形漸尖、大なる齒牙あり又下向齒あり、九州に產す。

しまひむろごけもどき M. japonica (Card.)

纖長、葉は卵狀線披急に狹くなる、中上に齒あり、九州に產す。

おほみゝごけ M. soluta (Mitt.)

岩上に生ず、粗大、葉はホソミヽゴケに似たり、頂全邊又微小齒あり、本土產、印度に分布。

やへごけ屬 Meteoriopsis Fl.

蒴直立卵圓―長形平滑、齒は横に又斜に線條あり、多少乳頭あり、蓋は嘴あり、莖は羽狀に分岐し枝は平ならず、葉は卵―球狀短く尖る又は長く狹く尖る、緣に細齒あり、細胞線形平滑、三四種樹上に生ず、本邦に二種あり。

さがりごけもどき M. ancistroides (Ren. et Card.)

蒴は卵狀長楕、頸極めて短、蓋は正嘴あり、葉は乾けば卷縮半鞘狀の廣卵―圓き卵形漸尖、短く又長く尖る、緣に齒あり、葉細胞は單乳頭あり、されど透明なり、新竹產、印度に分布。

たかさごはひひもごけ M. reclinata (C.M.)

前種に甚近しされど葉細胞は小乳頭によつて不透明、只葉基に透明なり、臺灣產、印度及諸島並に比島に分布せり

ひらごけ科 Neckeraceae

多くは♀♂異株、蒴沈生又抽上、蓋は嘴あり、莖は平に葉あり、葉は二列又多列、細胞は上方に菱形下方に線形、翼に別あり又はなし、肋は遠く頂下又双生又欠く、本邦に七屬あり。

屬名檢索表

1 { 肋頂下、植物は光澤なし……2
  { 肋弱し、植物は光澤あり……4

2 { 柄は平滑、葉細胞平滑又乳頭あり……3
  { 葉細胞小にして圓く、蒴柄と共に乳頭あり……ハネゴケ屬

3 { 蘚齒は乳頭又は基部に横線あり……キダチハヒゴケ屬
  { 蘚齒は遠く下方まで横線あり、葉は長卵形……トラノヲゴケ屬

4 { 葉は八列……7

4{葉は四列又二列……………………………………5

5{葉は長舌狀又箆舌狀、翼細胞長方―廣楕―方形、蒴柄短……………………キダチヒラゴケ屬
翼細胞異ならず……………………………………6

6{葉は横波狀、蒴沈生、蓋は直嘴あり、帽は小にして帽狀……………………リボンゴケ屬
蒴長形、柄長し、蓋に斜嘴あり、帽は冠狀……………………タチヒラゴケ屬

7{翼細胞異なり……………………………………8
翼細胞別なし……………………………………9

8{蒴卵圓、氣孔少、葉は長舌狀、細胞菱形、中央に長く翼に甚小……………………シタゴケ屬
蒴は沈生又少しく突出楕圓、齒は密に横線あり、葉は短く下延……………………ヒラゴケ屬

9{蒴沈生、卵圓、齒は平滑、葉は疎開、耳ある心狀卵圓形尖る、肋頂下……………………ミミヒラゴケ屬
柄短、齒は乳頭あり、帽小、一側分裂、葉は舌狀、上部の細胞圓き多角……………………エビスゴケ屬

みゝひらごけ屬 Calyptothecium Mitt.

蒴沈生卵圓―長卵圓氣孔なし、葉は八列、耳ある心狀卵圓又は卵舌形にして尖る、細胞線形、頂に狹菱形、基に疎、褐色、翼に異ならず、肋は中上、三四種を含む、本邦產四種あり。

たいわんむらだちごけ　C. formosanum Broth.

枝平ならず、葉は心狀廣卵急に狹く漸尖、中上に小齒あり、細胞狹線形、翼に小、長楕圓、臺灣に産す。

ふくれむらだちごけ　C. tumidum (Mitt.)

蒴は沈生、卵狀、葉は鞘狀廣卵短く廣く長楕披針緣に齒あり、細胞楕圓、耳に圓し、臺灣産、印度及諸島、支那、比島に分布。

ひらごけ屬　Neckera Hedw.

♀♂同株又異株、蒴沈生又抽上、蓋は斜嘴あり、帽は冠狀時として毛あり、葉は八列横波狀短く下延、肋單一又二叉欠く、一二八種樹上又岩上に生ず、本邦に一九種を產す

こまのめりんすごけ　N. abbreviata Card.

亞莖甚短く、葉は卵一楕圓の基より舌狀長く突然に尖る全邊又殆然り、朝鮮產。

ひめひらごけもどき　N. brevicaulis Broth.

セイナンヒラゴケよりも莖短、肋は中央、葉は長廣楕圓、圓き鈍頭、全邊、やゝ齒狀、九州一本土產、支那に分布。

こまのひらごけ　N. coreana Card.

エゾヒラゴケとヒメヒラゴケの中間に位す、葉は横波狀、更に長狹漸尖、鎌形殆全邊、細胞は狹し、肋は中央、九州及朝鮮に產す。

さいしうひらごけ　N. Fauriei Card.

前種よりも葉短廣殆全邊、肋は單一、中上に終る、濟州

島產。

こめりんすごけ C. flexiramea Card.

葉は楕圓短尖、やゝ鈍頭、基部全邊、肋は叉狀、甚短し甚纎長なる植物、四國、本土及朝鮮に產す。

はやちねひらごけ N. hayachinensis Card.

エゾヒラゴケに近し、葉はより長く、枝更に平、一部匐枝狀をなし、肋はより强く長し、陸中早池峰特產。

ちやぼひらごけ N. humilis (Mitt.)

♀♂同株、♀花葉は廣楕披針、蒴は沈生長楕圓、葉は卵狀やゝ銳頭、側葉は廣楕銳尖全邊、肋中上、頂細胞圓し、九州及本土に產す。

いづもめりんすごけ N. idzumoana Okm.

♀♂異株、前種に似たり、蒴沈生長楕圓、葉は乾くも横皺なし卵狀又卵狀長楕頂短く狹く又やゝ廣く銳尖、中上に小齒あり、又殆全邊、肋は中上、本土に產す。

やまとひらごけ N. japonica (Besch.)

♀♂異株、外形タチヒラゴケに似たけ、蒴長4—5ミ、メ、葉は楕圓舌狀頂やゝ廣し、緣に小齒あり、肋は遠く頂下、九州及本土に產す。

さがみひらごけ N. kamakurana Okm.

チヤボヒラゴケに近し、♀♂同株、蒴は沈生卵狀長楕、帽は帽狀密毛あり、內♀花葉は倒卵長楕急に短き凸頭、葉は卵狀又廣卵長楕、イヅモメリンスゴケに似たり、本土に產す。

たかねめりんすごけ N. Konoi Broth.

♀♂異株、蒴長楕圓、柄五ミ、メ、葉は廣基より舌狀披針短く漸尖、頂に微小齒あり、肋は中上、四國及本土の高山に産す。

なよろひらごけ N. laeviuscula Card.

次種よりも葉廣く上方に急に狹くなる、北海道に産す。

はねひらごけ N. pennata (L.) Hedw.

♀♂同株、蒴は卵—長卵沈生、葉は卵狀又は廣楕圓長く又短く漸尖、中上に齒あり、又殆全邊、肋なし又叉狀にして短し、天城山に産し、亞、歐、弗、北米に分布。

ひめひらごけ N. pusilla, Mitt.

♀♂異株、♀花葉卵披漸尖、蒴長楕圓、葉は廣楕圓狀長楕圓やゝ廣く鋭尖、頂に微小齒あり、二肋短し、九州—本土産、亞、歐、弗、北米に分布せり。

とさひらごけ N. tosana Broth.

♀♂同株、蒴廣楕圓、葉は長楕舌狀圓き鈍頭、頂に微小鈍齒あり、肋は中央、外形チヤボヒラゴケに似たり、土佐國に産す。

みやまひらごけ N. Uematui Broth.

♀♂異株、蒴小、♀花葉全邊、葉は長楕舌狀急に鋭尖、全邊又頂に微小齒あり、肋は中上、本土及朝鮮に産す。

えぞひらごけ N. yezoana Besch.

やゝ大なる植物、葉舌狀中凹漸尖、基圓く、頂横波狀、全邊、肋は中上、北海道—臺灣産。

りぼんごけ屬 Neckeropsis Reichdt.

前屬に似たり、莖沈生、齒は乳頭あり横板あり、帽は帽狀、毛あり、葉は四列、横波狀、廣舌狀截頭―圓頭稀に尖る、上部の細胞菱形、楕圓形―小圓形、三六種樹上稀に岩上に生ず、本邦に三種あり。

せいなんひらごけ N. Lepineana (Mont.)

莖甚平く葉あり、巾廣し、肋双生、中央に終る、葉は强く横波狀長廣楕圓、圓き鈍頭、臺灣―本土に産し、亞及弗に分布。

りぼんごけ N. nitidula (Mitt.)

♀♂同株、莖廣楕圓、葉は倒卵形鈍頭、小鈍齒あり、肋は單一、中央に終る、臺灣―本土に産し清國及比島に分布

りぼんごけもどき N. pseudo-nitidula Okm.

前種に似たり、葉倒卵又圓き倒卵、頂圓き鈍頭、縁に小齒あり、肋は中上、臺灣に産す。

したごけ屬 Bissetia Broth.

♀♂異株、莖は廣楕、柄―サ、メ、蓋は斜嘴あり、葉は長楕舌狀殆同廣、頂圓く全邊又小鈍齒あり、脈短く屢叉狀細胞上方に圓く、翼に多列、甚小にして圓し、一種を産す

したごけ B. lingulata (Mitt.)

九州―本土に産す。

えびすごけ屬 Himanthocladium (Mitt) Fl.

柄短きも蒴はやゝ抽上、氣孔なし、蓋は斜嘴あり、葉は廣基より舌狀、小尖あり、肋は頂下、植物は樹狀又羽狀に分枝、一五種樹上に生ず、本邦に二種を産す。

おほえびすごけ H. formosanum B. Y.

次種に似て粗大、九サ、メ、に至る、黑色、葉は卵狀急に舌狀、鈍頭にして短突起あり、頂に小齒あり、頂細胞狹菱、基に狹線形、翼に別なし、臺灣に産す。

えびすごけ H. loriforme (Br. jav.)

♀♂異株、肋頂下、上部の葉細胞、廣楕－圓き菱形、縁に五列、長形、翼に屢ゝ方形－長方、葉は横波狀皺なし、心卵の基より長舌狀、頂廣くして鋭尖、縁に齒あり、臺灣産亞及濠に分布。

きだちひらごけ屬 Homaliodendron Fl.

♀♂異株、蒴廣楕、柄短、頸に氣孔あり、蓋は斜嘴あり帽は冠狀、葉は多形、披針長舌又篦舌狀、細胞前屬に似、翼に長方－廣楕－方形、肋は中央、二五種樹皮に着生、本邦産五種。

うちはひらごけ H. flabellatum (Dicks.)

蒴卵形、キダチヒラゴケより葉小、短廣、楕圓、頂更に圓く、微尖あり、齒小にして多數、鈍、肋は中央、九州－本土産、亞、及濠に分布。

じやばひらごけ　H. javanicum (C. M.)

蒴廣楕圓、葉は廣基より次第に舌狀となり頂に粗齒あり肋は中央、印度及諸島に分布。

ほうらいはごろもごけ　H. microdendron (Mont.)

蘚齒は線條なく密に乳頭あり、葉は廣箆形、頂圓く全邊叉小鈍齒あり、肋中上、臺灣に産し亞細亞に分布、

きだちひらごけ　H. scalpellifolium (Mitt.)

葉は長楕舌狀、頂圓く、巨大なる疎齒あり、肋は中上、九州一本土産、印度及比島に分布。

たちひらごけ屬　Homalia (Brid.)

♀♂同株叉異株、蒴長形、柄も長し、帽は冠狀、亞莖は多回不正叉狀に分枝、平に葉あり、葉細胞上方に菱狀六邊屢〻圓く、下方に長し、內蘚齒は細疣あり、基膜高し、一九種樹上叉岩上に生ず、本邦に五種を見る。

えぞたちひらごけ　H. Fauriei Broth.

♀♂同株、葉は長楕圓、頂圓く鈍頭叉微尖あり、頂に齒牙あり、肋は頂に達せず、細胞は楕圓形、九州一北海道に産す。

はなしたちひらごけ　H. laevidentata Okm.

♀♂異株、蒴長楕圓、齒平滑、柄二、五ミ、メ、葉は倒卵圓頭、全邊、基に耳あり、本土に産す。

ゆがみたちひらごけ　H. subarcuata Broth.

♀♂同株、蒴廣楕、齒は乳頭あり、柄五ミ、メ、葉は長楕

舌狀鈍頭上方に小齒あり、細胞線形、肋なし、九州に産す

たちひらごけ H. Targioniana Gough.

♀♂異株、ハナシタチヒラゴケに似たり、より大にして蒴柄長く、齒は乳頭あり、四國及本土に産し支那及印度に分布せり。

ながえたちひらごけ H. trichomanoides (Schreb.)

♀♂同株、蒴楕圓—圓筒形、齒は乳頭あり、柄は1—2サ、メ、葉は舌狀叉廣刀狀、短く尖る、叉は圓頭短尖あり中上に小齒あり、肋は中央叉二肋あり叉欠く、翼細胞方形叉廣楕圓、本土、北海道及朝鮮に産し、亞、歐、北米に分布。

はねごけ屬 Pinnatella (C. M.) Fl.

♀♂異株、蒴は卵圓黑色、柄は乳頭あり、莖は扇狀叉樹枝狀に羽枝を出す、上部の葉細胞は小乳頭あり、三七種樹皮稀に岩上に生ず、本邦に二種を産す。

たいわんはねごけ P. formosana Okm.

葉は三襞あり心卵狀舌形鋭尖叉短く漸尖、全邊、叉微齒あり、肋頂下、葉細胞上方に菱形基脚に短く線形、翼に方形、新竹産。

きぶりはねごけ P. Makinoi (Broth.)

葉は二襞あり、卵披舌狀鋭頭頂に微小齒あり、細胞やゝ圓く基部に廣楕圓、基緣に小にして圓し、臺灣、四國及本土産、支那に分布。

きだちひだごけ屬 Porotrichum Bryol. jav.

♀♂異株、蒴直立、卵圓叉長形、齒は多くは乳頭あるも柄は平滑、枝長く羽狀、葉は長襞あり卵—長舌狀叉卵披舌狀、鈍叉鋭頭上方に齒あり、細胞頂に廣く、平滑叉乳頭あり、四五種樹上に生ず。

きだちひだごけ P. plicatulum Mitt.

蒴柄二サ、メ、齒は線條なし、葉は長卵叉卵狀にして尖る、上方に多少齒あり、肋は頂に達せず、北米に分布。

おほとらのをごけ屬 Thamnium Bryol. eur.

♀♂異株稀に同株、蘚齒は横條あり、柄は長く平滑、帽は冠狀平滑、莖は樹枝狀に分枝、葉は長卵—卵披圓頭叉尖り、上方に細—粗齒あり、細胞は多くは圓き多角、基に長し、平滑、二九種岩上叉地上に生ず、本邦に八種を算す。

きつねのをごけ Th. alopecurum (L.)

♀♂異株、蒴廣楕、柄一五ミ、メ、葉は卵狀短く尖る、下方まで粗齒あり、翼細胞少、長方六邊、枝葉はより狹小肋は背に齒あり、本土及北海道產、亞、歐、弗に分布。

こまとらのをごけ Th. coreanum Card.

コトラノヲゴケに近し、細胞はより廣くして二倍大、透明、肋はより短く遠く頂下、♀♂同株なり、朝鮮に產す。

おほあみひらごけ Th. grandiretis B. Y.

♀♂同株、オホトラノヲゴケより葉狹く長楕圓、細胞は

上方に二倍大、本土に產し、すまとら島に分布。

ひろはのとらのをごけ Th. latifolium (Br. jav.)

♀♂異株、莖纖長、葉は長楕圓、背面のものは鈍頭、腹面のものは短く漸尖、頂に鈍齒牙あり、肋二、短、又欠く印度諸島及濠州に分布。

ひらはひらごけ Th. planifrons B. Y.

枝葉は卵狀長楕やゝ鋭尖頭、頂に鋭齒、下方に小齒あり細胞上方に狹廣楕、基に線形平滑、肋は頂下、中國地方に產す。

ことらのをごけ Th. plicatulum S. Lac.

♀♂同株、葉は卵披鋭尖、頂に3—5齒、肋は頂下、細胞は下方に長菱形、上方に廣楕、暗し、枝のはやゝ明、全體細く枝は多く總狀なるにより他と分つ、臺灣—北海道及朝鮮に產す。

おほとらのをごけ Th. Sandei Besch.

♀♂同株、枝葉箆形廣く漸尖、中上に小齒あり、上方及頂に大齒牙あり、細胞下方に線狀長楕やゝ長方形、翼に方形透明、九州—北海道產。

ふなばとらのをごけ Th. s. var. cymbifolium Card.

葉は僧帽狀、小齒牙あり、細胞は下部により狹長、四國及本土に產す。

とらのをごけ科 Lembophyllaceae.

♀♂異株又僞同株、蒴は直立又傾く、柄赤色平滑、帽は

冠状、主莖は纖匐枝状、樹状に分枝、毛葉少し、葉細胞は長形又菱形、翼に小、圓又方形、葉基に着色せず、肋は一又二又欠く、本邦に五屬あり。

屬名檢索表

1 葉は甚鈍頭……………………………………………2
　葉は短く又長く尖る、下延……………………………3

2 樹状に分枝、葉は下延せず、肋は中上、翼細胞小、方形、基膜半齒高……………………トラノヲゴケ屬
　不正羽状に分枝、葉はやゝ下延、基膜は$\frac{1}{6}$齒高………………………………イヌエボウシゴケ屬

3 翼細胞多數、方一菱形、凹まず、肋一又二、短、蓋は圓錐又斜嘴あり……………………ヒメヒナゴケ屬
　翼は凹み、細胞小、圓き四一六邊、又殆方形、蓋は斜嘴、肋殆中央……………………コクサゴケ屬
　翼細胞微小、方形、肋双生短し……イヌコクサゴケ屬

とらのをごけ屬 Dolichomitra (Ldb.) Br.

♀♂異株、蒴直立、長圓筒形、短頸あり、齒は乳頭あり間毛なし、枝葉は頂に重齒あり、細胞は菱形、下方に線形肋は中上、二種を含む。

とらのをごけ D. cymbifolia Lindb.

蒴は圓筒長楕、頸明、柄四サ、メ、莖葉は卵状鈍頭、頂やゝ三角、縁に齒あり、頂に大なる重齒あり、肋は頂下、臺灣一本土に產す。

はなしえぼうしごけ D. c. var. integerrima Okm.

葉緣上方に殆全邊又は小鈍齒あり、本土産。

おほえぼうしごけ D. robusta Okm.

トラノヲゴケに似たり、葉は展開せず、匕形に凹み楕圓圓き楕圓、頂に不正に重齒あり、肋は中上、頂屢ゝ叉狀、本土に産す。

いぬえぼうしごけ屬 Dolichomitriopsis Okm.

♀♂異株、一種よりなる、本邦特産なり。

いぬえぼうしごけ D. crenulata Okm.

蒴直立長楕、齒は乳頭あり、柄一サ、メ、位、葉は長楕倒卵長楕、圓き鈍頭、緣に微齒あり又なし、細胞は翼に多數方形一長方、飯豐山、早池峰、戸隱山等に産す。

びめひなごけ屬 Tripterocladium (C. M.) Kindb.

♀♂同株、蒴直立、圓筒一廣楕、齒は雁木狀の線あり、中上に横條あり、間毛發達、葉細胞は乳頭あり、植物纖長七種岩上に生ず、本邦に産するもの二あり。

ひめひなごけ T. japonicum Broth.

枝葉卵形狹く短く披針、頂に細齒あり、細胞稍ゝ疎にして線形翼に小、方形、肋二、短、本土産。

おほひめひなごけ T. robustulum Broth.

粗大、蒴直立長楕圓筒、柄一サ、メ、蓋は斜嘴あり、葉は卵披、頂に細胞あり、肋二、短又欠く、細胞短、線形、

翼に小、方形、本土に產す。

こくさごけ屬 Isothecium Brid.

多くは雌雄異株、莖は直立又傾く廣楕－長形、頸あり、內齒は乳頭あり、葉は上方に齒あり、肋は殆中央、一八種樹皮又岩上に生ず、本邦に八種を見る。

こくさごけ I. diversiforme (Mitt.)

莖直立長楕圓、柄一サ、メ、葉は卵圓短尖、頂に小齒あり、肋は中上、蘚齒は線條なく紋なく細乳頭あるを以て他種と別つ、九州－北海道に產し朝鮮にも之を見る。

みやまこくさごけ I. hakkodense Besch.

前種に似て莖卵形、蘚齒異なり、葉は卵狀鈍く漸尖又圓し、殆基部まで小齒あり、肋短叉狀、八甲田山に產す。

ながすぢこくさごけ I. h. var. longinerve Card.

枝やゝ平、肋は$\frac{3}{4}$に達す、北海道に產す。

たかねこくさごけ I. longicuspes Broth.

葉は長披針漸尖細く長く尖る、殆全邊、肋は中央又以上細胞明にして線形、八ケ岳產。

ではのこくさごけ I. pseudo-myurum Card.

莖直立、葉は長卵漸尖短く尖る、頂に細齒あり、月山に產す。

おほこくさごけ I. robustulum Broth,

葉は舌狀長楕圓鈍頭中下まで齒あり、肋短く、細胞は線形、マクカリヌプリ產。

ひめこくさごけ I. subdiversiforme Broth.

蒴傾く卵狀廣楕、柄一サ、メ、以上、葉は粗く開出、卵圓又卵狀短く尖る、頂に鋭重齒あり、肋は中上稀に兩岐、臺灣一本土に産す。

ひらこくさごけ I. s. var. complanatulum Card.

枝やゝ平、葉は廣卵、甚短く漸尖、淸澄山産。

いぬこくさごけ屬 Isotheciopsis

本邦に一種を産す。

いぬこくさごけ I. formosica B. Y.

纎長四サ、メ、莖葉卵狀長楕急に短く披針漸尖、全邊又頂に微齒あり、肋二、短、臺灣に産す。

あぶらごけ科 Hookeriaceae.

♀♂同株又異株、蒴は直立又傾く、頸に氣孔あり、柄は多少長し、齒は橫襞、乳頭又橫條あり、莖は毛葉及纎匐枝を欠く、平に葉あり、葉は四一八列、細胞扁平、多くは翼に異ならず、肋は一又二又欠く、本邦に六屬を産す。

屬名檢索表

1 { 肋單一又叉狀……………………………………2
肋二……………………………………………3
肋なし、葉五列、不明なる舷あり、細胞疎にして平滑……………………………………アブラゴケ屬 }

2 { 肋は分裂せず遠く頂下…………………………ツガゴケ屬

肋は叉狀、短、蒴柄は剛毛におほはる……イバラゴケ屬

3 { 葉は舷あり、細胞疎、圓き六邊、透明平滑……………………………………ヲトメゴケ屬
　 葉は舷なし、細胞乳頭あり……………………………………4

4 { 細胞長菱形、肋二、短叉欠く……………………マルハゴケ屬
　 細胞廣楕六邊、肋は頂下……………………サホヒメゴケ屬

つがごけ屬　Distichophyllum D. M.

蒴は卵—長卵形、頸長し、齒は横襞叉横條あり、葉は6—8列、多くは全邊にして舷あり、肋は頂に達せず、九三種、樹幹、濕岩、叉濕地に生ず、本邦に六種を見る。

やくしまつがごけ　D. collenchymatosum Card.

♀♂異株、肋は頂下、葉細胞上方に六邊、葉は倒卵篦形頂急に狹く凸頭、緣やゝ波狀、舷狹し、九州に產す。

ごうのつがごけ　D. Gonoi Card.

♀♂同株、次種に似たるも♀花葉凸頭銳尖、葉は頂屢、小齒あり、舷少しく明、細胞狹し、四國に產す。

つがごけ　D. Maibarae Besch.

♀♂異株、蒴卵狀、柄—サ、メ、平滑、♀花葉卵形廣く鈍く漸尖、葉は廣卵長楕漸尖、舷綠色、細胞中上に方形叉六邊、肋頂下、九州及本土產。

たかさごつがごけ　D. Mittenii Bosch. et Lac.

やゝ太き植物、♀♂同株、蒴柄短くして剛毛あり、葉は波狀ならず、側方のもの篦形倒卵、圓尖全邊、舷あり、上

部の葉細胞小にして下方に突然に多くより疎、臺灣産、亞細亞に分布。

いばらごけ屬 Eriopus (Brid.) C. M.

♀♂同株、蒴直立せず卵圓、頸細し、内齒は細疣あり、葉は六列、卵圓、短尖、齒あり、舷黄色、肋は叉分、二五種、朽木又岩上に生ず、本邦産二。

いばらごけ E. japonicus Card. et Thér.

纖長、柄四ミ、メ、側葉は漸尖、舷2―3列、上部の葉細胞廣楕の叉長き六邊、四國産。

けむしごけ E. mollis Card.

前種よりも葉大、細胞疎なるを以て分つ、葉頂圓く急に凸頭、舷同色、上方に齒牙あり、對島に産す。

あぶらごけ屬 Hookeria Sm.

♀♂同株、蒴卵圓、短頸、内齒細疣あり、葉は五列、卵圓形全邊、肋なし、五種地上に生ず、本邦産二種あり。

まるばあぶらごけ H. lucens (L.) Sm.

蒴水平、短頸、廣楕圓、柄1―2サ、メ、植物は六サ、メ、稀に一〇サ、メ、に至る、上葉は卵圓叉狹基より廣卵楕圓鈍頭全邊、細胞菱―菱形六邊、亞、歐、非、北米に分布。

あぶらごけ H. nipponensis (Besch.)

前種に比し葉は凡て廣く漸尖、細胞は六邊形、九州一本

土に産す。

をとめごけ属 Cyclodictyon Mitt.

蒴卵圓―長形、短頸、內齒乳頭あり、葉5―8列、長卵長形急に短錐形、稀に卵披、細胞甚疎、圓き六邊、葉基に長き六邊又長形、緣に披線形、九九種地上、岩上、又樹上に生す、本邦產一。

をとめごけ C. Blumeanum (C. M.)

側葉は短く尖る、狹尖あり又錐形に尖る、上部多少齒あり、上部の細胞圓き六邊、舷は1―2列、臺灣產、亞細亞に分布。

さほひめごけ属 Callichostella (C. M.)

蒴卵圓、長頸、蘚齒線披錐形密に橫條あり、葉長卵鈍く又短く尖る、上方に齒あり、細胞廣楕六邊、肋は頂下、九〇種樹上又岩上に生す、本邦に只一種を見るのみ。

さほひめごけ C. papillata (Mont.) Mitt.

柄平滑又上部に粗、莖葉は狹長楕舌狀漸尖、頂に重齒あり、細胞は乳頭あり、上部に圓き廣楕六邊、臺灣產、亞細亞に分布。

まるはごけ属 Chaetomitriopsis Fl.

一種を含む。

まるはごけ Ch. glaucocarpa (Reinw.)

♀♂同株、蒴は圓筒長楕、莖葉は廣卵長く尖る、齒あり肋二、短し、細胞長菱形、乳頭あり、枝葉は殆球狀短く廣く尖る、臺灣產、印度及比島方面に分布。

うにごけ科 Symphyodontaceae

一屬あり。

うにごけ屬 Symphyodon D. M.

♀♂異株、柄1―3サ、メ、上半粗、蒴直立、短頸、剛毛あり、葉は襞なく下延、長楕圓鈍又尖る、上方明に齒あり、細胞線形、乳頭あり、翼に圓く又方形、肋二、八種樹上に生ず、本邦產一。

うにごけ S. japonica Card.

葉は長楕圓、短披針狀に尖る、上方に鋸齒あり、北海道に產す。

ほそはしごけ科 Leucomiaceae

蒴長形、柄やゝ長し、♀花葉は全邊、莖は毛葉なく葉は襞なく短く又毛狀に尖る、全邊、翼細胞別なし、肋なし、本邦に一屬を產す。

ほそはしごけ屬 Leucomium Mitt.

蒴は傾き鑿形、蓋は長き細嘴あり。莖は羽狀に分枝、平に葉あり、葉は下延せず、卵形―卵披短く―毛狀に尖る、

全邊、肋なし、細胞疎、長斜方、平滑、基部に多少短し、二〇種朽木上に生ず、本邦に一種を産す。

をがたごけ　L. japonicum Broth.

九州に產す。

くじやくごけ科　Hypopterygiaceae

♀♂異株又同株、蒴整形、蓋は嘴あり、帽は冠狀又圓錐形毛なし、莖は密に褐毛あり、枝は平に葉あり、腹葉を具ふ、葉は二列、多くは舷あり、翼細胞別なし、肋單一、本邦に三屬あり。

屬名檢索表

1 ┌亞莖單一又疎に分枝、柄短、纖毛なし、肋は甚短し…………キジノヲゴケ屬
  └亞莖羽狀又樹狀枝あり……2

2 ┌柄長く、肋頂下、纖毛發達……クジヤクゴケ屬
  └柄短、肋は剛毛尖となる、纖毛を欠く……ナゼゴケ屬

なぜごけ屬　Lopidium Hook. fil. et Wils.

蒴小、柄短、五ミ、メ、植物纖長、莖は導束なし、莖葉は卵狀舌形鈍頭剛毛尖あり、細小にして圓し、腹葉小、卵披錐形に尖る、一六種樹皮に生ず、本邦產一種あり。

なぜごけ　L. nazeense (Thér.)

♀♂異株、甚纖長なる植物、葉頂疎齒あり、舷は只下面にのみ存す、糸狀の膷芽に富む。

くじやくごけ屬 Hypopterygium Brid.

蒴は直立せず、太き頸あり、內齒細疣あり、基膜高く、纖毛完全、柄やゝ長し、葉は多くは舷あり、肋は頂に達せず、細胞菱形又卵圓六邊、基部に長く疎、腹葉は卵形又圓く、錐形―芒狀に尖る、六一種樹上又岩上に生ず、本邦產七。

くじやくごけ H. Fauriei Besch.

♀♂同株、蒴大、卵圓、葉は舷あり、肋は頂下、莖葉は長卵形糸狀凸頭全邊、細胞は長く廣く六邊透明、枝葉は廣卵漸尖、基脚より齒あり、腹葉は球狀急に長き糸狀に凸頭九州―本土に產す。

ひめくじやくごけ H. japonicum Mitt.

♀♂異株、蒴は頸に次第に狹くなる、肋は全長、莖葉三角卵形、枝葉卵形漸尖、頂に小齒あり、細胞圓き廣卵、腹葉はやゝ球狀短き錐形、九州―本土及朝鮮に產す。

こくじやくごけ H. Levieri Broth.

前種に似たり、♀♂同株、葉は舷あり、肋は頂下、蒴は小にして圓き卵圓形、奄美大島產。

へりなしくじやくごけ H. paradotum Broth.

♀♂同株、蒴卵形又短長楕やゝ直立、柄一サ、メに至る葉は長楕披針鋭く漸尖、舷なし、上緣不正に粗齒あり、肋は中下、細胞大、菱形六邊、四國に產す。

しはくじやくごけ H. sinicum Mitt.

♀♂異株、葉は舷あり、肋は中上、細胞は小、廣楕六邊葉は廣卵微凸頭、頂に小齒あり、腹葉は圓き卵圓、九州に產し支那に分布せり。

きじのをごけ屬 Cyathophorella (Br.) Fl.

柄三―五ミ、メ、蒴長卵圓―圓筒形、齒は歴木狀の中線と弱き乳頭あり、植物纖長、多數の孵糸あり、一五種樹幹に生す本邦に二種あり。

あをやぎごけ C. Aoyagii Broth.

外觀ホウワウゴケに似たり、葉は卵形短く漸尖鋭頭上方に小齒あり、細胞は菱形粗大、腹葉は肋なし、伊豆國に產す。

きじのをごけ C. japonicum Broth.

前種よりも大、葉も大、卵披針形の漸尖頭、上方に棘狀の齒あり、四國に產す。

ひげごけ科 Theliaceae

♀♂異株、蒴傾く長形、柄長し、植物は甚纖長、葉は卵狀、肋單一叉叉狀短し叉は欠く、細胞菱形―楕圓多くは乳頭あり、本邦產一屬。

ひげごけ屬 Fauriella Besch.

蒴は傾き卵形、柄一五ミ、メ、葉は下延せず卵形長く狭く屡毛狀に尖る、小齒あり、細胞楕圓、乳頭あり、基部に

線形、肋なし、三種樹皮に生ず。

えだうろこごけもどき　F. tenuis (Mitt.)

蒴小、長楕圓、葉は疎、卵形錐形に漸尖、全邊、肋なし九州—北海道に產す。

こごめごけ科　Fabroniaceae

♀♂同株又異株、蒴は直立、齒は一又二列又欠く、帽は冠狀、莖は糸狀、毛葉なし、葉は卵—披針長く尖り襞なし細胞線形、翼に分化、肋は單一、短く又欠く、本邦に五屬あり。

屬名檢索表

1 ┌ 肋なし、葉は錐形—毛狀に尖る、內齒を欠く……………………コモチゴケ屬
  │ 葉は鈍頭又廣楕披針、肋やゝ強く又欠く、葉細胞小、菱形—六邊、翼に方形……………2
  └ 肋短又不明、葉は多少長く尖り、細胞大にして長く菱形、翼に多數、方形……………3

2 ┌ 肋は中央、柄九ミ、メ……………ケゴケ屬
  └ 肋なし、柄七ミ、メ……………イヌケゴケ屬

3 ┌ 肋短又不明、葉は齒あり、蒴は襞あり、內齒を欠く……………………コゴメゴケ屬
  └ 肋中上、葉全邊、蘚齒二列……………ソリハゴケ屬

こごめごけ屬　Fabronia Radd.

蒴直立、倒卵形又梨形、齒一列又欠く、葉は卵形又卵披錐形又毛狀、鋸齒あり、細胞長菱一長六邊翼に方形、九二種樹幹稀に岩上に生ず、本邦に二種あり。

いぬこごめごけ　F. Fauriei Card.

次種に近きも明に蘚齒あるを以て別つべし、本土の中北部に產す。

こごめごけ　F. Matsumurae Besch.

地上又岩上に生ず、蒴は球狀にして齒を欠く、葉は卵披頂に齒牙あり、肋は短し、本土より九州に亘り產す。

そりはごけ屬　Anacamptodon Brid.

♀♂同株、蒴は直立、廣楕圓、齒は二列、內齒は糸狀、葉は卵狀又廣楕圓長く尖り全邊、細胞は長菱六邊、基に長方、葉綠に富む、七種樹上に生じ、本邦に其四を見る。

みやまそりはごけ　A. amblystegioides Card.

ソリハゴケに似て粗大、葉は廣卵披、深波狀に小齒あり殆全邊、肋はより長し、木曾に產す。

やまとそりはごけ　A. japonicus Broth.

蒴は廣楕圓、柄は六ミ、メ、甚小なる植物、葉は卵披漸尖全邊、肋は頂又殆然り、舷明なり、本土に產す。

そりはごけ　A. latidens (Besch.)

蒴は倒圓錐形黑赤色、柄は膝曲、葉は卵披全邊、細胞は頂に卵狀楕圓、下部に長方、肋は中上、中部北部の山地に生ず。

そりはごけもどき A. sublatidens Card.

前種より葉短く葉緣に富む、上部のものは時として基より小齒あり、北海道産。

けごけ屬 Schwetschkea C. Müll.

樹上に生じ、纖弱、♀♂同株、蒴は卵圓—圓筒形、齒は二列、線條あり、蓋に嘴あり、葉に卵披長く尖る、肋は中央に達す、二二種を含み本邦に四種を產す。

たいわんけごけ S. formosica Card,

蒴卵形又短長楕、外齒廣三角急に錐形、葉は披針漸尖、上方に小齒あり、細胞は翼に多數方形、臺灣產。

しなけごけ S. laxa (Wils.) Jaeg.

葉は一方に曲る、廣披針漸尖全邊又は上部にやゝ齒あり臺灣に產し支那に分布、

ながすぢけごけ S. longinervis Card.

蒴直立卵狀長楕又圓筒形、肋は全長、葉は一方に曲らず狹披針、緣に小齒牙あり、四國—北海道に產す。

きのうへのけごけ S, Matsumurae Besch.

蒴卵形、柄短、葉は一方に曲る、卵披長く尖り緣に小齒あり、臺灣及本土に產す。

いぬけごけ屬 Schwetschkeopsis Broth.

蒴直立、卵圓、短頸、柄短、乾けば捩る、齒は二列、雁木形の縱線あり、蓋は斜嘴あり、葉は卵披長く尖る、緣に

小齒あり、肋なし、三種樹上に生ず。

いぬけごけ　S. denticulata (Sull.)

♀♂異株、枝平、莖葉卵形急に狹く漸尖、肋なし、微小なる乳頭狀齒牙あり、四國に產し北米に分布せり。

きのうへのほそごけ　S. japonica (Besch.)

♀♂同株、蒴直立、廣楕圓、柄七ミ、メ、枝葉卵披狹一錐形に尖る、小齒あり、細胞長き六邊、翼に多數方形、九州一北海道及朝鮮に產す。

こもちごけ屬　Habrodon Schimp.

蒴直立長廣楕、長毯あり、葉は廣楕又卵狀の長錐形、肋なし、細胞廣楕一長菱狀、緣に多列方形、二種樹上に生ず本邦に其一を見る。

こもちごけ　H. piliferus Card.

樹上に生じ、中部の高山に見る、蒴直立長楕圓、葉卵狀又やゝ球形にして頂は急に長き透明の毛になる。

うすぐろごけ科　Leskeaceae

♀♂異株又同株、蒴は多くは直立、齒は二列、帽は冠狀柄は多少長し、枝短く多くは毛葉あり、葉は卵一卵披、肋は頂下、細胞扁平稀に線狀、多くは乳頭あり、本邦に五屬を產す。

屬名檢索表

{葉は短く尖る、毯なし、細胞は圓き廣菱一菱形六邊、

1 { 縁列は方形、蘚齒は線條なし……………ヒトヘゴケ屬
  { 葉は二―四襞あり、齒は線狀あり……………………2

2 { 毛葉は少數…………………………………………1
  { 毛葉は多數…………………………………………3

3 { 蒴直立、楕圓―長形、葉は長く尖り二―四襞、肋は頂又頂下、細胞線形基部に長方形…………タカネゴケ屬
  { 蒴傾き卵圓―長形、葉は漸尖、二襞、肋は頂下、細胞廣楕の長き四―六邊…………………ムクゲゴケ屬

4 { ♀♂同株、蒴圓筒形、葉は心狀卵形にして尖る、鋭又鈍頭、殆全邊、細胞圓き六邊、基部に殆方形……………………………………………ウスグロゴケ屬
  { 異株、蒴圓筒形、柄1―2サ、メ、葉は卵―廣披、鈍頭、細齒あり、細胞廣楕圓翼に殆方形………………………………………………アサイトゴケ屬

ひとへごけ屬 Lindbergia Kindb.

♀♂同株、蒴長卵圓、柄5―10ミ、メ、莖は少數の毛葉あり、葉は下延、卵―卵披、襞なし、殆全邊、肋は頂下一三種樹幹に生ず、本邦産二。

ひとへごけ L. japonica Card.

葉は短く漸尖、肋は頂下、細胞は葉緣多く平滑、翼に小にして暗、本土に産す。

うすぐろごけ屬 Leskea Hedw.

同株、♀花葉の肋は頂下、柄やゝ長し、枝は羽狀、毛葉少し、葉は心狀卵形にして尖り鋭又鈍頭殆全邊、細胞は圓き六邊、葉基に殆方形、乳頭あり、一四種を含む、本邦產五種あり。

しこくはりがねごけ　L. filaria Broth.

葉は卵披又長楕披針全邊、又頂に小齒あり、肋は遠く頂下に終る、四國に產す。

にはごけもどき　L. leskeoides (Card.)

肋は漸尖頭に終る、細胞は凡て圓く、兩面に粗乳頭あり莖葉は卵形急に長き鋭頭漸尖、枝葉はより大、狹披針鋭頭突出する細胞と乳頭により鈍齒狀をなす、產地、北海道?

うすぐろごけ　L. obscura Hedw.

蒴直立圓筒形、葉は一方に曲らず、襞なく平緣、長楕卵形、鈍又やゝ鋭頭、全邊、又小齒あり、肋は頂下に終る、本土に產し北米に分布。

こしのうすぐろごけ　L. polycarpa Ehrh.

蒴直立圓筒形、柄一四ミ、メ、葉は一方に曲り基に一襞あり、緣反曲、廣卵—心狀の基より漸尖、全邊、肋殆頂、枝葉は襞なし、本土に產し、亞、歐、北米に分布せり。

みちのくはりがねごけ　L. p. var. japonica Card.

柄5—7ミ、メ、♀花葉更に大、本土に產す。

ひめうすぐろごけ　L. pusilla Mitt.

蒴は楕圓狀圓筒形、柄一五ミ、メに至る、葉基に二襞あり、僅に外反、卵披又長楕披針全邊又頂に小齒あり、肋は

頂に近く終る、細胞概ね方形、本土に產す。

たかねごけ屬　Lescuraea Bryol eur.

♀♂異株、蒴直立、氣孔少し、柄一サ、メ、位、紫色、葉は廣披長く尖り、2—4襞あり、細胞線形基部に長方、四種樹皮に生ず。

みやまきつねごけ　L. brachycladula Broth.

甚纖小、蒴小、同筒形、葉は廣披又狹卵披漸尖、長く尖らず、肋は頂又頂下、岩手山に產す。

たかねごけ　L. julacea Besch. et Card.

毛葉少し、葉は長楕披針少しく波狀、襞あり、甚次種に似たり、本土に產す。

ひろはたかねごけ　L. striata (Schwgr.) Br. eur.

蒴殆圓筒形、柄一サ、メ、葉は廣披針漸尖長き二襞あり、全邊、細胞は上方に線形、基に長方、緣に方形、肋殆頂、亞、歐、弗、北米に分布。

むくげごけ屬　Pseudoleskea Bryol. eur.

蒴は直立せず、柄一五ミ、メ、齒は横條あり、毛葉は多數、葉は卵狀急に披針又漸尖、二襞あり、細胞は圓き廣楕又長き4—6邊、肋は頂下、背に齒あり、三八種地上に生ず、本邦產五。

いぼなしむくげごけ　P. laevissima Card.

♀♂同株、蒴殆圓筒形、柄曲折一五ミ、メ、枝長くして

曲る」毛葉なし、叉少し、葉は卵披鋭頭全邊、肋は$\frac{2}{3}$、細胞基部に長楕圓、緣にやゝ圓く平滑にして明、肋短、四國及北海道產。

ゆみさやむくげごけ　P. lutescens Card.

♀♂異株、蒴は弓形、柄曲折二五ミ、メ、毛葉多數、葉は一方に曲る、深襞あり、長く狹く漸尖、細胞平滑、肋完全叉伸出、九州に產す。

とさうすぐろごけもどき　P. Nakanisikii Br.

枝長くして曲る、肋短、葉は披針又卵披短し、鈍頭、上緣は不明なる齒あり、細胞小にして暗し、土佐國に產す。

てうせんむくげごけ　P. papillarioides C. M.

♀♂異株、肋完全叉伸出、毛葉多數、葉は一方に曲る、急に又次第に披針形に尖る、葉細胞は乳頭あり、朝鮮及支那に產す。

あさいとごけ屬　Pseudoleskeopsis Broth.

♀♂異株、蒴は殆圓筒形、彎曲、齒は密に橫條あり、柄長二サ、メ、♀花葉の肋は頂一短く伸出、莖は毛葉少し、葉は襞あり鈍頭、細胞は卵圓、翼に殆方形、細疣あり、肋は頂下、一二種地上に生ず本邦產五？

あさいとごけ　P. decurvata (Mitt.)

蒴は圓筒形弓形、葉は廣卵、小鈍齒あり、肋は全長、九州一本土に產し支那に分布。

ながえのあさいとごけ　P. Fauriei (B. P.)

蒴圓筒形やゝ曲る、柄二四ミ、メ、肋殆頂、葉は稍〻心狀の卵形廣く漸尖、不明なる鈍齒牙あり、四國及本土に產す

しのぶごけ科 Thuidiaceae

♀♂同株又異株、柄長く平滑、蒴は傾く、多少彎曲、帽は冠狀毛なし、葉は二形、細胞はウスグロゴケ科に似たり肋單一、頂下又伸出、本邦に一五屬あり。

屬名檢索表

1 ｛常葉は長襞、肋は頂下……………………………………2
　 ｛常葉は長襞なし……………………………………………3

2 ｛異株、蒴は直立、莖葉廣三角心形急に錐形全邊………
　 ｛……………………………………………ヒナトラノヲゴケ屬
　 ｛異株、蒴は傾き曲る、莖は正しく重羽狀に分枝、枝は同長に二列、毛葉甚多數、莖葉廣心急に錐形、緣に齒あり…………………………………………ホンシノブゴケ屬
　 ｛同株、蒴は傾き曲る、莖葉は狹基より突然卵披銳く尖る、頂に小齒あり、細胞長き六邊—殆線形………………
　 ｛……………………………………………スマシノブゴケ屬

3 ｛肋短又不明、翼細胞別なし………………イトツルゴケ屬
　 ｛肋は頂下—伸出……………………………………………4

4 ｛葉は一樣なり…………………………………………………9
　 ｛葉は不同なり…………………………………………………5

5 ｛蓋は圓錐形に尖る、莖は密に正しく單羽狀………………
　 ｛……………………………………………モミシノブゴケ屬

蓋は嘴あり……………………………………………………6

6 { 莖單羽狀……………………………………………………7
  { 莖重羽狀……………………………………………………8

7 { ♀花葉長く毛狀、鋸齒あり…………………………ススゴケ屬
  { ♀花葉全邊、枝葉乾けば伏す…………………バンダイゴケ屬

8 { 莖單一叉重羽狀、枝葉乾けば曲る、♀花葉は毛あり…
  { ……………………………………………ハコダテシノブゴケ屬
  { 2—3回羽狀、枝葉乾けば伏す、♀花葉は時に毛狀に
  { 尖る、齒あり……………………………………シノブゴケ屬

9 { ♀♂異株、蒴直立、整形、主莖匐枝狀…………………11
  { 蒴は對稱、直立せず、主莖匐枝狀ならず………………10

10 { 毛葉極少、葉は上方に齒あり、細胞圓形—廣楕有角、
   { 肋頂下。♀♂異株……………………………………ハリゴケ屬
   { 毛葉多數又少、葉全邊又齒不著、細胞は廣楕—長き六
   { 邊、肋は頂又伸出、♀♂同株………………コバノキヌゴケ屬

11 { 胞は中央又短……………………………………………12
   { 肋は頂又頂下……………………………………………13

12 { 葉は小齒あり、細胞平滑、蒴は氣孔あり……………
   { ……………………………………………………ミヤベゴケ屬
   { 葉は全邊、細胞は乳頭あり、蒴は氣孔なし…………
   { ……………………………………………………イハイトゴケ屬

13 { 肋は上方に曲折、細胞小殆方形平滑なり……………
   { ……………………………………………………ラセンゴケ屬
   { 肋は眞直、細胞圓き六邊、乳頭あり…キヌイトゴケ屬

いとつるごけ屬 Heterocladium Bryol. eur.

♀♂異株、毛葉あり、蒴は直立せず、短頸に氣孔あり、莖葉は倒心形の基より尖り、齒あり、肋は短、六種を含む本邦に二種を產す。

いせのいとつるごけ H. capillaleum Broth.

莖纖長、葉も小、長卵やゝ披針、毛狀に尖らず、不明に齒あり、肋不明、細胞も小、本土の產。

みやまいとつるごけ H. pilicuspes Broth.

イハイトゴケ屬に似たり、葉卵形急に毛狀に長く尖る、肋は双生、短、細胞粗、楕圓、明、信州夏澤峠にて採集せり。

みやべごけ屬 Miyabea Broth.

纖弱、蒴は卵圓形、基部に氣孔あり、外齒平滑、ラメラ密生、葉は廣楕圓、小齒あり、細胞平滑、肋は短し、三種樹幹に生ず。

みやべごけ M. fruticella (Mitt.)

蒴卵圓、柄四ミ、メ、莖は不順序に多枝、葉は卵狀、頂廣くやゝ鈍、(小枝に鋭頭)頂に鋭齒あり、肋は中央、細胞明、小にして圓し、翼に更に小、圓き方形、九州―本土に產す

まるばみやべごけ M. rotundifolia Card.

次種に似たるも葉は廣卵狀に圓く甚短く廣く漸尖、鈍又小しく鋭頭、多くは全邊、本土及朝鮮に產す。

しのぶすゞごけ　M. thuidioides Broth.

やゝ粗大、葉卵狀又廣楕短く漸尖鋭頭、全邊又微齒あり肋中上、細胞小、廣楕、翼に多數、乳頭なし、四國に產す

いはいとごけ屬　Haplohymenium Doz. et Molk.

纖弱、蒴は廣楕直立、氣孔なし、柄短、外齒は附屬物あり、らめらなし、葉は廣楕舌狀全邊、細胞は乳頭あり、肋短、稀に長し、二三種、樹皮又岩上に生ず、本邦に一四種あり。

につくわういとごけ　H. biforme Broth.

ナガスヂイトゴケに近し、枝細長、葉は二形、短く漸尖枝頂の者は或は甚長く毛狀に漸尖、九州―北海道及朝鮮に產す。

ひめいとくずごけ　H. brachycladulum Okm.

蒴直立卵狀球形、葉は卵狀急に舌狀、鈍又甚短く尖る、全邊、細胞六邊形、肋は中央、越中產。

とさきぬいとごけ　H. Gonoi Broth.

肋は中央、細胞圓く小、乳頭あり、基部に狹長楕平滑、葉は卵披短く漸尖全邊、四國に產す。

ながすぢいとごけ　H. longinerve (Broth.)

蒴直立卵圓、柄二ミ、メ、肋は頂下、葉卵形漸尖鋭頭又は卵狀急に舌狀、細胞は乳頭あり、九州―本土及朝鮮に產す。

こばのいとごけ　H. microphyllum (B. P.)

葉は卵披短く漸尖又卵狀舌形、肋は中下、四國—北海道又朝鮮產。

なかぢいとごけ　H. Nakazii Okm.

葉は廣卵又卵形にして急に長く舌狀、頂圓く全邊、肋は中央、中國に產す。

くろきぬいとごけ　H. obsoletinervis Broth.

甚纖長、葉疎、狹舌狀、圓き鈍頭全邊、肋は中央、細胞圓く小乳頭あり、本土に產す。

おかむらいとごけ　H. Okamurae Card.

イハイトゴケに似たり、より粗、葉は廣卵短舌狀やゝ短尖起あり、肋は中上、四國に產す。

けいはいとごけ　H. piliferum Br. et Yasuda.

葉は廣卵の基より長く毛狀漸尖又披針錐形全邊稀に舌狀鈍く漸尖、肋は漸尖部に終る、細胞圓くして中央に低き乳頭あり、鍋割山產。

いはいとごけもどき　H. Sieboldii Doz. et Molk.

イハイトゴケに似たり、葉は長楕舌狀鈍く尖る、肋は中央、九州及本土に產す。

たかさごいとごけ　H. submicrophyllum (Card.)

葉は卵披短く漸尖、肋は中上、或は卵狀舌形鈍頭にして全邊なるも突出せる細胞によりて鈍齒狀をなす、細胞は圓き六邊、小乳頭あり、臺灣、九州及本土の南部に產す。

いはいとごけ　H. triste (Ces.) Kindb.

葉は卵形中凹の基より急に舌狀、突出する細胞により齒

狀をなす、肋は中央以下、上部の葉細胞不正に圓き六邊、基脚に橫長方又は橫廣楕六邊、九州－北海產、亞、歐、北米に分布。

きぬいとごけ屬 Anomodon Hook. et Tayl.

♀♂異株、蒴は多くは直立圓筒形、內齒は細疣あり、葉は五列、廣楕圓舌狀、披針形－錐形となる、多くは全邊、細胞は圓き六邊、乳頭あり、肋は完全ならず、一九種樹上又岩上等に生ず、本邦產一四を算す。

みやまぎばうしゆごけもどき A. abbreviatum Mitt.

蒴廣楕、柄同長黃色、粗大なる植物にして葉は卵狀の基より披針舌形鈍頭殆全邊、細胞小にして圓く暗、單尖の乳頭あり、脈の基部にやゝ長し、九州－本土に產し支那に分布せり。

あをつるごけ A. actifolius Mitt.

葉は卵披鈍頭又尖る、遠く下方まで不正に齒あり、細胞菱形平滑、九州－北海道產、印度に分布せり。

えぞいとごけ A. apiculatus Br. eur.

蒴殆圓筒形、柄八ミ、メ、葉は頂に微尖あり、心卵狀急に舌形、圓き耳あり、細胞小、圓き六邊、縁は細胞突出しやゝ齒狀、肋は頂下、九州－樺太及朝鮮產、亞、歐、北米に分布。

きぬいとごけ A. armatus Broth.

蒴は長楕圓筒形、柄6－8ミ、メ、波狀、葉は卵狀、長

く狹く披針漸尖甚鋭尖、頂透明、緣反曲殆全邊、小鈍齒あり、肋頂下、細胞は乳頭あり稍圓し、其脚肋に近く廣楕圓本土一樺太產

たちつるごけ A. atténuatus (Schreb.)

蒴圓筒形、蓋は嘴あり、柄1—2サ、メ、葉卵披舌狀、鈍頭叉小尖あり、頂端にのみ單一なる粗齒あり、細胞圓き六邊、密に乳頭あり、本土に產し亞、歐、北米に分布せり

きすぢきぬいとごけ A. decurrens Card.

葉長く下延、廣舌狀圓き鈍頭、細胞は乳頭多く暗、基部に殆方形、肋黃色頂下、九州及朝鮮產。

おほぎばうしゆごけもどき A. Giraldii C. M.

蒴は氣孔あり、葉は卵披舌狀全邊、細胞は密に乳頭あり本土、九州、朝鮮及支那に產す。

あをいとごけ A. minor (Palis.) Fur.

蒴長卵叉楕圓、頸なし、柄一サ、メ、葉は長卵舌狀、肋頂下、黃色、細胞暗、圓き六邊、九州一本土及朝鮮產、亞及北米に分布。

まきごけ A. planatus Mitt.

二列に葉ある甚平き植物、葉は僅に廣基より短く廣く舌狀全邊、肋は常に一方に偏す、甚纖長なる植物なり、印度に分布。

ぎばうしゆごけもどき A. ramulosus Mitt.

葉は廣基より舌狀急に狹くなる、頂圓く全邊、肋は頂下透明、上部の細胞甚暗、九州一本土產、支那に分布。

きいとごけ　A. rostratus (Hedw.)

蒴は長卵、蓋は嘴あり、柄7—8ミ、メ、葉は卵狀の基より狹披、單細胞列透明の錐形に尖る、全邊、細胞圓き六邊、密に乳頭あり、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布

こまのきぬいとごけ　A. thraustus C. M.

ギボウシユゴケモドキに似て細胞上部にやゝ明なり、九州本土及朝鮮に產し支那に分布。

みやまいとごけ　A. Uematsui Broth.

エゾイトゴケに似て更に纖小、葉は耳なし、廣基より急に狹舌形、圓き鈍頭又鈍く尖る、肋頂下、細胞圓く密に乳頭あり、基部に狹長楕透明、栗駒山、早池峰、鬼首等に產す。

らせんごけ屬　Herpetineuron (C. M.) Card.

♀♂異株、蒴直立圓筒形、氣孔なし、枝は乾けば螺旋狀にまく、葉五列、長披針、短く尖る、細胞小、方形、肋は上部蟠曲、頂下、三種岩上生。

さがみうねりごけ　H. attenuatus Okm.

葉は長楕披針長く漸尖、頂に齒あり、肋は頂下、上方に波狀、鎌倉に產す。

らせんごけ　H. Toccoae (S. L.) Card.

次種に近し、肋は波狀ならず、全體はより大、葉頂に粗大なる齒あり、本土—臺灣產、亞、弗、米に分布。

おほらせんごけ　H. T. f. robusta Broth.

粗大、上野國に產す。

つくしらせんごけ　H. wichurae (Br.) Card.

纖長、葉は長楕披針短く漸尖、中上に微小齒あり、肋は上方に曲折、頂下、九州一本土に產す。

はりごけ屬　Claopodium (L. J.) Ren. et Card.

♀♂異株、少數の毛葉あり、蒴直立せず、長廣楕、短頸あり、外齒は橫條よりラメラあり、蓋は嘴あり、葉は同形廣楕披針又錐形、細胞圓き有稜又廣楕有稜、乳頭あり、肋は完全ならず、二〇種樹幹及岩上に生ず、本邦產一〇種あり。

はりごけ　C. aciculum Broth.

蒴水平廣楕圓、長嘴あり、柄一サ、メ、位、葉は卵披漸尖、緣に小齒あり、細胞楕圓にして明、大なる乳頭あり、肋は頂に達す、九州一本土產。

こばのはりごけ　C. a. var. brevifolium Card.

葉も細胞もより短、枝はより多く、乳頭甚突出、紀伊に產す。

おほしまはりごけ　C. asperrimum Card.

ナガスヂハリゴケに似たり、されど快綠又黃綠、葉はより大廣く漸尖、緣少しく反曲、細胞はより大、兩面に乳頭あり九州及朝鮮に產す。

まきはりごけ　C. assergens (S. L.) Card.

蒴柄は粗、葉は頂まで卷く、上方に少齒あり、卵形又楕

圓急に披針形に尖る、細胞やゝ圓くして乳頭あり、肋は殆頂、臺灣、九州、小笠原及朝鮮產。

こばのまきはりごけ　C. a. var. brevifolium Card.

葉はより短廣、細胞はより大、厚し、本土—朝鮮に產す

いぼはりごけ　C. papillicaule Broth.

蒴水平、廣楕、柄一五ミ、メ、に至る、葉は心披糸狀漸尖、脈黃色頂下、莖は密に疣あり、九州及本土に產す。

ながすぢはりごけ　C. prionophyllum (C. M.)

莖は乳頭なし、蒴は卵形、莖葉疎、狹披針漸尖、平縁、全緣に小齒あり、細胞甚小、圓し、甚細乳頭あり、肋黃色伸出、蒴柄は平滑なり、本土及朝鮮に產し亞細亞に分布せり。

てうせんはりごけ　C. p. var. septentrionale Card.

より大、枝長く、葉大、より長廣、漸尖、濟州島に產す

つるぎごけ　C. pugionifolium Card.

葉は三角急に細く長く尖る、叉廣披針、頂やゝ透明、肋は遠く頂下、葉頂不明なる齒あり、莖は乳頭あり、本土及北海道に產す。

しこくはりごけ　C. subaciculum Broth.

ハリゴケに似たり、より粗、肋は黃色、全長叉伸出(枝葉では短し)、細胞甚小、圓し、莖葉は狹長漸尖、頂に齒あり四國に產す。

ふとはりごけ　C. subpiliferum (Ldb. et Arn.)

甚纖長、葉は披針毛狀に尖る、緣に齒あり、基全邊、肋

、不明又欠く、本土産、亞細亞に分布。

みどりはりごけ C. viridulus Card.

ハリゴケに似て更に綠色、葉はより廣く卵披、より短く漸尖、細胞更に葉綠多し、朝鮮産。

こばのきぬごけ屬 Haplocladium C. M.

♀♂同株、蒴は傾き圓筒形、蓋は尖り、柄は長し、毛葉は糸狀、葉は同形、廣楕披針、細胞廣楕六邊、乳頭あり、翼に方形、肋は全長又伸出、五〇種樹上、岩上、地上に生ず、本邦産一三、

こしのにはごけ H. brevipes (B. P.)

コミノアサゴケに似たるも植物纖小、綠黑色、肋伸出せず、葉全邊、柄一サ、メ、以內、越中産。

にはごけ H. amblystegiodes (B. P.)

コミノニハゴケよりも蒴大、柄長く、網は明なり、臺灣に産す。

こばのきぬごけ H. capillatum (Mitt.)

キヌゴケモドキに似たり、葉は卵狀の基よりやゝ急に披針毛狀、縁にうすく齒あり、肋殆頂に達す。九州一北海道産、亞細亞に分布。

ひろばのあさごけ H. latifolium (Lac.)

蒴柄三サ、メ、葉は二形、卵披細く長く尖る、縁に齒あり、縁は波狀、肋頂下やゝ曲折、臺灣一本土に産す。

こみのあさごけ H. microcarpum Card.

コバノキヌゴケに似たり、蒴微小、柄短五ミ、メ、肋は伸出、本土に産す。

こめばきぬごけ　H. microphyllum (Sw.)

蒴殆圓筒形、曲る、柄二サ、メ、に至る、葉は三角急に披針錐形、頂に强波狀の齒あり、肋全長、細胞廣楕、基部に短長方、翼に殆方形、枝葉卵形、尖る、肋は頂下、細胞は乳頭あり、臺灣、四國及本土、朝鮮産、亞、歐、北米に分布。

こにはごけ　H. miser (B. P.)

葉は三角披針全邊、肋は曲折、錐形の部に不明となる、細胞やゝ暗、柄一サ、メ許、岩代奥川産。

けごけもどき　H. Schwetschkeoides (Card.)

蒴直立圓筒形、柄六ミ、メ位、莖は毛葉多數、葉は披針錐形、全邊又頂波狀、肋は殆全長、細胞線狀長楕、翼に方形、北海道に産す。

きぬごけもどき　H. spurio-capillatum Br.

蒴は圓筒形やゝ曲る、柄二二ミ、メ、葉は廣基より披針漸尖長く毛狀、肋は全長、細胞は下方に方形又長方、上部に菱形半透明、臺灣一本土に産す。

たかねにはごけ　H. subbrevipes Broth.

蒴小、柄細く七ミ、メ、葉は二形、殆披針細く尖る基やゝ廣し殆全邊、上方に弱く齒あり、肋は頂下、細胞は明、本土及北海道に産す。

のみはにはごけ　H. subulatum Card

柄二五ミ、メ、波狀、葉は同形、長錐形、肋は伸出、細胞は長楕圓線形、乳頭單一、大、九州及本土に產す。

ちやぼすゞごけ屬 Boulaya Card.

蒴直立、齒は細粒又疣あり、柄二サ、メ、蓋は短嘴あり莖は羽狀に分枝し、枝短く同長、莖葉は急に錐形になり全邊、肋は錐部の基に達す、細胞甚厚くして細乳頭あり、內♀花葉は狹披針長き毛狀、二種樹幹に着生す。

ひろはすゞごけ B. latifolia Okm.

極めて次種に近し、莖葉短く下延廣心錐形急に毛狀に狹くなる、全邊、細胞甚小、圓き方形—圓き楕圓—方形、上方に長楕圓、栗駒山產。

ちやぼすゞごけ B. Mittenii (Broth.) Card.

蒴卵狀長楕—殆球狀、柄二サ、メ、莖葉は廣心卵形漸尖頂時として毛狀になる、全邊、肋は漸尖部に達す、細胞は前種に似たり、九州—北海道及朝鮮に產す。

ばんだいごけ屬 Rauia Aust.

♀♂同株、蒴は圓筒狀、彎曲、柄長く、蓋は短嘴あり、莖は單一又羽狀に枝あり、葉は二形、莖葉は多少縱襞あり心披又披針錐形全邊又は乳頭あり、肋は頂下、枝葉は卵披短く尖る、一四種を含む、本邦只一種を產するのみ。

ばんだいごけ R. bandaiensis (B. P.)

蒴非對稱圓筒形、柄一五ミ、メ、枝葉莢狀、葉は鞘狀三

角卵形狹く漸尖全邊、枝葉はより狹し、細胞は縁に方形、其他圓き方形、凡て乳頭あり、花葉は肋なし、九州、本土北海道及朝鮮に產す。

はこだてしのぶごけ屬 Thuidiopsis (Br.) Fl.

♀♂異株、蒴直立せず、蓋は細嘴あり、內♀花葉は多くは毛あり、莖は單一又重羽狀に分枝、莖葉は廣心急に披針錐形殆全邊、又上方に細齒あり、肋完全又頂下、細胞有稜圓形、多乳頭、端細胞二尖、枝葉は乾けば曲る、一九種を含む、本邦に其二を產す。

はこだてしのぶごけ T. hakodatense B. P.

莖は匐枝狀に長くなる、莖葉は長襞あり、廣心の基より急に披針錐形、細胞は圓き—卵狀六邊、基に長し、北海道產。

しのぶごけ屬 Thuidium Br. eur.

♀♂同株又異株、蒴直立せず、圓筒形、曲る、蓋は斜嘴あり、♀花葉屢長き毛狀になる、莖は1—3回羽狀、莖葉三角—心卵狀、披針錐形に尖る全邊又上方に齒あり、肋頂下、細胞圓き—長六邊、多乳頭、一六一種、樹幹、岩上、地上に生ず、本邦に二二種を見る。

ちやぼしのぶごけ T. bipinnatulum Mitt.

蒴は圓筒形、莖は再羽狀、葉は戟狀漸尖頭、縁反曲、肋頂下、枝葉は卵狀、背と縁に乳頭あり、不齊齒牙狀、九州

本土及北海道に產す。

たちしのぶごけ T. cylindraceum Mitt.

蒴は圓筒形、柄は頂粗、莖は羽狀に分枝、莖葉は戟狀心形、錐形全邊、肋は錐形の前に終る、枝葉は卵形、背に乳頭あり、九州及本土の產、南米に分布。

ひめしのぶごけ T. cymbifolium D. M.

莖葉はヤマトシノブゴケより稍大、長錐形に尖る、肋は多くは芒狀、枝葉の細胞は長き曲れる乳頭あり、莖は2—3回羽狀、枝葉の端細胞は2—4尖、臺灣及本土產、亞細亞に分布。

こばのゑぞしのぶごけ T. delicatulum (Dill. L.)

蒴は圓筒形、蓋は斜嘴あり、柄二五ミ、メ、莖は2—3回羽狀、毛葉多數、莖葉は短き廣き三角心形の基より急に披針錐形、凹襞あり、頂に強波狀の齒あり、又は全邊、緣は反卷、肋は頂、細胞廣楕圓、基に長方、枝葉は卵形にして尖り其端細胞は2—4尖、亞、歐、米に分布せり。

りうきうしのぶごけ T. glaucinoides Broth.

アヲシノブゴケに似たれど枝葉は細胞は單尖の屢々曲れる乳頭あり、臺灣、琉球、印度及諸島に產す。

あをしのぶごけ T. glaucinum (Mitt.)

莖は匐枝狀に長くなる、毛葉多數、莖葉は長襞あり、卵形又は長卵形鋭く尖る、細胞楕圓—長六邊、肋中上、臺灣より本土まで之を產し、亞及北米に分布。

やまとしのぶごけ T. japonicum D. M.

莖は2—3回羽狀、毛葉多數、葉はやゝ三角急に尖る、縁に小齒あり、肋は中央又頂下、内雌花葉は長く尖る、枝葉の端細胞は2—4尖あり、臺灣—北海道に産し支那に分布す。

いとしのぶごけ T. micropteris Besch.

甸枝なし、葉は襞なし、植物は纖長、莖葉は半球狀、齒牙狀に不齊齒あり、急に漸尖、肋は頂下、細胞は乳頭あり方形、枝葉甚小、卵狀楕圓やゝ漸尖、肋は中上、四國—北海道に産す。

ひなしのぶごけ T. minutulum (Hedw.)

蒴は水平、楕圓、柄は二サ、メ位、莖は1—2回羽狀、毛葉單一、莖葉心狀又三角形の短披針全邊、細胞乳頭あり齒狀をなす、肋頂下、枝葉卵披、端細胞2—3尖、亞、歐米に分布。

えぞしのぶごけ T. recognitum (L. Hedw.)

蒴は點頭、圓筒形、柄二五ミ、メ、莖は甸枝狀、莖葉短廣三角心形急に披針形、小鈍齒あり、四襞あり、肋は頂、枝葉三角急に長く尖る、端細胞2—4尖、本土及北海道産亞、歐、亞、北米に分布。

おほあをしのぶごけ T. subglaucinum Card.

アヲシノブゴケよりも莖正しく再羽狀、莖葉は二倍大、細胞は葉緣に富む、朝鮮に産す。

ながばしのぶごけ T. subpycnothallum Card.

コバノエゾシノブゴケに近し莖葉長く漸尖、頂やゝ糸狀

に延出、本土、北海道、朝鮮及支那に產す。

おほしのぶごけ　T. tamariscinum (Hedw.)

蒴直立圓筒形、弓形、柄3—5サ、メ、莖は傘枝狀、三回羽狀、毛葉甚多數、枝葉の端細胞は單尖、莖葉は廣三角急に披針、3—4の長襞あり、緣に齒あり、肋は頂又頂下樺太に產し、歐、亞、北米に分布せり。

ほそしのぶごけ　T. Tsunodae Broth.

纖長、傘枝なし、小枝は平滑、莖葉は襞なく卵形、短く尖る、殆全邊、肋は頂下、赤城山の產。

こましのぶごけ　T. uliginosum Card.

コバノエゾシノブゴケより美にして莖は正しく再羽狀、莖葉はより大、毛葉は長き裂片あり、朝鮮に產し又越中黑部山に產す。

こしのぶごけ　T. viride Mitt.

莖は再羽狀、傘枝狀に長くなる、莖葉は腎狀漸尖錐形頂に小齒あり、肋は頂又伸出、細胞廣楕、枝葉は廣き卵形、細胞圓し、四國より北海道まで之を產す。

ながばこしのぶごけ　T. viridiforme Card.

前種よりも莖葉は長く狹く漸尖、枝葉はより廣く鈍頭、毛葉はより短し、本土に產す。

もみしのぶごけ屬　Abietinella C. M.

♀♂異株、莖は單羽狀、毛葉多數、莖葉は四襞あり、肋頂下、細胞は長し、乳頭單一、蒴殆直立、柄長し、三種を

含み、其一を本邦に產す。

もみしのぶごけ　A. abietina (Dill. L.)

蒴は直立圓筒形、柄三サ、メに至る、莖葉は下延する卵一心形の基より披針、鋭又鈍く尖る、肋は頂下、枝葉小、卵形にして尖る、北海道に產し亞、歐、北米に分布せり。

ひなとらのをごけ屬　Hylocomiopsis Card.

♀♂異株、內♀花葉は半鞘狀長く狹く尖る、長襞あり殆全邊、蒴直立、長形、柄長し、主莖匐枝狀、亞莖重羽狀、莖葉廣三角心形急に錐形、全邊、枝葉小、心披短く廣く尖る、一種あり。

ひなとらのをごけ　H. ovicarpa (Besch.)

ヒヨクゴケに似たり、蒴は卵形又長楕圓、葉細胞透明長楕圓又卵形、四國及本土及朝鮮產。

ほんしのぶごけ屬　Tetracladium (Mitt.)

蒴は傾き圓筒形、柄長く、平滑、莖は正しく密に重羽狀枝は兩側に同長、莖葉廣心形急に披針錐形、肋は頂下、二種を含み本邦產一。

ほんしのぶごけ　T. Molkenboerii Lac.

枝は四列の如く見ゆ、葉は上方に齒あり、♀花葉は全邊九州一北海道に產す。

ぬましのぶごけ屬　Helodium (Sull.)

♀♂同株、蒴は傾き長圓筒形、柄五サ、メ、枝細くして糸狀、莖葉は狹基より突然に卵披鋭く尖る、肋頂下、細胞長き六邊—殆線形、五種を含み、本邦に其三を見る。

おほぬましのぶごけ H. lanatum (Stroem.)

♀♂同株、丈夫なる植物、肋は遠く頂下、莖葉は卵—心形急に披針形に短く尖る、弱く歯あり、樺太産、亞、歐、北米に分布。

ぬましのぶごけ H. paludosum (Sull.)

肋は殆全長、葉は長楕披針漸尖、亞及北米産。

からふとぬましのぶごけ H. sachalinense (Ldb.)

♀♂異株、蒴楕圓少しく曲る、柄二五ミ、メ、肋は中上葉はやゝ圓き基より急に長く漸尖、毛狀の歯あり、枝葉は廣卵、短く漸尖、細胞は長乳頭あり、樺太に産す。

やなぎごけ科 Amblystegiaceae

蒴は傾き—水平、楕圓—圓筒形にして曲る、蓋は短き圓錐形、鋭頭又疣あり、帽は冠狀平滑、葉は殆同形、横に着生、肋は單—叉二、細胞は六邊—線形、平滑、本邦に十一屬を産す。

屬名檢索表

1 { 肋殆完全叉伸出、毛葉あり叉なし……………………………2
  { 肋弱し、毛葉なし、稀に若き枝に有す……………………3

2 { 毛葉多數、葉は長襞あり、一方へ鎌形に曲る……………
  { ……………………………………………………シヤグマゴケ屬

毛葉なし、葉は襞なし……………………ミヅヤナギゴケ屬

3 肋は單一叉欠く、細胞狹線形、葉は廣心叉心狀錐形…
……………………………………………ホソハヒゴケ屬
肋弱く叉欠く、細胞菱一長六邊、葉は披針一披針錐形
植物甚纖長なり……………………………コヤナギゴケ屬
葉細胞線形、毛葉は若枝にのみ存す……………………5
古♂同株、葉は心一卵披長く尖る、肋は中央、稀に長
し………………………………………………………………4

4 細胞厚壁、中央に扁四邊形、上部に線狀六邊……………
……………………………………………ヒメヤナギゴケ屬
細胞薄壁、線狀、六邊、時に線形…………ヤナギゴケ屬

5 蓋は短嘴あり、毛葉なし………………アヲハヒゴケ屬
蓋は圓錐形、毛葉は若枝にのみ存す……………………6

6 肋は二叉二脚………………………………………………7
肋は單一……………………………………………………8

7 翼細胞疎、方形叉長方形、葉は廣楕披針叉廣卵殆圓球
狀、頂尖り叉圓し、肋は不同に二脚…ミヅハヒゴケ屬
翼細胞廣楕圓狀方形　六邊、無色、葉は廣楕圓鈍頭全
邊、肋二短叉欠く…………………………ヤリホゴケ屬

8 肋は殆完全、葉細胞線狀六邊、翼に方形一長方、葉は
廣楕叉略圓形鈍頭叉短く小尖あり、全邊……………
……………………………………………………サヽバゴケ屬
肋中上稀に伸出、細胞線形、翼に別あり、葉は卵披一
心披一三角披針多少長く尖る、多くは一側に鎌形……

しやぐまごけ屬 Cratoneuron (Sull.) Roth.

♀♂異株、莖は圓筒形、蓋は鈍頭、葉は正しく羽状、毛葉に富む、十一種、濕地又淺水中に生ず、本邦に三種あり

みづしだごけ C. filicimum (L.) Loesk.

莖は長楕―圓筒、曲る、柄四サ、メ、莖葉は三角心形の基より披針形に尖る、縁に小齒あり、細胞は葉縁に富み、四―六邊、又菱形―線形をなす、翼に粗大、肋は殆完全、九州―樺太産、殆全世界に分布せり。

にせしつちごけ C. f. var. fallax H. et T.

一〇サ、メ以上に達す、葉は僅に廣基より長く尖る、肋完全又伸出、越中國に產す。

やまとしつちごけ C. f. var. japonicum Broth.

葉は長三角細く尖る、全邊、又不明に細齒あり、肋は全長、全本土に產す。

しやぐまごけ C. glaucum (Lam.) C. Jens.

莖は圓筒形、柄五サ、メ、莖葉は下延、廣心三角急に披針形に尖る、縁に齒あり、肋は頂下、細胞線形、翼に長方亞、歐、非、北米に分布。

かましやぐまごけ C. g. var. falcatum (Brid.)

莖は長き楕圓、柄三サ、メ、莖葉は卵―楕圓の基より披針錐形、亞、歐、非、北米に分布

ひろばみづしだごけ C. latifolium (Okm.)

ミヅシダゴケに似たるも全體疎、葉はより廣く三角心形短く錐形に漸尖、全邊又小齒あり、肋は頂下に終る、信州布施に産す。

ほそはひごけ屬 Campylium (Sull.) Mitt.

♀♂同株又異株、蒴は圓筒形曲る、葉は廣楕又心狀卵形長く尖る、細胞線形、翼に方形、二五種を含む、本邦に産するもの九種あり。

こがねはひごけ C. chrysophyllum (Brid.)

蒴は長き楕圓—圓筒、僅に曲る、柄二五ミ、メ、葉は卵狀—殆三角形の基より披針錐形全邊、肋は中上、黃色、葉細胞に原始囊なし、枝葉は廣楕披針長く尖る、九州、本土及北海道に産し、亞、歐、北米に分布せり。

ながすぢはひごけ C. elodes (Spruce.)

蒴は楕圓高背、柄三サ、メ、葉は卵披錐形漸尖殆全邊、時に不明に齒あり、肋は殆完全なり、本土に産し、亞及歐に分布せり。

やなぎごけもどき C. hispidulum (Brid.)

♀♂同株、ホソハヒゴケに似たり、柄短一、サ、メ、葉は廣心形の基より急に長狹披針形に尖る、緣に細齒あり、肋二甚短く又欠く、陸中、と朝鮮に産す、亞、歐、米に分布。

りうびごけもどき C. polygamum (Br. eur.)

♀♂同株、蒴柄2—4サ、メ、葉は狹長卵又狹基より長

卵披錐形全邊、肋は中央又以上、細胞は明なる原始嚢あり本土及北海道產、亞、歐、米、濠に分布。

あかこがねはひごけ　C. rufo-chryseum (Schmp.)

コガネハヒゴケに似て帶褐赤色、葉はより短く全緣に明に齒牙あり、九州及本土に產す。

ほそはひごけ　C. Sommerfertii (Myriu.)

♀♂同株、蒴は長楕—圓筒、柄二サ、メに至る、葉基心形突然殆二倍の長ある錐形に狹くなり、狹長披針形、緣に小齒あり、肋二短く黃色又欠く、本土及北海道產、亞、歐北米に分布。

かなだそりばごけ　C. stellatum (Schreb.)

蒴は廣楕又楕圓、柄三五ミ、メ、莖葉は卵形又廣楕の基より披針鈍尖、肋なし又短し、本土及北海道に產し、亞、歐、北米に分布せり。

やなぎごけ屬　Leptodictyum (Sch.) War.

生殖部はヒメヤナギゴケ屬に等し、毛葉なし、葉は廣く一疎に展開、肋は中央又以上、細胞狹く線狀六邊—線形、一七種を含む、本邦に五種を見る。

ちやぼやなぎごけ　L. flaccidum (B. Y.)

♀花葉は鞘基より長く漸尖、毛狀、莖は密羽狀に分枝、葉は下延せず卵形急に漸尖、披針錐形又毛狀、漸尖部に微小齒あり、翼細胞長方、肋は中上に達す、岩代國須賀川產

やなぎごけ　L. riparium (L.) War.

蒴は楕圓—長圓筒、柄三サ、メ、葉は短く下延卵形又楕圓の基より披針形時に毛狀に尖る、全邊、肋黄色、中上、翼細胞長方、臺灣—北海道に産し、亞、歐、弗、北米に分布せり。

ながやなぎごけ　L. r. var. elongatum Schimp.

快綠色、莖長く浮む、葉は二列、錐形に長く尖る、本土の産、歐州に分布。

ながばやなぎごけ　L. r. var. longifolium Bryol. eur.

暗綠又幾分赤黄、葉卵披、單細胞列の長き毛尖あり、急流に生す、會津奥川村産、亞、歐、北米に分布。

はやまやなぎごけ　L. trichopodium (Schultz.) War. var. Kochii. (Bryol. eur.)

蒴は短頸楕圓—短圓筒、柄3—5サ、メ、莖葉は下延、廣卵—心基より披針急に長く狹く尖る、殆全邊、肋は$\frac{2}{3}$以上、翼細胞長方六邊、枝葉は卵披、肋は中上、本土に産し亞、歐、北米に分布せり。

みづやなぎごけ屬　Hygroamblystegium Loesk.

♀♂同株又異株、蒴は直立せす、圓筒形、曲る、莖は正しく羽狀、毛葉なし、葉は卵披—長披針、肋は頂下—伸出翼細胞方—長方—六邊、八種、水中に生す、本邦に只一種を産す。

みづやなぎごけ　H. aquaticum (B. P.)

♀♂同株、予は未だ本種を見す。

ひめやなぎごけ屬 Amblystegium Buyol. eur.

♀♂同株、蒴は頸あり長形—圓筒形、曲る、莖は毛葉なし、葉は短く下延、心卵—卵披、長く尖る、細胞扁四邊狹六邊、翼に方—長方形、肋は中央—頂、四七種、地上、岩上、樹上等に生ず、本邦に六種を產す。

つややなぎごけ A. nitidulum Broth.

植物は甚纖長、美黃綠色、葉は殆卵披漸尖、細齒あり、翼細胞小にして方形、肋は殆中央に達し葉は長く下延、赤城山に產す。

いぼやなぎごけ A. papillosum B. P.

♀♂異株、柄二サ、メ、葉は鎌形披針、微小齒あり、肋は全長、德島產

ひめやなぎごけ A. serpens (L.) Br. eur.

蒴長圓筒弓形、柄三サ、メ、莖葉僅に下延、卵披錐形、全邊、肋は中上、翼細胞疎、方形、本土及北海道に產し全世界に分布せり。

ばんだいやなぎごけ A. Lematui Broth.

ツヤヤナギゴケに近し、葉下延せず、狹披錐形、肋は中上に終る、盤梯山に產す。

こやなぎごけ屬 Amblystegiella Loesk.

♀♂同株、蒴直立、倒卵圓—圓筒形、莖纖細、毛葉なし葉は披針錐形、全邊、細胞菱—長六邊、肋短又欠く、九種、

樹上又岩上に生ず、本邦に只一種を產す。

こやなぎごけ A. spurio-subtilis (B. P.)

葉は下延、披針—披針錐形、全邊、翼細胞方形、內♀花葉は全邊、未だ本種を見ず。

かぎはひごけ屬 Drepanocladus (C. M.) Roth.

蒴は傾き圓筒形、曲る、枝端は鎌形、葉も鎌形に曲り類披針形、細胞線形、翼に別あり、肋は多少長し、四〇種濕地又水中に生ず、本邦に產するもの五種あり。

みやまかぎはひごけ D. exanulatus (Gümb.)

♀♂異株、蒴は圓筒形、柄五サ、メ、莖葉は卵披細く尖く、全邊、又上方に小齒あり、肋は中上—頂、八甲田山產亞、歐、北米に分布。

うかみかまごけ D. fluitans (L.) Broth.

♀♂同株、蒴は長卵、柄一〇サ、メ、葉は下延、楕圓の耳ある基より披針漸尖、頂に多少齒あり、肋は頂、本土の產、亞、歐、非、北米及濠に分布せり。

おほかぎはひごけ D. splendens Broth.

葉は不正舌狀殆全邊、急に短く尖る、肋は双生甚短し、仙臺に產す。

かぎはひごけ D. uncinatus (Hedw.)

♀♂同株、蒴圓筒形、柄三サ、メ、莖は疎に羽狀、葉は鎌狀下延せず、廣卵披長錐形、緣に齒あり、肋は中上—頂翼細胞四—六邊、本土の高山、樺太及朝鮮に產し、殆全世

界に分布せり。

みづはひごけ屬 Hygrohypnum Lindb.

蒴は傾き卵圓—長形、蓋は圓錐形、枝は不規則、葉は卵披又廣楕圓、鈍頭又尖り時に圓形、細胞線形、翼に方又長方形、肋は短くして不同に叉分又單一殆完全、二六種濕地に生ず、本邦に九種を產す。

くはがたしめりごけ H. cordifolium Okm.

♀♂同株、蒴は長楕圓、葉は心形又圓き心形、頂圓き鈍頭又廣く鋭尖、中上に小齒あり、肋は中上、槍岳に產す。

アルプスしめりごけ H. dilatatum (Wils.)

♀♂同株、蒴は狹楕高背、柄二サ、メ、位、葉は下延、甚狹基より廣楕殆環形、鈍く短く尖る、全邊、又頂に不明に齒あり、肋は短く二脚又欠く、中北部の高山に產し、亞歐、北米に分布。

つやごけもどき H. entodontoides (B. P.)

♀♂異株、蒴は黑褐色、一側膨大、葉は卵披全邊舟形、肋甚弱く又欠く、翼細胞長方透明、其他は線形、屋久島產。

たかねしめりごけ H. eugyrium (Br. eur.)

♀♂同株、蒴は楕圓、柄一五ミ、メに至る。葉は下延、廣楕披針急に鋭く尖る、肋なし、又短し、白馬山に產し、歐、北米に分布。

みやまみづはひごけ H. molle (Dicks.)

♀♂同株、蒴廣楕、柄一サ、メ、葉は下延、卵—楕圓の

基より鈍く披針形、一方に曲らず、尖部に齒あり、肋は二—三脚稍々中央、岩木山及八甲田山に産し、歐及北米に分布せり。

みづはひごけ H. montanum (Wils.)

♀♂同株、蒴は狹楕—圓筒、柄二サ、メに至る、葉は下延、卵披、斜に尖る、上方に鋭齒あり、肋二屢々欠く、歐及北米に分布。

うすきしめりごけ H. ochraceum (Turn.)

♀♂異株、蒴長卵、柄2—3サ、メ、葉は卵狀長披針鈍く又鋭く尖る、全邊又頂に齒あり、肋は單一、又上方叉狀或は中止、白馬山に産し、亞、歐、北米に分布。

むらさきしめりごけ H. purpurascens Broth.

♀♂同株、♀花葉は短披針漸尖頭、全邊、帶紫色の柔なる植物、葉は卵形又長楕卵形、短く漸尖鋭頭全邊又頂端に微小齒あり、肋二、短し、白馬山に産す。

あをはひごけ屬 Platyhypnidium Fleisch.

♀♂同株、蒴は傾き高背廣楕、蓋は斜に嘴あり、葉は展開、廣卵長楕、鋭く又鈍く尖る、緣に齒あり、細胞狹く翼に方形、二〇種濕岩又水中に生ず、本邦に四種を見る。

あをはひごけ P. rusciforme (Neck.)

蒴廣楕、柄一五ミ、メ、下葉卵形長く尖る、肋なし、莖葉は廣卵楕圓、披針形に尖る、緣に齒あり、肋は$\frac{3}{4}$に達す九州—北海道に産し、亞、歐、弗、北米に分布せり。

てうせんあをはひごけ　P. r. var. coreanum Card.

葉は卵披漸尖、前種のよりも鈍頭にして小、朝鮮に産す

ひろはのなぎごけ　P. r. var. prolixum Brid.

水生、枝長く、葉細胞狹長、横須賀産、歐に分布。

まるばみかづきごけ　P. Sasaokae (Okm.)

蒴長楕圓、柄一三ミ、メに至る、葉は圓き心形又殆圓く頂鈍又は短く廣く鋭頭、縁に小齒あり、九州及本土に産す

しみづみかづきごけ　P. S. var. immersum (Okm.)

沈生、枝長く、二〇サ、メに至る、葉大、伯耆國産。

つきなぎごけ　P. Schottmulleri (Broth.)

蒴卵圓、柄一五ミ、メ、葉は卵狀一卵狀廣楕、稍鈍頭、縁に齒あり、肋は中上、臺灣一本土産。

おほみかづきごけ　P. S. var. perlongicladum Okm.

前種より枝長く(一八サ、メ)して平ならず、本土に産す。

さいしうあをはひごけ　P. tenuinerve Card.

葉形アヲハヒゴケに似て肋細く短く、縁に小齒牙あり、翼細胞大、濟州島及膽振國に産す。

さゝばごけ屬　Calliergon (Sull.) Kindb.

♀♂異株又同株、蒴は傾き柄は頗る長し、莖葉は大、廣楕一圓形、鈍又鋭頭全邊、細胞六邊の線形、翼に方形、長方形、又多角形、肋は單一、一五種濕地又水中に生ず、本邦に凡三種あり。

ながばのさゝばごけ　C. acuminatum Broth

葉は卵披漸尖、頂やゝ鈍頭全邊、肋は中上に達す、盤梯山に產す。

さゝばごけ　C. cordifolium (Hedw.)

♀♂同株、♀花葉全邊、肋長し、蒴卵形高背、柄5—8サ、メ、莖葉下延、心披、圓尖、肋頂下、枝葉披針鈍頭、八甲田山に產し亞、歐、北米及濠に分布せり。

みやまさゝばごけ　C. perdecurrens Broth.

葉は下延、廣卵漸尖、短鋭頭、肋中上、葉頂に齒あり、枝長く頂鎌形、夏澤峠に產す。

いとさゝばごけ　C. stramineum (Dicks.)

♀♂異株、蒴楕圓—曲れる圓筒、柄五サ、メに至る、♀花葉殆全邊、短肋あり、莖葉下延、楕圓—舌狀全邊、頂帽狀、肋中上、日光に產し、亞、歐、北米に分布せり。

やりほごけ屬　Calliergonella Loesk.

♀♂異株、蒴は水平、圓筒形、柄長くして曲り、枝端は尖る、毛葉なし、葉は廣楕圓鈍頭全邊、細胞曲線狀、翼にやゝ圓し、肋二、短又欠く、二種？を產す。

わかはごけ　C. binervoulum (Broth.)

水生、葉は長楕圓鈍頭全邊、肋双生短し、陸中に產す。

やりほごけ　C. cuspidatum (L.) Loesk.

莖は羽狀、莖葉下延、廣長卵鈍く尖る、全邊、肋二短又欠く、枝葉は小、卵披、蒴柄は4—7サ、メ、紫赤色、本土及北海道產、全世界に分布。

あをぎぬごけ科 Brachytheciaceae

♀♂同株又異株、蒴は多くは直立せず、柄は長し、蓋は圓錐形或は嘴あり、莖は毛葉なく不規則に羽狀、葉は多列心形—披針形、細胞線形、翼に方形又長方形又多角形、肋は單一、多くは頂下、本邦に一二屬あり。

屬名檢索表

1 {葉は深長襞あり、♀♂異株……………………………………2
  {葉は平滑又淺襞あり……………………………………………3

2 {蒴直立、柄紫色粗又平滑、葉卵披、緣に細齒あり………………………………………………………………アツブサゴケ屬
  {蒴傾く、柄紫色粗、葉形似たり…………ザラツキゴケ屬
  {蒴直立、柄赤色平滑、葉心披漸尖、緣に銳齒あり………………………………………………アツブサゴケモドキ屬

3 {枝葉荑狀、葉中凹、卵圓—圓形、鈍頭………………………4
  {枝葉荑狀ならず、葉は多少尖る…………………………………5

4 {葉殆圓形、柄平滑…………………………ネズミノヲゴケ屬
  {葉は廣卵—長楕圓やゝ尖る、柄は粗……イボエゴケ屬

5 {葉は多少長襞あり……………………………………………6
  {葉は長き襞なし………………………………………………7

6 {同株又異株、葉基卵—三角心形長く尖る、細胞長菱又線形、柄は平滑又粗、蓋は嘴なし……アヲギヌゴケ屬
  {異株、莖葉は心卵—三角心形、短く又長く尖る、肋は芒として終る、細胞甚狹く平滑、柄も平滑………………

……………………………………………キブリナギゴケ屬
異株、莖葉三角心形—卵披、細胞長菱—長六邊形、肋は芒として終る、枝葉の細胞は上端に突起あり、柄は甚粗……………………………………………ヤノネゴケ屬

7 異株、枝平ならず、葉は卵—長卵急に披針又毛狀、細胞狹く平滑、柄は粗……………………………ヒゲバゴケ屬
枝はやゝ平に葉あり……………………………………………8

8 同株、蒴直立、柄平滑、蓋は圓錐鈍頭、葉は卵披錐形上方に細齒あり……………………………イヒシバゴケ屬
同株、蒴傾く、柄平滑、蓋は長嘴あり、葉卵形—卵披にして尖る、肋は芒として終らず…………カヤゴケ屬
異株又同株、蒴は傾く、柄は粗、蓋は斜嘴あり、葉は卵狀—殆三角卵形にして尖る、肋は背に芒として終る(伸出の意にあらず)……………………………ナギゴケ屬

ざらつきごけ屬 Camptothecium Br. eur.

♀♂異株、蒴は傾き長卵—長圓筒形多少曲る、內齒遊離蓋に鬚あり、莖は羽枝あり、葉はアツブサゴケ屬に似たり、一五種岩上、地上、又樹上に生ず、本邦に二種を見る。

ざらつきごけ C. auriculatum (Ldb.)

蒴柄粗、7—8サ、メ、葉は廣心狀披針、耳大、肋は中下、本土、樺太及朝鮮に產す。

こみみざらつきごけ C. subauriculatum (Card.)

蒴柄粗、一サ、メ、葉は廣卵披やゝ毛狀に尖る、耳なし

又小、縁に小齒あり、本土及北海道產。

あつぶさごけ屬 Homalothecium Br. eur.

♀♂異株、蒴直立、內齒は外齒に輕く附着し蓋は長嘴あり、葉は卵披、細齒あり、翼細胞多數、廣楕圓、一六種岩上又樹幹に着生す、本邦に五種を見る。

ひめあつぶさごけ H. laevigatum S. Lac.

蒴直立長楕圓、柄紫色平滑、葉は卵披、小齒牙あり、肋は頂下、九州一本土に產す。

ひろはあつぶさごけ H. l. var. latifolium Card.

葉はより廣くして短く漸尖、朝鮮に產す。

ほそはあつぶさごけ H. l. var. pilicuspis Card.

葉は錐形甚細く毛狀四國に產す。

おほあつぶさごけ H. macrostegium (S. L.)

蒴廣楕圓筒、蓋は長嘴あり、葉は長楕卵形の基より長く漸尖、肋殆全長、本土に產す。

えぞあつぶさごけ H. sciureum (Mitt.)

蒴長楕圓狀廣楕、柄赤色平滑、一サ、メ、枝葉は圓き基より披針錐形、縁に甚小齒あり、肋は頂、本土に產す。

あつぶさごけ H. tokiodense (Mitt.)

蒴直立、廣楕圓筒、柄一サ、メ、枝葉は心狀三角細き錐形、縁は隅に最小齒あり、其他全邊、四襞あり、臺灣一北海道に產し支那に分布せり。

ひらふあつぶさごけ H. triplicatum Card.

葉は深き三襞あり、肋は葉の中央の襞をおふ、北海道に產す。

あつぶさごけもどき屬 Pleuropus Griff.

蒴直立、圓筒形、柄赤色平滑、內齒遊離、蓋は長嘴あり葉は心披漸尖銳齒あり、細胞は小耳ある翼に廣楕圓方形、一五種樹上に生ず、本邦に只一種を產す。

あつぶさごけもどき P. fenestratus Griff.

蒴大、直立、柄細長、葉は一方に曲り下延せず、心披、肋は遠く頂下、細胞線形、四國及本土に產し亞細亞に分布

いひしばごけ屬 Iisibaea Br. et Okm.

♀♂同株、蒴直立長圓筒、柄一五ミ、メ、蓋は圓錐鈍頭莖は纖長、密に枝あり、葉は卵披錐形に尖る、上方に細齒あり、肋は錐部に達す、翼細胞多數方形、一種樹幹に生ず

いひしばごけ I. japonica Br. et Okm.

飯豐山、白馬山、御前岳及信州堺村等に產す。

あをぎぬごけ屬 Brachythecium Br. eur.

蒴は短卵形又圓筒形、柄平滑又粗、蓋は鈍又銳頭、莖葉は卵狀又三角心形の基より長く尖る、細胞は長菱又線形、凹まざる翼に方形又長方又長六邊等、肋は多少長し、二二七種、地上、岩上、樹上に生ず、本邦產四五種を算す。

こえだひつじごけ B. brevirameum Card.

♀♂異株？ サイシュウヒツジゴケに似て小、葉短く漸尖、全緣に小齒あり、細胞はより短、より綠色、肋は全長、濟州島に產す。

あらはひつじごけ B. Brotheri Par.

♀♂同株、柄は粗、莖葉は甚疎に開出、廣心形急に長く絲狀によれる、全緣に齒あり、肋は頂に達せず、本土—樺太產。

ながひつじごけ B. Buchanani (Hook.)

♀♂異株、蒴圓筒形殆正し、柄は平滑、莖葉披針形細く長く尖る、全緣に齒あり、翼細胞疎にして透明、肋は完全ならず、白綠色の蘚、九州—北海道產、印度に分布。

おほながひつじごけ B. B. var. japonicum Card.

より粗、網はより密、細胞はより狹し、四國—北海道及濟州島に產す。

ささはごけもどき B. calliergonoides Broth.

肋は三分の二以上に達し、莖葉は類卵形、上方に疎齒あり、本土に產す。

こまのひつじごけ B. coreanum Card.

柄平滑、肋は完全ならず、ケヒツジゴケより枝厚く葉密莖葉廣三角披針漸尖、網はより密、細胞はより狹し、朝鮮產。

えぞあをぎぬごけ B. curtum Ldb.

♀♂同株、蒴は長卵、柄2—3サ、メ、粗、莖葉は廣卵—心形の基より急に披針漸尖殆全邊、肋中央—頂下、枝葉

は鋭齒あり、北海道に產し、亞、歐、北米に分布す。

こあみめひつじごけ B. densirete B. P.

アヲギヌゴケに似たり、莖葉長卵一卵披、葉基に耳あり肋は中上、緣に齒あり、四國及本土に產す。

おにひつじごけ B. eustegium Besch.

♀♂異株、蒴倒卵、柄一サ、メ、平滑、莖葉は廣卵披、紲狀によれる、頂に齒あり、肋は中上、本土及北海道に產す。

フォーりひつじごけ B. Fauriei Card.

葉下延、卵披長狹錐形に漸尖、肋は $\frac{2}{3}$、全緣に齒あり。

いしかりひつじごけ B. flexicaule Broth.

♀♂同株、蒴廣楕、柄二サ、メ、粗、葉開出、下延、廣三角心形急に狹長漸尖、微齒あり、肋は中上、北海道に產し北米に分布せり。

つぶてごけ B. glareosum Bryol eur.

♀♂異株、蒴長卵、柄1.5—3、サ、メ、平滑、葉下延、卵形又廣楕圓急に長き毛狀、頂に疎齒あり、肋中上、亞、歐、北米に分布、

くろいしひつじごけ B. kuroishicum Besch.

♀♂同株、蒴は黑色、柄二サ、メ、平滑、莖葉は廣心卵形漸尖、糸狀によれる、殆全邊、中上に小齒あり、肋は中央、九州、本土及北海道に產す。

こえのひつじごけ B. k. var. littorale Card.

蒴長く長楕圓やゝ圓筒、柄八ミ、メ、北海道產。

ちやぼひつじごけ B. k. var. minus Card.

より小、枝多數細長殆糸狀、本土に產す。

たかねひつじごけ B, laxitextum Broth.

♀♂異株、蒴廣楕、柄八ミ、メ、平滑、枝葉下延、卵狀長楕急に長き狹披錐形、肋中上、上緣に微小齒あり、本土及朝鮮に產す。

ひめひつじごけ B. minutum Broth.

♀♂同株、蒴廣楕、柄八ミ、メ、平滑、肋は中上、莖葉は卵披長く尖る、上方に小齒あり、アヲギヌゴケに似て纖長なる植物、本土及北海道に產す。

えぞひつじごけ B. Miyabei Broth.

♀♂異株、蒴廣楕圓、柄二五ミ、メ、平滑、莖葉は卵披錐形殆全邊、肋中上、♀花葉全邊、北海道に產す。

ひつじごけ B. moriense Besch.

♀♂異株、蒴倒卵、柄一サ、メ、平滑、♀花葉は齒あり葉は心卵披錐形、上部に齒あり、肋は中上に終る、本土及北海道に產す。

ほそえひつじごけ B. m. var. effusum Card.

枝細長、波狀不正羽狀、葉はより多く齒牙あり、肋强く翼細胞より大、多數、北海道產。

ながえひつじごけ B. m. var. longirameum Card.

枝疎羽狀長し、葉も翼細胞も大、四國に產す。

おたるひつじごけ B. otaruense Card.

♀♂同株、蒴長楕、柄一サ、メ、平滑、植物甚纖長、肋

は中央又少しく以上、葉卵披長き錐形、縁に微齒あり、翼細胞少、やゝ大、長方形、小樽に産す。

みやまひつじごけ　B. perrevolutum Broth.

植物は纎長、葉は披針形、肋は頂下、縁は上部に齒あり戸隠山に產す。

けあをぎぬごけ　B. piligerum Card.

ケヒツジゴケに似たり、♀♂異株、蒴は黒褐、柄一五ミメ、平滑、葉は卵狀又長楕甚急に毛狀に長くなる殆全邊、細胞狹長、早池峰產。

はねひつじごけ　B. plumosum (Sw.)

♀♂同株、蒴は廣楕又楕圓、柄1—2サ、メ、上部に小疣あり、肋は上方に叉狀、莖葉三角卵形—廣卵漸尖、細く尖る、全邊又よれる頂に不明の齒あり、臺灣—樺太產、全世界に分布。

みうまやひつじごけ　B. p. var. mimmayae (Besch.)

枝葉廣く漸尖、柄全部粗、本土及濟州島產。

きびのひつじごけ　B. p. var. scarriosifolium (Besch.)

枝葉はより狹く漸尖、肋$\frac{3}{4}$、柄三サ、メ、本土—北海道に產す。

ほそはねひつじごけ　B. p. var. stenocarpum Card.

細長にしてコアミメヒツジゴケに似たり、されど枝葉はより廣く、より多く急に漸尖、濟州島に產す。

あをぎぬごけ　B. populeum (Hedw.)

♀♂同株、蒴は廣楕又楕圓、蓋はやゝ嘴あり、柄一五ミ

メ、上部粗、莖葉は僅に下延卵—楕圓狀披針漸尖、上方に齒あり、肋は完全、枝葉は小、緣に齒あり、葉は襞なし、九州—北海道及朝鮮に產し、亞、歐、北米に分布す。

ほそはのあをぎぬごけ　B. p. var. angustifolium Besch.

黃色、葉甚狹し、本土に產す。

ほそあをぎぬごけ　B. p. var. attenuatum Schimp.

枝長く疎に葉あり、葉卵披僅に光あり、柄—サ、メ、以內、本土に產し歐及弗に分布せり。

こみのあをきぬごけ　B. p. var' brachycarpum (Br.)

纎長、葉卵披毛狀に尖る殆全邊、本土及北海道に產す。

つやひつじごけ　B. pulchellum B. P.

コヒツジゴケに似たるも葉狹く、網密にして綠色少く、翼に少くして柄は長し。

さいしうひつじごけ　B. querpaertense Card.

♀♂同株、アヲギヌゴケに近し、柄平蒴、一二ミ、メ、葉は明に襞あり、莖葉は三角披針、緣平、殆全邊、下方に波狀上方に小齒あり、濟州島產。

ながすぢひつじごけ　B. reflexum (Stark.)

♀♂同株、蒴卵狀又卵圓、柄—五ミ、メ、位、粗、肋殆完全、葉は襞なし、下延、廣心三角突然披針錐形、緣に齒あり、北海道及樺太に產す。

えぞながすぢひつじごけ　B. r. var. filirameum (Besch.)

莖甚細長く、枝は糸狀、北海道に產す。

ひらひつじごけ　B. rhynchostegielloides Card.

♀♂同株、蒴微小、卵―長楕、柄凡一サ、メ、平滑、又上方に少粗、蓋は壓平、莖葉は卵披狹き漸尖頭錐形、殆全邊、波狀に小齒あり、肋は$\frac{3}{4}$に達す、本土、北海道及濟州島に產す。

おほみひらひつじごけ B. r. var. macrocarpum Card.

蒴はより大、長楕圓、伯耆國產。

たにごけ B. rivulare Bryol. eur.

♀♂異株、蒴倒卵、柄二五ミ、メ甚粗、植物やゝ大、葉は廣卵又長卵短く尖る、基に多少耳あり、肋は頂下、緣に疎小齒あり、九洲、本土、北海道及朝鮮產、亞、歐、弗、北米に分布。

はひくさごけ B. rutabulum (L.)

♀♂同株、蒴は卵狀―長楕圓、柄二五ミ、メ、甚粗、强大なる植物、莖葉下延、廣卵披長く尖る、緣に疎小齒あり肋は中上、本土及北海道に產し、全世界に分布。

ひろはのふさごけ B. salebrosum (Hoffm.)

♀♂同株、前種に似たり、蒴は卵―長卵、柄二サ、メ位平滑、莖葉下延、卵―長卵、急に披針殆毛狀、全邊、又頂に齒あり、肋中上時として叉狀、九州、本土―樺太產、亞歐、弗、北米及タスマニアに分布。

ひろはのふさごけもどき B. s. var, cylindricum Sch.

蒴殆直立、圓筒形、頸は柄の方へ細くなる、枝平ならず本土及北海道產、歐及北米に分布。

しろひつじごけ B. Sawadae Card.

蒴小、柄は6—10ミ、メ、ケヒツジゴケに似たれど葉葉全邊、細胞狹し、本土及朝鮮産。

あらえのひつじごけ　B. scaberrimum Card.

♀♂同株、蒴は卵形、柄紫色甚粗、8—15ミ、メ、肋は漸尖頭に終る、植物纖長、葉は廣卵急に披針稍齒あり、殆全邊、四國—北海道産。

ではのひつじごけ　B, Starkei (Brid.)

♀♂同株、蒴は卵形、柄10—15ミ、メ、粗、肋は中上、莖葉下延、三角心形—廣心形の基より急に狹くなり、頂よれる、緣に齒あり、羽前國産、亞、歐、北米に分布

えぞのはねひつじごけ　B. truncatum Besch.

♀♂同株、蒴小、柄凡一サ、メ、平滑、肋中上、莖葉は心狀卵披やゝ小齒あり、ハネヒツジゴケに近し、北海道に産す。

ふさひつじごけ　B. Tsunodae Broth.

♀♂異株、蒴殆圓筒形、柄1.5—2サ、メ、平滑、莖葉下延、卵狀長楕急に錐形糸狀、漸尖部に微小齒あり、肋は中上、ナガヒツジゴケに近し、上州子持山に産す。

こひつじごけ　B. Uematsui Broth.

ヒラヒツジゴケに甚近し♀♂同株、蒴は廣楕、柄は8—12ミ、メ、殆平滑、植物纖長、莖葉長く下延、廣卵急に披針錐形漸尖、肋は$\frac{1}{2}$—$\frac{2}{3}$、陸前及北海道に産す。

きぬひつじごけ　B. velutinum (L.) Br. eur.

♀♂同株、蒴卵形、柄 1—2 サ、メ、鈍き疣あり、肋黃

色中上時に$\frac{3}{4}$に達す、莖葉は卵披長く尖る、緣に細齒あり枝葉は狹し、樺太產、亞、歐、兆、北米に分布。

けひつじごけ B. wichurae Broth.

♀♂異株、蒴は廣楕圓、柄10—15ミ、メ、莖葉下延せず、心狀卵形急に漸尖、毛狀微齒あり、肋中上、九州及本土に產す。

やのねごけ屬 Bryhnia Kaur.

♀♂異株、蒴直立せず、廣楕—圓筒、外齒は橫條、內齒は細疣あり、柄甚粗、蓋は嘴あり、莖は毛葉なし、莖葉は中凹、縱襞あり、三角心形—卵披、緣に齒あり、細胞長き六邊—長き菱形、枝葉の細胞は上端に突起あり、凡一〇種を含む。

あさまやのねごけ B. brachycladula Card.

葉は廣心卵形甚短く鈍く漸尖、緣に微齒あり、細胞黃色平滑、枝葉はより鋭尖、肋は$\frac{3}{4}$、淺間山に產す。

かはぐちそめわけごけ B. Kawaguchii (Okm.)

葉は下延、三角心形、鋭尖、屢螺旋狀によれる、緣に齒あり、細胞線形、翼に長方形、肋は頂下に消ゆ、本土に產す。

なかのやのねごけ B. Nakanoi Okm.

莖葉下延、心狀卵披短尖頭、基部全邊、肋は漸尖部の基に終る、本土に產す。

むつやのねごけ B. noecica (Besch.)

葉下延、心形—卵披次第に彎曲せる凸頭に終る、緣に齒あり、肋は漸尖部に終る、四國—北海道に產す。

きやのねごけ B. n. var. lutescens Card.

黃色、異常に密なる枝あり、枝葉は長く漸尖、仙臺に產す。

やのねごけ B. Novae-Angliae (S. L.)

蒴卵狀—楕圓、柄甚粗、莖葉下延、廣卵殆心形、襞なし緣に齒あり、肋中上、北海道、九州及本土に產す、歐及北米に分布。

ねぢれやのねごけ B. sublaevifolia B. P.

ムツヤノネゴケに似てより粗、莖葉は少齒牙あり、より廣く漸尖、網殆平滑、九州、本土及北海道に產す。

おほねぢれやのねごけ B. s. var. rigescens Card.

粗大、黃色、莖葉はより廣くして中凹、襞あり、莖乾けば硬くなる、本土の產。

ひめやのねごけ B. tenerrima B. Y.

植物甚纖長、莖葉廣卵披急に長錐形、肋は錐形の基に終る、緣に齒あり、頂よれず、本土の產。

えぞやのねごけ B. Tokubuchii (Broth.)

蒴廣楕、柄一五ミ、メ、粗、莖葉心卵披長く漸尖、肋は漸尖部に終る、細胞は乳頭あり、九州、本土、北海道產。

はまやのねごけ B. turgescens B. Y.

枝葉卵形鈍頭、肋頂下、上背に小齒あり、細胞はヤノネゴケよりも狹長、因幡國に產す。

かぎやのねごけ B. uncinifolia B. P.

葉は鎌形一方に曲る、長く錐形に尖る、北海道に産す。

ひげばごけ屬 Cirriphyllum Grout.

♀♂異株、蒴は廣楕、柄は粗、蓋は嘴あり、葉は中凹類卵形、披針又毛狀に尖る、肋は中央又長し、細胞狹くして平滑、翼に方一長方形、一六種、岩上又地上に生ず、本邦產二種あり。

ひげばごけ C. cameratum (Mitt.)

匐枝なし、枝弓形、葉は長卵急に披針形に尖る頂よれる日光產、印度に分布。

ふとすぢひげばごけ C. crassinervium (Tayl.)

蒴は明なる頸より廣楕又長楕、柄 8—15 ミ、メ、莖は匐枝あり、葉は長卵急に披針錐形に尖る、肋は頂下、亞、歐、北に分布。

ねずみのをごけ屬 Myuroclada Besch.

♀♂異株、蒴直立、柄平滑、莖は纖匐枝狀、第一枝は鼠尾狀に葉を密生、葉は甚中凹略圓形、一種地上、岩上、樹上等に生ず。

ねずみのをごけ M. concinna (Wils.)

殆全國に普通なり、支那及西伯利に分布。

ほそねづみのを M. c. var. gracilis Card.

莖と枝はより纖長、葉はより小、細胞はより短し、本土

及朝鮮に產す。

いぼえごけ屬 Scleropodium Bryol. eur.

♀♂異株、蒴直立又傾く、廣楕又圓筒形、柄は小疣あり枝は前屬に似て弓形に曲る、葉は甚中凹、襞なし、圓形時に卵披、細胞線虫狀、翼に分化、一二種地上に生す、本邦產二あり。

ひろはいぼえごけ S. brachyphylla Card.

葉廣卵短く漸尖、鋭頭やゝ鈍頭、緣に齒あり、肋は$\frac{3}{4}$又以上、朝鮮產。

こまのいぼえごけ S. coreense Card.

葉は長楕圓、廣く短く漸尖やゝ鈍頭、基より小齒あり、肋は$\frac{3}{4}$、朝鮮に產す。

かやごけ屬 Rhynchostegium Bryol. eur.

♀♂同株、蒴は傾く廣楕一圓筒、蓋に嘴あり、柄平滑、莖は毛葉少し又欠く、葉は平に排列、襞あり、卵披多くは齒あり、細胞狹くして平滑、一三〇種地上又岩上に生す。本邦產二二。

きよすみてんぐごけ Rh. angustatum Broth.

葉は殆下延せず卵披又披針長く尖る、上方に疎齒あり、細胞翼に透明長方、肋中上、本土の產。

りうきうかやごけ Rh. brevicuspis C. Müll.

葉は卵形短く尖る、乾けばよれる、細胞甚疎、枝は曲る、

奄美大島產、南米に分布。

さいしうてんぐごけ　Rh. contractum Card.

♀♂同株、蒴卵形又卵狀長楕、柄帶紫平滑、葉は廣卵披やゝ急に短く又長く漸尖、緣に齒あり、肋中上、翼細胞分化せず、濟州島產。

ひらきはてんぐごけ　Rh. ctenidioides Card.

翼細胞疎、卵狀長楕、肋は中央又以上、葉は開出、廣三角心形漸尖、緣に疎齒あり、四國產。

あめりかてんぐごけ　Rh. deplanatum Miq.

♀♂異株、蒴圓筒、柄短、莖葉廣き截形の基より廣披やゝ長く漸尖、肋は甚短く弱し、米國に分布。

てうせんかやごけ　Rh. Fauriei Card.

葉卵披漸尖鈍頭緣に齒あり、肋中上、枝は波折、翼細胞疎、濟州島產。

ひめかやごけ　Rh. Iishibae Broth.

♀♂同株、纖長、肋中上、翼細胞別なし、葉は卵披緣に小齒あり、鹽釜神社樹皮に着生。

かやごけ　Rh. inclinatum (Mitt.)

♀♂同株、柄平滑、♀花葉は齒あり、葉卵披銳尖、頂に齒あり、肋頂下、九州一北海道產。

いせのてんぐごけ　Rh. ovalifolium Okm.

♀♂同株、蒴長楕圓、柄 7 —10 ミ、メ、平滑、葉は狹廣卵急に漸尖頭に長くなる、緣に小齒あり、翼細胞多數方形、肋は頂下、四日市產。

こかやごけ　Rh. pallidifolium (Mitt.)

♀♂同株、♀花葉全邊、蒴は廣楕圓筒、柄纖長、葉卵披漸尖、緣に齒あり、肋中上、九州―北海道に產す。

はねかやごけ　Rh. plumosum Thér.

テウセンカヤゴケに比し、枝短く、水平に展開し葉は短く網は少粗。

まるばかやごけ　Rh. rotundifolium (Scop.)

♀♂同株、蒴卵圓、柄5―15ミ、メ、枝曲らず、葉は廣卵圓形急に短く披針形、上方に疎齒あり、肋は中央時に叉狀、四國及北海道產、亞、歐に分布。

よこすかてんぐごけ　Rh. Savatieri Par.

葉は下延せず、卵形次第に長く尖る、翼細胞異なり、枝は平、横須賀產。

のこぎりかやごけ　Rh. serrulatum (Hedw.)

♀♂同株、蒴長楕、柄平滑、♀花葉殆全邊、葉は卵披短く漸尖緣に小齒あり。肋は中上、細胞長き菱狀線形、翼に疎大、方形、北米に分布。

よれはてんぐごけ　Rh. spiralifolium Okm.

深水中に生ず、葉は下延せず、狹長楕披針漸尖全邊、乾けば頂螺旋狀によれる、肋は中央に終る、本土に產す。

たかさごてんぐごけ　Rh. vagans (Harv.)

♀♂異株、蒴長楕、蓋は斜に長嘴あり、葉は廣卵やゝ鈍き銳頭、基上より粗大なる齒あり、肋は頂下、臺灣產、亞細亞に分布。

なぎごけ屬 Oxyrrhynchium (Br. eur.) War.

♀♂異株、蒴は廣楕直立又傾く、蓋は斜嘴あり、柄粗、莖は毛葉あり、枝は平に葉あり、葉は卵—三角圓形短く又長く尖り、齒あり、肋は中央又頂下、細胞狹く平滑、翼に分化、一九種地上又岩上に長ず、本邦に五種あり。

つくしなぎごけもどき O. hians (Lac.)

♀♂異株、蒴卵圓、柄10—13ミ、メ、粗、莖葉は心形急に葉長の六分の一の狹き尖頭になる、肋は中上、日向國產、亞、歐、北米に分布。

ながすぢみかづきごけ O. laxirete Broth.

ヒメナギゴケに似たり、より綠色、葉は卵形漸尖、短く尖る、肋は殆頂、九州—本土及朝鮮產。

つくしなぎごけ O. polystichum (Mitt.)

蒴長楕、柄3—4ミ、メ、莖葉は心卵漸尖、枝葉は卵形又漸尖、肋は頂下、九州、四國及本土に產す。

ながなぎごけ O. praelongum (L. Hedw.)

蒴は卵圓又長楕、柄二五ミ、メ、莖葉は廣卵—心形の基より短披針、肋は$\frac{3}{4}$、枝葉は卵形短く尖る、九州—本土の產、亞、歐、北、南米に分布。

ひめなぎごけ O. Savatieri (Schimp.)

前種に似たるも莖葉はより大、肋は曲折、頂裏に齒あり、莖葉は卵狀心形急に尖る、九州—北海道に產す。

きぶりなぎごけ屬 Eurrhynchium Br. eur.

雌雄異株、柄多くは平滑、蒴卵圓—圓筒形、蓋は細嘴あり、葉は二形、襞あり、心狀卵圓又三角心形にして尖り、緣に齒あり、細胞甚狹くして翼に分化、肋は背面に刺狀をなす、一四種地上、岩上、樹上に生ず、本邦產凡十種あり

きぶりなきごけ E. arbuscula Broth.

蒴は明なる頸より楕圓—圓筒形、柄長く、粗、莖は樹狀に分枝、莖葉疎開、明に襞あり、腎形急に細く尖る、頂に小齒あり、枝葉卵形、緣に齒あり、肋は錐形の基に終る、九州—本土に產す。

さんかくつるはしごけ E. deltophyllum Card.

枝は不正羽狀、葉は疎開、廣心三角長く漸尖、銳頭、肋は兩側に長襞あり、肋は漸尖部に終る、翼細胞多數方形、本土及朝鮮產。

ほそなぎごけ E. Fauriei Card.

枝は疎羽狀、莖葉小、心形甚急に漸尖錐形、基より波狀齒あり、肋頂下、枝葉は長楕披針形、本土に產す。

ながはなぎごけ E. longifolium (Mitt.)

莖葉は襞あり卵形漸尖廣錐形、頂甚狹く、肋は錐形の基に終る、枝葉卵披銳齒あり、九州產。

たかさごつるはしごけ E. striatum (Schreb.)

蒴殆圓筒形、柄三五ミ、メ、平滑、莖葉廣心卵狀短く尖る、長襞あり、肋頂下、翼細胞長方六邊、臺灣に產し、亞

歐、弗に分布せり。

かたげつるはしごけ E. strigosum (Hoffm.)

蒴廣楕—長楕、柄平滑一·八ミ、メ、莖葉は狹卵漸尖細く尖る、鋭齒あり、肋頂下、芒狀、翼細胞方—長方形、本土産、亞、歐、弗、米に分布。

えぞつるはしごけ E. yezoanum Okm.

柄短、6—8ミ、メ、莖葉心形又三角心形短く披針狀鋭頭、緣は廣く外反、小齒あり、肋は頂下に消ゆ、北海道に産す。

つやごけ科 Entodontaceae

♀♂同株又異株、蒴直立、囊なし、齒二列、蓋は嘴あり帽は冠狀、平滑、枝は密に丸く又平に葉あり、光澤あり、葉多列、細胞線形屢〻乳頭あり、翼に方形、肋一又二、本邦に五屬あり。

屬名檢索表

1 { 蒴直立、蓋は短嘴あり、葉は卵圓又卵形にして尖る、上部の細胞は乳頭あり、♀♂異株……ネヂレイトゴケ屬
　 { 上部の葉細胞は乳頭なし……………………………………2

2 { 蒴傾き柄長く蓋嘴なし、♀♂異株…………………………3
　 { 蒴直立、蓋に嘴あり、肋二短又欠く、♀♂同株稀に異株…………………………………………………………………4

3 { 蒴楕圓、口輪發達、內♀花葉は長襞あり、肋單一、中央又二、短し………………………………ヘウノヲゴケ屬

蒴殆圓筒形、内♀花葉は襞なし、肋二、短し……………………………………………………………………タチハヒゴケ屬

4 ♀♂同株、蒴殆球狀、柄一サ、メ、胞子大、枝平、枝葉は急に錐形となる………………………オウミツヤゴケ屬
♀♂同株又異株、蒴長廣楕一圓筒形、柄1—3サ、メ枝平又然らず……………………………………………ツヤゴケ屬

ねぢれいとごけ屬 Pterigynandrum Hedw.

蒴は頸あり間毛なし、柄8—15ミ、メ、莖は假根あり毛葉少し、葉卵圓一卵形全邊又上部に齒あり、三種を含む

わきみごけ P. decipiens (Web. et Mohr.)

葉は一方に曲る、倒長卵一箆形鈍く尖る、枝は鈍頭一方に曲る、北海道產、歐、弗、北米に分布せり。

ねぢれいとごけ P. filiforme (Timm.)

蒴は圓筒形長頸あり、蓋は鈍齒あり、柄1—2サ、メ、葉は殆倒卵又楕圓にして尖る、中上に小齒あり、肋單一屡叉狀、短し、八甲田山に產し、亞、歐、弗、北米まで分布せり。

つやごけ屬 Entodon C. Müll.

♀♂同株稀に異株、蒴直立、短頸、長卵圓一圓筒形、柄1—3サ、メ、葉は卵圓一卵披、細胞線形、翼に方形、肋二、短、又欠く、一三七種樹上、岩上、地上等に生ず、本邦產三〇種を算す。

あきたつやごけ　E. akitensis Besch.

♀♂異株？　蒴卵圓筒狀、柄二サ、メ、紫色、葉は長卵基圓く耳狀、頂廣く漸尖叉齒あり、枝葉は短狹なり、本土に產す。

あんどうさなたごけ　E. Andoi Okm.

蒴長楕圓筒、柄一七ミ、メ位、葉は狹基より長楕急に頂短く廣く鋭頭、頂に微小齒あり、翼細胞方一長方形、本土に產す。

すなちのさなたごけ　E. arenosus Okm.

前種に近し、葉は廣卵楕圓、頂廣く短く凸頭、上方に小齒あり、伊豫國に產す。

つやごけ　E. attenuatus Mitt.

蒴圓筒形、柄三サ、メ餘、葉卵狀廣楕殆肋なし、頂やゝ鋭頭、欠刻なし、枝葉は頂に齒あり、九州一北海道に產す。

たんすゐつやごけ　E. Bandongiae (C. M.)

蒴狹圓筒、柄長し、枝平、莖葉狹長楕鈍き披針、頂に齒あり、臺灣產、印度諸島に分布。

さくらじまつやごけ　E. calycinus Card.

ケツヤゴケに似たるもより纖長、葉少しく中凹、より狹く漸尖叉毛狀、柄5－7ミ、メ、九州に產す。

ひろつやごけ　E. Challengeri Par.

蒴廣楕、柄八ミ、メ、葉は廣楕鋭頭、舟形全邊、肋二甚短し、北海道より九州まで之を產す。

あをつやごけ E. chloroticus Besch.

蒴狹圓筒、柄8—15ミ、メ、葉廣卵中凹、短く斜に漸尖、全邊、肋短く弱し、九州一本土產。

こさなたごけ E. compressus C. Müll.

蒴長卵、柄8—9ミ、メ、葉は舟形卵形短く多くは鈍く尖る、全邊、只葉尖に或は極めて小齒あり、耳狀の翼に細胞疎、六邊、肋なし、本土に產し、亞及北米に分布。

ながはつやごけ E. concophyllum Card.

葉倒卵甚中凹、匕形漸尖やゝ長く錐形になる、頂に弱く齒あり又殆全邊、九州に產す。

まがりつやごけ E. curvatirameum Card.

蒴圓筒形、葉は中凹、卵狀又長楕披針廣く短く漸尖、頂に小齒牙あり、小枝は曲る、本土及び朝鮮に產す。

ながすぢつやごけ E. diversinervis Card.

蒴長楕、柄一サ、メ位、葉は長楕披針甚急に狹く漸尖やゝ長し、頂に少齒あり、稀に全邊、肋短く又中上に達す、濟州島に產す。

ほうらいつやごけ E. dolicho-cucullatus Okm.

蒴長楕圓筒、柄凡一サ、メ、葉狹卵—長楕披針、頂廣く又狹く銳尖、頂に小齒あり、臺灣產。

つくしつやごけ E. Drummondii (Br. eur.)

蒴長圓筒形、柄三サ、メに至る、葉は長卵楕圓短く尖る又は鈍頭、肋二、不明、本土及九州に產し北米に分布す。

まるばつやごけ E. Fauriei B. P.

枝圓筒形、頂曲る、葉卵狀—長卵鈍頭、頂に齒あり、信濃國に產す、

やはらつやごけ　E. flaccidus Besch.

♀♂異株、蒴は卵狀圓筒形、柄8—10ミ、メ、葉は卵狀廣く漸尖、基圓く全邊、又頂に齒あり、肋双生やゝ長し四國及本土に產す。

くさつやごけ　E. herbaceus Besch.

蒴圓筒、柄二五ミ、メに至る、葉は卵狀中凹、頂廣く漸尖、欠刻なし、又頂に少しく齒狀、九州及本土に產す。

あかつやごけ　E. h. var. versicolor, Besch.

葉は黃又帶赤色、絹糸光澤あり、本土に產す。

さじはつやごけ　E. myurus (Hook.)

蒴楕圓狀圓筒、柄紫色、枝平ならす、莖葉匕形卵形甚短く漸尖頭、上部に齒牙あり、朝鮮產、印度に分布。

おひなたさなだごけ　E. Ohinatae Okm.

蒴長楕圓筒、柄二サ、メ、葉長楕披針頂漸尖、漸尖部に銳齒あり、翼細胞多數方形、本土產。

ふとさなだごけ　E. Okamurae Broth.

蒴圓筒、柄一五ミ、メ、葉は長楕鈍く尖る又短尖起あり匕形に凹み全邊、細胞狹線形、九州—本土に產す。

けつやごけ　E. pilifer B. P.

蒴卵形又長卵、柄3—5ミ、メ、葉は長楕長く透明の尖となる、頂或は齒あり、枝は圓し、本土の高山山地に生ず

えだつやごけ　E. ramulosus Mitt.

♀♂異株、蒴圓筒形、柄三六ミメ、枝は再羽狀、葉開展卵披全邊、小枝の葉は甚小、楕圓形、頂に齒あり、本土一屋久島に產す。

さくらゐつやごけ E. Sakuraii Broth.

蒴長楕、柄七ミ、メ、枝葉は長楕々圓狹披針漸尖、漸尖部に微小齒あり、乙女峠に產す。

からふとつやごけ E. scabridens Lindb.

蒴卵形、柄3—5ミ、メ、枝圓柱狀密に葉あり、葉は長く波狀やゝ毛狀に漸尖、樺太に產す。

ほそみつやごけ E. Sullivantii (C. M.)

蒴長圓筒、柄紫色二五ミ、メに至る、葉は卵狀漸尖やゝ鈍頭、頂に小鈍齒あり、本土に產し北米に分布す。

ほそみのはひごけ E. tokyensis Besch.

蒴卵狀圓筒、葉は楕圓鈍頭、肋二、やゝ長し、中央に達す、細胞は緣に齒狀翼に圓き方形、九州及本土に產す。

とさつやごけ E. tosae Besch.

ホソミツヤゴケに似たり、葉はより大、より廣く、枝長く漸尖匐枝狀、♀花葉全邊、四國及本土に產す。

みどりつやごけ E. viridulus Card.

綠色、ツクシツヤゴケに近し、莖と枝はより狹く、葉はより小にして多く鈍頭、內蘚齒平滑縱に線條あり、四國及本土に產す。

おほみつやごけ屬 Sakuraia Broth.

前屬に近し、只一種を含む。

おほみつやごけ　S. macropora (Broth.)

樹皮に生ず、蒴は殆球狀直立、柄一サメ、枝葉は長楕急に錐形漸尖、頂に微小齒あり、肋は二、短し、本土に產す。

へうのをごけ屬　Pseudoscleropodium (Limpr.)

♀♂異株、蒴水平、楕圓、柄四五ミ、メに至る、莖葉は匕形に凹む、多襞、廣卵狀長卵、圓頭、頂に不明に齒あり肋單一、中央又は双生、三種を含み內一種を本邦に見る。

へうのをごけ　P. purum (L.) Fl.

蒴水平長楕、莖葉短く下延、廣卵又卵圓、圓尖、長襞あり、頂に齒あり、肋單一、中央又双生、翼細胞方形又長方六邊、亞、歐、弗、北米まで分布せり。

たちはひごけ屬　Pleurozium Mitt.

一種を含む。

たちはひごけ　P. Schreberi (Willd.) Mitt.

强き植物、♀♂異株、蒴傾き殆圓筒、柄四サ、メに至る莖は羽狀、葉は匕形に凹み長襞あり、廣卵—長卵圓頭又短鈍頭多少反曲、頂に小鈍齒あり、肋二、短、四國—樺太及朝鮮に產す。亞、歐、米に分布。

さなだごけ科　Plagiotheciaceae

♀♂同株又異株、蒴直立又傾く、齒は二列、基にて合生

紋あり、横條あり、莖は平に葉あり、毛葉なし、中肋は單一又二又欠く、細胞卵圓菱形—線形、本邦に二屬あり。

かたばごけ屬 Stereophyllum Mitt.

♀♂同株又異株、蒴は傾き—水平、弱く高背、葉形種々全邊、中肋は單一、細胞は菱形—線形、翼に多數方形、又不正形をなす、六五種樹上又岩上に生じ本邦に只一種を産す。

かたばごけ S. Nordenskiordii Besch.

黒綠色、葉は疎に開展廣卵形頂圓く暗、全邊、肋頂下、細胞六邊、葉綠に富む、下方に長く長方、透明。

さなだごけ屬 Plagiothecium Bryol. eur.

♀♂同株又異株、蒴は直立又傾く、葉は廣披又卵圓多少尖り多くは全邊、翼細胞分化せず、肋二、短又叉狀又欠く七〇種を含み本邦に二七種を産す。

さなだごけ P. aomoriense Besch.

莖は平に葉あり、葉甚覆瓦狀、卵狀又長卵にして披針錐形縁に小齒あり、四國—北海道産、うすり地方に分布。

えぞさなだごけもどき P. delicatulum Br.

♀♂異株、♀花葉は毛狀に尖り全邊、蒴長楕、柄二サ、メ、枝平、葉は卵披錐形漸尖、全邊、肋弱し、基細胞長楕圓、翼に辛ふじて別あり、仙臺附近の三瀧に産す。

はさなだごけ P. denticulatum (L.) Br. eur.

♀♂同株、蒴長圓筒、柄15—30ミ、メ、♀花葉短く尖る、葉は長卵急に狭く尖る、頂に小齒あり、肋中央以下に終る、四國、本土及樺太に産し全世界に分布す。

はうらいたけながごけ　P. formosanum B. Y.

葉下延、囊あり、卵披短狭漸尖全邊、肋双生短し、細胞狭線形、翼に別なし、臺灣に産す。

につくわうたけながごけ　P. insigne Card.

オホサナダゴケに近し、葉は少しく廣く卵形漸尖、全邊又頂に少しく齒牙あり、肋は中央、白根山に産す。

きいるんさなだごけ　P. kelungense Card.

♀♂同株、蒴柄紫色一五ミ、メ、葉は長楕披針やゝ鈍く漸尖、上方に小齒あり、肋は$\frac{1}{3}$又中央、臺灣に産す。

くろいはさなだごけ　P. Kuroiwae Broth.

纖長、平に葉あり、葉下延、狭卵披短く漸尖鋭頭、肋甚短、緣上方に微小齒あり、琉球産。

ちやぼさなだごけ　P. laevigatum Schmp.

葉卵形全邊、肋二、短、本土産、清國に分布。

ながえのさなだごけ　P. longisetum Lindb.

♀♂異株、蒴甚小、長楕倒圓錐、柄4—5サ、メ、葉卵形漸尖廣く尖り長く下延、全邊、肋は中央、細胞疎大、菱形、九州—本土に産す。

まつむらたけながごけ　P. Matsumurae Okm.

蒴長楕圓筒形、柄二四ミ、メ、葉卵狀長楕、頂短く廣く鋭尖、殆全邊、肋は中上、本土に産す。

おほさなだごけ　P. neckeroideum Br. eur.

♀♂異株、蒴狹楕圓殆正形、柄凡二サ、メ、葉長く下延卵披銳尖全邊、往々頂に齒あり、肋は不同中央、九州一本土產、亞、歐に分布。

ほそはさなだごけ　P. n. var. angustifolium Card.

葉はより狹くやゝ小刀狀長楕圓、西駒岳產。

みやまさなだごけ　P. nemorale (Mitt.)

前種に似たるも葉は僅に下延、廣卵漸尖、全邊、肋双生短又長し、九州一本土產、印度に分布

まくかりさなだごけ　P. obtusissimum Br.

チヤボサナダゴケに近し、♀♂異株、蒴長楕圓筒、柄一五ミ、メ、枝甚平、葉は長く下延、卵狀長楕、頂圓く鈍頭全邊、翼細胞多數短長方透明、肋双生、不明、マクカリヌプリ產。

にぶはたけながごけ　P. obtusulum (Card.)

♀♂同株、葉は卵一長楕披針甚廣く短く漸尖、鈍頭又少銳、上方に小齒あり、肋弱し、臺灣產。.

たまごはさなだごけ　P. ovalifolium (Card.)

葉は卵形甚短廣漸尖鈍頭又微凸全邊又小齒あり、肋弱し翼細胞少しく明、臺灣に產し、南米に分布せり。

すぎねたけながごけ　P. pallidum Okm.

葉卵狀長楕頂短く甚廣く銳尖、全邊、肋は中上、翼細胞長方形、越中產、

けたけながごけ　P. pilosum B. Y.

♀♂異株、葉下延せず、やゝ襞あり、心狀卵披毛狀漸尖頂に微小齒あり、翼細胞小、方形、肋双生短又欠く、臺灣產。

まるふさごけ P. Roeseanum (Hamp.)

♀♂異株、莖殆直立、狹楕一圓筒、柄三サ、メに至る、肋中下、翼細胞長方、葉は卵披又卵形急に細く尖る、全邊本土產、亞、歐、米に分布せり。

ながばまるふさごけ P. R. var. japonicum Card.

葉はより長く、より漸尖、網はより狹し、本土及北海道產。

とがりまるふさごけ P. R. var. julacea Card.

枝葉荑狀、葉中凹、廣卵急に短突起あり。

たちふさごけ P. R. var. orthocladum Sch.

莖直立、廣楕、枝は直立、葉は突然に頂に狹くなる、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

せんだいまるふさごけ P. R. var. propagulifera Broth.

葉軸又肋の基背に四細胞列の孵芽を生ず、仙臺に產し、歐州に分布。

えぞさなだごけ P. silvaticum (Huds.)

♀♂異株、莖圓筒狀、柄2—4サ、メ、葉は長卵形短尖あり、全邊、肋は中央、翼細胞大、方形、九洲—樺太產、亞、歐、弗、北米に分布。

ひろはさなだごけ P. s. var. latifolium Card.

葉短廣、廣卵披急に漸尖、莖は狹圓筒形、四國及朝鮮に

産す。

まるふさごけもどき　P. s. var. pseudo-Roeseanum Card.

「マルフサゴケに似て葉はより大、網はより疎、細胞はより短し、本土及北海道に産す。

ゑぞまるふさごけ　P. s. var. rhynchostegioides Card.

より粗、葉は幸ふじて平、より廣く廣卵披、短く漸尖、室蘭に産す。

おほさなだごけもどき　P. splendens Schmp.

♀♂異株、オホサナダゴケに似たり、葉基少しく廣く非對稱、全邊又頂に齒牙あり、やゝ鈍き鋭頭、肋は中央、九州及本土に産す。

こえのさなだごけ　P. s. var. brevirameum Card.

枝短く彎曲、平ならず、本土の産。

ちやぼたけながごけ　P. s. var. minus Card.

全體小、葉も短し、本土の産。

つくしたけながごけ　P. squamatum Broth.

♀♂異株、枝平、葉下延せず、卵狀狹披短鋭頭、縁に小齒あり、肋中下、双生、翼細胞方形、九州に産す。

かたたけながごけ　P. s. var. rigidum Broth.

植物硬く、翼細胞少しく多數、上州子持山産。

とささなだごけ　P. tosaense Broth.

♀♂異株、枝葉下延せず、卵形短く漸尖、縁基一側に反卷、肋双生甚短又不明、縁は微小齒あり、植物纖長、四國に産す。

いせさなだごけ　P. turgescens Broth.

♀♂異株、枝平、葉卵披短く漸尖鋭頭、上方に微小齒あり、肋短、中下、翼細胞別なし、オホサナダゴケに近し、本土に產す。

ひめさなだごけ　P. Uematsui Broth.

葉廣卵楕圓甚短尖あり、僅に下延全邊、肋中上、本土に產す。

たかねさなだごけ　P. Yasudae Broth.

♀♂異株、葉卵披漸尖頂に微小齒あり、肋双生短し、翼細胞微小、方形、サナダゴケに近し、上州子持山に產す。

はしぼそごけ科　Sematophyllaceae

♀♂同株又異株、蒴は傾く卵—長形、蓋は多くは嘴あり帽は冠狀、莖は毛葉なく、葉は多列、細胞長形、翼に別あり、肋二、短又欠く、本邦に一三屬あり。

屬名檢索表

1 { 植物は纖長、蒴は直立、齒は線條なし、莖は糸狀の芽體あり、葉一樣……2
  { 芽體なし……3

2 { 葉は短く尖り殆全邊……カトウゴケ屬
  { 葉は長く尖る、明に齒あり……コモチイトゴケ屬

3 { 太き植物、葉は二形、上部に鋭齒あり、柄平滑、齒は横線あり……10
  { 細き植物、葉は同形、多くは全邊、柄粗、翼細胞膨脹

………………………………………………………………1

4 { 葉細胞平滑………………………………………………7
  { 葉細胞は乳頭あり…………………………………………5

5 { 翼細胞膨脹、長形、蓋は細嘴あり…………ホソエゴケ屬
  { 翼細胞膨れず、方形叉別なし、蓋は嘴なし……………6

6 { 葉短く叉長く尖る、肋なし……………………イボゴケ屬
  { 葉は舌狀鈍頭、肋明……………………ヒラツブゴケ屬

7 { 蘚齒は線條なし、葉弱く一方に曲る、帽は冠狀………
  { ……………………………………………タカヲゴケ屬
  { 蘚齒中央より叉狀、葉は鎌形、帽は鐘狀…………………
  { ……………………………………ミヤマハシボソゴケ屬
  { 蘚齒は雁木狀の長線あり………………………………8

8 { 葉は多少鎌形、上方に小齒あり、蒴は傾く………………
  { ………………………………………………カヾミゴケ屬
  { 葉は正しく展開……………………………………………9

9 { 蒴は水平まで傾く、首平滑………………ナガハシゴケ屬
  { 蒴は垂下、首多疣……………………………ハシボソゴケ屬

10 { 翼細胞單列、廣楕叉長形……………………………………11
   { 翼細胞多列、方形、基膜突出、間毛發達せり……………
   { ………………………………………………クサゴケ屬

11 { 葉舷なし、上部の細胞厚からず…………トゲハヒゴケ屬
   { 葉舷あり、上部の細胞厚し……………ホウライゴケ屬

かとうごけ屬 Clastobryum Doz. et Molk.

四種樹皮又蘚上に生ず、本邦產一種。

かとうごけ　C. Katoi Broth.

肋二、甚短又欠く、葉細胞狹線形强きびろうど狀の光澤ある植物、葉は廣き廣楕急に披針錐形に尖る、全邊又微小齒あり、近江國觀音寺山に產す。

こもちいとごけ屬　Clastobryella Fl.

一〇種樹皮又葉上に生ず、本邦に其一を產す。

こもちいとごけ　C. Tsunodae Br. et Yasuda.

葉は卵披錐形頂に微小齒あり、肋なし、細胞線形、乳頭あり、翼細胞小、圓き方形、植物纖長白綠色にして葉莢狀をなす、赤城荒山產。

くさごけ屬　Heterophyllium (Sch.) Kindb.

♀♂同株稀に異株、蒴は多くは傾く、內齒の基膜突出、間毛發達、莖は羽枝あり、毛葉多形、葉は展開長く尖る、細胞狹線形、翼に凹み、方形—長方、肋甚短又欠く、一二種朽木に生ず、本邦に四種を見る。

ちしまくさごけ　H. adscendens (Lindb.)

♀♂異株、蒴楕圓、柄二五ミ、メに至る、葉は基部黃金色、三角卵形長く狹く尖る、全長、北海道及樺太產、アムール地方に分布。

みやまくさごけ　H. brachycarpum (Mitt.)

蒴廣楕一側膨大、柄二サ、メ、葉は頂に齒あり、卵形急

に紐狀漸尖、細胞葉基に方形、大にして透明黄色、本邦中部の諸高山に産す。

くさごけ H. Haldanianus (Grev.)

莖殆圓筒形弱く曲る、柄二サ、メ位、葉は二形、卵形又卵披細く尖る、細胞狹線形にして曲る、翼は帶褐、基部に黄色、全邊、四國—北海道產、亞、歐、北米に分布。

あをくさごけ H. H. var. viridis Okm.

纎長綠色、翼細胞透明、葉基に着色せず、本土の產。

とげはひごけ屬 Acanthocladium Mitt.

♀♂異株、莖水平、高背、長形、柄長く紫色、莖は羽枝あり、毛葉少し、莖葉は舷なし急に毛狀に尖る又は短尖あり、細胞は長く、乳頭あり、葉基に金黄、翼に大、膨脹、肋は短又欠く、二七種樹上に生ず、本邦產五種あり。

ふなばとがりごけ A. concavifolium Card.

葉は甚中凹、長楕又楕圓漸尖、鋭頭やゝ齒狀急に狹くなる、緣は反曲、肋なし、翼細胞3—4、小胞狀、屋久島に產す。

きよすみとげはひごけ A. Gonoi Broth.

葉は長楕圓急に細く尖る、中上に甚疎齒あり、肋なし、翼細胞は似たり、淸澄山に產す。

とげはひごけ A. japonicum B. P.

前種に比し枝長く、葉小、二分の一大、網はより粗、緣は反曲せず、紀伊の產。

かうやはひごけ A. Nakanishkii Broth.

纖長、莖葉中凹卵形短狹漸尖頭、緣平殆全邊、肋なし、翼細胞大、小胞狀黄色、枝は平に葉あり密羽狀に分布、高野山に產す。

ほうらいごけ屬 Trismegistia (C. M.) Broth.

♀♂異株、蒴大、水平多少高背、柄は曲折、紫色、長し莖は毛葉少し、葉は上方に紘あり、卵披舌狀一披針錐形、細胞平滑長形、翼に膨脹、黄一褐色、一二種樹上に生ず、本邦に一種を產す。

ほうらいごけ T. undulata Br. et Yas.

葉は紘なし、肋双生甚短叉不明、莖葉は波狀、短長楕披針錐形鋭尖、頂に鋭歯あり、臺灣產。

たかをごけ屬 Chinostomum C. Müll.

♀♂同株、蒴殆直立、長圓筒、明に頸あり、齒は乳頭あり、柄三サ、メ、曲折、葉は長楕圓、短く披針形に尖る、細胞平滑、上方に菱形、下方に長形、基に金黄、翼に膨脹一種よりなる。

たかをごけ Ch. rostratum (Griff.)

蒴殆直立、圓筒形、柄三サ、メ、葉は長楕披針、肋二、短又欠く、印度地方に分布。

こみのたかをごけ Ch. r. var. microcaspum Broth.

蒴長楕圓筒形、柄七ミ、メ、臺灣に產す。

かゞみごけ屬 Brotherella Loesk.

♀♂異株稀に同株、蒴は傾き長卵―圓筒、齒は横條あり基膜高し、葉は鎌形長卵多少錐形に尖る、縁反卷上方に細齒あり、着所と翼の細胞金黄色、肋なし、二九種樹幹に生じ本邦に其十を見る。

なぎなたはひごけ B. amblystegium (Mitt.)

葉鎌形、卵―長楕披針長く漸尖、中上に疎齒あり、翼細胞褐赤、肋短し、本土産、印度に分布。

とがりごけ B. Fauriei Card.

蒴殆圓筒形栗褐、柄一五ミ、メ、植物甚纖長、莖は平に葉あり、葉は鎌形ならず、長楕披針漸尖、頂に疎齒あり、肋なし又双生、短、四國及本土に產す。

こばのとがりごけ B. foliolatum (Besch.)

ナギナタハヒゴケに似たり、葉はより短く漸尖、粗齒あり、翼細胞はより小、方形、多數、日光產。

たいわんかゞみごけ B. formosanum Broth.

蒴長楕圓筒、傾く、柄二サ、メ、莖葉廣楕又卵狀の披針狹く漸尖、上部に鋭齒あり、肋なし、翼細胞方形多列、臺灣に產す。

かがみごけ B. Henoni (Dub.)

蒴圓筒又狹卵、柄２―３サ、メ、淡紫色、枝は平、葉は鎌形ならず卵披長く尖る、頂に廣く大なる長齒あり、翼細胞少數、膨脹、卵形、肋なし、本土―九州に產す。

ひらえかゞみごけ　B. planissima Broth.

♀♂同株、柄二サ、メ、前種に似て枝甚平、枝葉は卵披叉長楕錐形漸尖、漸尖頭に小齒あり、翼細胞長楕、金色、肋なし、四國に產す。

きはひごけ　B. pulchro-alaris (Broth.)

纖長、葉鎌形、卵披、錐形の部に小齒あり、翼細胞膀胱狀、肋甚短、柄三五ミ、メ、本土の產。

けはひごけ　B. yokohamae (Broth.)

蒴圓筒形、蓋は長嘴あり、柄細く二サ、メ位、莖纖長、密羽狀に枝ある植物、葉卵披、肋なし頂に小齒あり、翼細胞三、膨胱狀、枝平、葉は鎌形ならず、本土及九州に產す。

みやまはしぼそごけ屬　Warburgiella C. M.

♀♂同株、蒴は長形、直立せず、長き頸に疣あり、齒は密に橫線あり、植物纖長、葉は鎌形、狹楕―長披、長く糸狀、緣に齒あり、肋なし、細胞狹線形、共に黃色、翼に大三〇種樹幹に生じ、本邦に二種を產す。

りうきうはしぼそごけ　W. lutschiana (B. P.)

蒴圓筒形、柄一五ミ、メ、葉は長楕披針錐形叉毛狀、頂に小齒あり、細胞頂背に乳頭あり、翼に長楕、屋久島及大島に產す。

みやまはしぼそごけ　W. Nakanisikii Broth.

蒴廣楕、蓋は長嘴あり、柄一五ミ、メ、葉は前種に似たりより大にして網疎なり。仙臺及高野山の產。

ながえはしぼそごけ　W. N. var. longipes Broth.

蒴柄20—25、ミ、メ、但馬國に產す。

ながはしごけ屬　Sematophyllum (Mitt.)

♀♂同株又異株、蒴は直立又傾く廣楕—長形、蓋は針狀の嘴あり、葉は開展又偏向、形種々短く—毛狀に尖る、細胞狹長、翼に膨脹、長し、肋なし、一〇六種、樹幹稀に岩上に生ず、本邦に凡八種を見る。

かもながはしごけ　S. argutum (Okín.)

♀♂異株、蒴長楕、柄1—2サ、メ、葉長楕披針漸尖中上に粗齒あり、肋なし、翼細胞長方金色、ナガハシゴケに似たれど葉に粗齒あり、柄長く、間毛單一、山城上加茂の產。

いはながはしごけ　S. demissum (Wils. Sch.) Mitt.

♀♂同株、蒴狹楕、柄一二ミ、メ、翼細胞廣楕圓長方金黃色、葉は楕圓狀披針鋭尖全邊、屢頂に不明に齒あり、肋なし、臺灣—本土に產し、歐及北米に分布。

たいわんはしぼそごけ　S. extensum (Card.)

♀♂異株、葉長楕披針狹く漸尖、頂に明に疎小齒あり、翼細胞三、大、長楕卵形、小胞狀、褐色、臺灣產。

ながはしごけ　S. japonicum (Broth.)

♀♂同株、蒴廣楕、間毛双生、柄六ミメ、葉は長楕披針糸狀に漸尖、全邊、翼細胞3　5、長楕圓膀胱狀、褐黃又透明、臺灣—本土に產す。

くさつながはしごけ S. Nordenskiordii Besch.

♀♂同株、蒴卵形、柄二サ、メに至る、葉は卵形長く凸頭、中上に齒あり、翼細胞三、小胞狀、肋なし、本土に産す。

せいなんながはしごけ S. pulchellum (Card.)

♀♂同株、蒴殆直立、卵形、柄五ミ、メ、植物は美、葉は狹長楕披針やゝ廣く漸尖、鋭頭、全邊、翼細胞三—四、小胞狀、ナガハシゴケに近し、四國及九州に産す。

たかさごきりごけ S. robustulum (Card.)

♀♂同株、蒴卵形、柄6—8ミ、メ、葉長楕披針短廣やや漸尖、全邊、肋は双生弱く短し、細胞上部に菱形、暗し臺灣に産す。

りうきうながはしごけ S. thelydictyon Mitt.

♀♂同株、蒴長楕、蓋茜長く尖る、葉は長楕漸尖、縁に齒あり、翼細胞著し、九州及大島産。

はしぼそごけ屬 Rhaphidostichum Fleisch.

ミヤマハシボソゴケ屬に似たり、二一種樹上に生ず、本邦に一種を見る。

はしぼそごけ Rh. macrostichum Fl.

葉は舌狀又狹披針、短凸起あり、殆全邊、頂の方に三角小齒あり、肋は不明、屋久島産。

ほそえごけ屬 Trichosteleum (Mitt.) Jaeg.

♀♂同株、蒴直立せず、廣楕—長形、頸に乳頭あり、蓋は斜あり、柄短く粗、葉は多少凹み披針—錐形に尖る、細胞は楕圓—長形、乳頭あり、葉基に黄色、小點あり、翼に長く、膨脹、肋なし、八五種、樹幹稀に岩上に生ず、本邦產三種。

とがりはしぼそごけ T. aculeatum B. P.

蒴柄一サ、メ、葉細胞は緣に異なる、枝は平、葉は開展長楕披針錐形、錐形部甚長く其尖に齒あり、臺灣產。

ふちなしはしぼそごけ T. Ferriei Card. et Thér.

細胞は緣に異ならず、枝は平ならず、葉は一方に曲る、披針長楕にして披針錐形に尖る、上方に小齒あり、

ひめはしぼそごけ T. parvulum B. P.

蒴圓筒形、柄一二ミ、メ、葉は狹披針鋭頭、緣に齒あり翼細胞3—5、甚大、方形—長方形、透明、肋なし又弱し四國及臺灣に產す。

いぼごけ屬 Taxithelium Spruce.

♀♂同株又異株、蒴は傾き廣楕圓高背、柄平滑、齒は基合生、刀狀錐形、横條あり、枝は平に葉あり、葉は多形、卵—長卵短く尖る、細胞狹長、多乳頭、翼に分化、肋なし九五種樹幹稀に岩上に生ず、本邦に四種あり。

やまといぼごけ T. japonicum Broth.

纖長、葉は非對稱、舌狀又楕圓、上部割合に廣く短く尖る、頂にやゝ齒あり、肋双生短し、美濃國金華山に產す。

とさのいぼごけ T. laeve Card.

♀♂同株、蒴柄一二ミ、メ、葉は楕圓又長楕背に鈍頭、腹面のものは短く漸尖、鋭頭、凡て頂に鈍齒狀齒牙あり、肋短又欠く、土佐國に產す。

こまのいちゐごけもどき T. subtile (Card.)

♀♂同株、葉は卵形狹く尖る、上方に鋭齒あり、翼細胞僅に別あり、肋なし、朝鮮の產。

うえまついぼごけ T. Uematsui Broth.

葉は披針漸尖殆全邊、又は上部不明に齒あり、細胞密に長線形、上方にやゝ菱狀線形、肋二短又欠く、伊勢國田尻產。

ひらつぼごけ屬 Glossadelphus Fl.

♀♂異株又同株、蒴傾き短廣楕高背、枝は平、葉は多形肋短二又欠く、細胞は頂に乳頭あり、三二種、濕岩の上に生ず、本邦產七種。

たかさごひらつぼごけ G. alaris B. Y.

肋なし、葉は廣楕圓短く漸尖鋭頭、頂に甚微小齒あり、翼細胞透明少しく分化、臺灣產。

きりしまひらつぼごけ G. kiusiuensis Broth.

♀♂同株、蒴水平、廣楕圓、柄一五ミ、メ、枝葉卵狀又長楕披針短く尖る、頂に小齒あり、枝は平に葉あり、霧島山に產す。

たかさごいちゐごけもどき G. lingulatus (Card.)

葉は短く舌狀截頭、上方に齒あり、肋双生不同中央に達す、翼細胞短く少しく明、臺灣產。

はなしひらつぼごけ　G. malacocladus (Card.)

肋叉狀やゝ長く三分の一に達す、葉卵狀叉長楕披針短く尖る、鋭尖叉やゝ鈍頭、弱波狀、やゝ全邊、翼細胞少くして大、臺灣に產す。

つくしひらつぼごけ　G. Ogatae Br. et. Yas.

群生帶赤、葉は長楕圓甚鈍頭全邊叉頂に微小齒あり、翼細胞別なし、日向國に產す。

ひらいちゐごけ　G. planifrons (B. P.)

♀♂同株、蒴圓筒形、柄一四ミ、メ、長披針長く尖る、翼細胞長方形中大、中上に鋭齒あり、肋双生、多少著し、臺灣一四國產、亞州に分布。

たかさごひらいちゐごけ　G. p. var. formosicum Card.

より粗、枝長く、葉廣卵披、短廣漸尖、屢鈍頭、細胞はより疎、臺灣に產す。

いせのひらつぼごけ　G. subfulvus (Broth.)

♀♂異株、蒴廣楕圓、20—25　ミ、メ、枝葉長楕披針短く漸尖、頂明に小齒あり、肋双生、中央に終る、翼細胞別なし、本土に產す。

はひごけ科　Hypnaceae

♀♂同株叉異株、蒴は直立一水平、廣楕一圓筒形、柄多く平滑、齒は披針錐形、基膜高し、蓋は圓錐叉嘴あり、葉

細胞は長形、稀に乳頭あり、翼に小、多少別あり、本邦に一三屬あり。

屬名檢索表

1 { 莖葉と枝葉とは殆同形……………………………………3
  { 葉は對稱、明に二形、莖と枝にて形を異にす…………2

2 { 葉は鎌形に曲る、蝸牛狀、多襞、蒴は圓筒形、翼細胞甚僅に別あり……………………………ダテウゴケ屬
  { 葉は襞なし、翼細胞明に分化、蒴は廣楕圓形……………………………………………クシノハゴケ屬

3 { 蒴直立、整齊、齒不完全、間毛短叉缺く…………………4
  { 蒴傾く、齒完全、基膜突出、間毛發達……………………5

4 { ♀♂異株、蒴直立、齒は線條なし、葉肋なし、翼細胞方形、大………………………………イヌサナダゴケ屬
  { ♀♂同株、蒴直立、齒は横條あり、葉は多くは全邊、肋二、短叉缺く……………………………………キヌゴケ屬
  { ♀♂同株、蒴傾く、齒は横條あり、葉は莖頂にて弱く鎌形、全邊叉齒あり、翼細胞方形、小、肋一叉二叉缺く…………………………………………………キヌタゴケ屬
  { ♀♂同株叉異株、蒴直立、葉卵形長く毛狀叉卵披長く銳尖全邊、肋短叉缺く、翼細胞方形叉長方…………………………………………………ケサナダゴケ屬

5 { 葉は對稱一方に曲るか鎌形をなす…………………………10
  { 葉は非對稱………………………………………………………6

{ 葉細胞廣くして卵圓一長菱六邊形、葉綠に富む………

6 ｛……………………………フクロハヒゴケ屬
　 葉細胞狹長……………………………7

7 ｛蒴直立又傾く、間毛なし、葉は長く下延毛狀に尖る…
　 ……………………………ケサナダゴケ屬
　 蒴は傾く、間毛は完全……………………………8

8 ｛蒴大、圓筒形、弓形に曲る、蓋は鈍圓錐又嘴あり……
　 ……………………………ツヤイチヰゴケ屬
　 蒴小、彎曲せず……………………………9

9 ｛葉細胞狹長、多くは平滑、葉は全邊又小齒あり………
　 ……………………………アカイチヰゴケ屬
　 葉は緣に齒あり、細胞長菱形上端に小乳頭あり、♀花
　 葉芒狀……………………………キヤラハゴケ屬

10 ｛蒴圓筒形彎曲、枝平ならず……………………ハヒゴケ屬
　 前屬に似て枝平……………………ヒラエハヒゴケ屬
　 蒴廣楕又壺形、多少粗、乾けば口下に狹くなる………
　 ……………………………ウシホゴケ屬
　 蒴は長形著しく彎曲、口下に狹くなる…キヌタゴケ屬

いぬさなだごけ屬 Platygyrium Br. eur.

♀♂異株、蒴直立、殆圓筒形、齒は線條なし、葉は下延卵狀―長披銳尖、翼細胞大、多數、方形、中肋なし、四種を含む、本邦に二種を見る。

てうせんいぬさなだごけ P. perichaetiale Card.

♀♂同株、蒴長楕圓、柄 6 ― 8 ミ、メ、葉狹披針頂に粗

齒あり、肋は叉狀、朝鮮に產す。

いぬさなだごけ　P. repens (Brid.)

♀♂異株、蒴殆圓筒形、柄一五ミ、メ、葉は卵披全邊、肋なし、本土に產し、亞、歐、弗、北米に分布。

きぬごけ屬 Pylaisia Bruch. et Schmp.

♀♂同株、蒴直立、廣楕一圓筒形、齒は横條あり、齒片は穿孔乃至脚にて分裂、柄1―2サ、メ、紫色、葉下延、中凹、概全邊、一五種多く樹幹に着生、本邦に十餘種を見る

きぬごけ　P. Brotheri Pesch.

肋は二叉欠く、葉は卵披やゝ一方に曲る、頂凸頭長く尖く、全邊、細胞楕圓六邊、翼に多數方形、本土及北海道產ウスリ地方に分布。

たちきぬごけ　P. B. var. orthoclada Broth.

枝直立、葉直伸、頂葉は不明に一方に曲る、長く漸尖、本土に產す。

きばのきぬごけ　P. chrysophylla Card.

莖葉は狹披針漸尖、肋なく叉弱し、上緣に疎齒あり。翼細胞少、短く黃叉褐、臺灣に產す。

つしまきぬごけ　P. ch. var. brevifolia Card.

一葉はより短く、多くは基より齒あり、細胞短く壁不同に厚し、本土及對島に產す。

とさかきぬごけ　P. cristata Card.

一蒴は直立叉傾く殆圓筒、柄一六ミ、メ、蓋は短嘴あり、

葉は卵狀又長楕披針長く漸尖錐形、緣に弱く齒あり、叉殆全邊、翼細胞多數、小、暗し、四國一北海道に産す。

びろうどごけ　P. intricata (Hedw.)

蒴直立、楕圓、柄一五ミ、メ。蓋は短嘴あり、葉は短き卵狀又卵圓、急に披針形に狹くなる、全邊又尖に齒あり、翼は凹まず、細胞多列、方形、九州、本土、樺太産、亞、歐、北米に分布。

おほびろうどごけ　P. i. var. crassipes Lindb.

二倍大、葉長く漸尖、細胞はより長大、柄も蒴も大、間毛甚長く胞子は二倍大、樺太産。

あづまきぬごけ　P. laeto-viridis Okm.

蒴長楕圓筒又圓筒形、蓋は甚短嘴あり、柄6—7ミ、メ葉は卵狀長楕漸尖、全邊、稀に頂に不明に鈍齒あり、肋双生うすし、翼細胞は多數方形、本土に産す。

おほみきぬごけ　P. macrocarpa Broth.

蒴長卵圓形直立、蓋は圓錐、柄一五ミ、メ、葉は卵披細く長く尖る、全邊、肋は短く弱し、赤城山に産す。

ちやぼきぬごけ　P. nana Mitt.

蒴廣楕、蓋は嘴なし、柄五ミ、メ、葉卵披漸尖全邊、短き二肋あり、翼細胞小、圓し、對島産。

ほくぶきぬごけ　P. obtusa Lindb

蒴卵狀長楕、蓋は嘴なし、柄一二ミ、メ、葉は卵披長く尖る、肋双生甚短く稀に單一、長し、翼細胞少、方形、樺太及北海道産。

りんずごけ　P. polyantha (Schreb.)

蒴は楕圓—殆圓筒形、蓋は嘴なし、柄1—2サ、メ、葉は卵—廣披漸尖、長く尖る、全邊、肋なし又弱し、翼細胞方形、尾瀬原産、亞、歐、非、北米に分布。

とさのきぬごけ　P. serricuspes Broth.

蒴廣楕圓、蓋に長嘴あり、柄七ミ、メ、枝葉は長楕圓急に披針錐形に漸尖、中上に小齒あり、肋甚短し、土佐に産す。

まきはきぬごけ　P. subcircinata Card.

キヌゴケに近し蒴柄はより長く10—15ミ、メ、葉はより多くの一方に曲り盤旋狀、翼細胞小にして多數、北海道、本土及朝鮮の産。

きぬたごけ屬　Homomallium (Schimp)

♀♂同株、蒴は長形、傾く、柄一—二サ、メ、間毛完全葉は莖頂に弱く鎌形、長襞なし、廣楕圓—長披針長く錐形細胞狹長翼に多數、小、方形、葉緣に富む、肋單一又欠く九種岩上又樹幹に生ず、本邦に四種あり。

きぬたごけ　H. adnatum (Hedw.) Broth.

ヤマトキヌタゴケに近きも葉細胞に乳頭なし、葉は長楕漸尖、上部に粗大なる齒あり、肋は頂下、九州及本土の産北米に分布。

えぞきぬたごけ　H. connexum (Card.)

葉は披針長く毛狀に尖る。全邊、肋は中下、細胞は乳頭

あり、本土及朝鮮産。

ゆがみきぬたごけ　H. incurvatum (Schreb.)

蒴は長楕圓、曲る、柄一五ミ、メ、葉は卵形又楕圓、披針錐形に尖る、全邊又頂に不明なる歯あり、肋なし又甚短し、本土及北海道産、亞、歐に分布せり。

やまときぬたごけ　H. japonico-adnatum (Br.)

蒴水平、卵圓形、柄一五ミ、メ、葉は卵圓又長楕圓、長く狹く漸尖、頂に極めて小歯あり、細胞は極小乳頭あり、肋双生、短し、本土に産す。

はひごけ屬　Hypnum Dill.

♀♂異株稀に同株、蒴は傾き長形又圓筒形、多少彎曲、枝平ならず、端往々鈎狀鎌形に曲り、概毛葉あり、葉は鎌形卵披又心披往々多形、細胞長形、凹める翼に廣し、肋二短、又欠く、六十種を含み、本邦に二十餘種を産す。

ゆみはひごけ　H. arcuatiforme (Broth.)

蒴は水平、卵圓形、蓋は甚短嘴あり、柄一八ミ、メ、葉は卵圓又卵狀廣楕短く漸尖、頂に歯あり、肋は中央、翼は凹む、九州一北海道産。

ながえのゆみはひごけ　H. a. var. longipes Broth.

蒴柄二サ、メ、以上に達す、四國に産す。

まるははひごけ　H. callichroum (Brid.)

蒴は長楕圓彎曲、柄二サ、メ位、葉は卵圓急に披針錐形肋二、不同又欠く、翼細胞三角又圓形、着所に有色、翼は

凹む、本土及北海道に產し、亞、歐、北米に分布。

まきはひごけ　H. circinale Hook.

キノウヘノハヒゴケに似たり、蒴卵形、葉は心形急に齒ある、錐形に狹くなる、翼凹み細胞小にして多數、金黃一褐赤、其上に膨脹したる細胞あり、本土に產し、歐及兩米に分布せり。

ちりめんごけ　H. circinatulum Schimp.

葉小、心披全邊、細胞は基に着色せず、凹める翼に長方肋は短し、枝葉は頂、明に小齒あり、九州一本土に產す。

くしはひごけ　H. ctenium Schmp.

ダテウゴケに似たり、葉細胞は着所に有色ならず、翼は多少凹む、枝葉は肋なし、九州一本土及朝鮮に產す。

はひひばごけ　H. cupressiforme L.

蒴殆直立又傾く、長楕圓一圓筒形、蓋は嘴あり、柄二五ミ、メに至る、葉は卵圓又楕圓狀披針屢毛狀に尖る、頂に齒あり、肋二、短又欠く、翼は凹み細胞方形一長方透明又黃色、葉基に着色せず、本土一樺太產、全世界に分布。

いとはひばごけ　H. c. var. filiformis Brid.

莖と枝は長くして糸狀、北海道產、亞、歐、北米及タスマニアに分布。

ゆがみはひごけ　H. curvifolium Hedw.

ハヒサハラゴケに似たり、蒴は乾げば長褶あり、葉は長楕卵形一長三角卵形長く漸尖、全邊、又上方に小齒あり、翼細胞小、方形、着所に有色、肋短又欠く、本土に產し北

米に分布す。

こまのはひごけ　H. Fauriei Card.

♀♂同株、蒴殆圓筒形、柄一五ミ、メ、葉は長楕披針錐形に漸尖、肋なし又弱し、頂に疎齒あり翼細胞三、四ます着所に有色、朝鮮に產す。

ひめちりめんごけ　H. fertile (Sendt.)

♀♂同株、蒴狹楕—圓筒形、彎曲、柄二五ミ、メに至る葉は卵狀—楕圓披針毛狀、上方に弱く齒あり、肋二弱く又欠く、翼凹ます、着所の細胞は有色、九州—北海道並に朝鮮に產し、亞、歐、北米に分布。

ふじはひごけ　H. fujiyamae (Broth.)

蒴長楕圓、柄二五ミ、メ、葉は卵—長楕卵狀漸尖、上方に齒あり、細胞は着所に有色、翼に凹み、大、褐黃色、本土に產す。

はひさばらごけ　H. imponens (Hedw.)

蒴殆直立、圓筒形、柄2—3サ、メ、葉は廣卵披錐形頂に鋭齒あり、肋二、短、細胞着所に金黃、やゝ耳ある凹める翼に方—短長方形、九州及本土に產し、亞、歐、弗、北米に分布せり。

ひめはひごけ　H. Oldhamii (Mitt.)

蒴廣楕水平、蓋は嘴なし、葉はやゝ卵基より披針上方に小齒あり、肋双生又欠く、細胞長く基部に無色、翼は凹む九州—本土產。

きのうへのこはひごけ　H. pallescens Hedw.

♀♂同株、蒴殆直立、狹楕圓、柄 6.—12ミ、メ、蓋は嘴なし、莖葉弱く錐形卵披長く尖る、頂に弱く齒あり、肋短叉欠く、細胞着所に黄色、凹まざる翼に方形、本土一樺太產、亞、歐、北米に分布。

みやまはひごけ　H. plicatulum (Lindb.)

蒴卵圓形乾けば襞あり、葉は下延、廣三角卵披やゝ糸狀殆全邊、叉不明に小齒あり、肋二不明、葉基に耳あり、基細胞無色、翼に異ならず、九州一樺太產、亞、歐、北米に分布。

はひごけ　H. plumaeformis Wils.

葉は廣卵披短く尖る殆全邊、肋なし、細胞は基に無色、翼は多少凹む、臺灣一本土及朝鮮に產し、亞細亞に分布。

うめつごけ　H. pulcherrimus (Broth.)

前種の纎長なるものに似たり、葉は廣基より楕圓狀披針細く尖る、上方に小齒あり、肋二、短し、細胞狹線形、着所に無色、凹める翼に疎、卵圓六邊形、透明、岩代國箱石山に產す。

きのうへのはひごけ　H. reptile Michx.

♀♂同株、蒴傾き長楕一圓筒形、蓋は嘴あり、柄一五ミメ、葉は卵一楕圓狀披針上方に鋭齒あり、葉細胞基に黄色翼二方一短長方黄色、九州一本土及樺太產、亞、歐、北米に分布。

まきははひごけ　H. revolutum (Mitt.)

蒴は圓筒形、葉は明に長襞あり、縁は頂まで卷く、卵狀

急に披針錐形全邊、肋短、黄色、細胞基部に黄色、凹まざる翼に小、方形、本土に產す、亞、歐、北米に分布。

たかねちりめんごけ　H. rhynchothecium (C. M.)

葉は披針毛狀に尖る、可なり下方へ歯あり、肋不明、翼は凹み、着所の細胞は有色なり、臺灣一本土に產す。

たまきちりめんごけ　H. Tamakii (Broth.)

葉翼凹み細胞大、長楕圓、外方に透明、内方に黄色、莖纖長、密に枝あり、枝二サ、メ以上、葉は廣卵急に狹くなる、殆全邊、肋なし又弱し、着所の細胞は黄金色、越後寶川に產す。

ひもはひごけ　H. tereticaulis (C.M.)

カヽミゴケ屬に近し、枝は圓く葉あり、葉は長卵急に短く尖る、頂に歯あり、肋は不明、細胞は葉基に無色にして著しからず、本土各地に產す、**みやまちりめんごけ**(H. leptothalus C. M.)は本種の枝の甚短きものなり、嘗て八ケ岳に之を採集せり。

いとはひごけ　H. tristo-viridis (Broth.)

蒴は長楕圓筒、蓋に短嘴あり、柄二五ミ、メ、葉卵披錐形頂に歯あり、細胞葉基に金色、凹める翼に大、膀胱狀、肋弱し、九州一本土に產す。

こあをぎぬごけ　H. brachytheciellum (B. P.)

葉は卵披全邊又頂に離れて歯あり、肋は中央に終る、着所の細胞無色にして翼は凹まず、九州及本土に產す。

ひらえはひごけ屬 Breidleria Loesk.

♀♂異株又同株、蒴は殆圓筒形、枝は平に葉あり、葉は鎌形又鈎狀、卵披短く又長く尖る、細胞狭長翼に廣し、肋短く二叉欠く、三種あり。

えぞはひごけ B. arcuata (Lindlo)

♀♂異株、蒴水平楕圓彎曲、長頸あり、柄3—4サ、メ莖は平に葉あり、葉は鈎狀に曲る、圓き廣卵披針全邊又末端に齒あり、細胞着所に有色、凹める翼に廣楕六邊、膨脹透明、九州—北海道に產し、亞、歐、北米に分布せり。

ひらえはひごけ B. homaliacea (Besch.)

♀♂同株、植物甚扁平タチヒラゴケに似たるを以てタチヒラゴケモドキの名あり、葉は乾けば一方に曲り、卵披、光澤あり、肋なし、細胞は着所に無色、翼は多少凹む、九州—北海道產。

おほはひごけ B. pratensis (Koch.)

♀♂異株、蒴楕圓狀、高背、柄三サ、メ、葉翼は凹まず細胞膨脹せず、方形—長方形、着所に無色なり、葉は廣卵披長く尖る、頂に齒あり、肋甚短又缺く、本土及北海道產亞、歐、北米に分布せり。

うしほごけ屬 Ectropothecium Mitt.

♀♂同株又異株、蒴は直立せず廣楕圓、壺狀又圓筒形、粗、葉は下延せず多く鎌形、往々多形、卵—卵圓—卵披、

細胞長形、乳頭あり、翼に小、疎、肋二叉缺く、一〇〇種樹幹、岩上、叉地上に生す、本邦に數種を産す。

おほしまはひごけ E. ohsimense Card. et Ther.

纖長なる植物、蒴傾き卵圓の短長楕、蓋は短嘴あり、柄15—20、ミ、メ、莖は櫛齒狀に枝あり、葉は對稱多形翼細胞疎にして小、奄美大島に產す。

たいわんはひごけ E. planulum Card.

♀♂同株、蒴垂下、卵狀叉やゝ球狀、蓋は正嘴あり、葉は卵狀叉長楕披針やゝ長く尖る、上方に小齒あり、臺灣の產。

まるはうしほごけ F. rotundifolium Okm

♀♂同株、蒴は長楕圓、蓋は嘴なし、柄10—12ミ、メ、葉は多形、短尖あり叉漸尖、圓き卵狀—長楕圓披針、頂に小齒あり、本土に產す。

しらがうしほごけ E. Shiragae Okm.

♀♂同株、蒴卵圓、蓋は嘴あり、柄八ミ、メ、タイワンハヒゴケに似たるも葉は卵披頂錐形漸尖、中上に鋭齒あり下細胞はより狹し、臺灣產。

まるみうしほごけ E. subplanulum Card.

タイワンハヒゴケに近し枝はより大、少しく平、葉はより大、背生のものは短く漸尖、側生のものはやゝ鎌形をなす、臺灣に產す。

あかいちゐごけ屬 Isopterygium Mitt.

♀♂同株又異株、蒴は殆直立一水平、卵圓一圓筒形、整齊、間毛完全、基膜突出、枝多くは平、不規則に分枝、葉は多形、細胞狹長、翼に分化せず、肋二、短又缺く、一六九種樹上、岩上、又地上に生ず、本邦產凡三〇種を算す。

しろいちゐごけ　I. albescens (Schwgr.)

♀♂同株、蒴卵圓、葉は廣卵披長く狹く尖る、上部に齒あり、肋なく又甚短、奄美大島產、印度及諸島に分布。

いせいちゐごけ　I. assimile Broth.

葉は廣披針漸尖、肋短、殆全周に齒あり、九州本土に產す。

ほそいちゐごけ　I. byssaceum Broth.

♀♂同株、蒴水平卵圓、柄七ミ、メ、甚細き植物、枝葉は狹卵披狹く漸尖、肋双生甚短又缺く、四國に產す。

とがりいちゐごけ　I. cuspidifolium Card.

葉は卵披漸尖長く尖る、上縁に齒あり、翼細胞方形一短長方、肋は双生、$\frac{1}{4}$、祖母山に產す。

ひだはいちゐごけ　I. densum Card.

葉卵一楕圓狀披針短く尖る、上方に小齒あり、肋は中央翼細胞少しく明、枝やゝ筒狀をなし、葉が中凹にして襞あること著しとす、九州に產す。

ちやいちゐごけ　I. fulvum (Hook.)

莖平、葉長披長く尖る、縁に齒あり、イセノヒラツボゴケに似たれどより小、葉殆全邊、肋短く、翼細胞別あり、長方一六邊形、本土に產し北米に分布。

きいちゐごけ　I. horridulum Broth.

葉卵披漸尖、緣に波狀に齒あり、肋は双生不明、金花山島に產す。

くさついちゐごけ　I. kusatsuense Besch.

♀♂同株、蒴卵形、柄 8 —10 ミ、メ、枝細長、葉狹倒卵披長く捩れる凸頭に漸尖、全邊、肋なし、本土に產す。

あらはいちゐごけ　I. laxissimum Card.

♀♂同株、蒴卵狀長楕、柄10—12 ミ、メ、枝平、葉は楕圓狀披針、上部に小齒牙あり、翼細胞少、短長方形、肋短し、臺灣に產す。

みやこひらつぼごけ　I. laxo-alare Broth.

植物甚小、葉は披針細く漸尖全邊叉頂に鈍齒あり、肋不明、東京產。

ひめひらつぼごけ　I. leptotapes Card.

♀♂同株？　蒴卵一短長楕、柄 7 — 8 ミ、メ、葉は卵披急に漸尖錐形、上方に齒あり、肋甚短叉缺く、甚細き美麗なる植物、臺灣產。

えぞのひらつぼごけ　I. Mülleriana (Sch.)

♀♂異株、蒴殆直立、長倒卵形、柄一五ミ、メ、葉狹楕叉披針狹く細く尖る、全邊叉頂に齒あり、肋短叉缺く、枝は平、本土及北海道に產し、亞、歐、北米に分布せり。

ながすぢいちゐごけ　I. neckeroides Card.

♀♂異株、蒴長楕卵形、柄一五ミ、メ、葉は廣き小刀狀の長楕圓、廣く短く漸尖、頂に粗大齒あり、肋中上に終る

翼細胞少しく分化、九州及本土に產す。

せんだいいちゐごけ I. perchlosum Broth.

葉長楕圓錐形鈍頭叉短く尖る、全邊、肋は不明、本土に產す。

つくしいちゐごけ I. subalbescens Broth.

♀♂異株、蒴水平卵圓、蓋は嘴あり、柄一八ミ、メ、葉は心披、糸狀に細くなる、上方僅に齒あり叉全邊、肋甚短叉缺く、九州一本土に產し印度に分布せり。

しろはひごけ I. subalbidum (S. L.) Mitt.

♀♂同株、葉狹披細く長く尖る、緣に齒あり、肋中上、翼細胞方形、臺灣一本土に產す。

いせいちゐごけもどき I. subassimile Broth.

イセイチヰゴケに甚近し、葉はより狹くして細く尖る、肋は不明、伊勢田尻產。

あかいちゐごけ I. textori (Lac.)

♀♂異株、蒴長圓筒、蓋は嘴あり、枝平、葉は一方に曲らず、屡酒色を呈す、卵披短く尖る、頂僅に鈍齒あり、九州一本土に產す。

とさのひらつぼごけ I. tosaensis Broth.

甚小なる植物、葉卵狀長楕短く尖る、全邊叉頂に鈍齒あり、四國に產す。

こもちひらつぼごけ I. Tsunodae Broth.

♀♂同株、蒴小、卵圓形、柄七ミ、メ、葉は卵披緣に微小齒あり、肋双生、短、上野子持山產。

つくもはひごけ I. turfaceum (Lindb.)

♀♂同株、蒴殆圓筒形、柄一八ミ、メ、葉は卵披漸尖、中上に疎齒あり、肋なし又甚短し、九州、本土及朝鮮の産亞、歐、北米に分布。

おほつくもはひごけ I. t. var. subsilesiacum Card.

枝はより廣く、葉大にして廣く、柄長く蒴は短し、本土に産す。

よこすかいちゐごけ I. yokoskae Besch.

♀♂同株、蒴平滑、柄1—2サ、メ、葉は一方に曲る卵披長く細く尖る、全邊、肋なし、本土産。

きやらはごけ屬 Taxphyllum Fleisch.

♀♂異株、蒴水平又直立、長卵圓彎曲せず、頸長し、蓋は嘴あり、枝は甚平に葉あり、葉は長卵形、緣に小齒あり肋双生、短又缺く、細胞長菱形、多少小乳頭あり、一五種地上、岩上及株基に生ず、本邦に六種を見る。

たかねきやらはごけ T. Fauriei (Card.)

♀♂異株、葉は卵狀長楕披針長く又短く尖る、上方に小齒あり、キヤラハゴケに似て葉廣く短く、枝頂に多數の粉狀體あり、八甲田山の産。

えぞいちゐごけ T. Giraldii (C. M.) Par.

葉は卵披漸尖緣に齒あり、肋殆缺く、本土—臺灣産、支那に分布。

いぼきやらはごけ T. G, var. punctatum Card.

頂細胞に小疣あり、本土に產す。

はまきやらはごけ　T. Hisauchii (Okm.)

♀♂同株、蒴長楕圓一側膨大、柄一五ミ、メ、葉は卵披狹き錐形に尖る、肋短し、橫濱產。

おにきやらはごけ　T. robustum (Broth.)

ミチノクイチヰゴケに似たり、葉は卵披全緣に齒あり、肋はより强くして明なり、本土に產し滿州に分布す。

きやらはごけ　T, taxirameum (Mitt.)

葉は卵披叉披針長く尖る殆全周に齒あり、肋短く不明、臺灣一本土產、印度及諸島並に比島に分布。

ふくろはひごけ屬　Vesicularia (C. M.) C. M.

♀♂同株、蒴は廣楕一圓筒形、直立せず、柄二五ミ、メに至る、平滑、莖は平に葉あり、葉は多形廣卵一長披、短く叉毛狀に尖る、細胞廣楕叉菱形六邊、翼に別なし。一二四種、樹幹、岩上叉地上に生ず、本邦に十餘種あり。

せいなんふくろごけ　V. apiculata Broth.

蒴水平廣楕圓。柄一五ミ、メ、葉は頂に小齒あり、側葉長楕卵形短凸起あり、腹生のものは卵披漸尖、肋双生甚短叉缺く、中國及九州產。

とがりふくろごけ　V. cuspidata Okm.

蒴楕圓、柄一五ミ、メ、位、莖は不正羽狀に分枝、葉は頂に微小齒あり、背葉は楕圓叉廣楕短く凸頭、側葉は長楕披針漸尖、肋双生短し、近畿地方に產す。

やまとふくろごけ V. japonicum Broth.

蒴長楕圓、柄一サ、メ、葉は頂に甚小齒あり、卵形鋭頭肋双生短し、九州及四國の產。

ながはふくろごけ V. leptoblasta (B. P.)

白綠色の植物、蒴は圓筒形彎曲、蓋は短嘴あり、柄一三ミ、メ、枝は密羽狀に分枝、葉は倒心披長く糸狀、全緣に小齒あり、四國に產す。

おかむらふくろごけ V. Okamurae Broth.

灰綠色、蒴長楕圓、柄二サ、メ位、枝葉は小齒あり、卵一長楕卵形急に毛狀、細胞菱六邊形、肋なし、九州一本土に產す。

たいわんふくろごけ V. Sasaokae Okm.

黃綠色、蒴長楕圓、柄一五ミ、メ、葉は卵狀長楕長く糸狀になる、漸尖部に小齒あり又全邊、肋は短し、臺灣に產す。

しまだふくろごけ V. Shimadae Okm.

黃褐色、蒴長楕圓筒形、柄13—20ミ、メ、葉は全邊倒卵一卵披鋭尖、細胞長菱形、基部に、長楕圓、肋短し、臺灣產。

たまきごけ V. Tamakii Broth.

灰綠色、楕卵圓形、柄一五ミ、メ、葉は疎、卵一卵披鋭尖、全邊、肋なし、細胞長楕六邊、小笠原母島產。

やじまふくろごけ V. Yazimae Okm.

綠色、密羽狀に枝あり、葉は中上に齒あり卵圓又倒卵一

長楕披針短く漸尖、細胞菱形六邊、肋は短し。

つやいちゐごけ屬 Dolichotheca (Ldb.) Fl.

♀♂同株、蒴傾き圓筒形彎曲、蓋は時に短嘴あり、葉は展開鎌形、卵狀長披錐形、上方に細齒あり、細胞狹長、翼に別なし、肋甚短又欠く、三種朽木又地上稀に岩上に見る本邦產二種。

みちのくいちゐごけ D. perrobustum (Broth.)

蒴水平、長楕圓筒形、柄二五ミ、メ、葉は卵披漸尖長く糸狀、肋双生不明、緣は小齒あり、九州及本土に產す。

つやいちゐごけ D. silesiacum (Selig.) Fl.

蒴圓筒形、葉は一方に曲る卵披漸尖細く尖る、中上に疎齒あり、肋甚短し、翼細胞卵圓六邊、本土一九州產亞、歐、北米に分布。

けさなだごけ屬 Plagiotheciella Fleisch.

♀♂同株又異株、蒴直立又傾く、柄一五ミ、メ、莖は平に葉あり、葉は下延、卵形突然毛狀に尖る又卵披長く漸尖全邊、翼細胞方一長方形、三種を含み、本邦に其一種を產す。

けさなだごけ P. pilifera (Sw.) Fl.

♀♀同株、蒴は殆圓筒形、肋甚短く單一又双生、陸中早池峯產、亞、歐、北米に分布。

くしのはごけ屬 Ctenidium (Sch.) Mitt.

♀♂異株、蒴長卵圓高背、傾く、柄平滑、10—25、ミメ、莖は少數の假毛葉あり、卵圓一錐形、莖葉は襞なし、下延、廣心急に披針錐形、縁に齒あり、細胞線形、乳頭あり、翼に方一長方形、二八種、樹上又岩上に生ず、本邦産凡一〇種あり。

ひなくしのはごけ C. brevipes Broth.

蒴廣楕圓、柄七ミ、メ、莖葉廣心急に披針毛狀縁に小齒あり、枝葉は狹し、肋二、短又欠く、本土に産す。

くしのはごけ C, capillifolium Mitt

蒴長楕圓、柄八ミ、メ、葉は心卵狀長く毛狀漸尖、縁に甚うすく齒あり、肋なし、九州—本土に産す。

こくしのはごけ C. hastile (Mitt.)

前種に似たり、蒴卵圓、柄少粗、帽甚多毛、葉は廣心三角披針錐形、枝葉は披針、縁に小齒あり、肋は弱し、細胞凡て平滑、九州—本土及朝鮮に産す。

いとくしのはごけ C. pinnatus (B. P.)

櫛齒狀に分枝、枝時に纖匐枝狀、莖葉倒心漸尖、中上に齒あり、肋なし又弱し。

あらくしのはごけ C. scaberrimum (Card.)

葉は背面甚粗、卵披長く漸尖、上方に小齒あり、肋弱く又$\frac{1}{3}$に達す、臺灣に産す。

のこぎりくしのはごけ C. serratifolium (Card.)

葉三角披針長く漸尖錐形、縁に齒あり、肋は双生弱く又欠く、細胞平滑なり、臺灣產、亞に分布。

ほそくしのはごけ　C. tenerum Broth.

纖長白綠色、葉は心披漸尖毛狀全邊、肋なし、翼細胞少卵圓形、赤城山に產す。

だてうごけ屬 Ptilium (Sull.) De Not.

一種よりなる。

だてうごけ　P. crista-castrensis (L.)

莖は傾き殆圓筒形彎曲、柄曲折4—5サ、メ、莖は二〇サ、メに達し駝鳥羽狀に枝を密生し、枝端鎌狀に曲る、葉は鎌形又蝸牛狀、襞あり、廣基より披針錐形、中上に細齒あり、細胞狹線形、翼に僅に分化、肋二短又欠く、本土及樺太に產し、亞、歐、北米まで分布せり。

ふさごけ科 Rhytidiaceae

♀♂異株、莖は傾く稀に直立、柄は平滑、葉は多列、長く尖る、肋單一又二、細胞長形、翼に分化、本邦に七屬あり。

屬名檢索表

1 ｛肋は單一……………………………………………………4
　 ｛肋は双生……………………………………………………2

2 ｛毛葉甚疎又欠く……………………………………………3
　 ｛毛葉甚多數、莖は樹狀に分枝、重羽狀をなす……………

{……………………………………………………リウビゴケ屬

枝圓く、葉疎、翼細胞殆別なし……………………フサゴケ屬
3{莖平に葉あり、葉は一方に曲る、翼細胞は分化せり…
……………………………………………………ラツコゴケ屬

毛葉なし、蒴は直立……………………………………………5
毛葉疎又欠く、莖葉屋瓦狀にして一方に鎌形、肋は$\frac{1}{2}$、
4{蒴は傾く……………………………………………………ノトゴケ屬
毛葉甚多數、葉は長襞あり、肋は頂下、蒴は傾く……
……………………………………………ホウライヒダゴケ屬

♀♂異株、葉は長く下延、長披細長く尖る、全邊、肋
頂下、蓋は鈍頭……………………………………キツネゴケ屬
5{♀♂同株、葉短く下延、卵披全邊、肋は錐形の基まで
達す、蓋は短嘴あり…………………………ヲカムラゴケ屬

きつねごけ屬 Lesquereuxia Lindb.

♀♂異株、蒴直立長卵圓、齒は乳頭あり、葉は長く下延二の長襞あり長披針細長く尖る、細胞長菱形、翼に小、暗し、三種本邦にのみ産す。

たかねきつねごけ L. interrupta (Besch.)

葉卵披長く尖る、肋は捩れる尖に終る、細胞は下縁に卵狀四邊形、其他狹長にして暗し、本土及北海道に産す。

ひめきつねごけ L. longipes (Broth.)

蒴卵圓形、柄一八ミ、メ、葉は狹披漸尖、肋は中上、葉は一方に曲り、下延せず、♀花葉は全邊、肋なし、四國一

北海道に產す。

きつねごけ　L. robusta Lindb.

蒴楕圓卵圓形、柄一五ミ、メ、葉は長く下延、長楕披針甚長く尖る、時に不明なる齒あり、肋は錐部に終る、♀花葉全邊にして肋あり、本土一樺太に產す。

ほそきつねごけ　L. rufescens (Besch.) Fl.

蒴卵狀又球形黑色、柄10—15ミ、メ、葉は一方に曲らず、狹卵披長く尖る、肋は頂下、細胞下緣に小にして方形、內♀花葉は頂に齒あり、四國及本土に產す。

をかむらごけ屬　Okamuraea Broth.

♀♂同株、蒴長形殆直立、柄一五ミ、メ、外齒に線條なし、葉は短く下延、肋側に長襞あり、卵披錐形全邊、肋は錐形の基に達す、六種樹上又岩上に生ず。

こしのをかむらごけ　O. brevipes Broth.

蒴長楕圓、柄3—5ミ、メ、葉は卵狀長楕錐形漸尖、肋は中央、本土に產す。

をかむらごけ　O. cristata Broth.

蒴長楕、柄一五ミ、メ、葉廣卵披錐形漸尖、細胞菱形翼に多數、小、肋中上、九州一本土產。

ほそをかむらごけ　O. c. var. gracile Broth.

纖長、葉も小、頂はより短し、本土に產す。

はひをかむらごけ　O. c. var. multiflagellifera Okm.

枝は長き多數の纖匐枝あり、四國一本土產。

はこねをかむらごけ　O. hakonense (Mitt.)

♀♂異株、蒴卵圓形、柄7—9ミ、メ、葉は狹卵披漸尖やゝ小齒あり、肋は頂下、四國及本土に產す。

ひめをかむらごけ　O. imbricata Broth.

葉廣き卵披漸尖、錐形、全邊又微小齒あり、肋は頂下、本土に產す。

ひろはをかむらごけ　O. latifolia Broth.

葉は卵—長卵披針急に細く尖る、肋は狹部の下に達す、柄一サ、メ、四國に產す。

きのくにをかむらごけ　O. plicata Card.

蒴傾き長楕圓筒形、柄二五ミ、メ、葉は廣卵披急に毛狀緣に弱く小齒あり、肋は$\frac{2}{3}$に終る、紀伊國に產す。

ウスリをかむらごけ　O. ussuriensis (Broth.)

葉は廣心卵形に狹長錐形、全邊又微小齒あり、肋は頂、朝鮮產、亞細亞に分布。

ほうらいひだごけ屬　Ptychodium Schmp.

♀♂異株、蒴傾く—水平、長形、柄二サ、メ、に至る、齒は橫條あり、枝は圓く葉あり、毛葉多數、葉は屢〻一方に曲る、深襞あり、卵披長く尖る、枝葉は頂に齒あり、細胞狹線形翼に疎、方形—短長方、肋單一、頂下、二種あり。

ほそひだごけ　P. perattenuatum Okm.

蒴直立、長楕又長楕圓筒、柄13—15ミ、メ、葉は廣卵やゝ心狀三角狹長鞭狀になる、緣に齒あり、肋頂下又殆全長、

臺灣に產す。

ほうらいひだごけ P. plicatulum Card.

葉は廣三角心形、又やゝ心形の基より多少長狹漸尖縁に小齒あり、肋頂下又殆頂、臺灣產。

ふとごけ屬 Rhytidium (Sull) Kindb.

一種。

ふとごけ R. rugosum (Ehrh.)

♀♂異株、蒴傾く殆圓筒形、柄2—5サ、メ、やゝ太き植物、毛葉は若枝にのみ存す、莖葉は一方に曲る、卵狀又楕圓次第に披針形に狹くなる、先端に齒あり、肋は中央、本土及朝鮮の山地に生ず、亞、歐、北米に分布。

ふさごけ屬 Rhytidiadelphus (Ldb.) War.

♀♂異株、蒴水平卵圓形、柄2—4サ、メ、枝は圓くして毛葉は若枝にのみ存す、葉は心卵急に又漸尖長く尖る、縱襞あり、細胞線形、乳頭あり、翼に分化せず、肋二叉欠く、六種を含み本邦に其三を見る。

ふさごけ Rh. calvescens (Wils.)

外形リウビゴケに似たり、硬き植物、羽狀に枝あり、枝は弓形、莖葉は基に弱く襞あり、心形上部突然に狹くなる翼細胞多數、卵圓六邊、九州—樺太及朝鮮產、亞、歐、北米に分布。

こふさごけ Rh. squarrosus (L.) War.

蒴水平卵形、柄三五ミ、メ、前種に比し柔なる植物、枝は頂に鈍頭、下方に曲る、葉は廣卵急に紐狀に狹くなる、襞なし、頂不明に細齒あり、肋甚短く又缺く、本土及朝鮮に產し、亞、歐、弗、北米に分布せり。

おほふさごけ　Rh. triquetrum (L.) War.

蒴水平卵形又楕圓、柄2—4サ、メ、莖は毛葉なし、莖葉は展開、廣心披針漸尖長襞あり、緣に銳齒あり、細胞は上背に齒狀をなし突出、肋は$\frac{3}{4}$に達す、本土の樺太及朝鮮に產し、亞、歐、弗、北米に分布。

らつこごけ屬　Gollania Broth.

♀♂異株、蒴水平卵圓又圓筒形、柄2—5サ、メ、彎曲枝は平に葉あり、毛葉は少し、葉は一側に向ひ上方に横波狀短く下延、廣卵又卵圓急に又次第に長錐形に尖る、細胞狹線形、乳頭あり、翼に方形又卵圓六邊、肋は二やゝ長し一三種を含み、本邦に共七を產す。

たちらつこごけ　G. exaltata (Mitt.)

蒴卵圓、柄3—4サ、メ、葉は卵形やゝ漸尖、凹波狀、緣に隔りて小齒あり、肋は中央、♀花葉は全邊、本土の產

ふうてうごけもどき　G. macrothamnioides Broth.

葉は一方に曲る又粗開、廣卵短く漸尖銳頭、頂に小齒あり、肋双生、中上、九州及本土產。

かはをそごけ　G. Mayrii (Broth.)

蒴水平廣楕、柄二五ミ、メ、葉は一方に曲る、頂鎌形、

卵圓一卵狀廣楕長く漸尖、鋭頭、頂に齒あり。♀花葉は頂に齒あり、本土及北海道產。

てうせんらつこごけ　G. Neckerella (C. M.)
var. coreensis (Card.)

翼は凹み細胞疎、内♀花葉は突然錐形に尖る、鞘部の頂に粗齒あり、葉は上方に粗齒あり、間に小なるものを交ふ朝鮮に產す。

しはらつこごけ　G. ruginosa (Mitt.)

蒴卵圓、柄短く三サ、メ、葉卵形中凹、漸尖頭、緣に小齒あり、頂の方へ深波狀、翼細胞少、圓し、肋短し、♀花葉頂鞭狀、小齒あり、本土に產す、印度に分布。

らつこごけ　G. varians (Mitt.)

翼凹まず、内♀花葉は鞘頂に齒なし、葉は廣卵鋭尖、枝葉は卵披叉長楕卵形、上方に粗齒あり、往々小齒を混ず、肋中央、四國一北海道產。

りうびごけ屬　Loeskeobryum Fleisch.

♀♂異株、蒴傾き水平、長卵、蓋は斜嘴あり、柄15—25ミ、メ、太き植物、不正叉樹狀に分枝、重羽狀をなす毛葉多數、莖葉多襞、廣心形突然長き紐狀になる、緣に齒あり、細胞線形、基部に長方、翼に分化せず、肋二、短し二種あり。

りうびごけ　L. brevirostre (Ehrh.)

蒴水平、楕圓、柄二サ、メ、位、莖は毛葉多數、葉は不正に長襞あり、莖葉は廣心急に短く叉長く披針形上方に齒

あり、細胞は翼に短長方形—卵圓六邊、肋は中央に終る、九州—本土に產し、亞、歐、非、北米に分布せり。

ふとりうびごけ　L. cavifolium (Lac.)

前種に似たるも毛葉なく、葉は平滑稀に襞あり、九州—北海道に產す。

ひよくごけ科　Hylocomiaceae

♀♂異株、太き植物、蒴傾き—垂下、蓋は圓錐稀に嘴あり、莖は二叉三回羽狀、葉は多列、二叉多形、細胞長形屡、乳頭あり、翼に別なし又僅に異なる、肋は二、二屬あり、

ひよくごけ屬　Hylocomiastrum Fl.

蒴水平卵圓高背、柄10—25ミ、メ、莖は毛葉多數、莖葉は深く多襞、粗齒あり、翼細胞分化せず、三種あり。

しのぶひばごけ　H. himalayanum (Mitt.)

葉は下延、心形—長卵漸尖短く尖る、縁に粗大なる齒あり、肋は短又中央、莖は重羽狀をなす、四國及本土に產し印度に分布せり。

みやまりうびごけ　H. pyrenaicum (Spr.)

蒴水平卵圓、柄1—2サ、メ、莖葉は下延せず、廣き長廣楕尖然に短廣なる半捩れる頂に長くなる、上部に粗齒あり、肋單一又叉狀、中上、莖は單羽狀、枝は太し、本土及北海道產、亞、歐、北米に分布。

ひよくごけ　H. umbratum (Ehrh.)

蒴卵形、柄15—25ミ、メ、葉は下延廣心—三角心形次第に披針形鋭尖、緣は不正に粗齒あり、莖は重羽狀、毛葉は鹿角狀、肋双生、中央に終る、本土產、亞、歐、北米に分布。

いはだれごけ屬 Hylocomium Br. eur.

蒴は傾く、短き又長き卵圓、蓋は嘴あり、內♀花葉は糸狀に長くなる、莖は毛葉多數、莖葉疎、淺き長襞あり、廣長卵突然長く曲れる尖になる緣に細齒あり、細胞線形、翼に分化せず、肋双生短し、二種を含み、本邦に其一を產す

いはだれごけ H. proliferum (L.)

高山に普通なる植物、♀♂異株、莖は刷毛狀の新芽により階狀をなす、莖葉卵圓突然曲折する葉長の $\frac{1}{4}$ の錐形になる、肋は $\frac{1}{4}$、琉球-樺太及朝鮮產、亞、歐、亦、北米に分布。

きせるごけ科 Buxbaumiaceae

♀♂異株、蒴は短頸あり、斜に直立、腹背明なり、卵—長卵、口甚狹し、齒は二列、內齒は三二の縱襞あり、横節なし、蓋圓錐鈍頭、軸柱の上部と共に脫落、帽は指套（ゆびぬき）狀、只蓋を被ふ、莖は辛じて一ミ、メ、葉小、廣卵又卵披、肋なし、細胞長5—6邊形。

きせるごけ屬 Buxbaumia Hall.

六種、本邦にては朽ちたる切株上に生ず、二種明なり、されど尚各地に產するが如し。

きせるごけ B. aphylla L.

蒴下面紅紫又輝褐色、氣孔は陷歿性、齒は一列、柄10—15ミ、メ、本土に產し、亞、歐、北米に分布せり。

くまのてうじごけ B. Minakatae Okm.

前種に似たれど蒴下面黃綠—褐綠色、柄短く三ミ、メ、紀伊に產す、

ゐくびごけ科 Diphysciaceae

♀♂同株又異株、蒴は周苞內に沈在、斜卵圓錐狹口、頸なし、齒二列、內齒不完全、帽は圓錐僅に蓋を被ふ、葉は舌狀、箆形又紐狀、多くは全邊、細胞上部に圓き方形—圓き六邊、下部に長方又長六邊、肋は頂又頂下、周苞の長芒は著し。

ゐくびごけ屬 Diphyscium Ehrb.

莖長一サ、メ、位、葉は下方に舌狀—長箆形鈍く又尖る—五種地上に生ず、本邦產一種あり。

ゐくびごけ D. fulvifolium Mitt.

♀♂異株、葉は全邊、長楕圓線形、鈍頭、肋は刺狀に伸出、細胞は疣狀の小乳頭あり、本土—九州に產す。

くまのごけ屬 Theriotia Card.

♀♂異株、蒴は前屬に似たり、莖3—5ミ、メ、葉は長基より長錐形、鈍頭、全邊、細胞方—横長方形、葉綠に富む、疣なし、葉基に疎にして長方形透明、肋は錐部を充たす、一種あり。

くまのごけ　Th. lorifolia Card.

岩上に生じ、本土、四國及朝鮮に產す。

すぎごけ科　Polytrichaceae

♀♂異株稀に兩性、蒴は直立、後傾く、圓筒—多稜柱形頸あり又缺く、齒は32—64稀に16又缺く、上葉は鞘基より披針—舌狀、鋸齒あり、細胞1—2層、葉の上面にはラメラあり、肋は頂又伸出、本邦に六屬あり。

屬名檢索表

1 ┤ 葉は舷なし……………………………………2
　 │ 葉は舷あり、基鞘狀ならず、帽は多くは毛なし、蒴は氣孔も菱もなし……………タチゴケ屬

2 ┤ 蒴は稜柱狀、帽は多毛、葉は鞘狀、舷なし……………………スギゴケ屬
　 │ 蒴は圓柱狀……………………………………3

3 ┤ 葉はラメラあり……………………………………4
　 │ 葉はラメラも舷もなし、披針錐形、蒴は氣孔なく、柄乳は頭あり……………ヒメハミズゴケ屬

│ 葉基圓盤狀其上緣に數個の長毛あり、莖は單一……………フウリンゴケ屬

1
蒴に氣孔あり、葉鞘部及縁邊の外は二層の細胞よりなる、肋は多く伸出……………………スギゴケ屬
蒴は氣孔あり、帽は少毛、葉肉細胞は一層、ラメラ不完全……………………タチゴケモドキ屬
蒴は氣孔なし、帽は多毛、葉は鞘部及縁邊の外は二層の細胞よりなる……………………ニハスギゴケ屬

たちごけ屬 Catharinaea Ehrh.

♀♂雜株又異株、蒴は圓筒形、稜なし、頸短く、氣孔なし、蓋は嘴あり、帽は殆毛なし稀に端に齒又毛あり、葉は舌状又披針、舷あり、乾けば卷縮、肋は頂又頂下、四一種地上に生ず、本邦産一〇種あり。

たちごけ C. angustata Brid.

蒴殆直立、柄紫赤1—2サ、メ、葉は狹線披、肋は葉巾の半—$\frac{3}{4}$を占め、ラメラは2—4列、本土及四國産、亞、歐北米に分布。

しろえたちごけ C. chlorochaeta Card.

前種に近し、柄白藁色、ラメラ6—9列、朝鮮に産す。

ちゞれたちごけ C. crispula (Schimp.)

ラメラ6—9列、葉は乾くも殆卷縮せず、頂舌状鈍頭、肋は頂、背に芒あり、子嚢は單出、本土に産す。

ひろはのたちごけ C. Hausskneehtii (Jur. et Mild.)

♀♂同株、蒴殆直立、狹圓筒、柄多出8—15ミ、メ、黄—赤黄、葉狹舌狀披針、肋頂下、頂背に齒牙あり、ラメラ

2—3列、北海道—四國產、亞、歐、北米に分布。

きなしたちごけ　C. Kinashii Card.

チャレタチゴケに似たり、されど葉と肋背に小齒牙あり、ラメラ五、細胞は二倍大、本土に產す。

けいりんたちごけ　C. spinulosa Card.

ラメラは葉の中央にて6—7列、葉廣く齒强く針狀、葉と肋背に芒あり、朝鮮に產す。

なみがたたちごけ　C. undulata (L.)

蒴圓筒形、柄2—4サ、メ、單出、葉は肋と共に背に芒あり、長披—狹舌狀、横波狀、肋は頂、ラメラ2—8列、北海道—九州產、亞、歐、非、北米に分布、

さわたたちごけ　C. xanthopoda Card.

♀♂同株、葉背平滑又疎齒あり、ラメラ4—6列、本土に產す。

ひめはみずごけ屬　Rhacelopodopsis Thér.

一種よりなる。

ひめはみずごけ　Ph. Camusii Thér.

蒴圓筒形、柄二サ、メ、多疣、葉は舷なく、ラメラなし卵狀又卵圓の披針錐形、錐部不正に粗齒あり、細胞疎、短方又多邊形、本土に產す。

たちごけもどき屬　Oligotrichum Lam. et De. Card.

♀♂異株、蒴は直立又傾く、圓筒形、頸短、大形の氣孔

あり、帽少毛、葉は彎曲、稀に縮る、披針—舌狀、一層の細胞よりなる、細胞方—圓き六邊、肋背に櫛齒狀のラメラあり、一三種地上に生ず、本邦に三種を見る。

はぐるまごけ O. aligerum (Mitt.)

葉は横波狀ならず、半鞘狀殆披針形に尖る、頂に離れて小齒あり、肋背にラメラあり、本土の高山に產し、北米に分布せり。

たちごけもどき O. japonicum Card.

甚强き植物、葉は弱く横波狀、基鞘狀ならず、短廣披針上方に鋭齒あり、蒴は卵狀—長楕圓形、本土の高山に產す

いぼたちごけもどき O. mamillosum Broth.

葉基鞘狀、披針鋭齒あり、細胞は高き乳頭あり、方形又稍圓し、肋は短く伸出、四國高山產。

ふうりんごけ屬 Bartramiopsis Kindb.

一種よりなる。

ふうりんごけ B. Lescurii (James.)

♀♂異株、蒴直立、廣口、短圓筒形、柄一サ、メ、三位、多乳頭、莖糸狀殆單一、葉は捲縮、鞘部の上方に3—5の長毛あり、線狀披針、舷なく、密に鋭齒あり、肋は頂下、上面にラメラ5—8、四國—北海道の高山に產し、亞及北米に分布せり。

にはすぎごけ屬 Pogonatum Palis.

♀♂異株稀に兩性、蒴は直立又傾く圓筒形、頸も氣孔もなし、嘴は蓋あり、帽は多毛、葉は硬くして直立又捲縮、披針一線披、らめら多數、一五八種地上に生ず、本邦產凡二〇種あり。

ひめすぎごけ　P. akitense Besch.

蒴は卵狀圓筒、粟粒あり、帽毛帶褐色、柄一五ミ、メ、葉は卵狀廣披、中上に疎小齒あり、ラメラ5—7列、端細胞凹む、本邦及朝鮮に產す。

えぞこすぎごけ　P. aloides (Hedw.)

蒴直立又弱く傾く卵狀圓筒形、帽毛上部褐色下方に白色柄15—35ミ、メ、葉は卵披鋭齒あり、肋背に齒あり、ラメラ5—7列、端細胞大ならず頂圓し、九州、本土及北海道に產し、亞、歐、弗、北米に分布せり。

ながさやこすぎごけ　P. a. var. longicolla Mitt.

蒴は柄の方へ次第に尖る、本土に產す。

ありさんすぎごけ　P. arisanense Okm.

蒴直立長楕圓、柄三サ、メ、植物大、一五サ、メ、葉は廣楕線披密に襞あり、ラメラ多數70—80に至る、臺灣に產す。

ひろはのこすぎごけ　P. asperimam Besch.

蒴圓筒狀、粟粒あり、柄三サ、メ、紅紫色、葉廣卵披尖鋭ならず、緣に齒あり、セイタカスギゴケに近し、本土及四國に產す。

けすぢすぎごけ　P. capillare (Reich.) Brid.

蒴は傾き楕圓、柄二五ミ、メ、帽は蒴よりも短、葉は短鞘基より線披、鋭齒あり、肋は剛毛狀に伸出、ラメラの端細胞平頭、亜、歐、北米に分布し、本邦に未採？

はすぎごけ　P, c. var. dentatum (Menz.)

肋はより强く、葉縁の齒も强し、樺太に產し、亜及北米に分布せり。

こせいたかすぎごけ　P. contortum Menz.

蒴長楕圓平滑、葉は卷旋長楕披針、基より鋭齒あり、ラメラ多數、九州一樺太產、北米に分布。

あをすぎごけ　P. c. var. pallidum Lindb.

青白、葉基廣く急に短長楕披針、柄短、樺太產。

せたかすぎごけ　P. grandifolium (Lindb.)

蒴直立長楕圓、柄一五ミ、メ、粗、葉は卵圓披針鋭尖、縁に鋭齒あり、ラメラ多數九〇に至る、四國一北海道及朝鮮に產す、亜に分布。

とさのせいたかすぎごけ　P. g. var. tosanum Card.

葉はより狹く端細胞單一又二、土佐國產。

はだかばにはすぎごけ　P. gymnophyllum Mitt.

植物大、二〇サ、メに至る、葉は上半に鋭齒あり、細胞甚短、鞘部に長方形、ラメラ一列、臺灣に產し、亜細亜に分布。

ひまらやすぎごけ　P. himalayanum Mitt.

蒴は線條なし、ラメラ多數、肋は伸出、葉は卵披頂端撚扭す、富士山に產すといふ、印度原產。

こすぎごけ　P. inflexum Lindb.

蒴直立圓筒形、柄一五ミ、メ、以上、帽毛灰褐色、葉狹長鋭尖、ラメラの端細胞凹む、臺灣—北海道及朝鮮産、亞に分布。

ちやぼすぎごけ　P. otaruense Besch.

蒴楕圓形、粟粒あり、柄五—七ミ、メ、植物高一三ミ、メ、葉は長楕披針鋭頭、短き鈍齒あり、肋背平滑、ラメラ凡四〇、端細胞圓頂、本土及北海道に産す。

ちやぼすぎごけもどき　P. pygmaeum Card.

蒴長形、柄8—12ミ、メ、植物小、3—5ミ、メ、コスギゴケに似て葉は短く鈍頭、乾けば內曲又卷縮、北海道に産す。

にはすぎごけ　P. rhopalophorum Besch.

蒴卵狀長楕、粟粒あり、柄一五ミ、メ、以上、帽毛灰白色、葉卵形上方に小、披針形、小齒あり、ラメラの端細胞平頭、九州—本土及朝鮮に産す。

はみずごけ　P. spinulosum Mitt.

蒴は不正圓筒形、粟粒あり、柄長一寸許、本種は葉不完全にして少く殆無きが如く見ゆるを以て直に區別せらる、九州—北海道産、亞に分布せり。

ほうらいすぎごけ　P. spurio-cirratum Broth.

植物大、三〇サ、メ、葉は鞘部全邊其他鋭齒あり、ラメラ1—2列、時として端細胞對をなす、臺灣に産し比島に分布せり。

ねぢれすぎごけ　P. tortile (Sw.) Palis.

蒴水平明に線條あり、後黑褐となる、葉は上半に鋭齒あり、肋は背上方に齒あり、ラメラ多數3—4列、端細胞大にして圓頭なり、弗、兩米及新西蘭に分布せり。

やまとすぎごけ　P. urnigerum (L.)

蒴直立、長卵—圓筒形、線條なし、柄1—5サ、メ、帽毛黃褐、葉は短鞘基より線披長く尖る、疎に鋭齒あり、肋剛毛狀伸出、ラメラ多數、端細胞甚大、四國—北海道及朝鮮に産し、亞、歐、弗、北米に分布せり。

すぎごけ屬 Polytrichum Dill.

♀♂異株、蒴は初に直立、多くは稜角あり、頸に大なる氣孔あり、齒は六四、帽は長毛あり、葉は剛直披針又線披肋は芒狀伸出、ラメラ多數、九二種地上又岩上に生じ本邦産十種あり。

みやますぎごけ　P. alpinum L.

蒴は楕圓又卵形、稜なし、柄3—5サ、メ、葉は乾くも卷縮せず卵披錐形、下方まで粗齒あり、葉細胞上方に方形鞘部に長方、本土、樺太及朝鮮に産す、全世界に分布。

ちしますぎごけ　P. a var.

葉は乾けば卷縮、蒴は卵圓形、千島に産す。

おほすぎごけ　P. attenuatum Menz.

蒴は長柱形、五—六稜あり、粟粒なし、柄4—8サ、メ黃赤色、頸は半球狀、明なる別なし、葉線披錐形に尖る、

肋は赤色の禾として伸出、九州一北海道產、亞、歐、非、北米まで分布。

きえのおほすぎごけ　P. a. var. pallidisetum Besch.

蒴長楕圓、柄はより短、藁黃色、北海道及樺太產、歐及北米に分布。

うますぎごけ　P. commune L.

蒴卵圓形、四稜、粟粒あり、帽は金色又金褐、柄 6 — 12 サ、メ、葉は披針錐形、粗齒あり、緣は卷かず、芒は赤色、九州一樺太產、全世界に分布。

なんぶうますぎごけ　P. c. var. Maximowiczii Ldb.

鐵色、やゝ硬く、甚密に葉あり、北日本に產す。

しこくうますぎごけ　P. c. var. perigoniale Michx.

蒴柄 4 — 6 サ、メ、♀花葉は長芒狀、四國に產し、歐、米、濠に分布。

ほすぎごけ　P. gracile Dicks.

蒴は傾き卵形、5 — 6 稜、粟粒なし、帽毛銹黃、柄 6 — 8 サ、メ、黃赤色、葉は披針形にして尖る、肋短く伸出、本土及北海道に產し、亞、歐、北米及濠に分布せり。

いぶきすぎごけ　P. intersedens Card.

オホスギゴケに近し、ラメラの端細胞大、蒴に頸なく、柄に漸尖、伊吹山に產す。

すぎごけ　P. juniperinum Willd.

蒴は四稜柱形、帽毛上部褐色下部白色、柄 2 — 6 サ、メ美紅色、葉は線披、廣く卷く、緣に少鈍齒あり、芒は褐赤

九州、本土一樺太產、全世界に分布せり。

ほそばすぎごけ　P. paludicola Card.

葉狹く、緣は正しくして鋸齒あり、ラメラ高く30—40、端細胞大、凹頭、青森に產す。

はりすぎごけ　P. piliferum Schreb.

蒴卵形又楕圓、四稜、粟粒あり、柄三サ、メ、葉は鞘狀披針全邊、細胞突出しやゝ齒狀、緣はまく、芒長く伸出、透明、小齒あり、植物は小、三稀に五サ、メ、四國一樺太及朝鮮產、全世界に分布。

たかねすぎごけ　P. sphaerothecium (Besch.)

蒴殆圓形、稜なし、柄五ミ、メ、葉は卵形、針尖あり、全邊、本土及朝鮮に產す。

たちさやすぎごけ　P. strictum Banks..

スギゴケに甚近し、されど柄長く6—10サ、メ、蒴直立殆立方體、帽毛黃褐稀に白色なり、本土及樺太及朝鮮に產し、亞、歐、北米に分布せり。

和名索引

和 名 索 引 終

INDEX

GENERALIS ET SPECIALIS.

學 名 索 引 終

昭和四年十一月一日印刷
昭和四年十一月五日發行

著作權有所

日本產蘚類總說
定價金三圓四十錢

著作者　飯柴永吉

東京市赤坂區一ツ木町卅一番地
發行者　合資會社西ケ原刊行會
代表者　戸田節治郎

東京市牛込區市谷加賀町一ノ一二
印刷者　根本力三

東京・赤坂・一ツ木町卅一番地
發行所　合資會社西ケ原刊行會
振替東京一一四一八番
電話青山二三六三番

東京・京橋・南傳馬町二丁目
發賣所　目黑書店
振替東京二八〇九番
電話京橋三四一七番

(東京秀英舍印刷)

◇参考書目錄◇

著者名	圖書名	卷數	定價	送料
東大教授農學博士 高橋偵造先生著	綜合 農產製造學	上	〔近刊〕	
同	同	中	〔近刊〕	
同	同	下	〔近刊〕	
同	資料 農產製造學		3.80	.27
東大教授農學博士 佐藤寬次先生著	新農業精說		〔近刊〕	
同	新農業讀本		〔近刊〕	
東大教授林學博士 薗部一郎先生 東大教授林學博士 三浦伊八郎先生 共著	標準 林學講義	上	4.50	.27
同	同	下	4.50	.27
同	林學讀本		3.00	.27
飯柴永吉先生著	日本產蘚類總說		3.40	.27
農學博士 關豐太郎先生著	新撰 提要土壤學		2.00	.18
東大教授農學博士 藪田貞治郎先生著	農藝化學實驗法		.95	.10
東大教授農學士 田中貞次先生著	農業土木學		2.00	.18
東大助教授農學士 衣川義雄先生著	副業養鷄法		2.50	.27
九大助教授農學士 川島祿郎先生著	肥料學		〔近刊〕	
農學士 水野正治先生著	栽培 花卉 葉と花		4.50	.27
農學博士 桑名伊之吉先生著	增訂 實用害蟲驅除法		6.00	.36
東大農學部講師農學士 廣部達三先生著	改訂 農用機具 農業動力		2.50	.27
工學士 本田哲致先生著	農用 石油發動機取扱法		實費 1.00	.18